

## II. 調査結果の報告

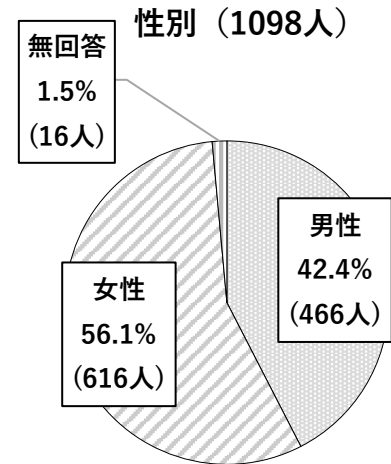
### 1. 回答者の基本的なことについて

#### (1) 性別（単一回答）

問2. あなたの性別を教えてください。

性別は「女性」が56.1%

性別は、「男性」が42.4%、「女性」が56.1%で、「女性」が高くなります。



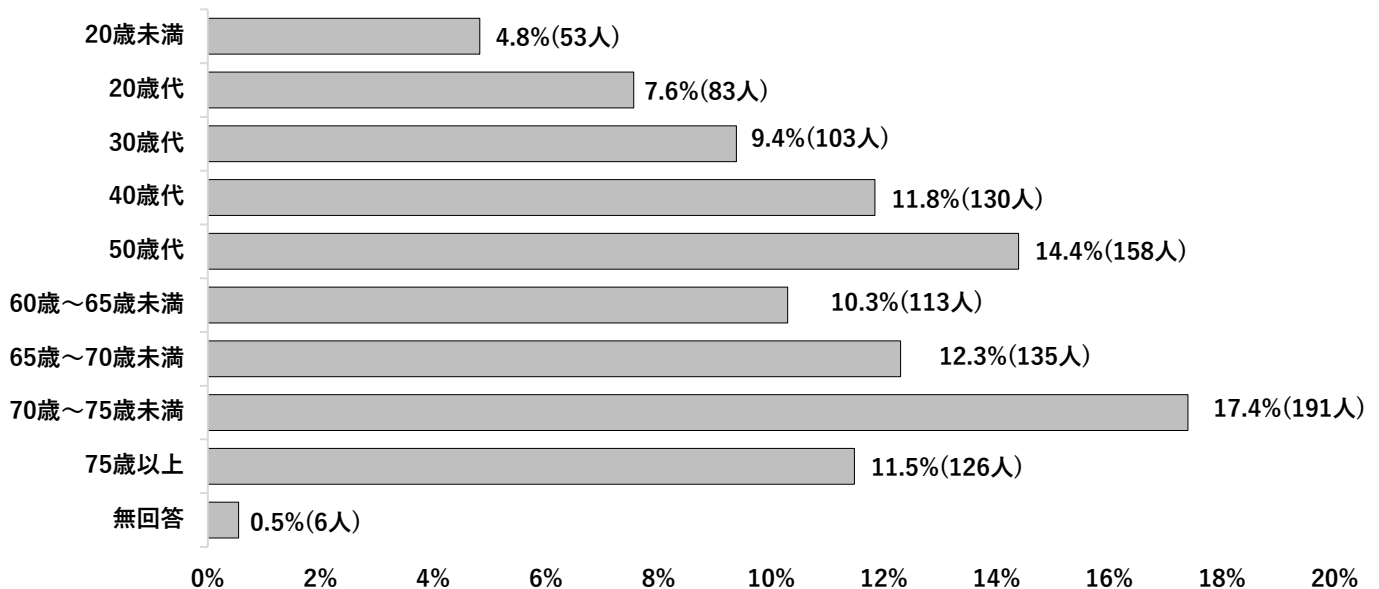
#### (2) 年齢層（単一回答）

問3. あなたの年齢を教えてください。

年齢層は「70歳～75歳未満」が17.4%

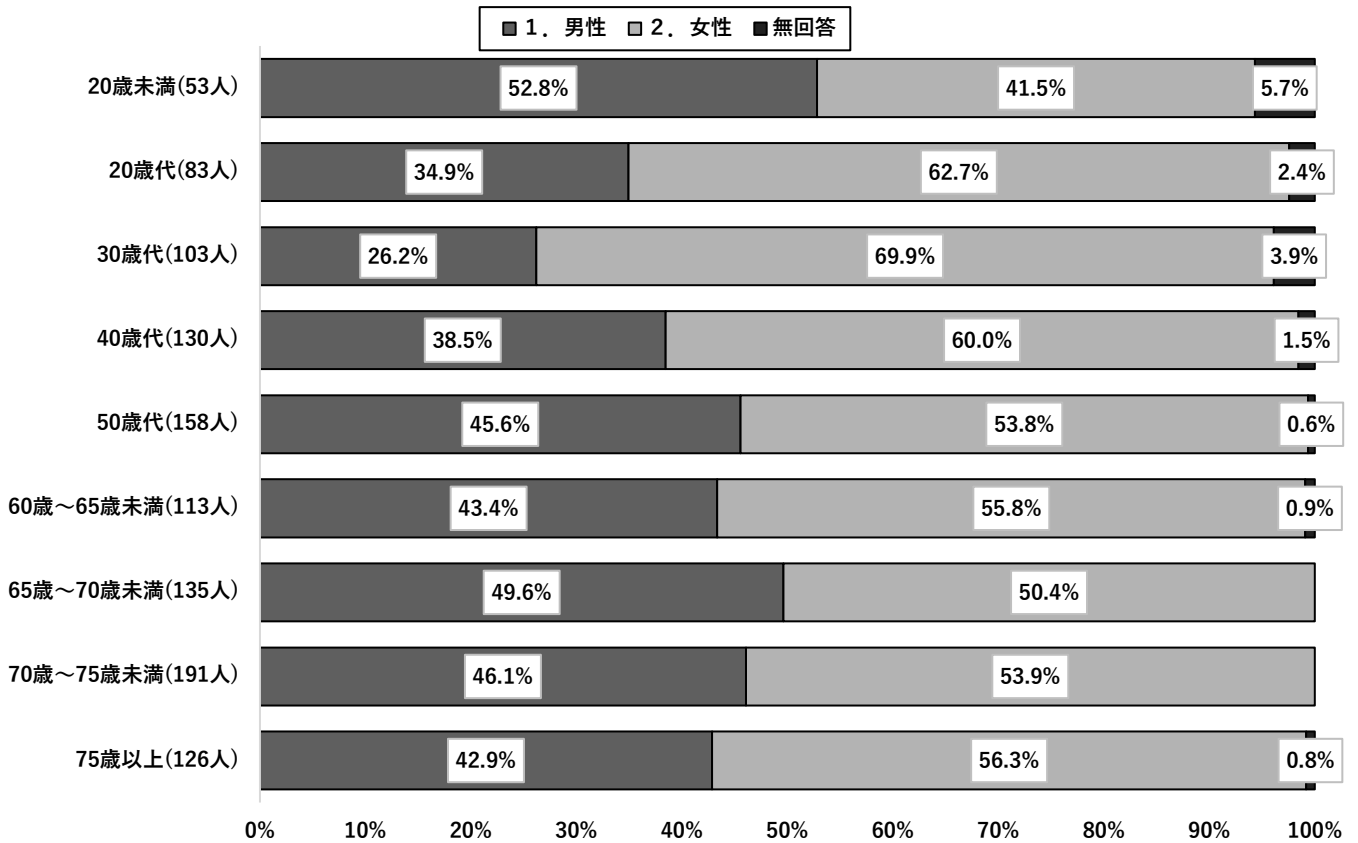
年齢層は、「70歳～75歳未満」が17.4%と最も割合が高く、「50歳代」が14.4%、「65歳～70歳未満」が12.3%と続きます。「20歳未満」が4.8%と最も低くなります。

年齢層（1,098人）



また、性別にみると、「20歳未満」を除いたどの年齢層でも「女性」のほうが割合が高くなっています。特に「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」では「女性」の割合が60%以上となっています。

### 年齢層（性別）



### (3) 職業（単一回答）

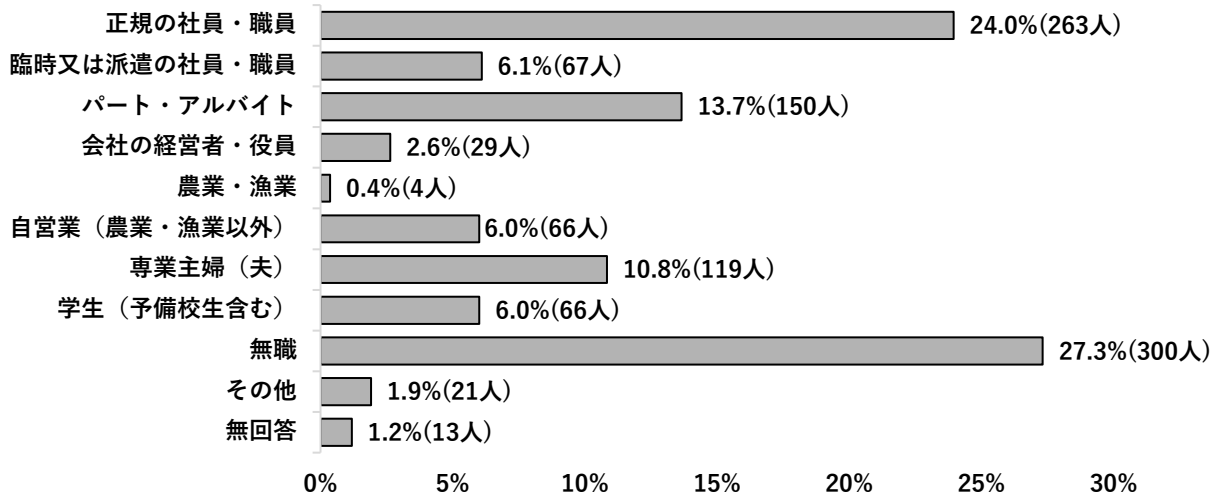
問4. あなたの職業を教えてください。

職業は「無職」が27.3%

職業は、「無職」が27.3%と最も割合が高く、「正規の社員・職員」が24.0%、「パート・アルバイト」が13.7%と続きます。

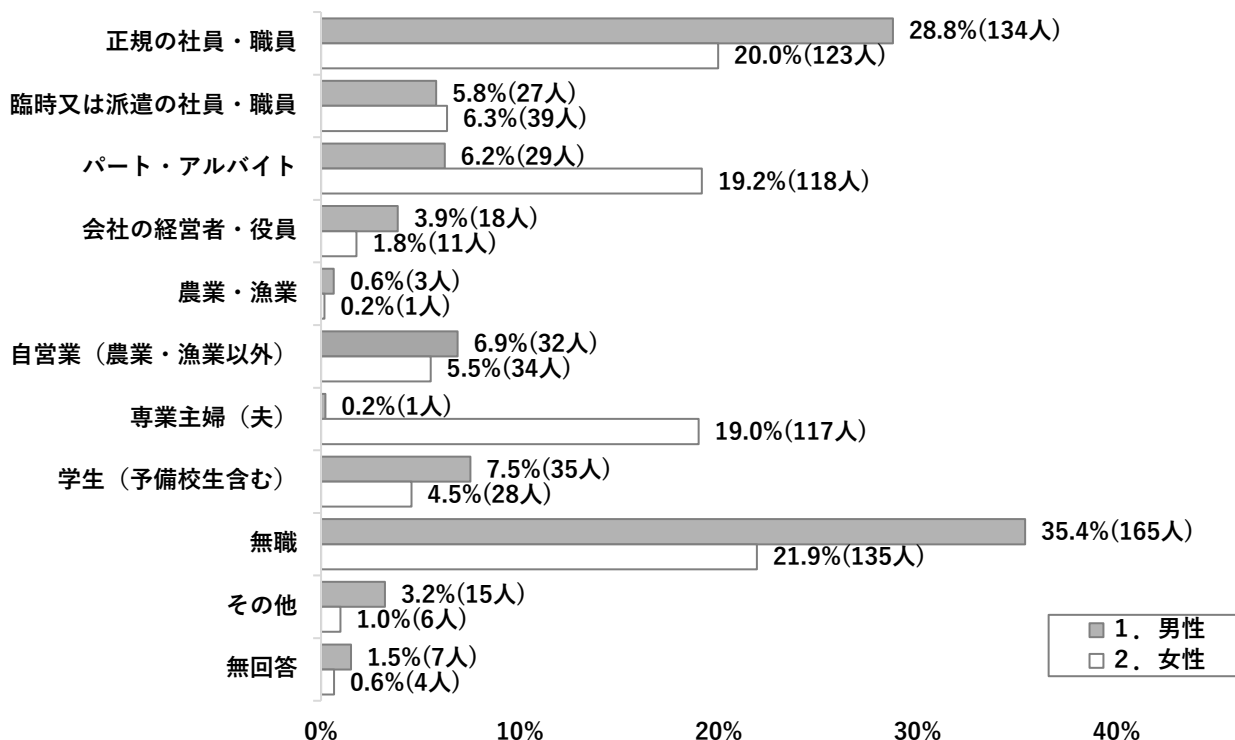
「無職」、「専業主婦（夫）」、「学生（予備校生含む）」を合わせた、特に仕事を持っていない人が44.2%で、仕事に従事している人が52.7%となります。

### 職業（1,098人）



また、性別にみると、「無職」は、「男性」では 35.4%、「女性」では 21.9%、「正規の社員・職員」は、「男性」では 28.8%、「女性」では 20.0%となっており、いずれも「男性」が高くなっています。また、「臨時又は派遣の社員・職員」と「パート・アルバイト」を合わせた、いわゆる非正規雇用の割合は、「男性」では 12.0%である一方、「女性」では 25.5%と、「女性」が「男性」の 2 倍以上になっています。

### 職業（性別）

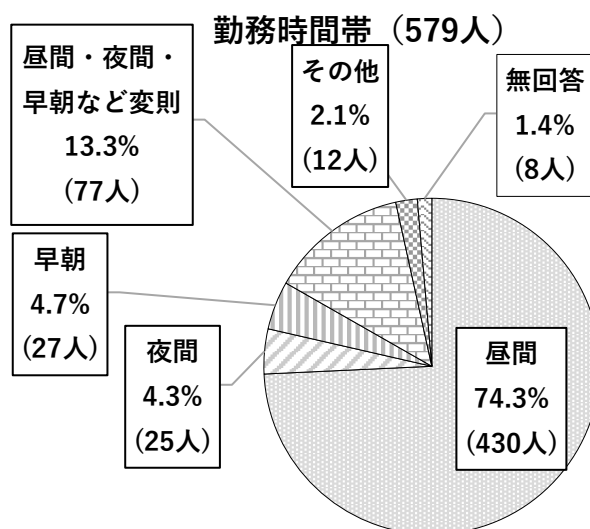


### (4) 勤務時間帯（単一回答）

問 4 - 1. 日常的な勤務時間帯を教えてください。（問 4 で「1.~6.」と答えた方）

勤務時間帯は「昼間」が 74.3%

仕事に従事している人の勤務時間帯は「昼間」の割合が最も高く、74.3%となっています。次に「昼間・夜間・早朝など変則」が 13.3%、「早朝」が 4.7%、「夜間」が 4.3%となっています。



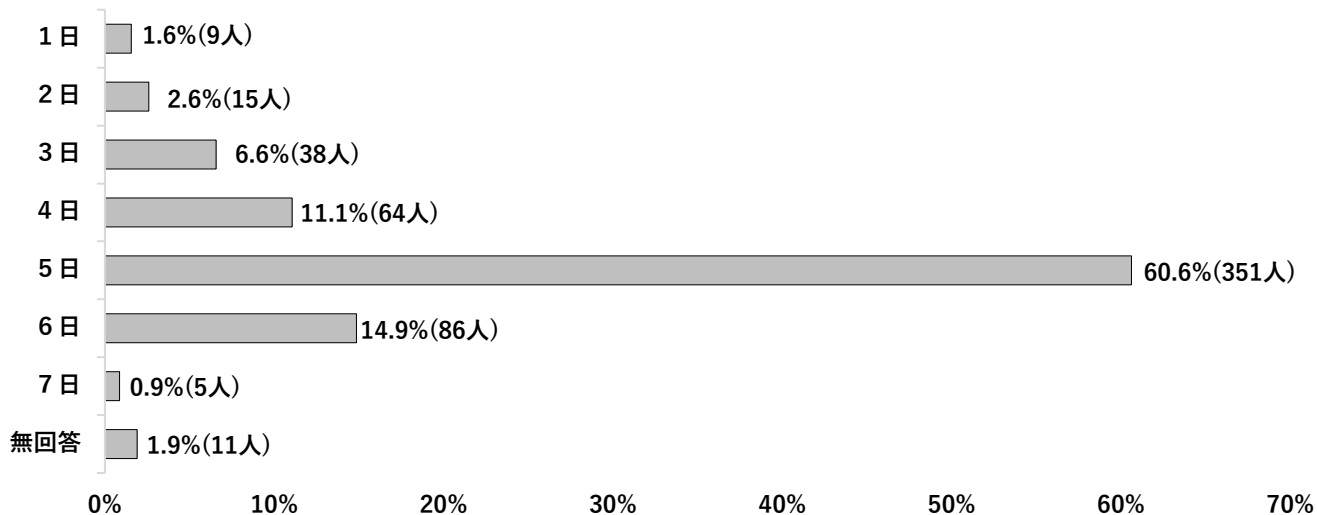
### (5) 週の平均勤務日数（単一回答）

問4-2. 週の平均勤務日数を教えてください。（問4で「1.~6.」と答えた方）

週の勤務日数は「5日」が60.6%

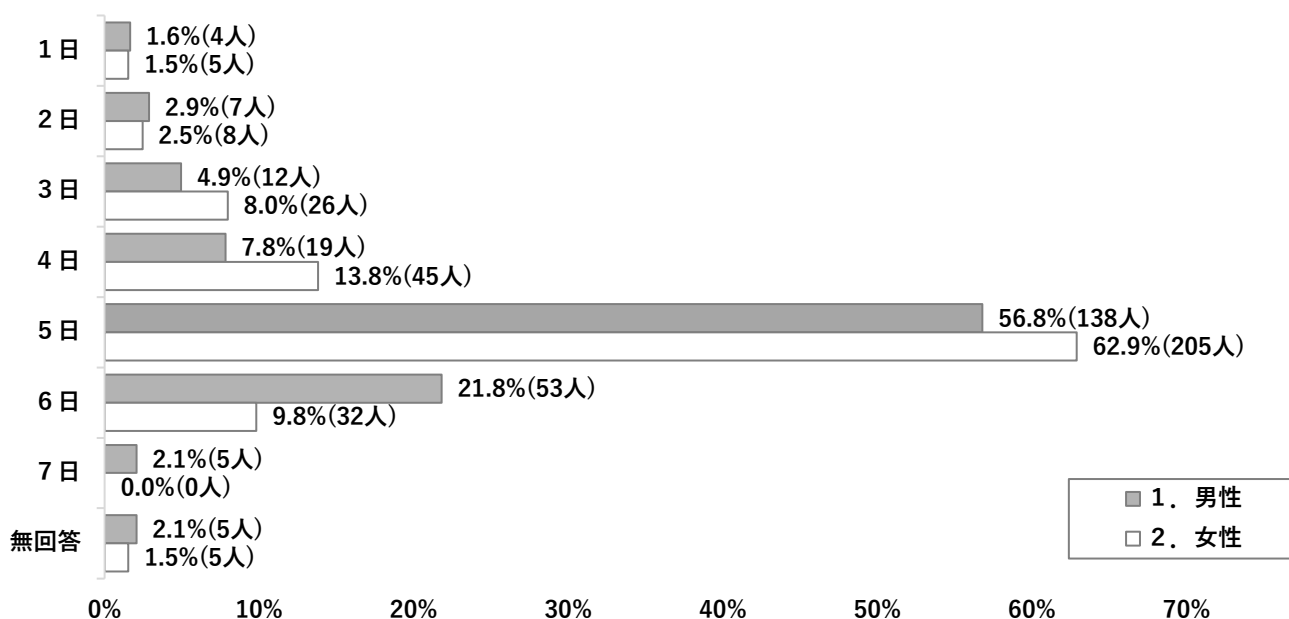
仕事に従事している人の週の勤務日数は「5日」の割合が最も高く、60.6%となっています。次に「6日」が14.9%、「4日」が11.1%と続きます。

#### 週の平均勤務日数（579人）



性別にみると、「男性」、「女性」とともに「5日」の割合が最も高く、「男性」では56.8%、「女性」では62.9%となっています。次に割合が高いのは、「男性」では「6日」の21.8%、「女性」では「4日」の13.8%となります。

#### 週の平均勤務日数（性別）



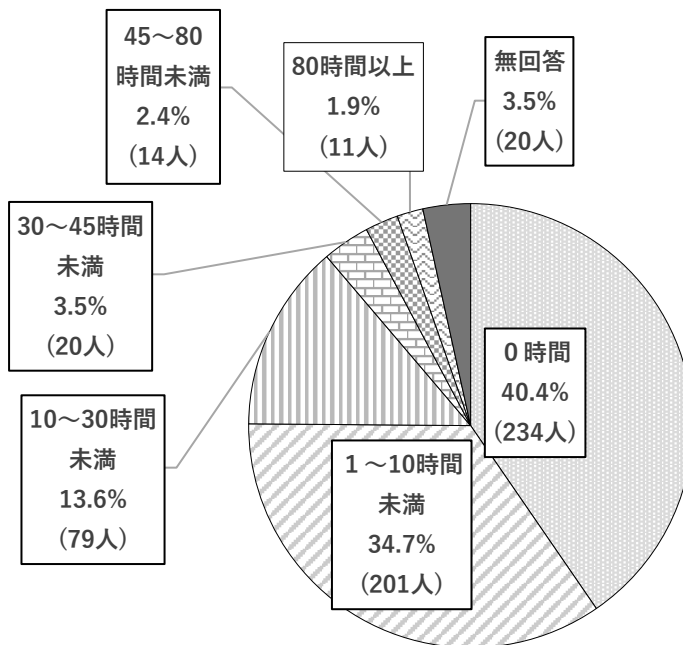
(6) 月の平均残業時間（単一回答）

問4-3. 月の平均残業時間を教えてください。

月の平均残業時間は「0時間」が40.4%

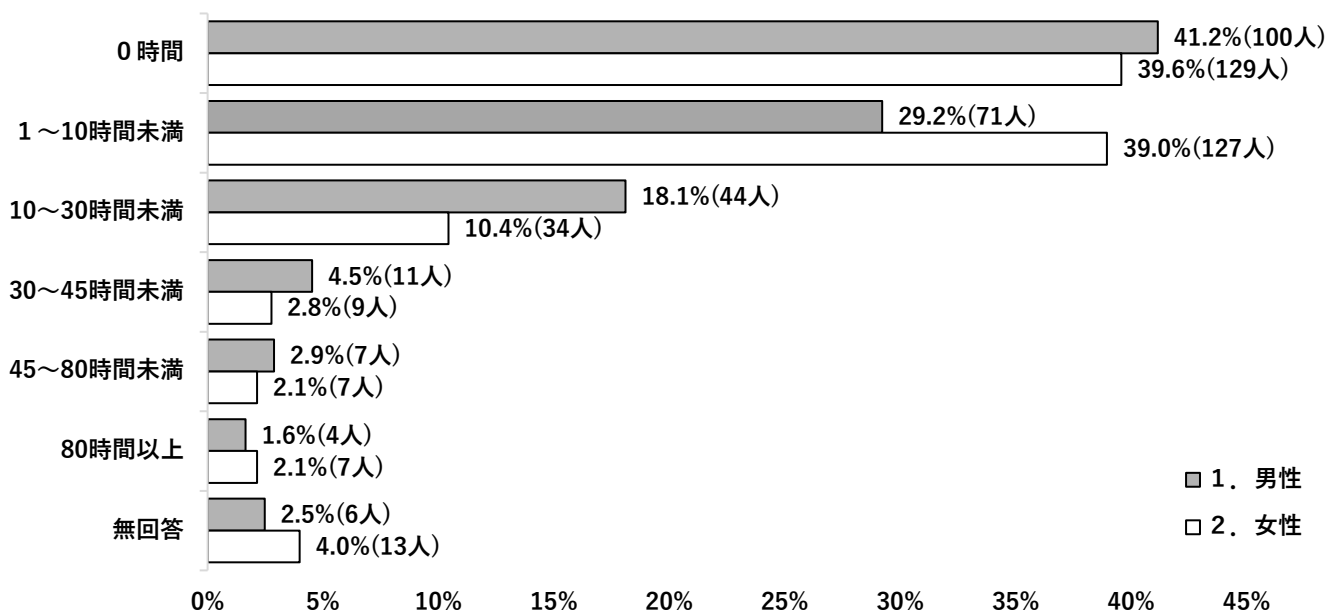
仕事に従事している人の月の平均残業時間は「0時間」が最も多く、40.4%となります。残業時間が増えるにつれて割合が低くなり、「1～10時間未満」が34.7%、「10～30時間未満」が13.6%、「30～45時間未満」が3.5%となります。

平均残業時間（579人）



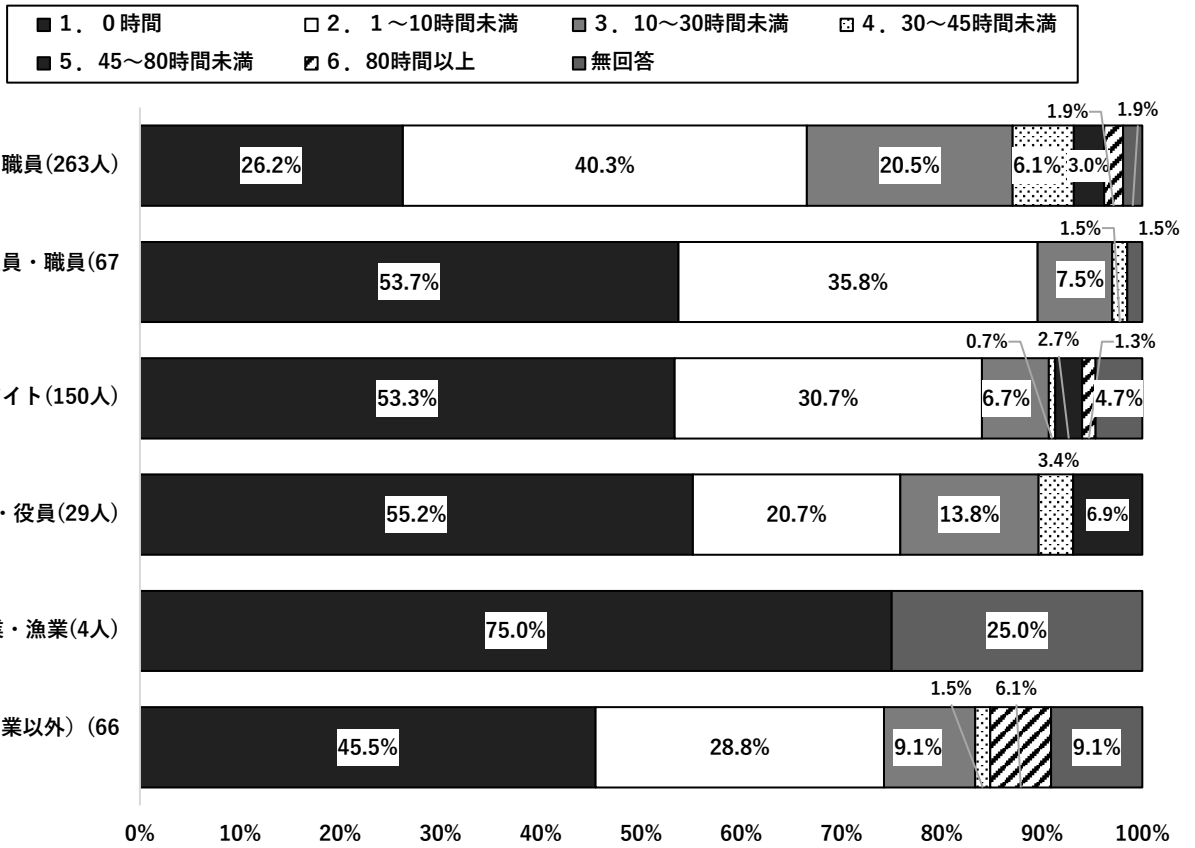
性別にみると、「男性」、「女性」とともに「0時間」が最も多く、「男性」で41.2%、「女性」で39.6%となります。「1～10時間未満」、「80時間以上」では「女性」の割合が高く、その他の残業時間では「男性」の割合が高くなります。

月の平均残業時間（性別）



職業別にみると、「正規の社員・職員」を除く、全ての職業で「0時間」が最も多くなっています。また、「正規の社員・職員」においては、「1～10時間未満」が40.3%となっており、最も多くなっています。

### 月の平均残業時間（職業別）



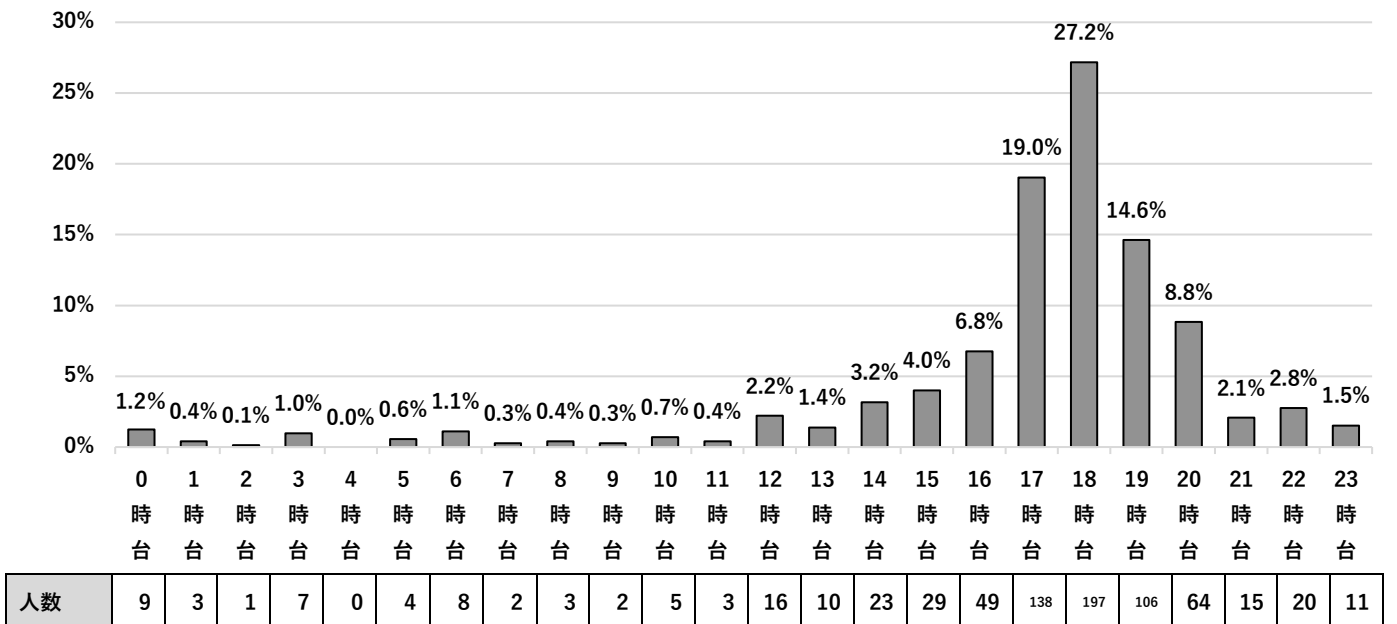
### (7) 帰宅時間（単一回答）

問5. 帰宅時間の主な時間を教えてください。

帰宅時間は「18時台」が27.2%

帰宅時間は「17時台」から大きく上昇し、「18時台」が27.2%と最も高く、次に「19時台」が14.6%となります。

### 帰宅時間（1,098人）



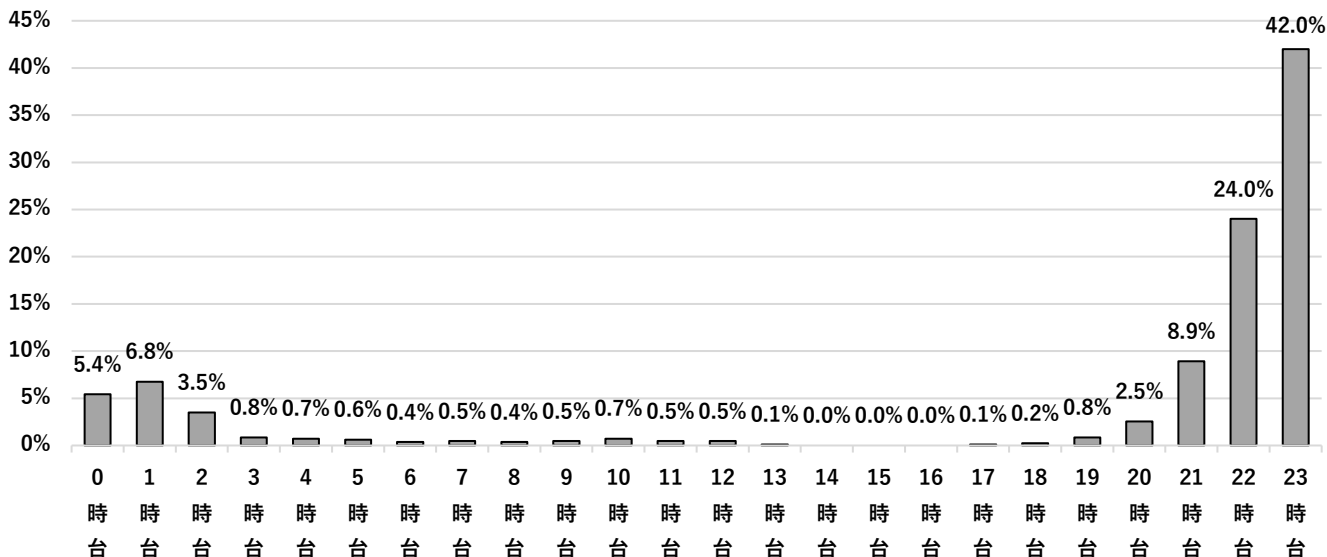
**(8) 就寝時間（単一回答）**

問5. 就寝時間の主な時間を教えてください。

就寝時間は「23時台」が42.0%

就寝時間は「21時台」から「23時台」にかけて大きく上昇します。「23時台」が42.0%と最も高く、次に「22時台」が24.0%で、「23時台」と「22時台」を合わせると、全体の66.0%となります。

**就寝時間（1,098人）**



人数	45	56	29	7	6	5	3	4	3	4	6	4	4	1	0	0	0	1	2	7	21	74	199	348
----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	-----	-----

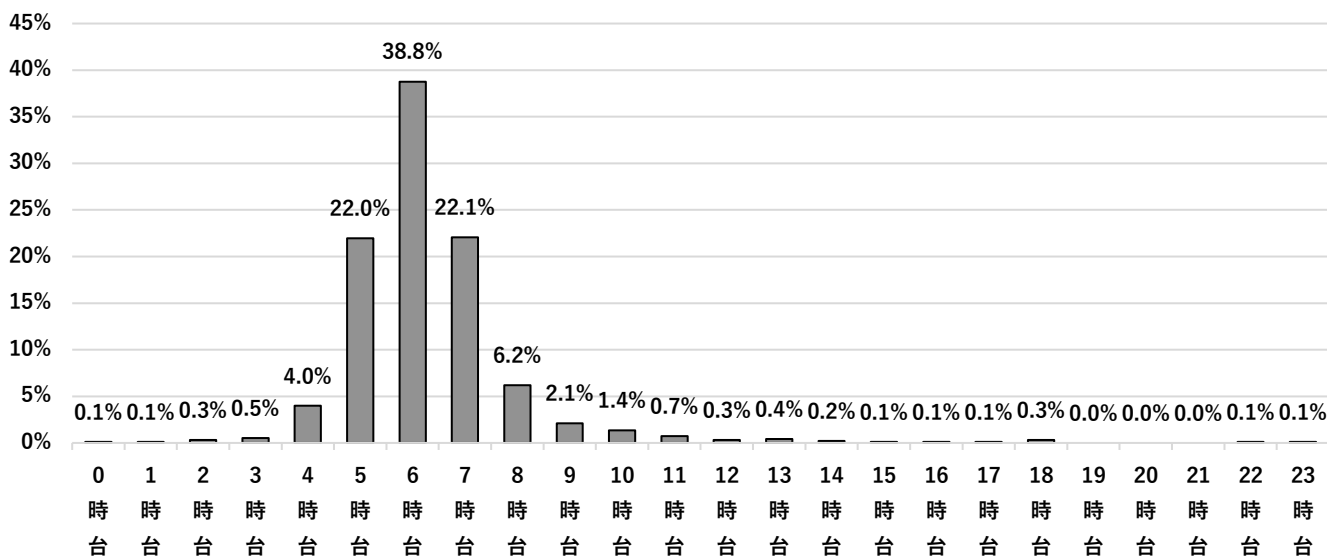
**(9) 起床時間（単一回答）**

問5. 起床時間の主な時間を教えてください。

起床時間は「6時台」が38.8%

起床時間は「6時台」の割合が最も高く、38.8%となります。「7時台」と「5時台」の割合が次に多く、「5時台」、「6時台」、「7時台」の3つを合わせると、全体の82.9%を占めます。

**起床時間（1,098人）**



人数	1	1	3	5	38	209	369	210	59	20	13	7	3	4	2	1	1	1	3	0	0	0	1	1
----	---	---	---	---	----	-----	-----	-----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

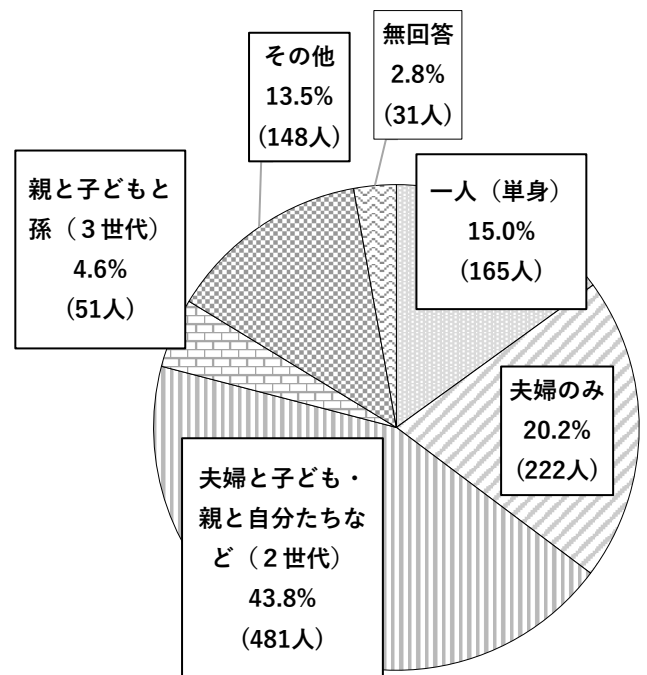
## (10) 家族構成 (単一回答)

問6. 今一緒に住んでいる家族の構成を教えてください。

家族構成は「夫婦と子ども、親と自分たちなど (2世代)」が43.8%

家族構成は「夫婦と子ども、親と自分たちなど (2世代)」の割合が43.8%と最も高い。次に「夫婦のみ」が20.2%、「一人 (単身)」が15.0%と続きます。

### 家族構成 (1,098人)





## 2. 地域、友人、知人との関わり

### (1) 地域活動への参加の状況（複数回答）

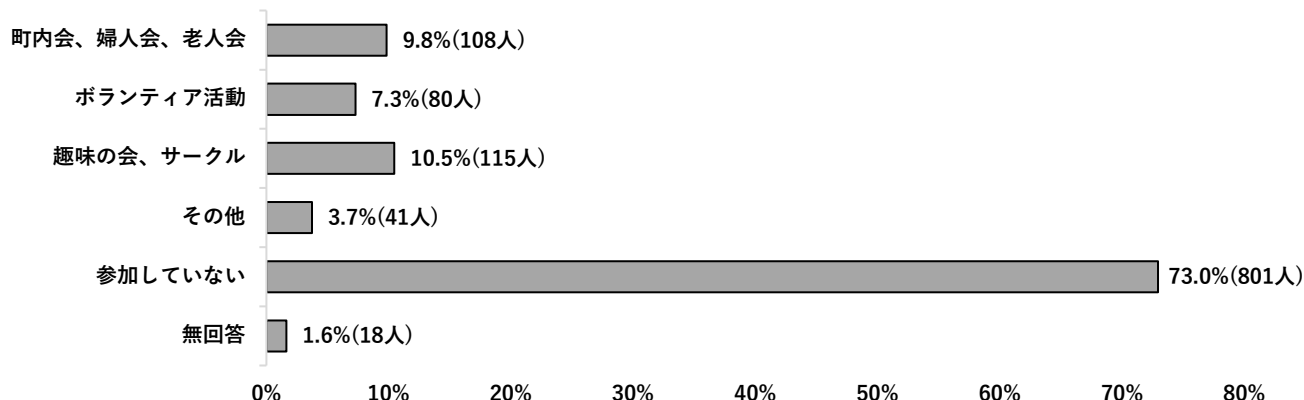
問7. あなたは地域活動に参加していますか。

「参加していない」が73.0%

地域活動の参加については、「参加していない」が73.0%と多数を占めています。一方で、何らかの地域活動に参加していると答えた人のうち、回答の割合が最も高かったのは「趣味の会、サークル」で、全体の10.5%が回答しています。

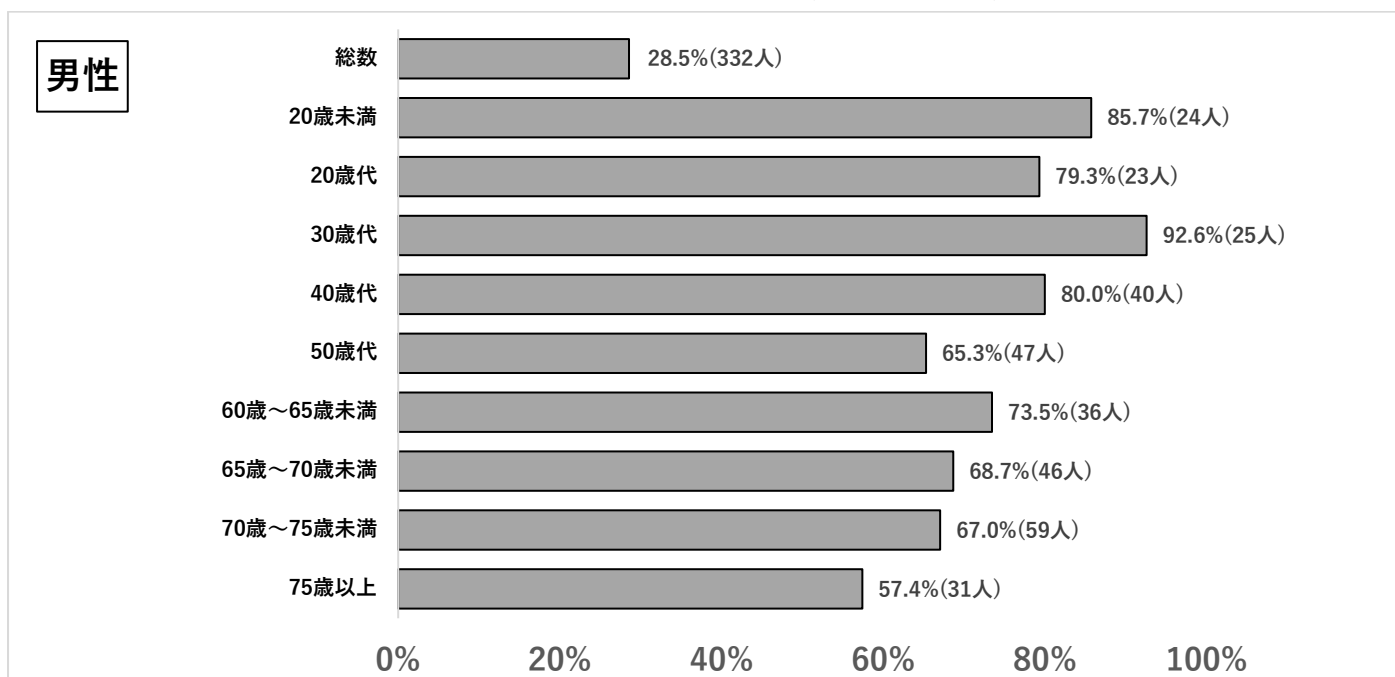
※複数回答につき、割合の合計が100%を超える場合があります。

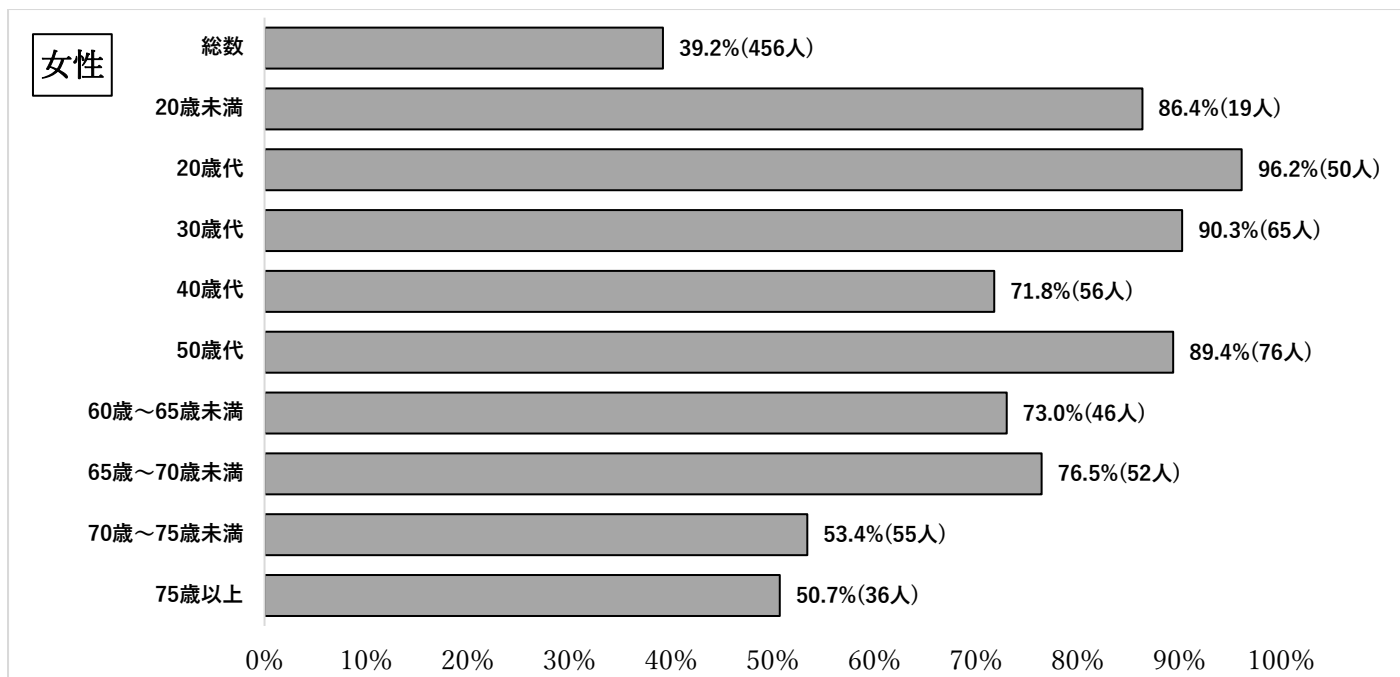
#### 地域活動への参加の状況（1,098人）



また、性別年齢層別にみると、20歳代の女性や、30歳代の男性・女性において、特に「参加していない」と回答した人の割合が高く、逆に65歳以上の高齢者に注目すると、年齢が上がるほど「参加していない」と回答した人の割合は下がっており、特に70歳以上の高齢者は、男性よりも女性の方が「参加していない」と回答した人の割合が低くなっています。

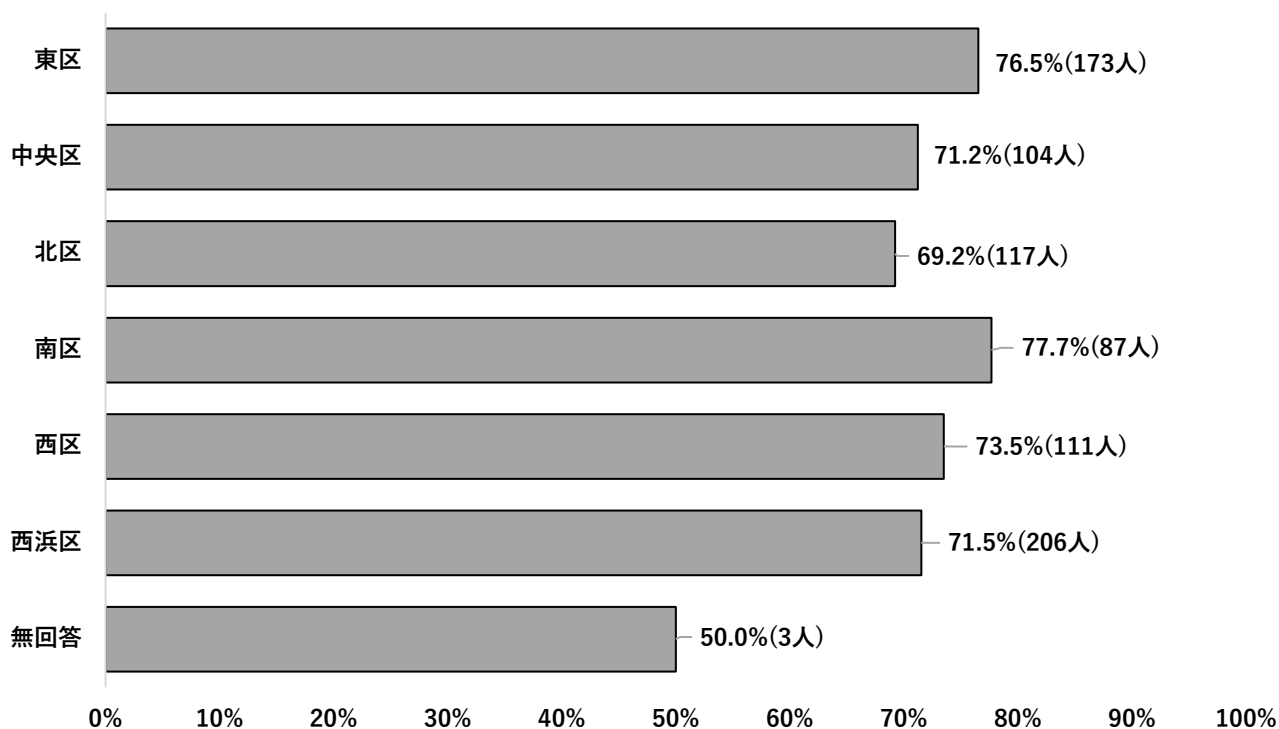
#### 地域活動に「参加していない」（性別年齢層別）





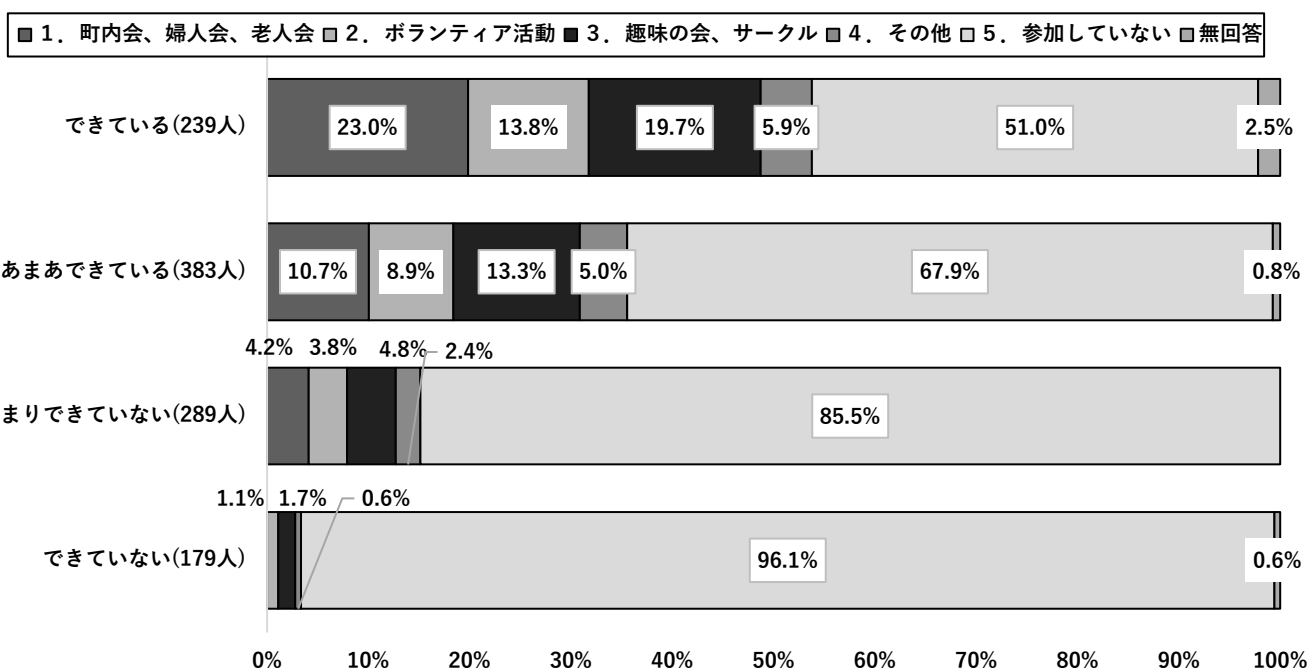
「参加していない」と回答した人の居住地域をみると、どの地区でも約 70%の人が「参加していない」と回答しています。「参加していない」と回答した人の割合が最も低いのは「北区」で、69.2%です。

**地域活動に「参加していない」(地域別)**



地域活動の参加状況の観点では、近所との付き合いが薄いほど、「参加していない」の回答割合が高まっています。

### 地域活動への参加の状況（近所との付き合い別）



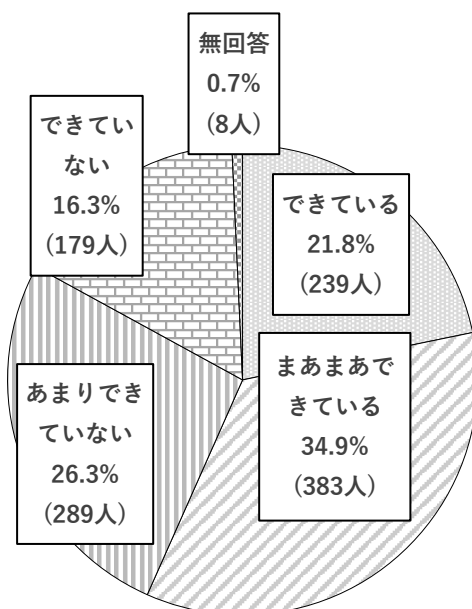
### (2) 近所との付き合い（単一回答）

問8. 近所の人や知り合いとお付き合いができていますか。

「まあまあできている」が 34.9%

近所の人や知り合いとお付き合いについて、「できている」または「まあまあできている」と回答した人の割合は、計 56.7%となります。

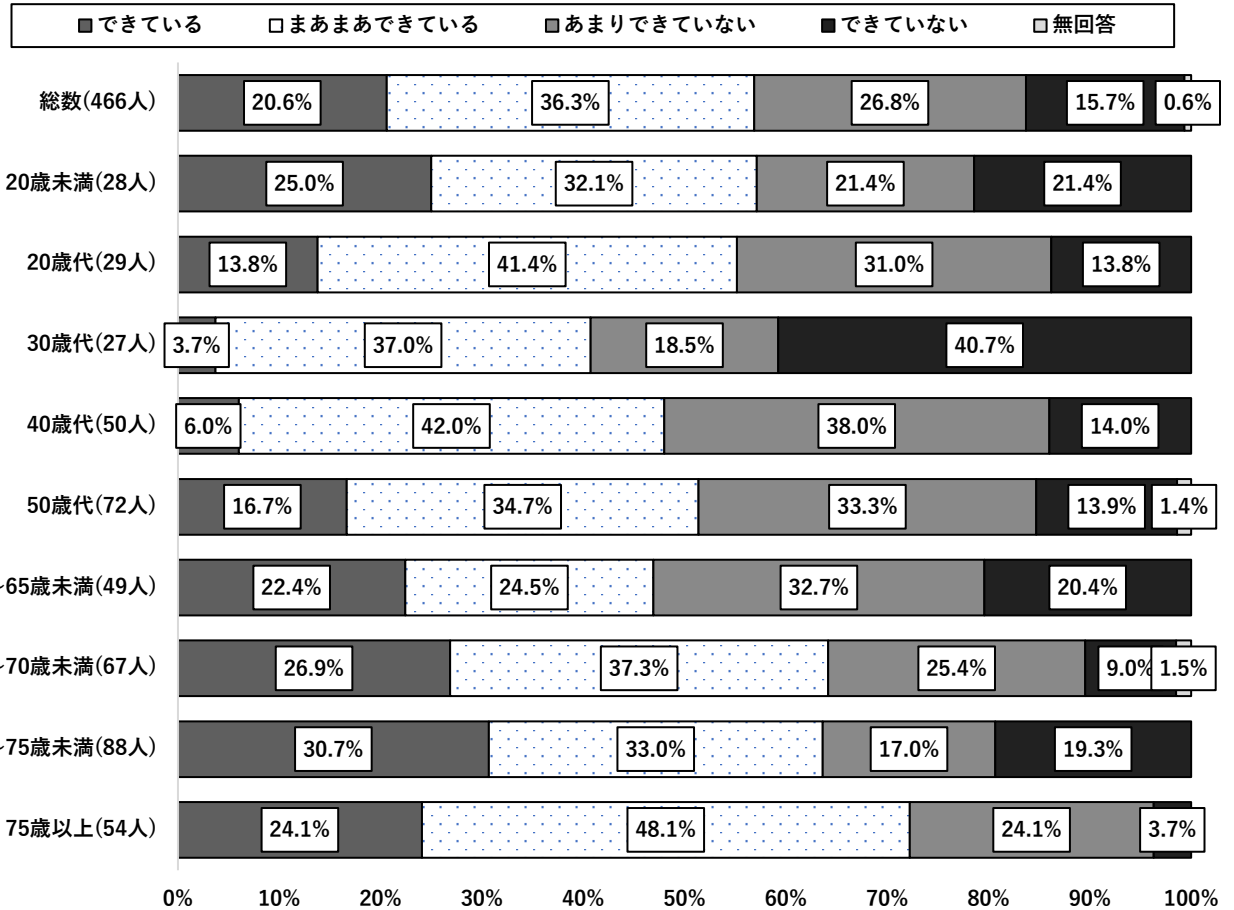
### 近所との付き合い（1,098人）



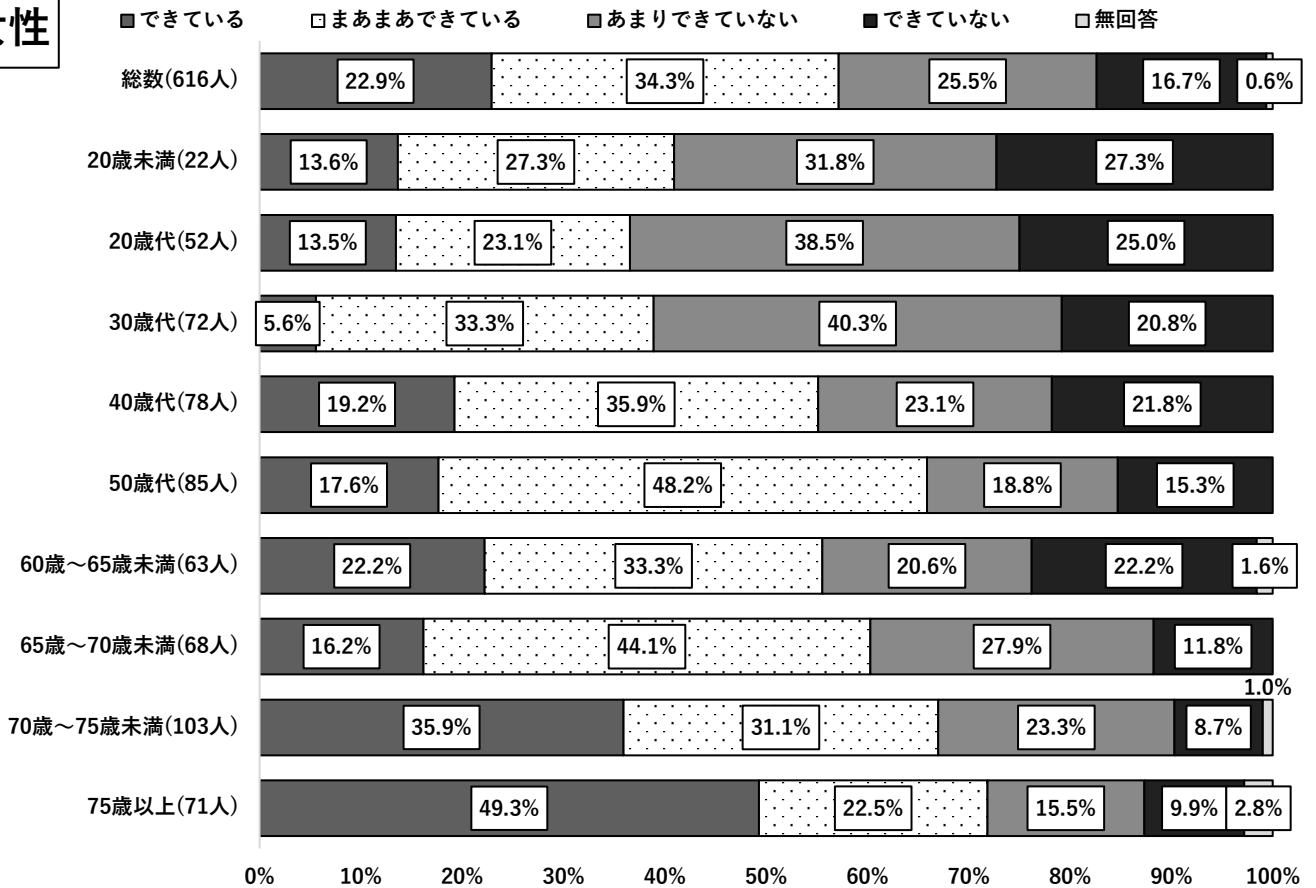
さらに、性別・年齢層別にみると、30歳代から40歳の男性や、20歳未満から30歳の女性で、「できている」または「まあまあできている」と回答した割合が比較的 low、いずれも合計が約 50%以下となります。

### 近所との付き合い（性別年齢層別）

#### 男性

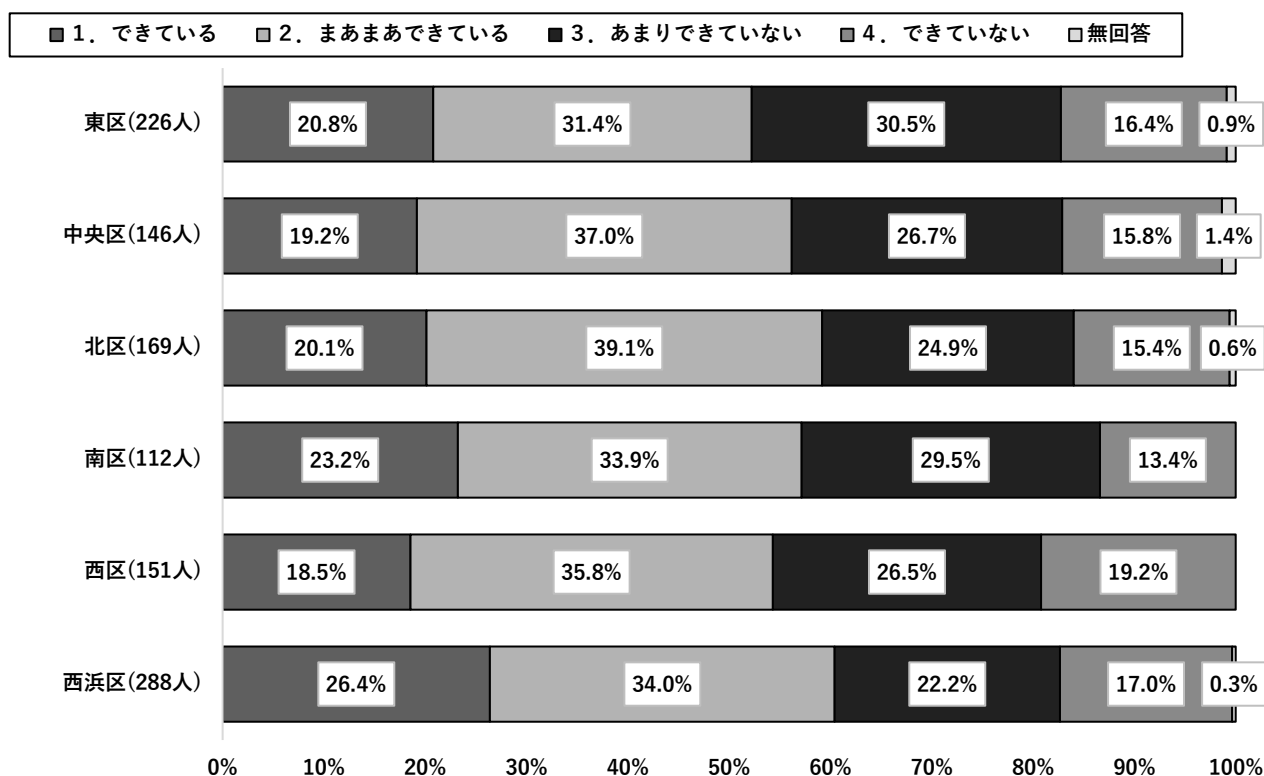


#### 女性



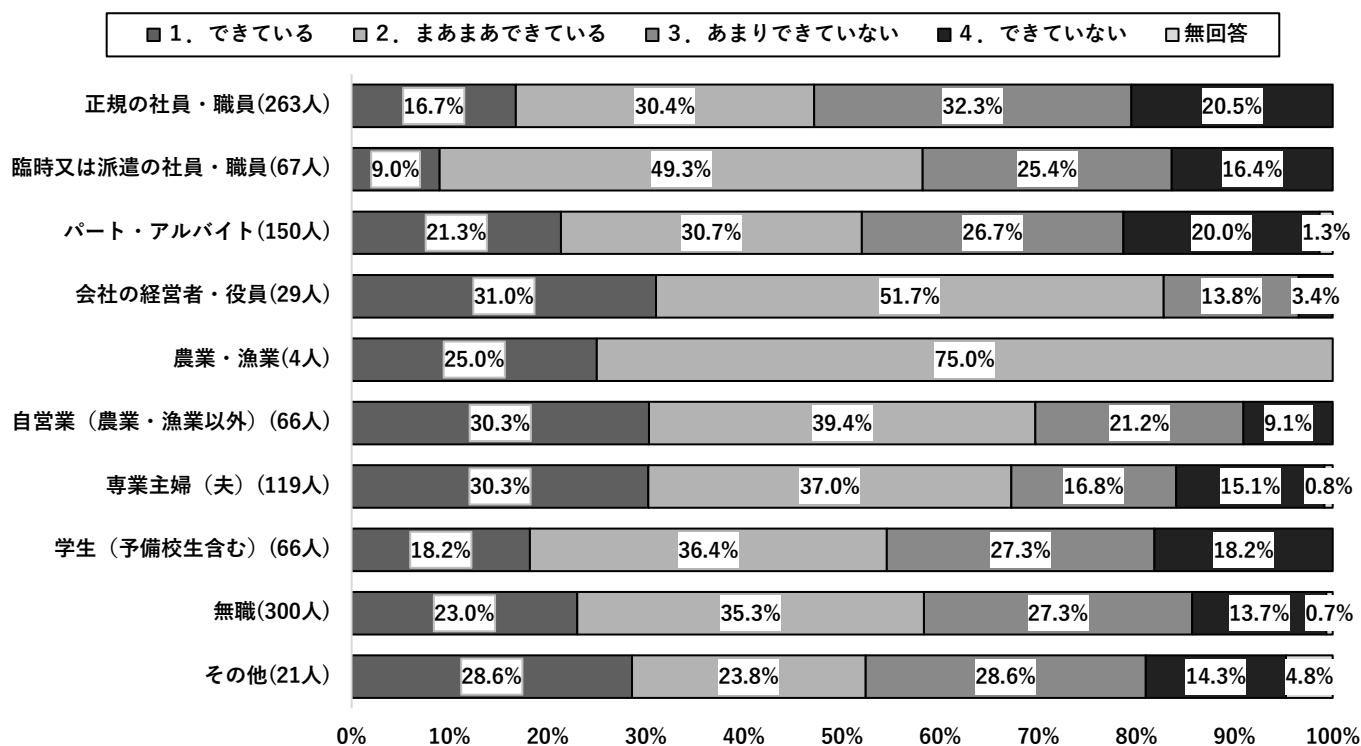
地域別にみると、「できている」または「まあまあできている」と回答した割合がいずれの地域でも、合計が50%を上回っていました。

### 近所との付き合い（地域別）



職業別にみると、「あまりできていない」または「できていない」と回答した割合が最も高いのは、「正規の社員・職員」で52.8%でした。その他の職業では「できている」または「まあまあできている」と回答した割合は5割を超えていました。

### 近所との付き合い（職業別）

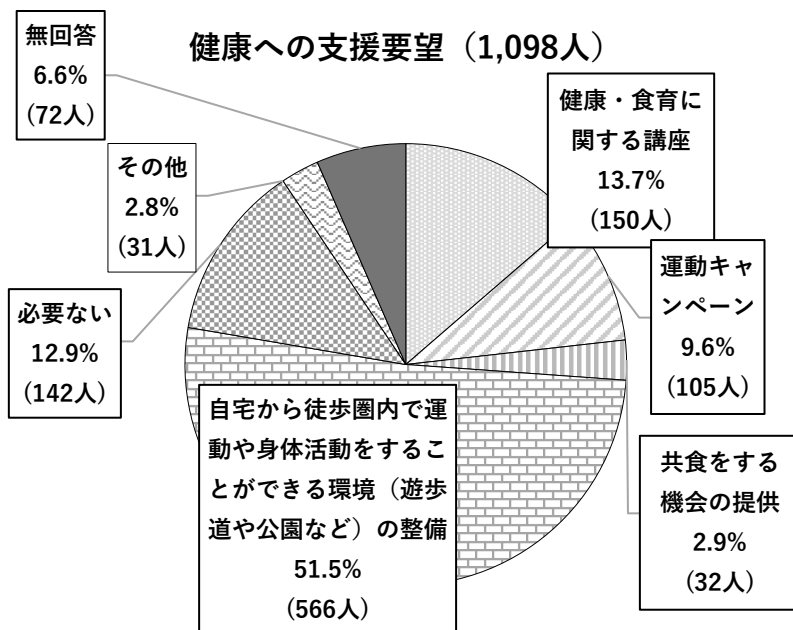


### (3) 健康への支援要望（単一回答）

問9. 健康づくりについて、職場/学校/行政でどのような支援があると嬉しいですか。

「自宅から徒歩圏内で運動や身体運動をすることができる環境（遊歩道や公園など）の整備」が51.5%

健康づくりへの支援として、「自宅から徒歩圏内で運動や身体運動をすることができる環境（遊歩道や公園など）の整備」を望むと回答した人の割合が最も高く、51.5%となります。「必要ない」の割合は12.9%であり、何らかの支援を望むと回答した人は80.5%となります。

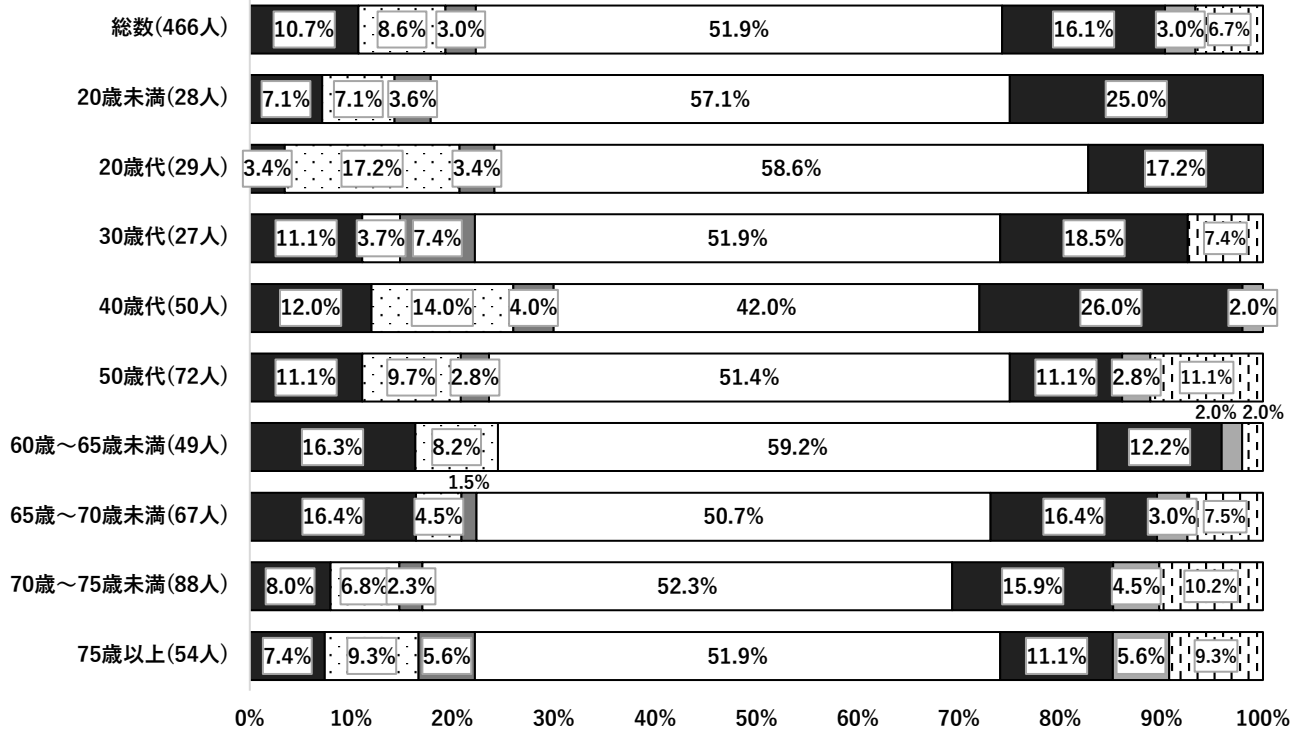


男女別でみると、「健康・食育に関する講座」を望む割合は男性よりも女性に高く、「必要ない」と答えた割合は女性よりも男性に高くみられました。また、若年層や高齢者層では「必要ない」と回答した割合が比較的高くなっています。

## 健康への支援要望（性別年齢層別）

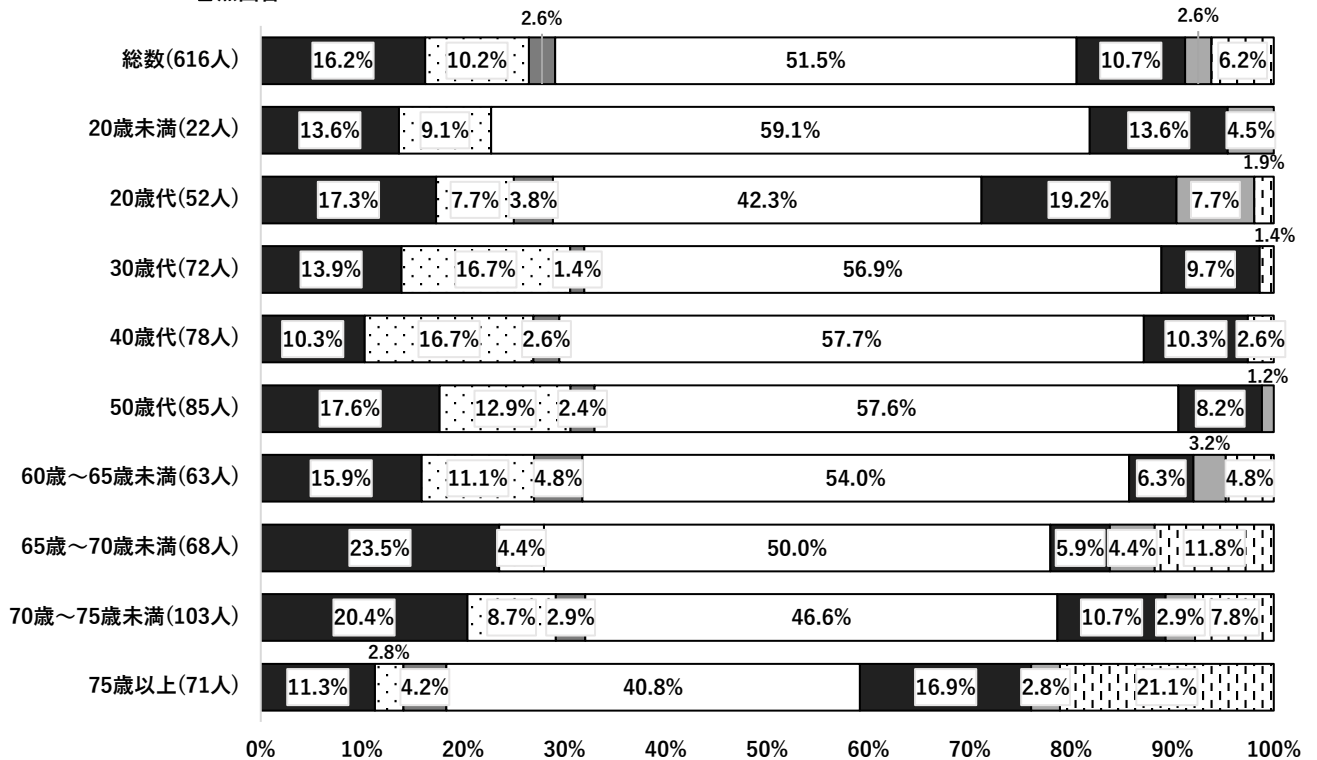
### 男性

- 1. 健康・食育に関する講座
- 2. 運動キャンペーン
- 3. 共食をする機会の提供
- 4. 自宅から徒歩圏内で運動や身体活動ができる環境（遊歩道や公園など）の整備
- 5. 必要ない
- 6. その他
- 無回答



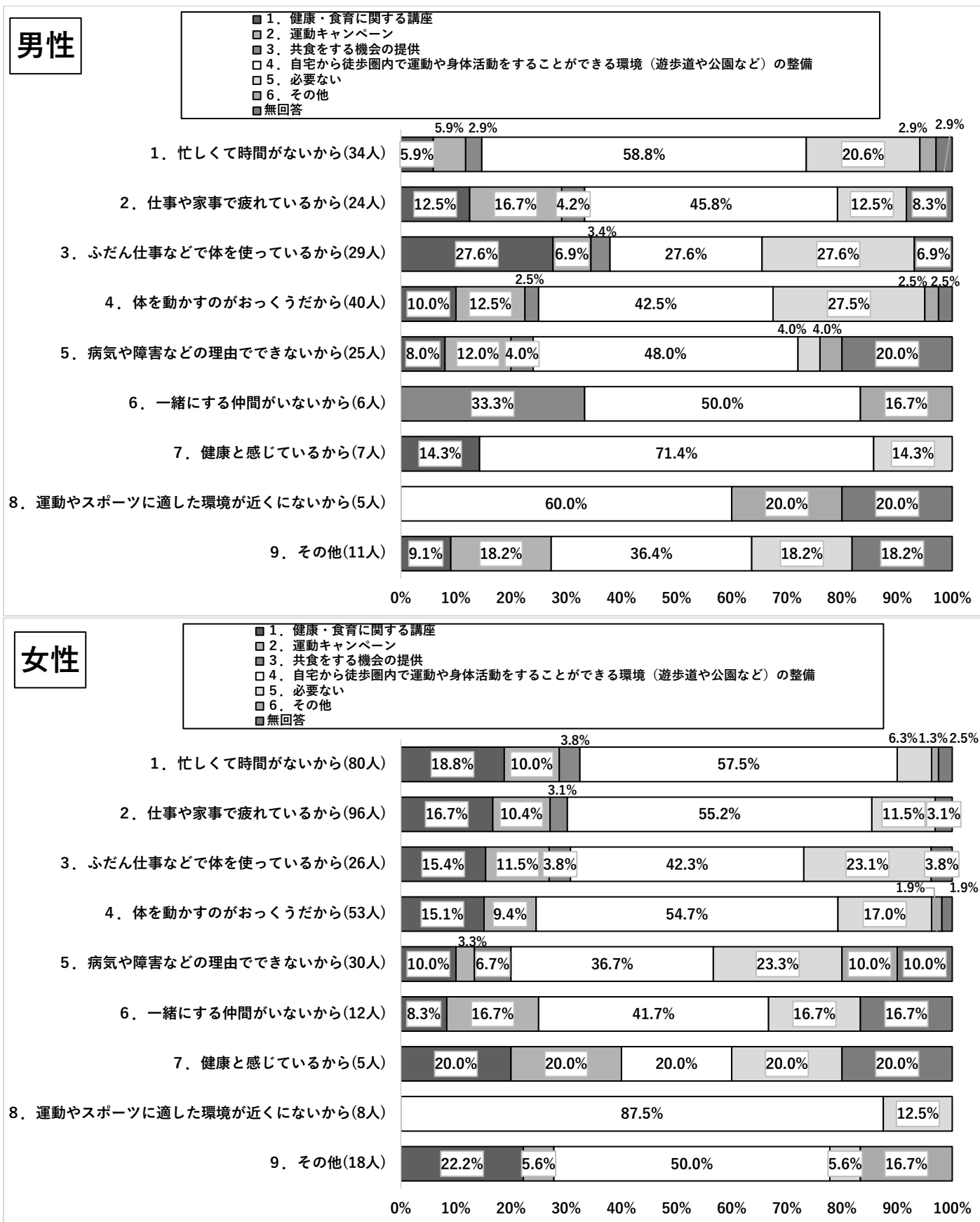
### 女性

- 1. 健康・食育に関する講座
- 2. 運動キャンペーン
- 3. 共食をする機会の提供
- 4. 自宅から徒歩圏内で運動や身体活動ができる環境（遊歩道や公園など）の整備
- 5. 必要ない
- 6. その他
- 無回答



性別・運動しない理由別の分析では、どの層も「自宅から徒歩圏内で運動や身体活動を行うことができる環境の整備」の要望が一定数あり、特に運動やスポーツに適した環境が近くにないと回答している層ほどその要望の割合も高くなっている傾向にあります。

### 健康への支援要望（性別・運動しない理由別）





### 3. 健康観・知識について

#### (1) BMI (身長・体重についてそれぞれ単一回答)

問 10. あなたの身長・体重を教えてください。

「普通体重」が 59.4%

#### ※BMI

BMI は Body Mass Index (肥満指数)の略です。肥満の判定は、下式の身長と体重から計算される BMI という数値で行われています。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} / (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

日本肥満学会が決めた判定基準では、統計的に最も病気にかかりにくい BMI22 を標準とし、25 以上を肥満として肥満度を 4 つの段階に分けています。

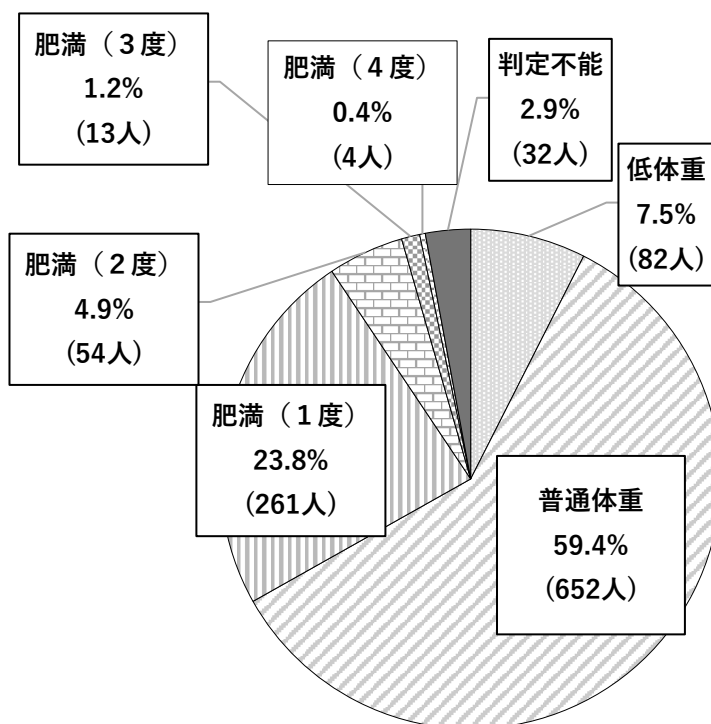
肥満度の判定基準 (日本肥満学会)

判定		BMI
低体重 (やせ)		18.5 未満
普通体重		18.5 以上 25 未満
肥満	1 度	25 以上 30 未満
	2 度	30 以上 35 未満
	3 度	35 以上 40 未満
	4 度	40 以上

BMI (肥満指数) については、「普通体重」が 59.4%と最も高く、BMI25 以上の「肥満」が計 30.2%、BMI18.5 未満の「低体重」が 7.5%となります。

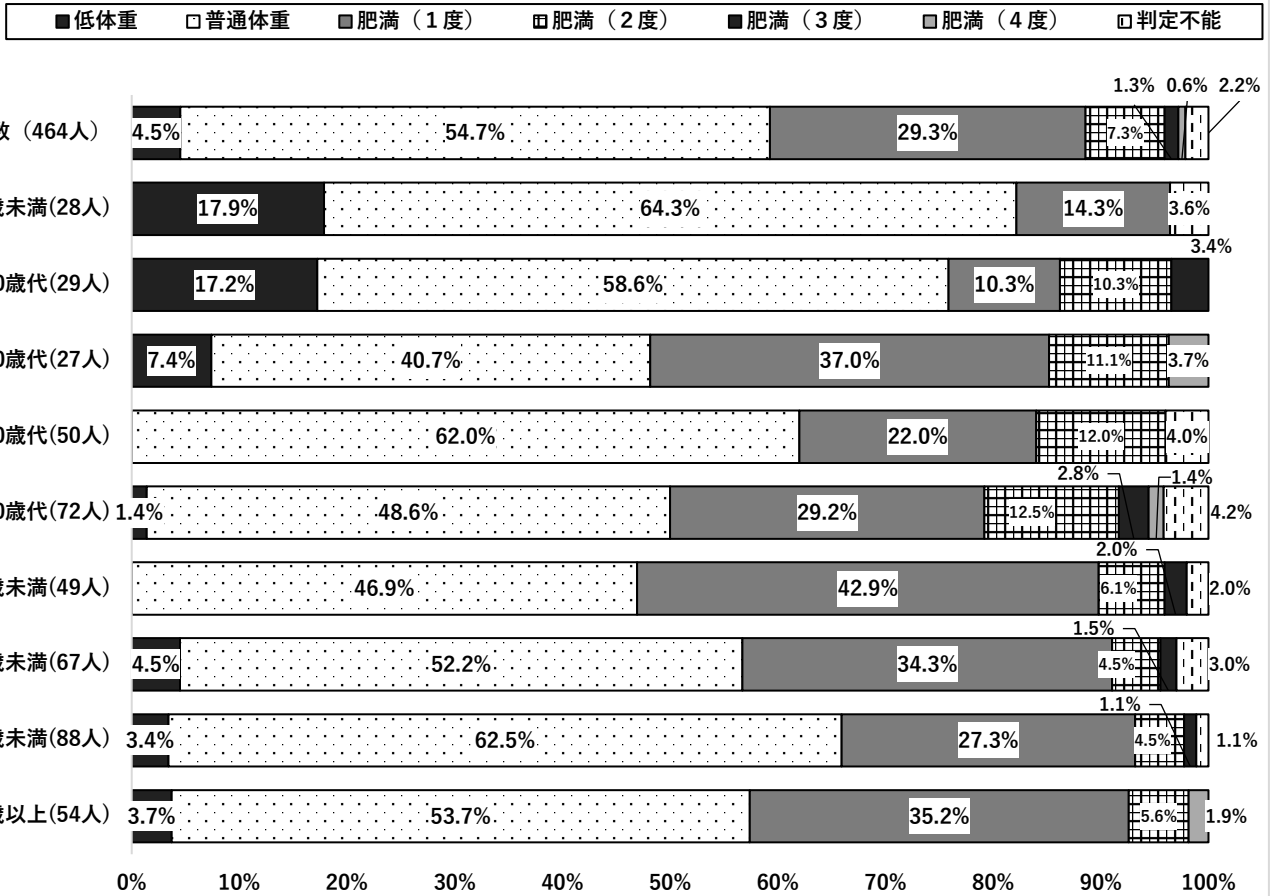
性別・年齢層別にみると、「男性」は 30 歳代以上のどの年齢層でも BMI25 以上の「肥満」の割合が高く、30 歳代以上では最も低い「40 歳代」でも 34.0%となっています。「女性」は「20 歳未満」では「肥満」の割合は 0.0%ですが、年齢層が高くなるほど肥満の割合は高くなる傾向にあり、「75 歳以上」では 40.8%となります。

BMI (1,098人)

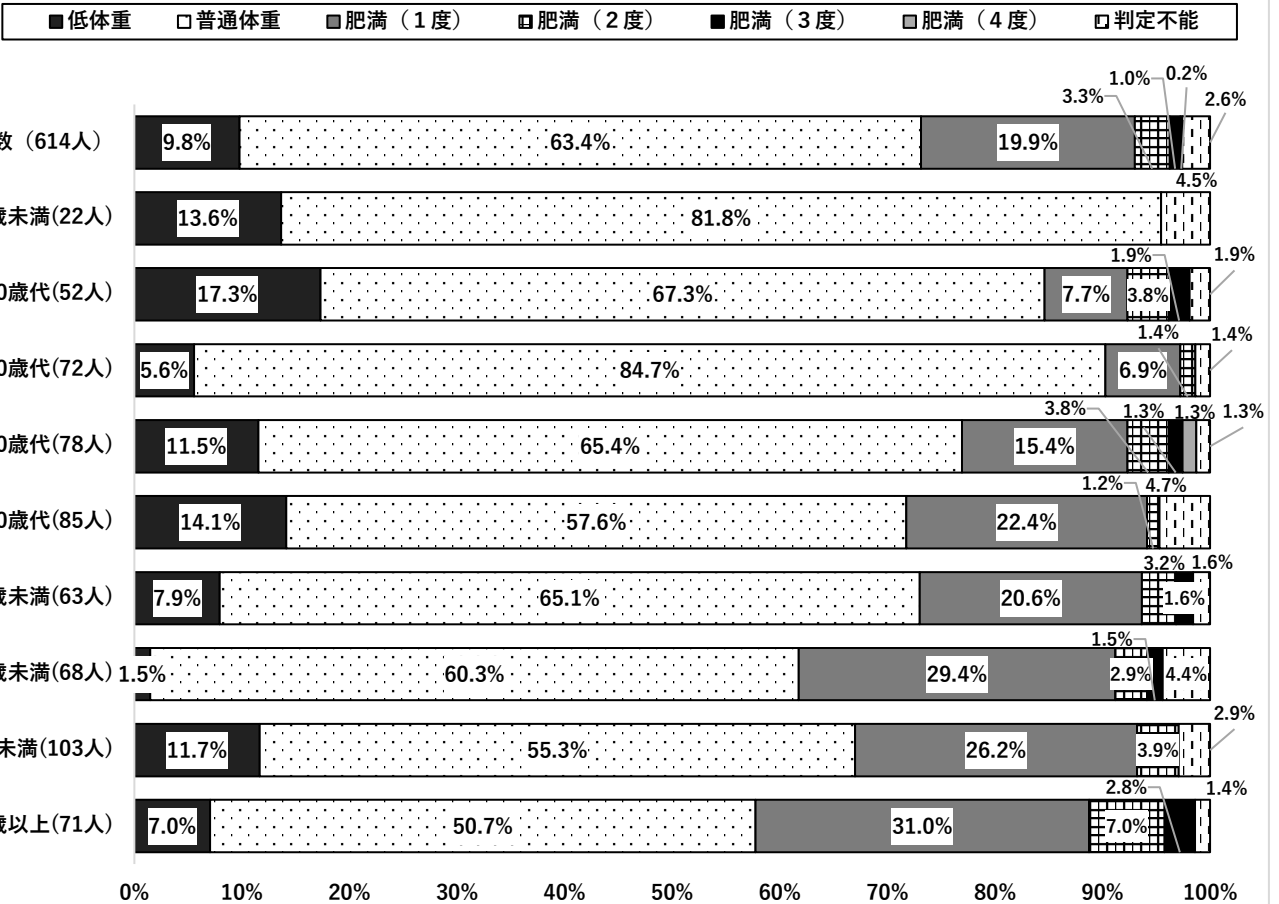


### BMI (性別年齢層別)

#### 男性



#### 女性

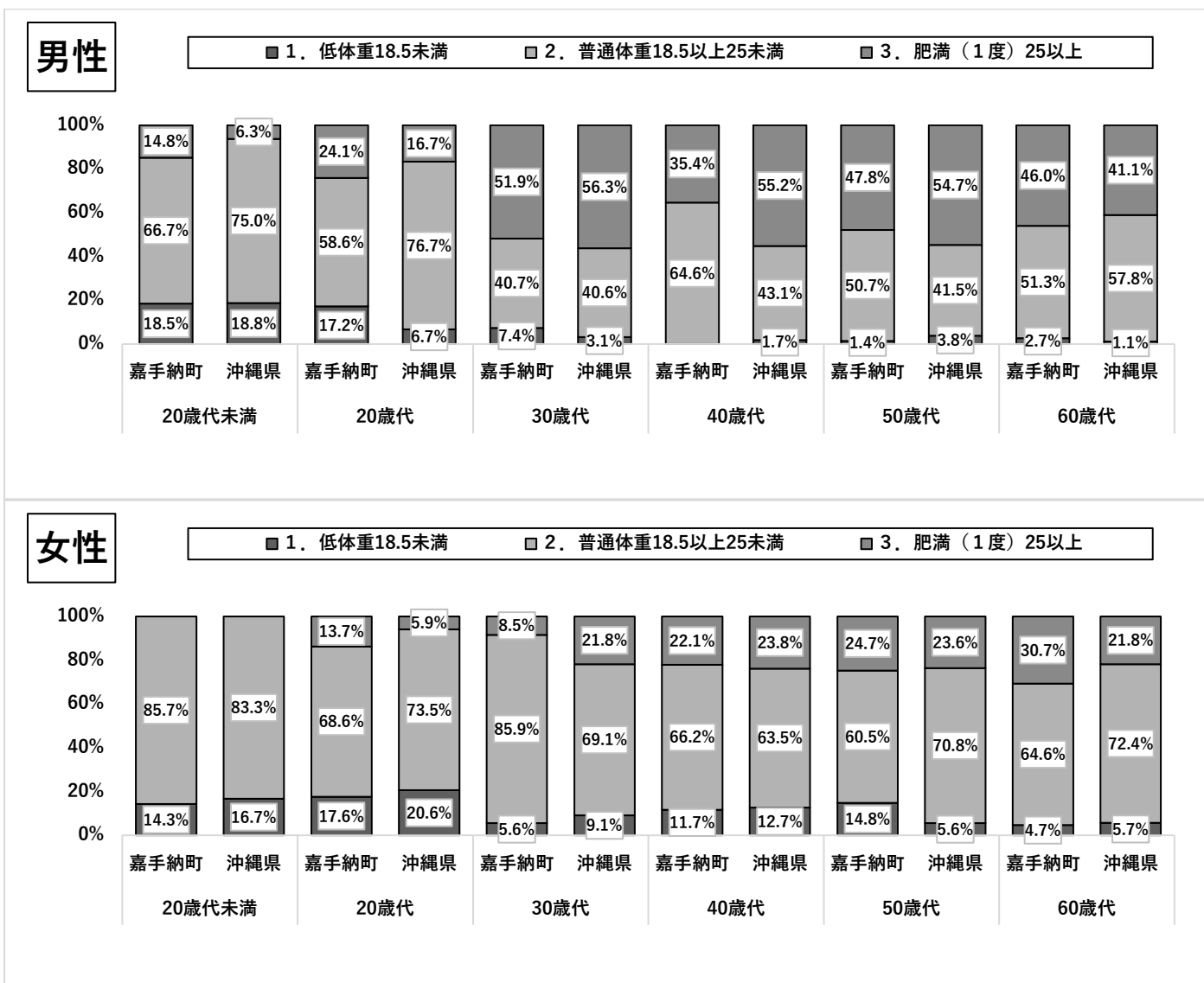


沖縄県のデータと比較すると、男女ともに 30 歳代～50 歳代では肥満の割合が概ね沖縄県よりも低くなっている一方で、20 歳代未満及び 60 歳代では嘉手納町の方が肥満の割合が高くなる傾向にあります。

### BMI（沖縄県との比較）

		20 歳代未満		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	嘉手納町	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	27		29		27		48		69		113	
	低体重 18.5 未満	18.5%	18.8%	17.2%	6.7%	7.4%	3.1%	0.0%	1.7%	1.4%	3.8%	2.7%	1.1%
	普通体重 18.5 以上 25 未満	66.7%	75.0%	58.6%	76.7%	40.7%	40.6%	64.6%	43.1%	50.7%	41.5%	51.3%	57.8%
	肥満（1度）25 以上	14.8%	6.3%	24.1%	16.7%	51.9%	56.3%	35.4%	55.2%	47.8%	54.7%	46.0%	41.1%
女性	総回答実数	21		51		71		77		81		127	
	低体重 18.5 未満	14.3%	16.7%	17.6%	20.6%	5.6%	9.1%	11.7%	12.7%	14.8%	5.6%	4.7%	5.7%
	普通体重 18.5 以上 25 未満	85.7%	83.3%	68.6%	73.5%	85.9%	69.1%	66.2%	63.5%	60.5%	70.8%	64.6%	72.4%
	肥満（1度）25 以上	0.0%	0.0%	13.7%	5.9%	8.5%	21.8%	22.1%	23.8%	24.7%	23.6%	30.7%	21.8%

### BMI（沖縄県との比較）

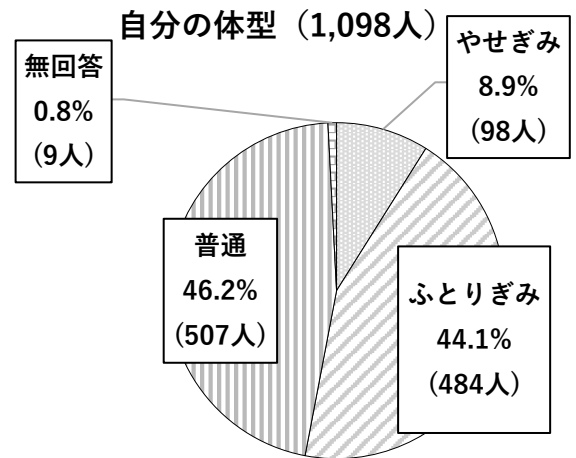


## (2) 自分の体型（単一回答）

問 11. 自分の体型をどう思いますか。

「普通」が 46.2%

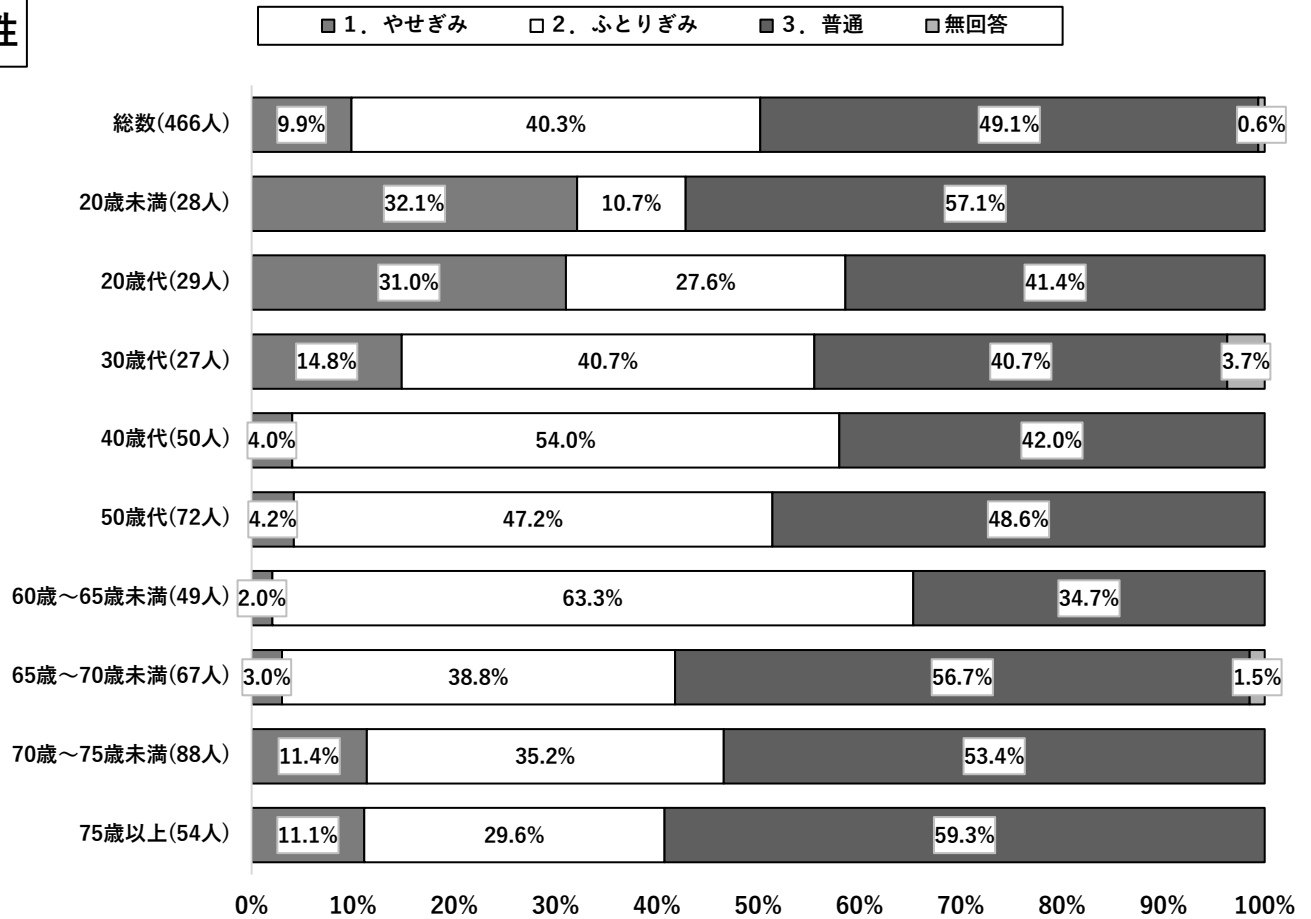
体型に関する自己認識は、「普通」が 46.2%と最も高く、次に「ふとりぎみ」が 44.1%、「やせぎみ」が 8.9%となります。



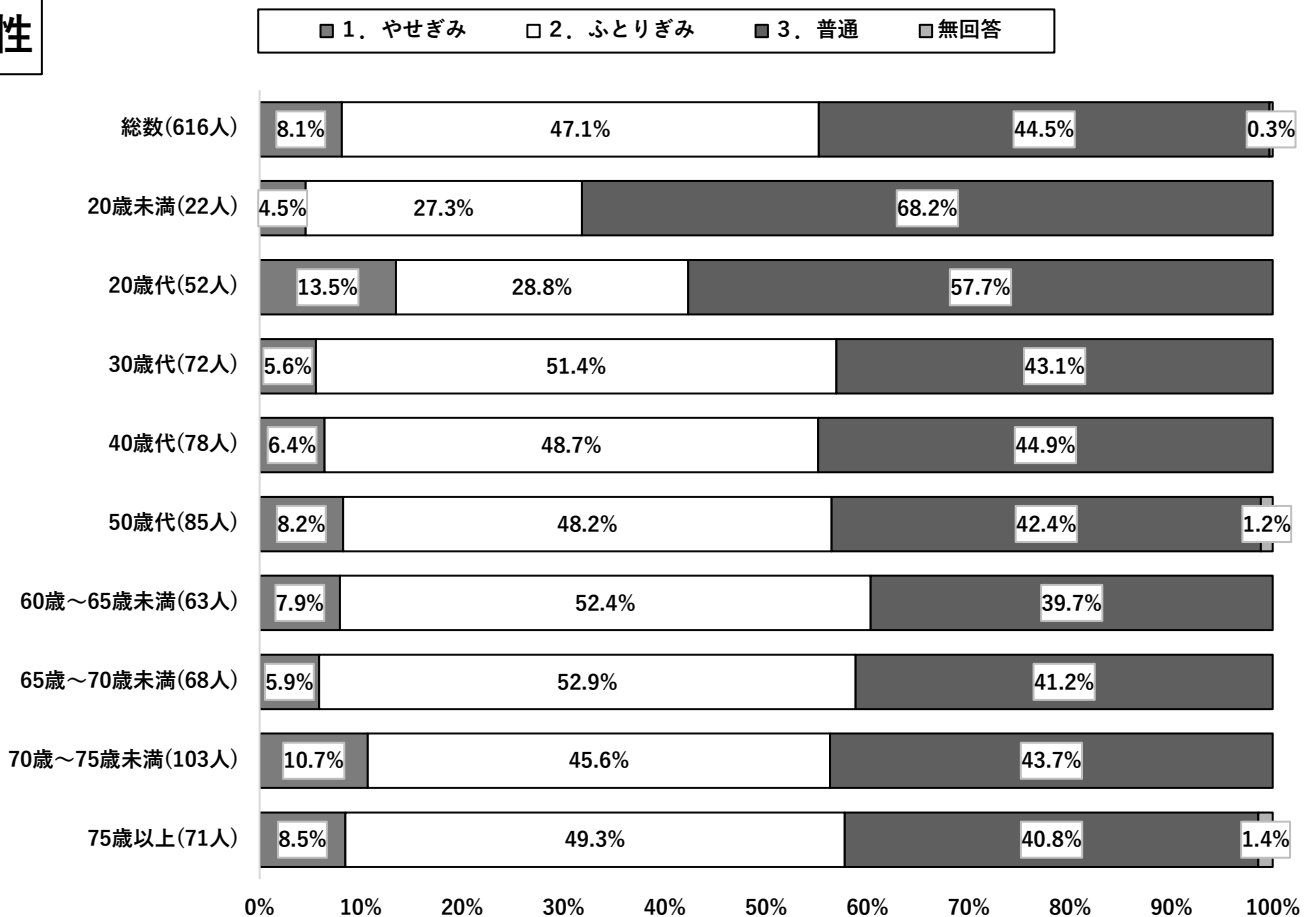
性別・年齢層別にみると、「女性」は 30 歳代以上のどの年齢層でも、体型に関する自己認識はおおむね同じとなっています。「男性」は年齢層による差が大きく、40 歳代から 70 歳未満までは、「やせぎみ」の割合が低くなっています。また、「20 歳未満」や「20 歳代」では性差が大きく、「やせぎみ」と回答した「男性」は 30%程度である一方、「女性」は 10%前後となっています。

### 自分の体型（性別年齢層別）

#### 男性

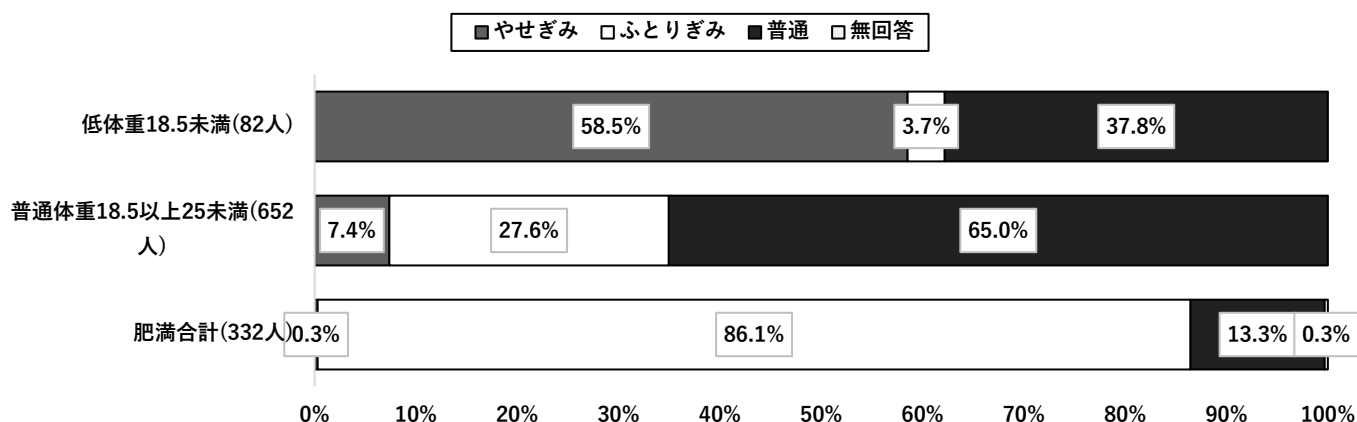


#### 女性



BMI との関係でみると、「低体重」の人では、自分を「やせぎみ」と思っている割合が 58.5%、「ふつう」と思っている割合が 37.8%となります。「普通体重」の人では、自分を「ふつう」と思っているが 65.0%、「ふとりぎみ」と思っているが 27.6%となります。「肥満」の人では、86.1%とほとんどの人が自分を「ふとりぎみ」と思っています。

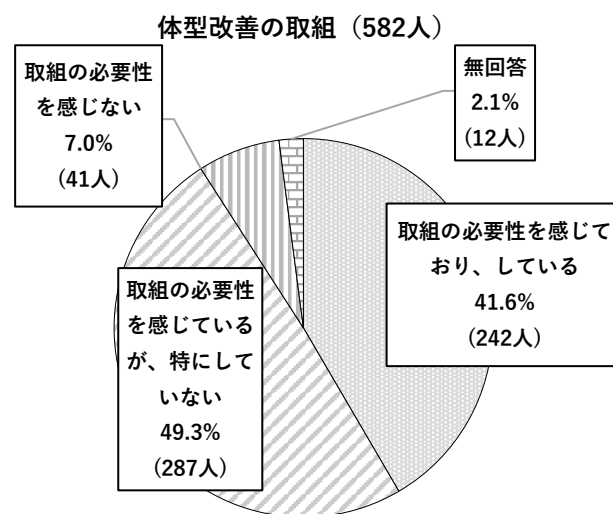
自分の体型 (BMI 別)



### (3) 体型改善の取組 (単一回答)

問 11-1. 現在、体型を改善するための取組を行っていますか。(問 11 で「1.~2.」と回答した方)  
 「取組の必要性を感じているが、特にしていない」が 49.3%

体型を改善するための取組については、「取組の必要性を感じているが、特にしていない」の割合が最も高く、49.3%となります。次に「取組の必要性を感じており、している」の 41.6%となっています。

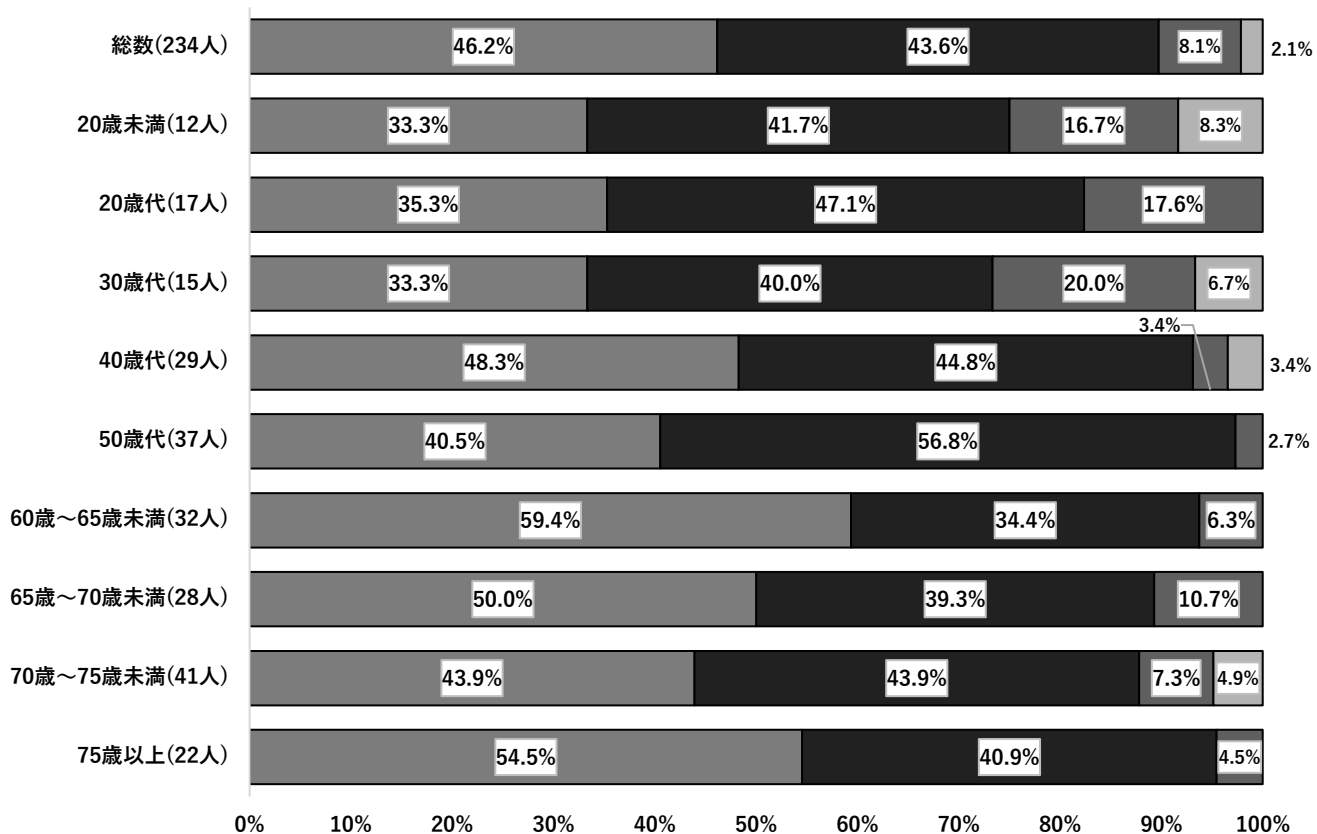


性別・年齢層別にみると、20歳未満から30歳代の「男性」と、20歳代の「女性」では「取組の必要性を感じない」が15%以上と比較的高いですが、その他ではいずれの性別も広い年齢層で、取組の必要性を感じていると回答した人の割合が高くなっています。

### 体型改善の取組（性別年齢層別）

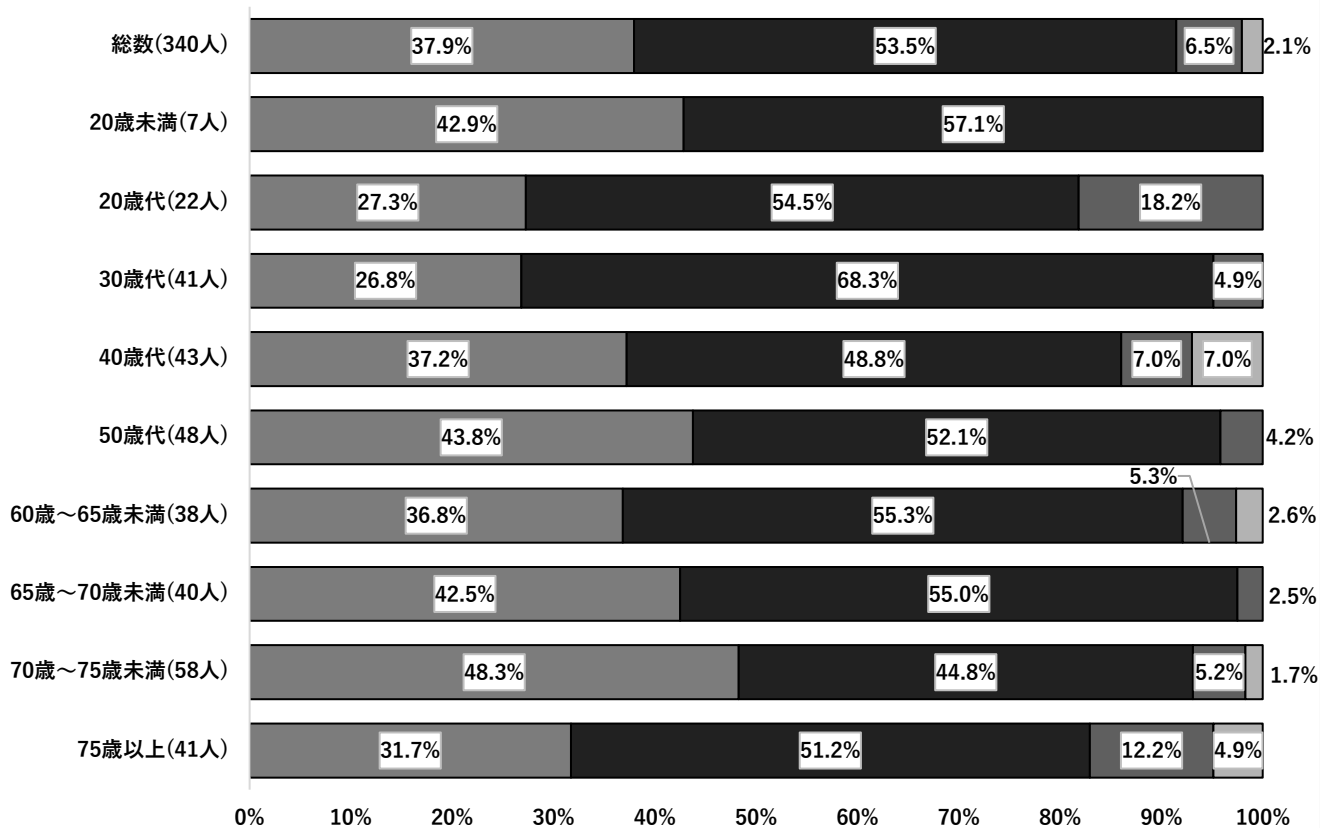
#### 男性

- 1. 取組の必要性を感じており、している
- 2. 取組の必要性を感じているが、特にしていない
- 3. 取組の必要性を感じない
- 無回答



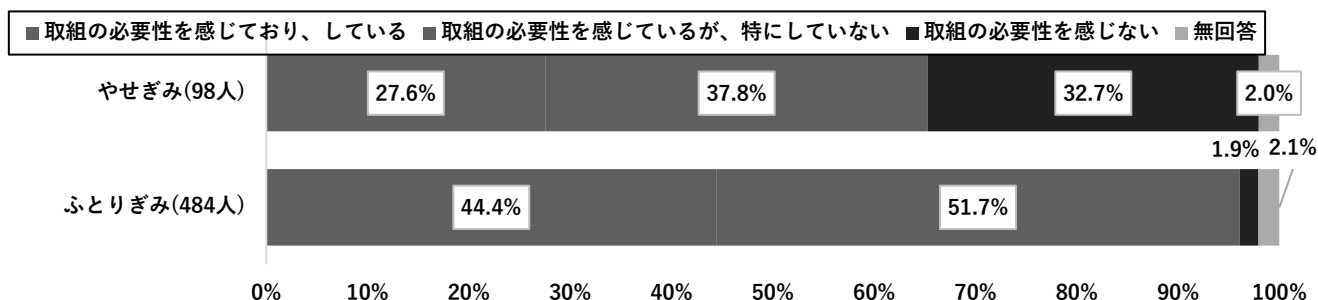
#### 女性

- 1. 取組の必要性を感じており、している
- 2. 取組の必要性を感じているが、特にしていない
- 3. 取組の必要性を感じない
- 無回答



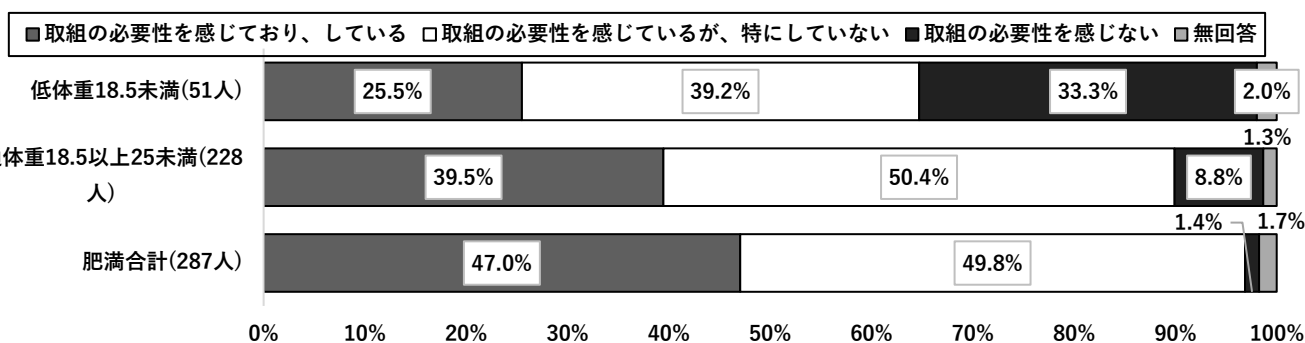
体型別にみると、「やせぎみ」、「ふとりぎみ」のいずれにおいても「取組の必要性を感じているが、特にしていない」が最も高くなっています。一方で、「やせぎみ」は、「取組の必要性を感じない」が32.7%となっており、「ふとりぎみ」の「取組の必要性を感じない」の1.9%と比較して、高くなっています。

体型改善の取組（体型別）



BMI 別にみると、いずれにおいても「取組の必要性を感じているが、特にしていない」が最も高くなっています。「取組の必要性を感じており、している」は「肥満」の47.0%が最も高く、「低体重」の25.5%が最も低くなっています。

体型改善の取組（BMI 別）



(4) 自分自身の健康観（単一回答）

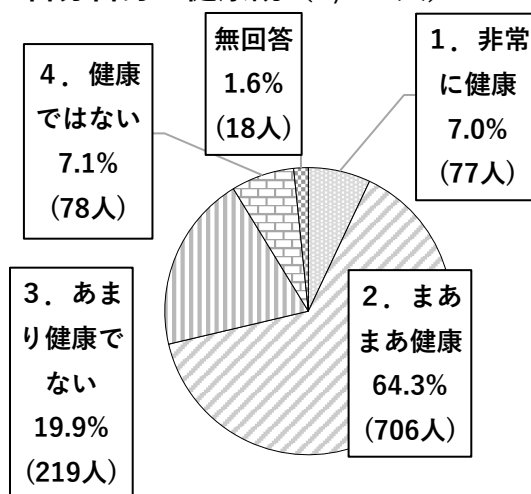
問 12. 普段、自分が健康だと思いますか。

「まあまあ健康」が64.3%

自分自身の健康観については、「まあまあ健康」が64.3%と最も高く、これに「非常に健康」の7.0%を合わせると71.3%で、7割の人は自分を健康だと思っています。

性別年齢層別にみると、「非常に健康」の割合は、男女ともに「20歳未満」が最も高く、「男性」で28.6%、「女性」で36.4%となり、年齢層が高くなるほど低くなる傾向にあります。また、「健康ではない」の割合は、「男性」では30歳代以上、「女性」では40歳代以上で高くなります。

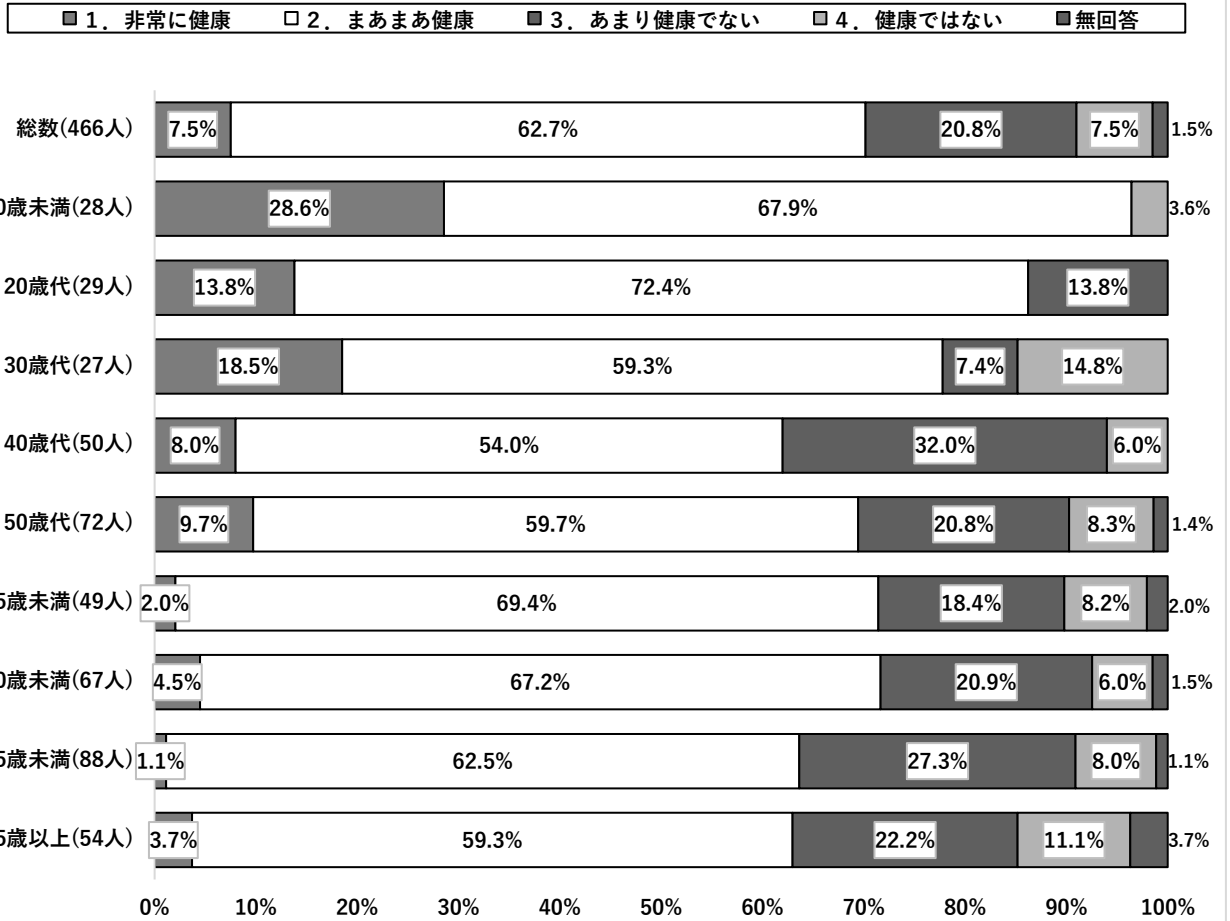
自分自身の健康観（1,098人）



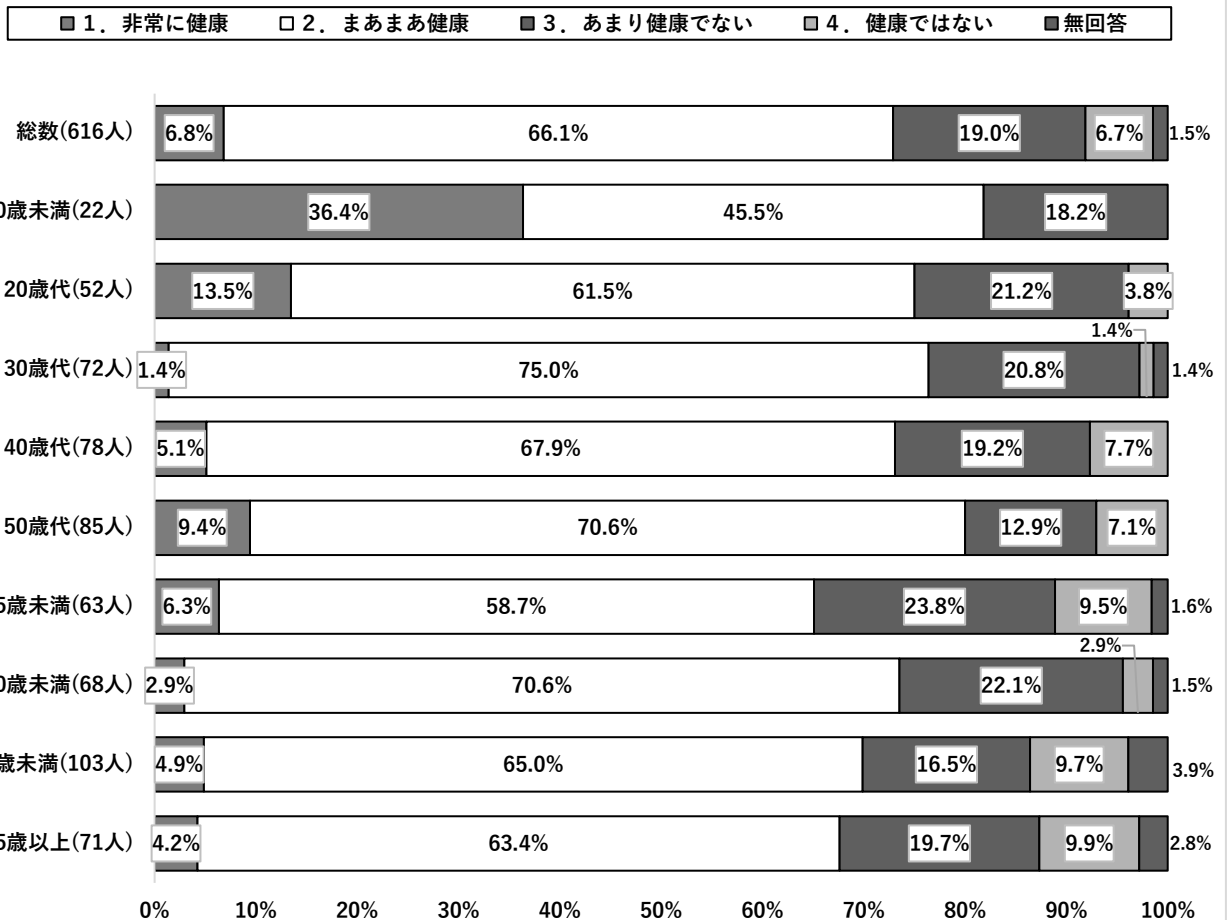


## 自分自身の健康観（性別年齢層別）

### 男性

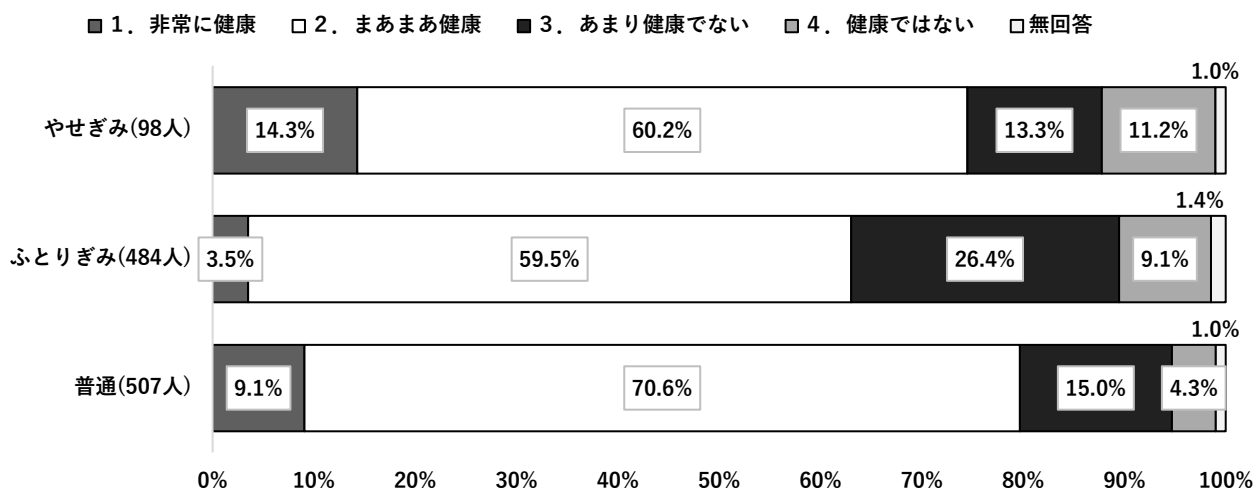


### 女性



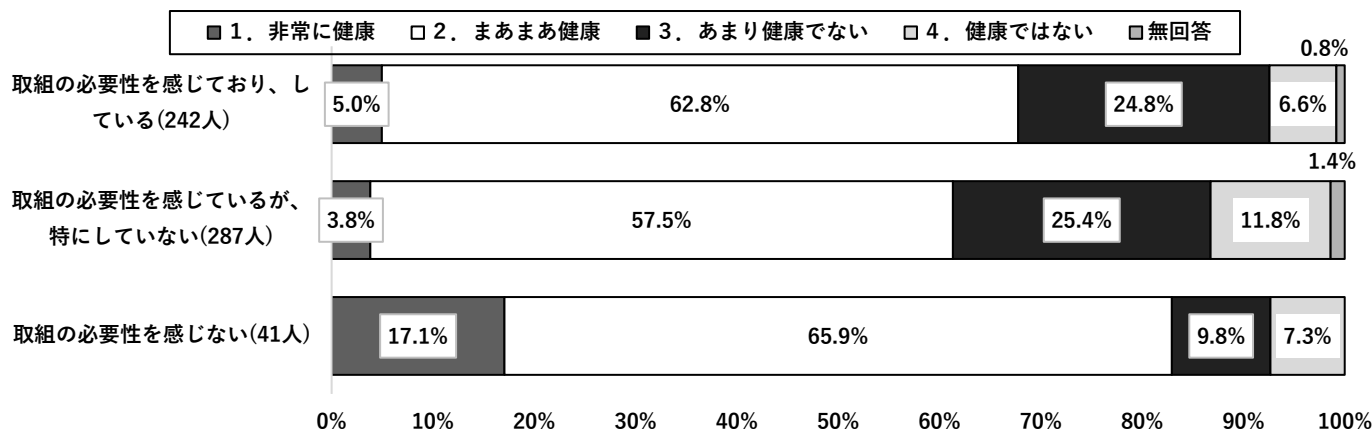
体型の認識別にみると、「無回答」を除いた、全ての項目において、「まあまあ健康」が最も高くなっています。また、「あまり健康でない」または「健康ではない」と回答した割合は、ふとりぎみと感じている人に高くみられました。

### 自分自身の健康観（体型別）



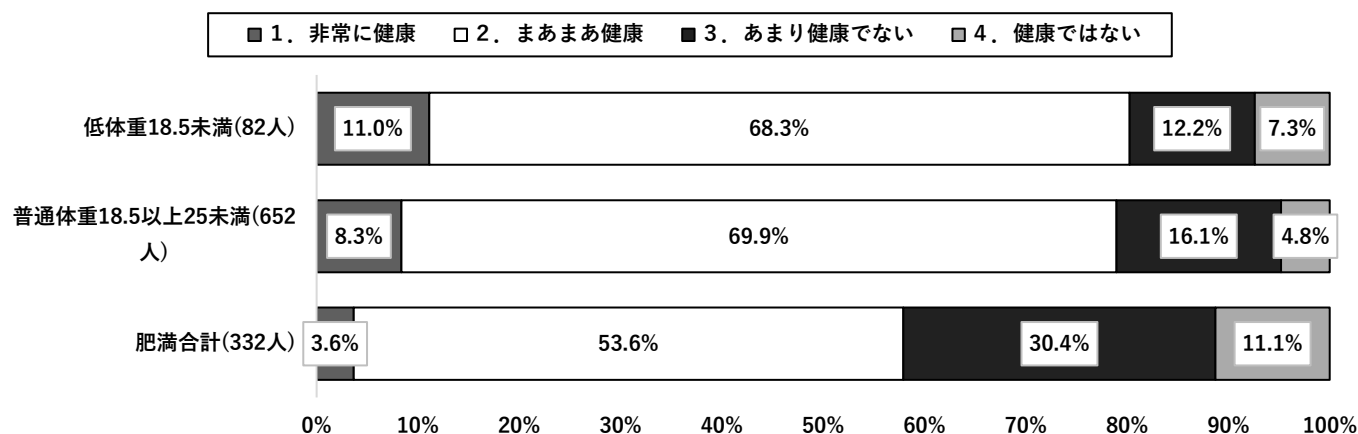
体型改善の取組別にみると、「無回答」を除いた全ての項目において、「まあまあ健康」が最も高くなっています。「取組の必要性を感じており、している」、「取組の必要性を感じているが、特にしていない」については、「あまり健康ではない」の割合が約 25%になっており、「取組の必要性を感じない」の 9.8%と比較して、高くなっています。また、「非常に健康」と回答した割合は、「取組の必要性を感じない」において特に高くなっています。

### 自分自身の健康観（体型改善の取組別）



BMI 別にみると、いずれも「まあまあ健康」が 50~70%を占めており、最も高くなっているが、「肥満」は他と比較して、「非常に健康」が低く、「あまり健康でない」、「健康ではない」の割合が高くなっている。

### 自分自身の健康観（BMI 別）



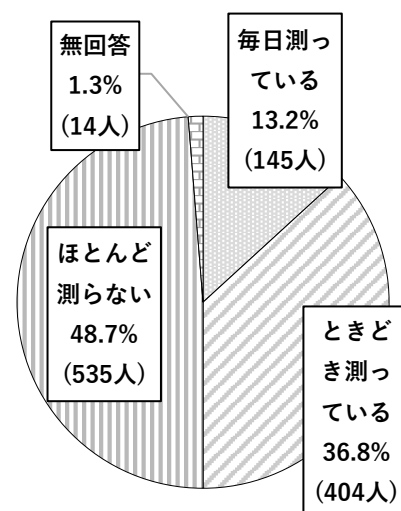
### (5) 血圧測定（単一回答）

問 11. 普段血圧を測っていますか。

「ほとんど測らない」が 48.7%

血圧の測定については「ほとんど測らない」が 48.7%と最も高くなります。一方、「ときどき測っている」が 36.8%、「毎日測っている」が 13.2%で、測定の頻度に違いはあるものの血圧を測っている人は、50.0%となります。

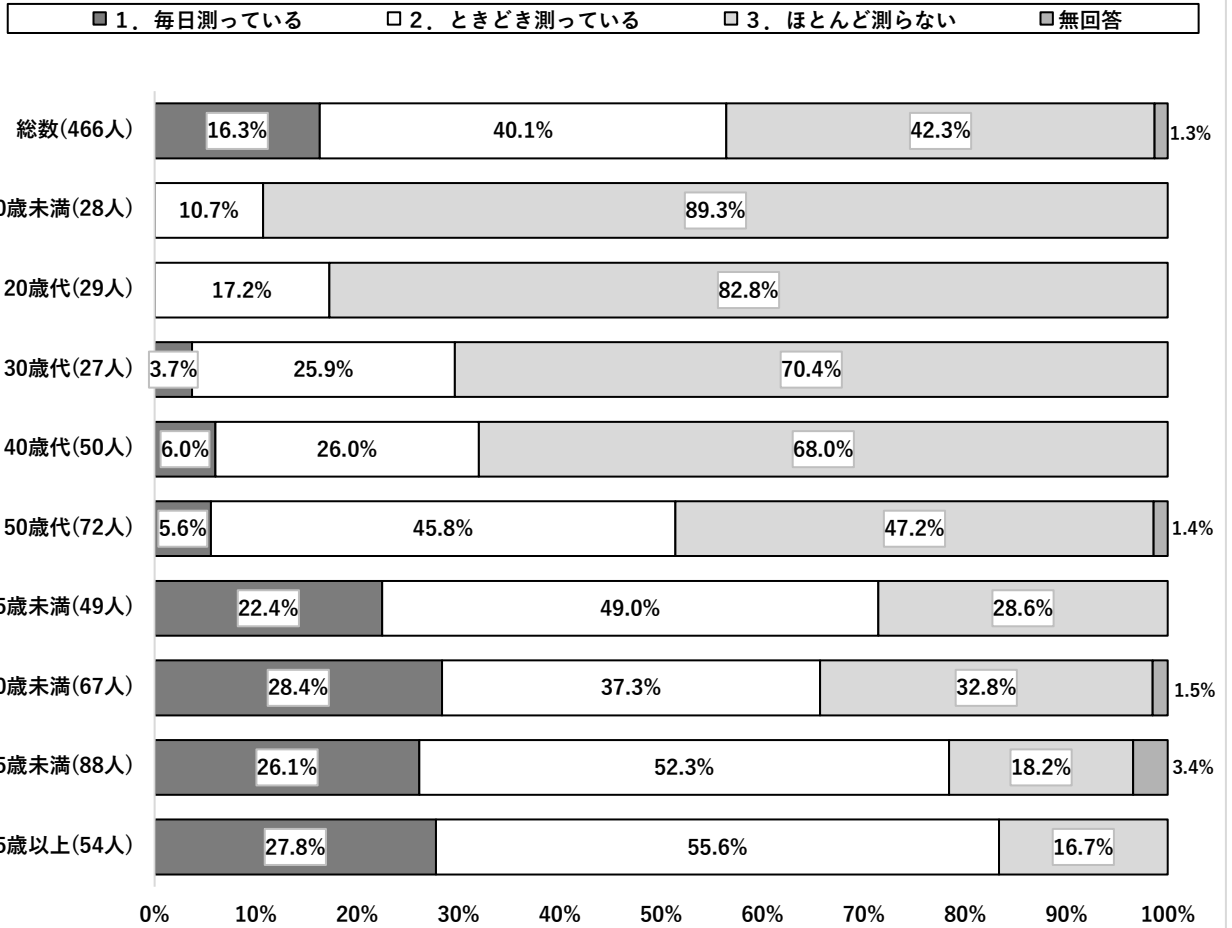
### 血圧測定（1,098人）



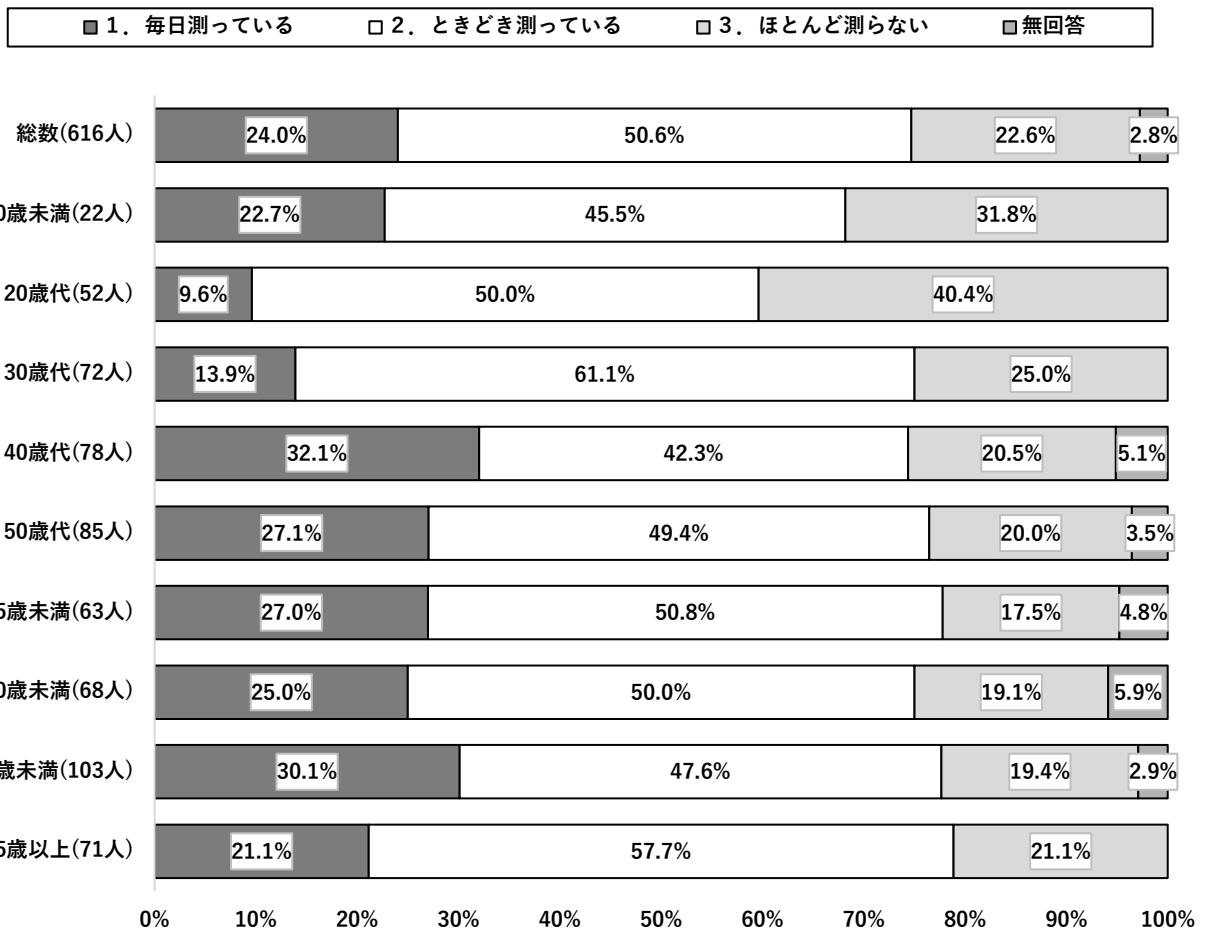
性別年齢層別にみると、男性は 65 歳～70 歳未満を除いて年齢層が高くなるにつれて「毎日測っている」「ときどき測っている」と回答した人の割合が高くなる傾向にあります。女性は 20 歳未満・20 歳代を除いて「毎日測っている」「ときどき測っている」と回答した人の割合が、7 割～8 割の間で推移しています。

## 血圧測定（性別年齢層別）

### 男性



### 女性

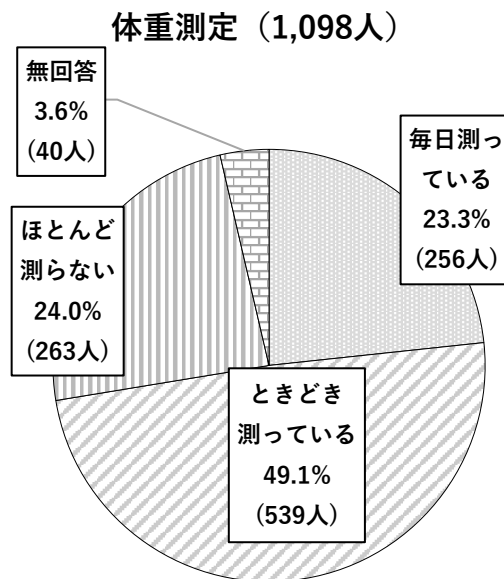


## (6) 体重測定（単一回答）

問 13. 普段、体重を測っていますか。

「ときどき測っている」が 49.1%

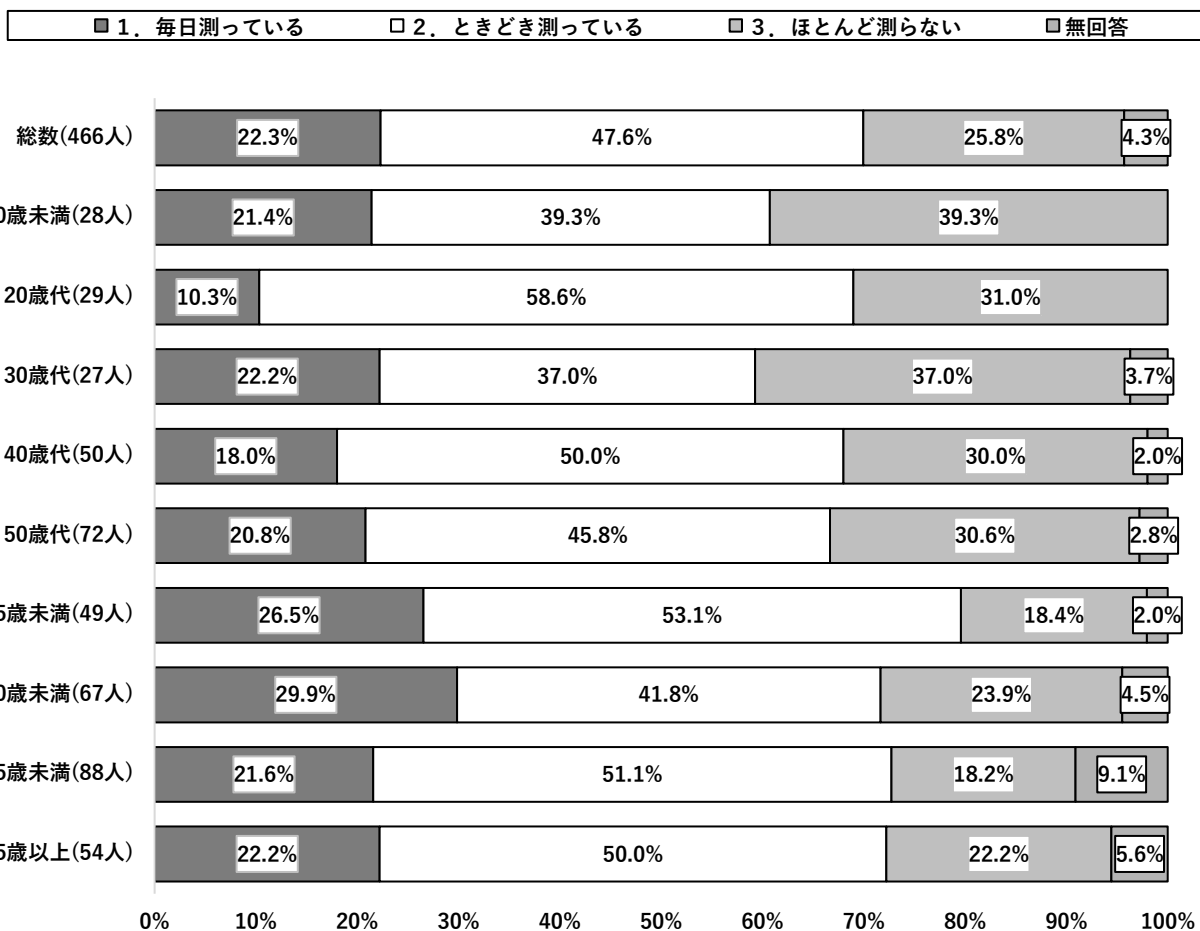
体重の測定については、「ときどき測っている」が 49.1%と最も高く、「毎日測っている」が 23.3%となります。この2つを合わせると、体重を測っている人は計 72.4%を占め、血圧を測っている人を大きく上回ります。



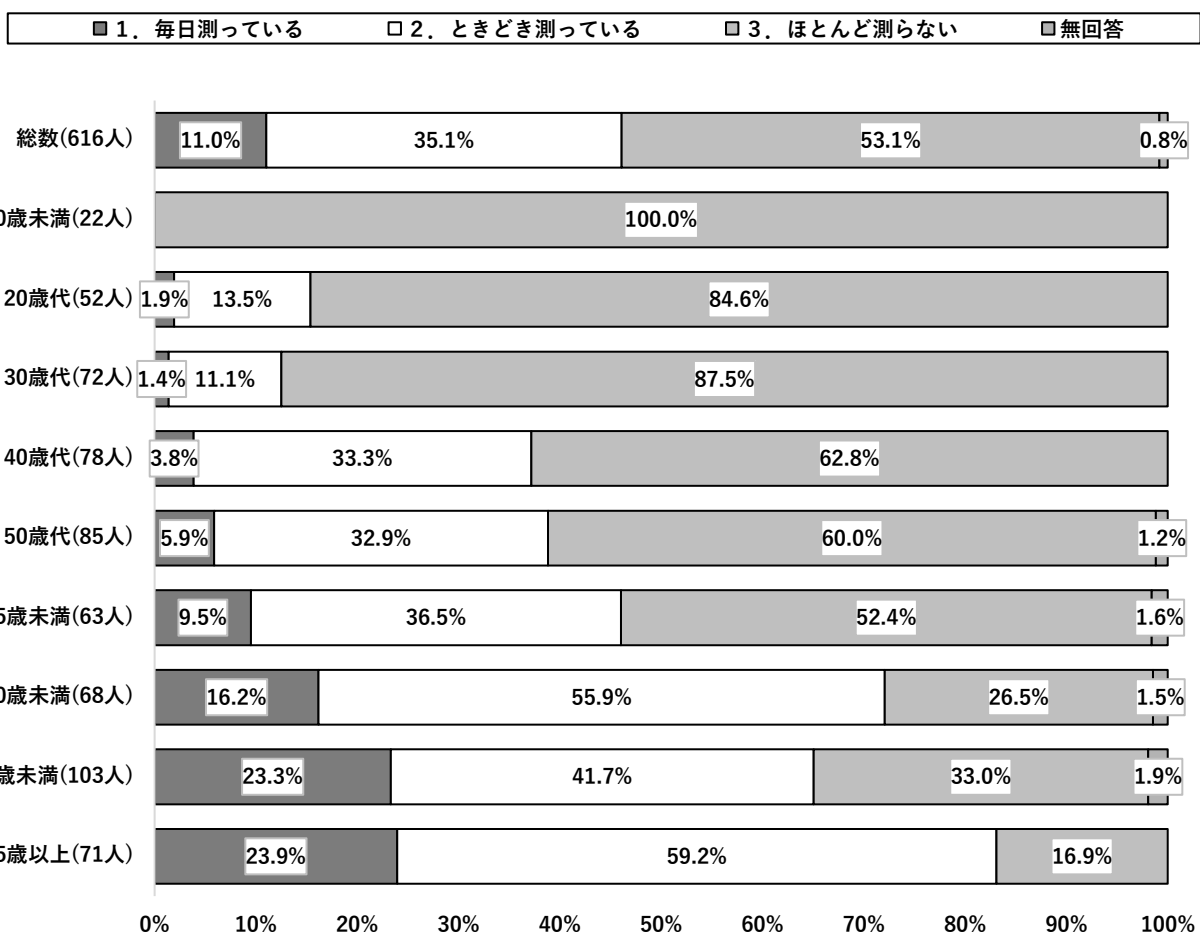
性別・年齢層別にみると、女性の場合は70歳～75歳未満を除いて30歳代から年齢が高くなるほど「毎日測っている」または「ときどき測っている」の割合の合計が高くなっており、75歳以上の女性は8割を超える人が「毎日測っている」または「ときどき測っている」と回答しています。一方で男性の場合は、両者の合計が全年齢を通して6割から8割程度で推移しています。

## 体重測定（性別年齢層別）

### 男性

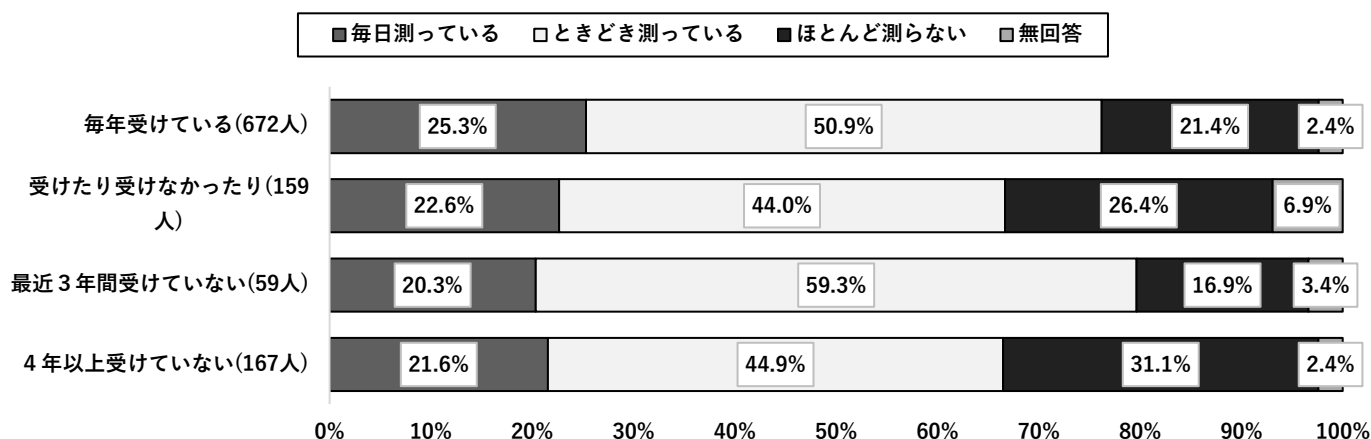


### 女性



健康診査の受診別にみると、「毎日測っている」は「毎年受けている」の 25.3%が最も高くなっています。

### 体重測定（健康診査の受診別）



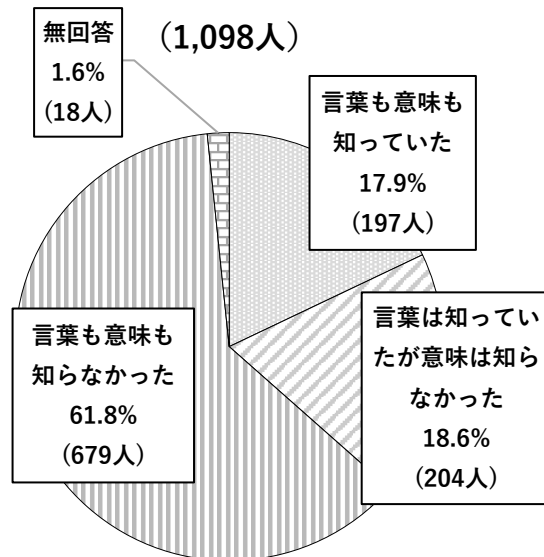
### (7) ロコモティブシンドロームの認知度（単一回答）

問 14. 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」を知っていますか。

「言葉も意味も知らなかった」が 61.8%

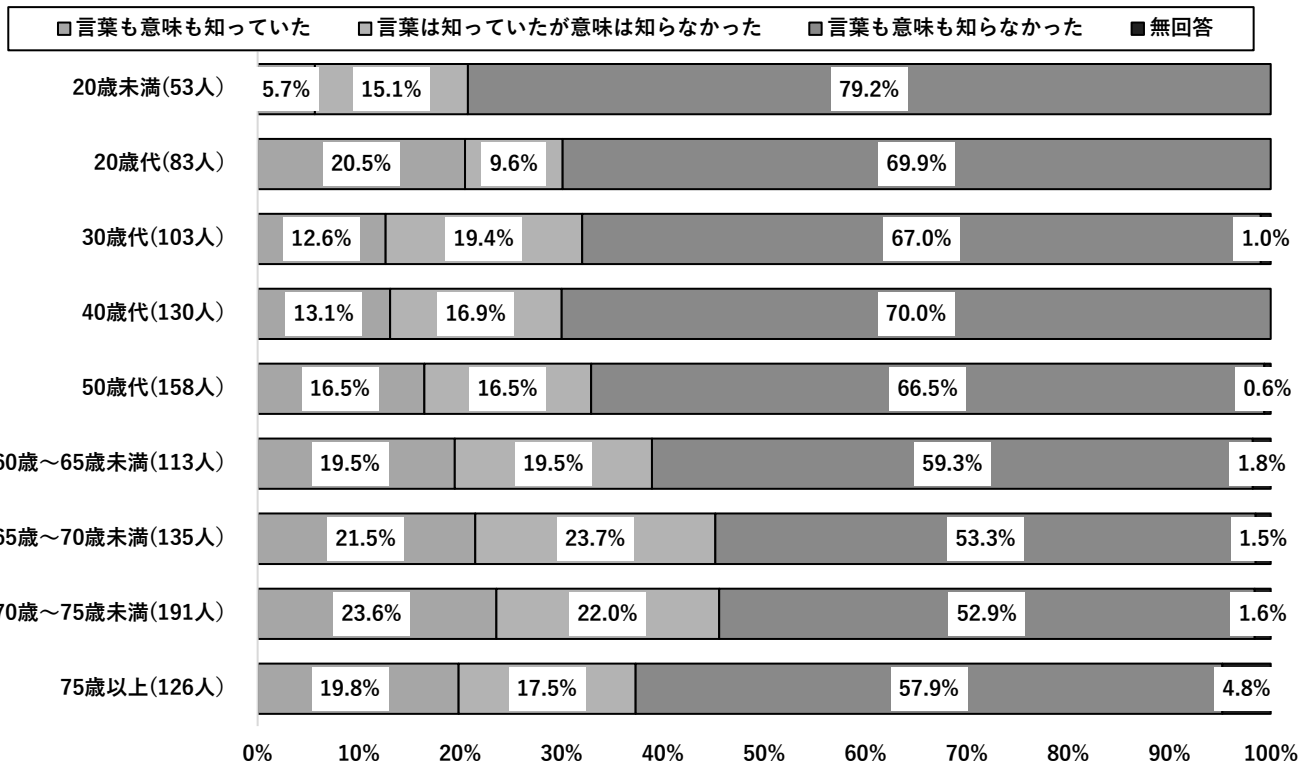
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度については、「言葉も意味も知らなかった」が 61.8%を占めます。また、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 18.6%、「言葉も意味も知っていた」が 17.9%となっています。

### ロコモティブシンドロームの認知度



年齢層別にみると、75歳までの年齢層において、年齢が高くなるほど「言葉も意味も知っていた」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」といった、言葉を知っている割合が高くなる傾向にあります。

## ロコモティブシンドロームの認知度（年齢層別）



沖縄県のデータと比較すると、男性は全年齢を通してロコモティブシンドロームの認知度が沖縄県よりも全体的に低くなっており、一方で女性は40歳代以降は男性と同じく認知度が低くなっているものの、30歳代未満の認知度は沖縄県よりも高くなっています。

## ロコモティブシンドロームの認知度（沖縄県との比較）

		20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	28人		29人		26人		50人		71人		115人	
	言葉も意味も知っていた	7.1%	18.8%	10.3%	23.3%	11.5%	12.9%	10.0%	22.2%	7.0%	15.4%	12.2%	17.9%
	言葉は知っていたが意味は知らなかった	14.3%	18.8%	6.9%	6.7%	19.2%	16.1%	14.0%	7.4%	12.7%	17.3%	17.4%	14.3%
	言葉も意味も知らなかった	78.6%	62.5%	82.8%	70.0%	69.2%	71.0%	76.0%	70.4%	80.3%	67.3%	70.4%	67.9%
女性	総回答実数	22人		52人		72人		78人		85人		128人	
	言葉も意味も知っていた	4.5%	0.0%	26.9%	13.5%	13.9%	9.7%	15.4%	21.2%	24.7%	31.5%	28.1%	43.7%
	言葉は知っていたが意味は知らなかった	18.2%	8.3%	11.5%	16.2%	20.8%	14.5%	17.9%	18.2%	20.0%	17.8%	26.6%	12.6%
	言葉も意味も知らなかった	77.3%	91.7%	61.5%	70.3%	65.3%	75.8%	66.7%	60.6%	55.3%	50.7%	45.3%	43.7%

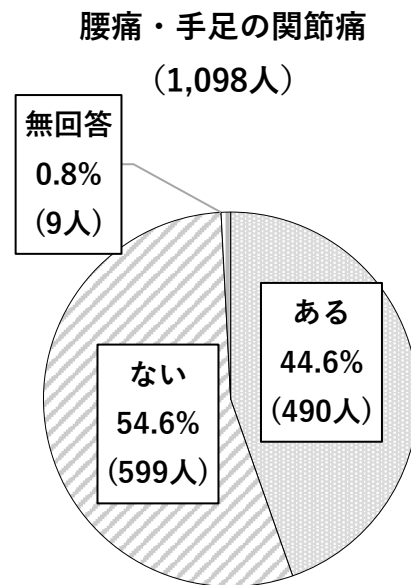


(8) 腰痛・手足の関節痛 (単一回答)

問 15. ここ数日、「腰痛」か「手足の関節が痛む」ことはありますか。

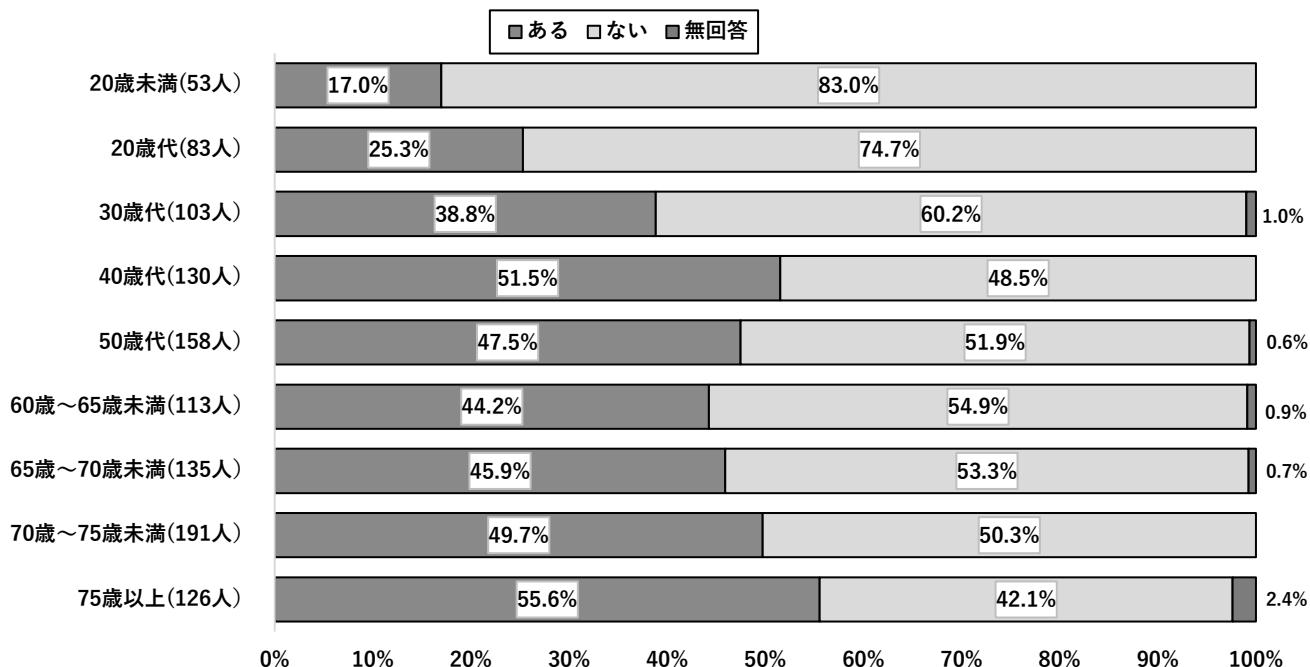
「ない」が 54.6%

直近の腰痛や手足の関節痛については、「ある」の割合は 44.6%、「ない」の割合は 54.6%となります。



年齢層別にみると、「20歳未満」から「40歳代」にかけて、「ある」の割合が高齢になるほど高くなる傾向にあり、「50歳代」で減少するものの、「60歳～65歳未満」以降も高齢になるほど高くなる傾向にあり、「75歳以上」では「ある」が 55.6%と最も高くなります。

腰痛・手足の関節痛 (年齢層別)

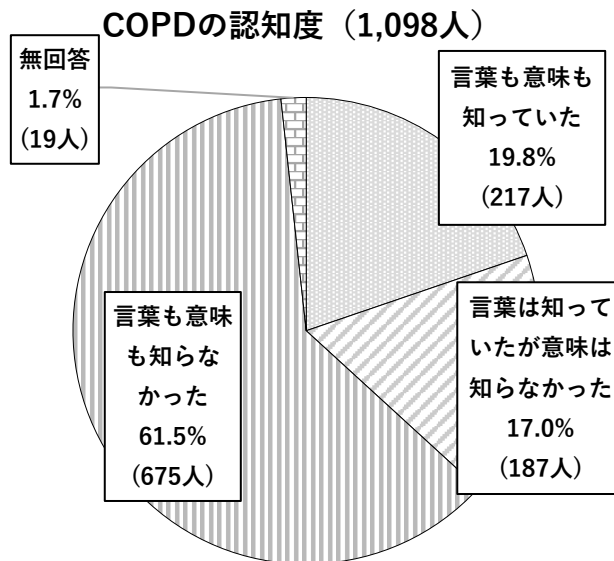


(9) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（単一回答）

問 16. 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」を知っていますか。

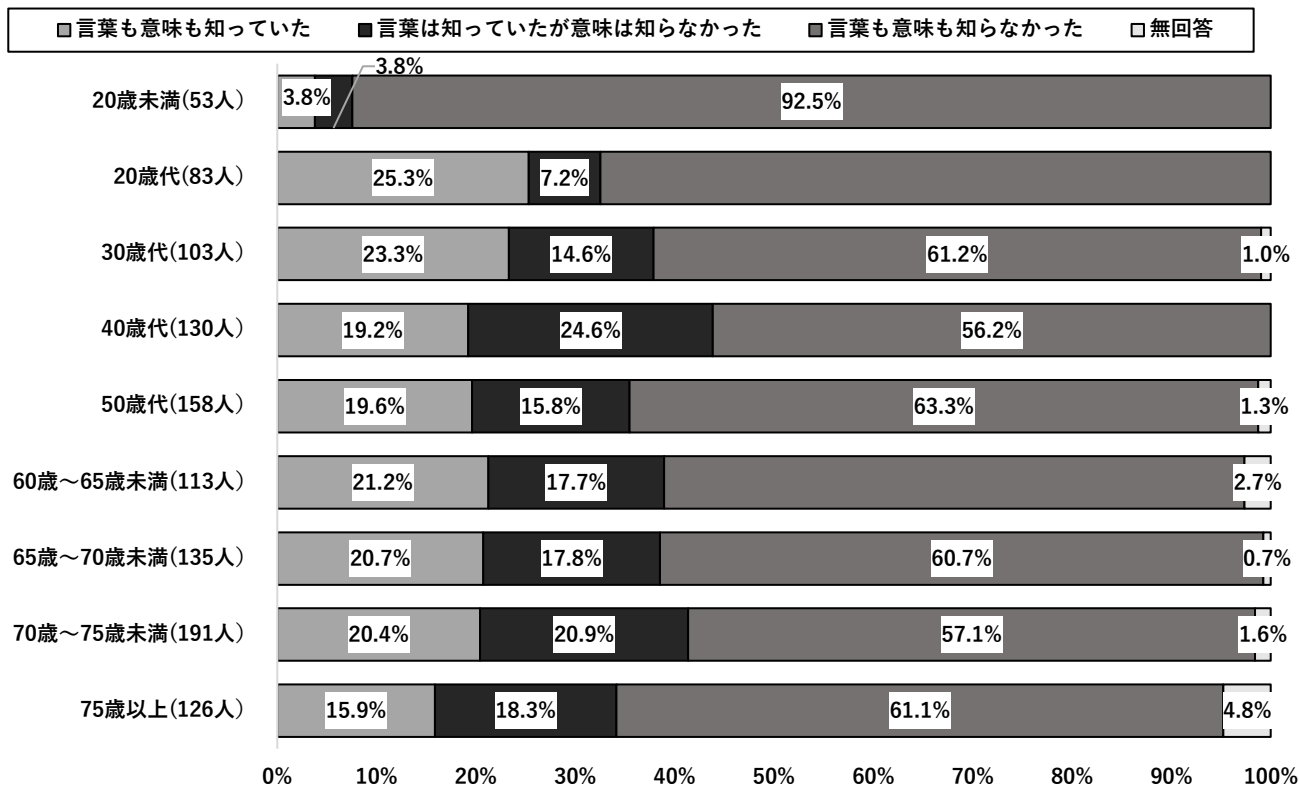
「言葉も意味も知らなかった」が 61.5%

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の周知については、「言葉も意味も知らなかった」が 61.5%を占めます。また、「言葉も意味も知っていた」が 19.8%、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 17.0%となります。



年齢層別にみると、「言葉も意味も知っていた」の割合は「20歳未満」が 3.8%と低いものの、そのほかの年齢層では 20%程度となっています。

COPD の認知度（年齢層別）



沖縄県のデータと比較すると、男性は全年齢を通して COPD の認知度が沖縄県よりも全体的に低くなっています。一方で女性も概ね沖縄県よりも認知度が低い傾向にはあるものの、20 歳代から 30 歳代の女性に関しては「言葉も意味も知っていた」と回答する割合が沖縄県のデータよりも高くなっています。

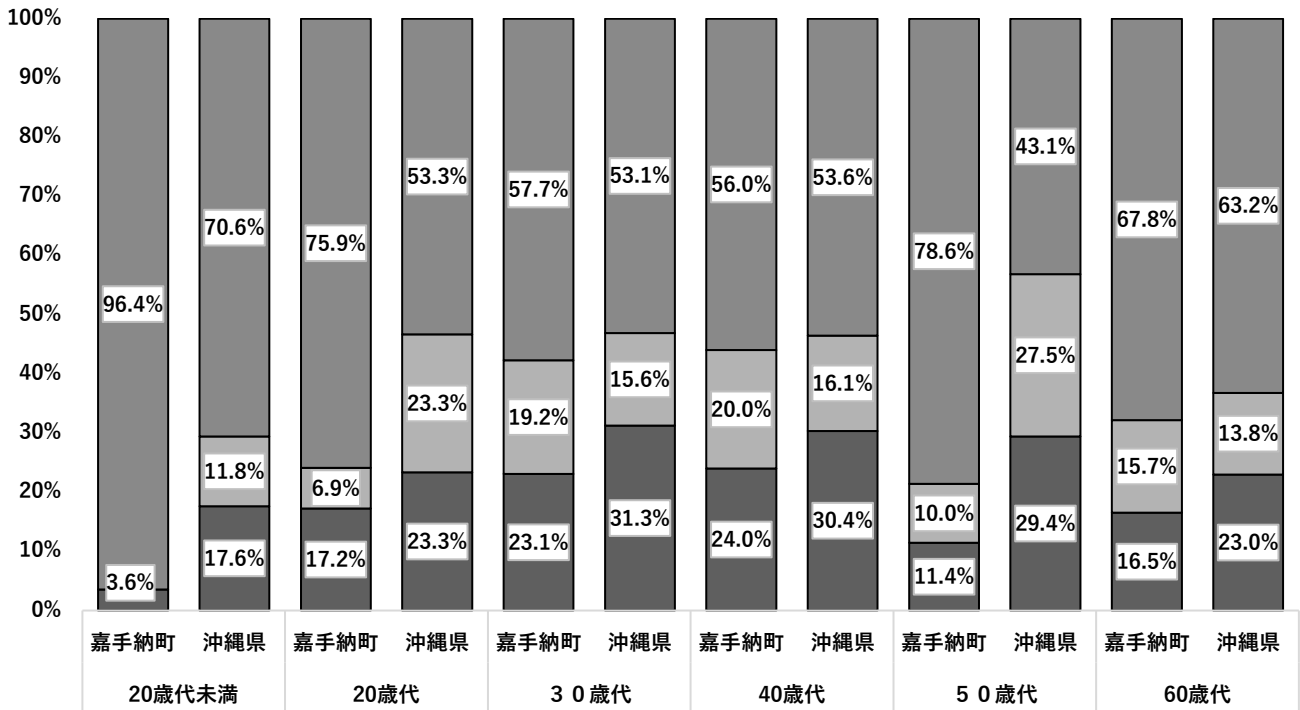
### COPD の認知度（沖縄県との比較）

		20 歳代未満		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	28 人		29 人		26 人		50 人		70 人		115 人	
	言葉も意味も知っていた	3.6%	17.6%	17.2%	23.3%	23.1%	31.3%	24.0%	30.4%	11.4%	29.4%	16.5%	23.0%
	言葉は知っていたが意味は知らなかった	0.0%	11.8%	6.9%	23.3%	19.2%	15.6%	20.0%	16.1%	10.0%	27.5%	15.7%	13.8%
	言葉も意味も知らなかった	96.4%	70.6%	75.9%	53.3%	57.7%	53.1%	56.0%	53.6%	78.6%	43.1%	67.8%	63.2%
女性	総回答実数	22 人		52 人		72 人		78 人		85 人		128 人	
	言葉も意味も知っていた	4.5%	8.3%	30.8%	22.2%	22.2%	19.4%	15.4%	28.1%	25.9%	30.6%	25.8%	35.3%
	言葉は知っていたが意味は知らなかった	4.5%	8.3%	7.7%	19.4%	13.9%	22.6%	26.9%	14.1%	21.2%	26.4%	19.5%	23.5%
	言葉も意味も知らなかった	90.9%	83.3%	61.5%	58.3%	63.9%	58.1%	57.7%	57.8%	52.9%	43.1%	54.7%	41.2%

## COPD の認知度（沖縄県との比較）

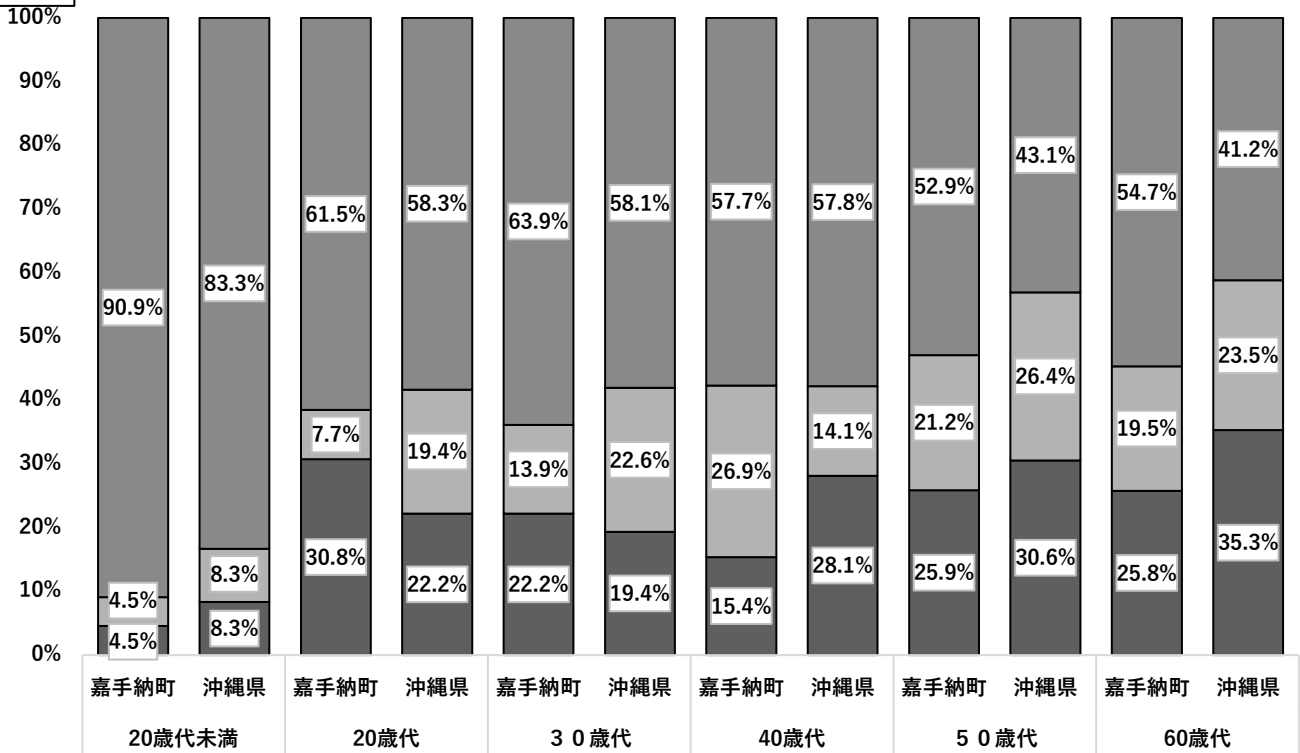
### 男性

■ 1. 言葉も意味も知っていた ■ 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった ■ 3. 言葉も意味も知らなかった



### 女性

■ 1. 言葉も意味も知っていた ■ 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった ■ 3. 言葉も意味も知らなかった



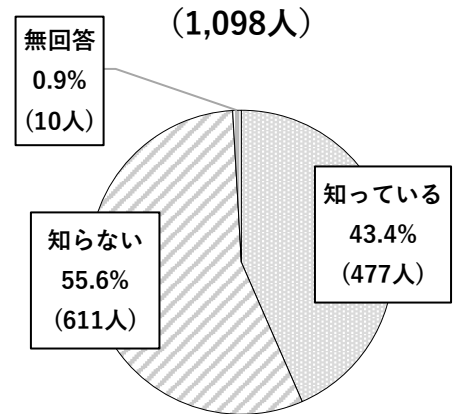
(10) 肺炎球菌予防接種公費負担制度の認知度（単一回答）

問 17. 町が 65 歳以上の方に向けて、肺炎球菌予防接種を 2 回まで全額公費負担で実施していることは知っていますか。

「知らない」が 55.6%

肺炎球菌の予防接種の公費負担の認知度については、「知らない」が 55.6%と、「知っている」の 43.4%を上回っています。

予防接種公費負担制度の認知度



(11) 健康診査・がん検診の受診状況（各設問とも単一回答）

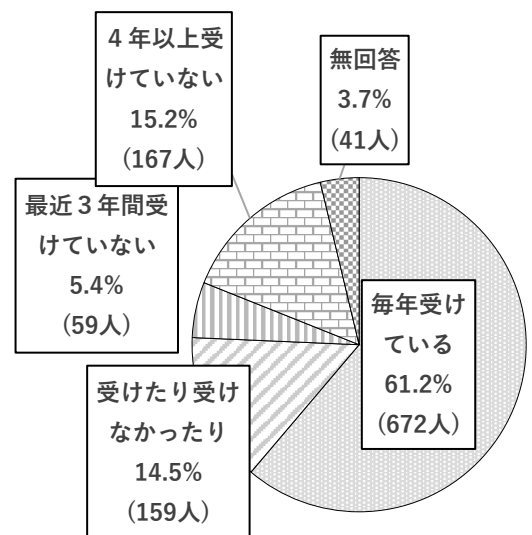
問 18. あなたは健康診査やがん検診を受けていますか。

① 健康診査

「毎年受けている」が 61.2%

健康診査の受診については、「毎年受けている」が 61.2%と最も高くなります。

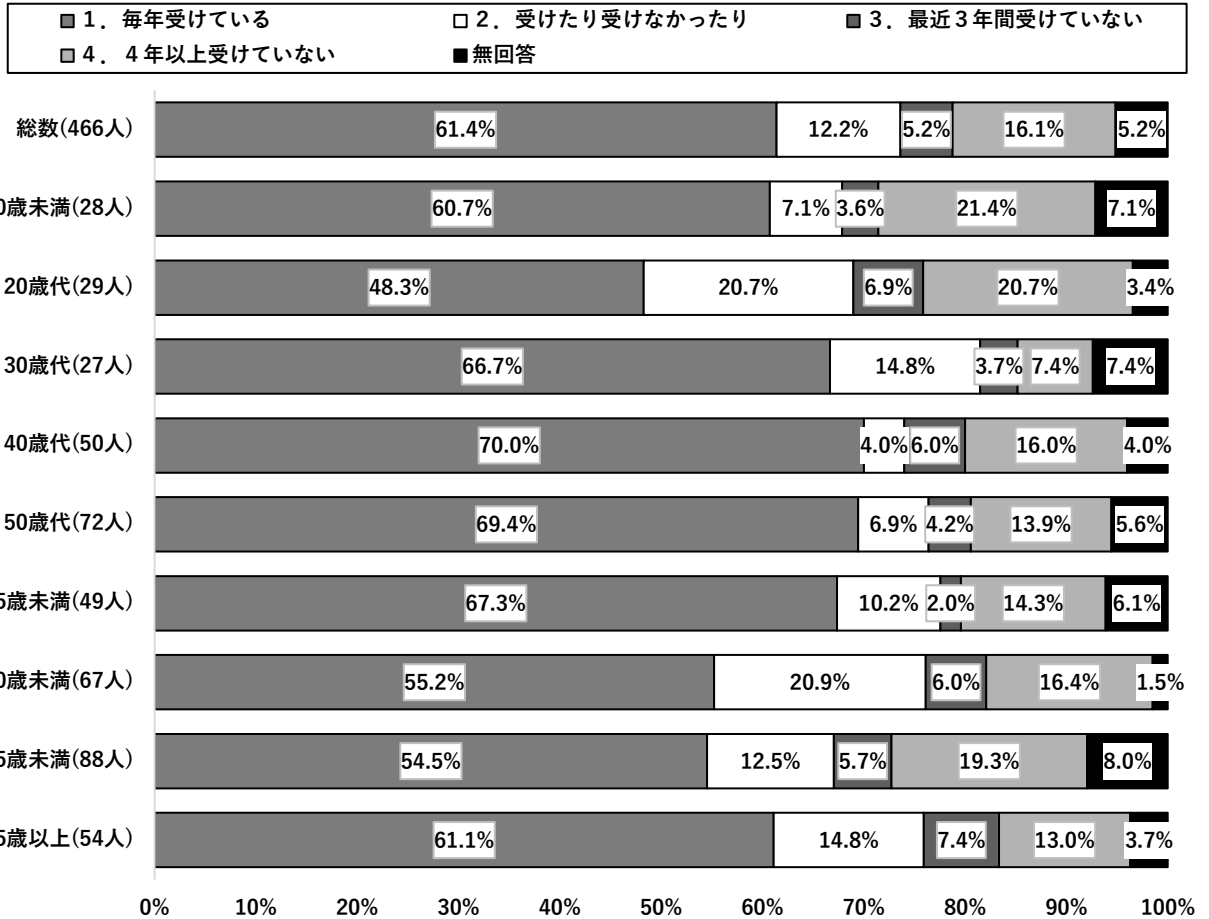
健康診査の受診状況（1,098人）



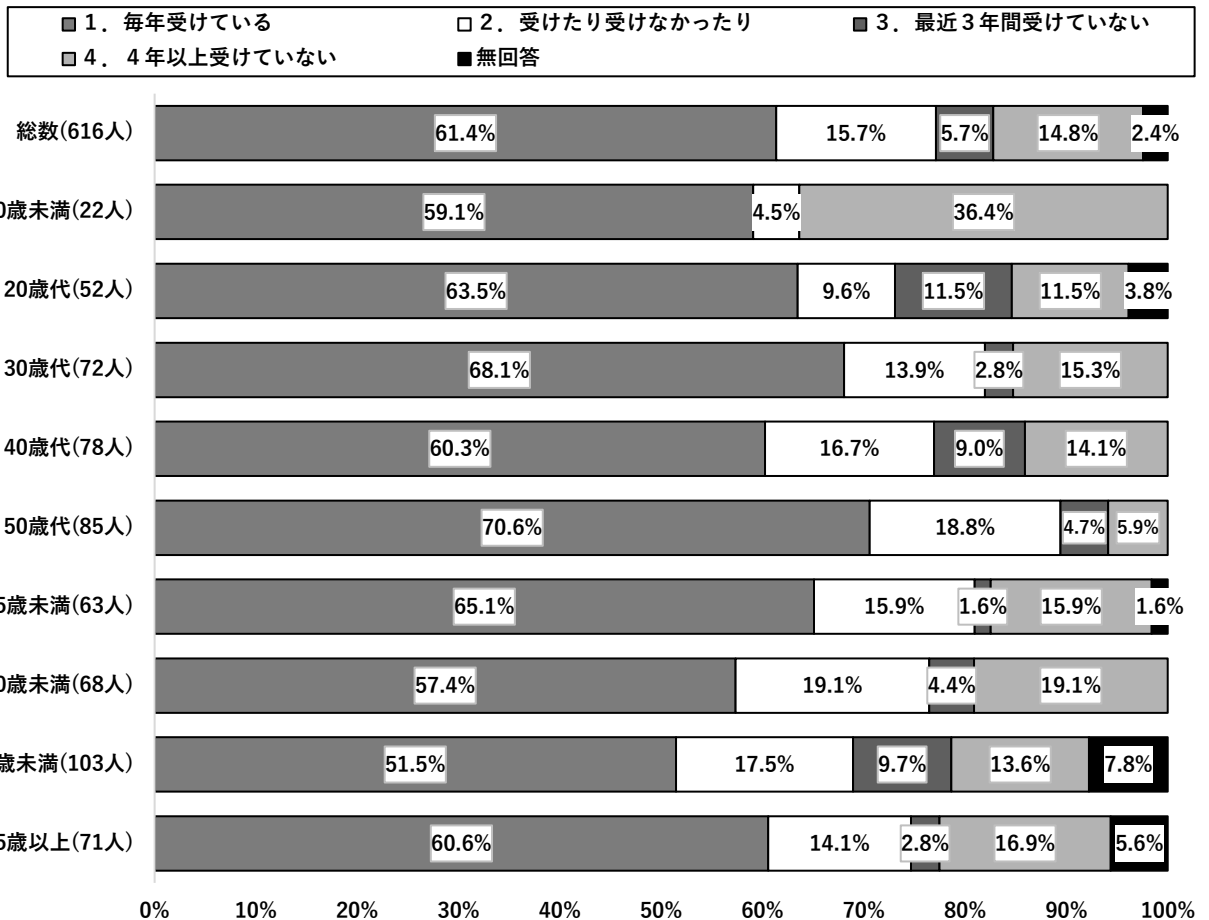
性別・年齢層別にみると、いずれの性別・年齢においても「毎年受けている」の割合が最も高くなっています。「4年以上受けていない」の割合は、男女ともに「20歳未満」が最も高く、「男性」が 21.4%、「女性」が 36.4%となります。

### 健康診査の受診状況（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



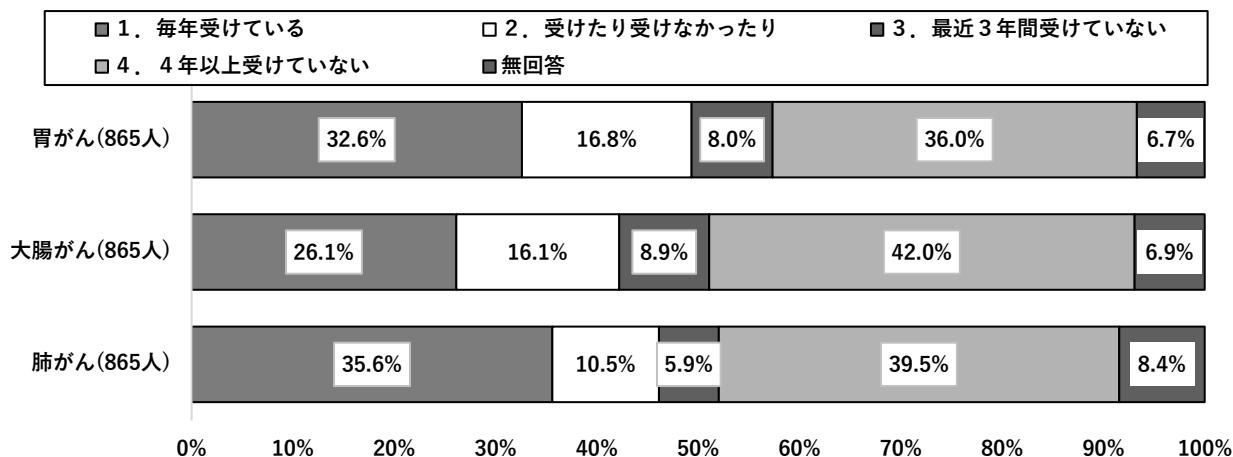
② 胃がん・大腸がん・肺がん検診

各検診とも「4年以上受けていない」が最も高い

胃がん・大腸がん・肺がん検診については、いずれも「4年以上受けていない」が最も高く、「毎年受けている」は、胃がん検診は32.6%、大腸がん検診は26.1%、肺がん検診は35.6%となります。

※40歳代以上を対象として集計しております。

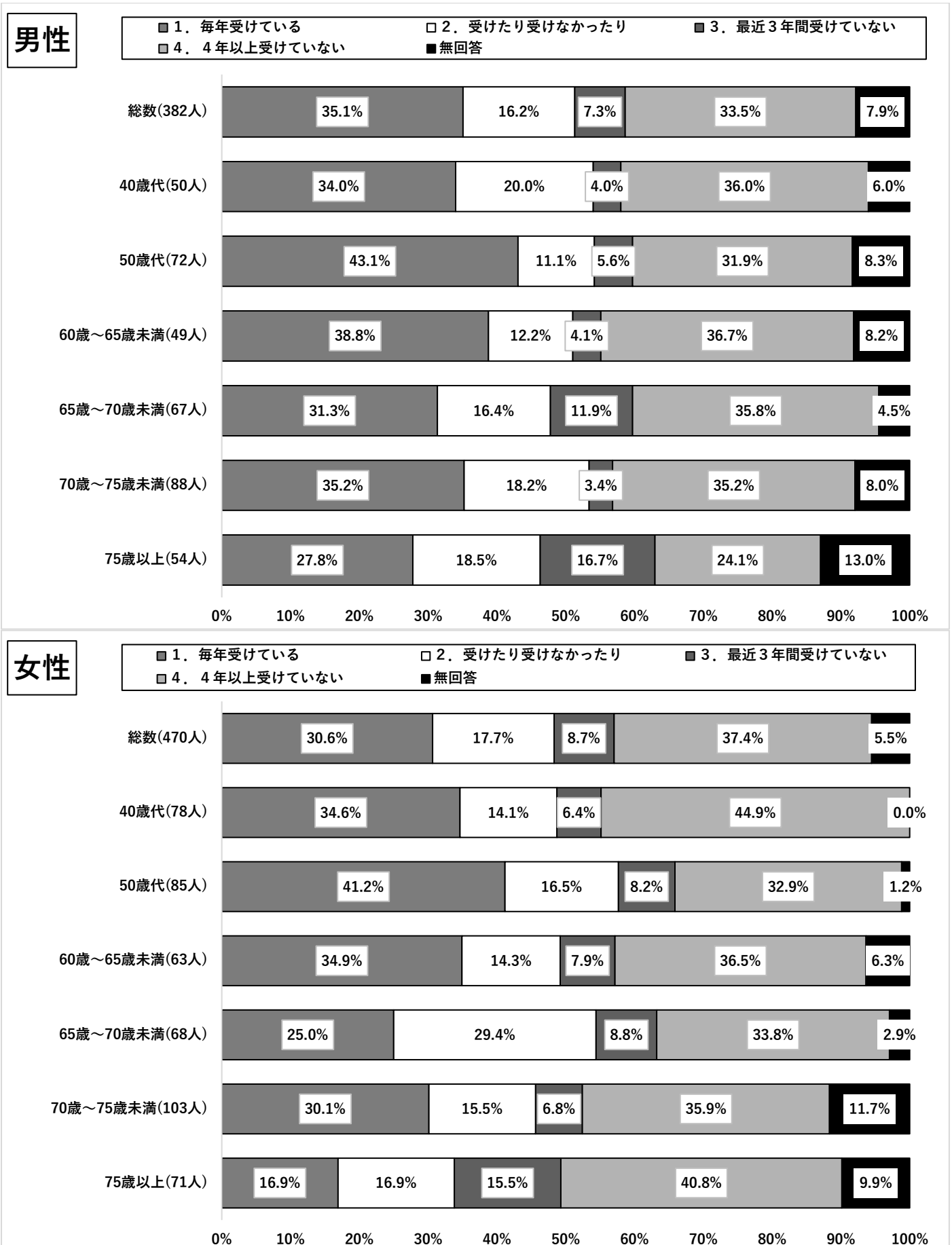
がん検診の受診状況 (1,045人)



性別・年齢層別にみると、「毎年受けている」は、各検診とも、男女ともに50歳代または60~65歳未満で最大となります。

## がん検診の受診状況（性別年齢層別）

<胃がん>

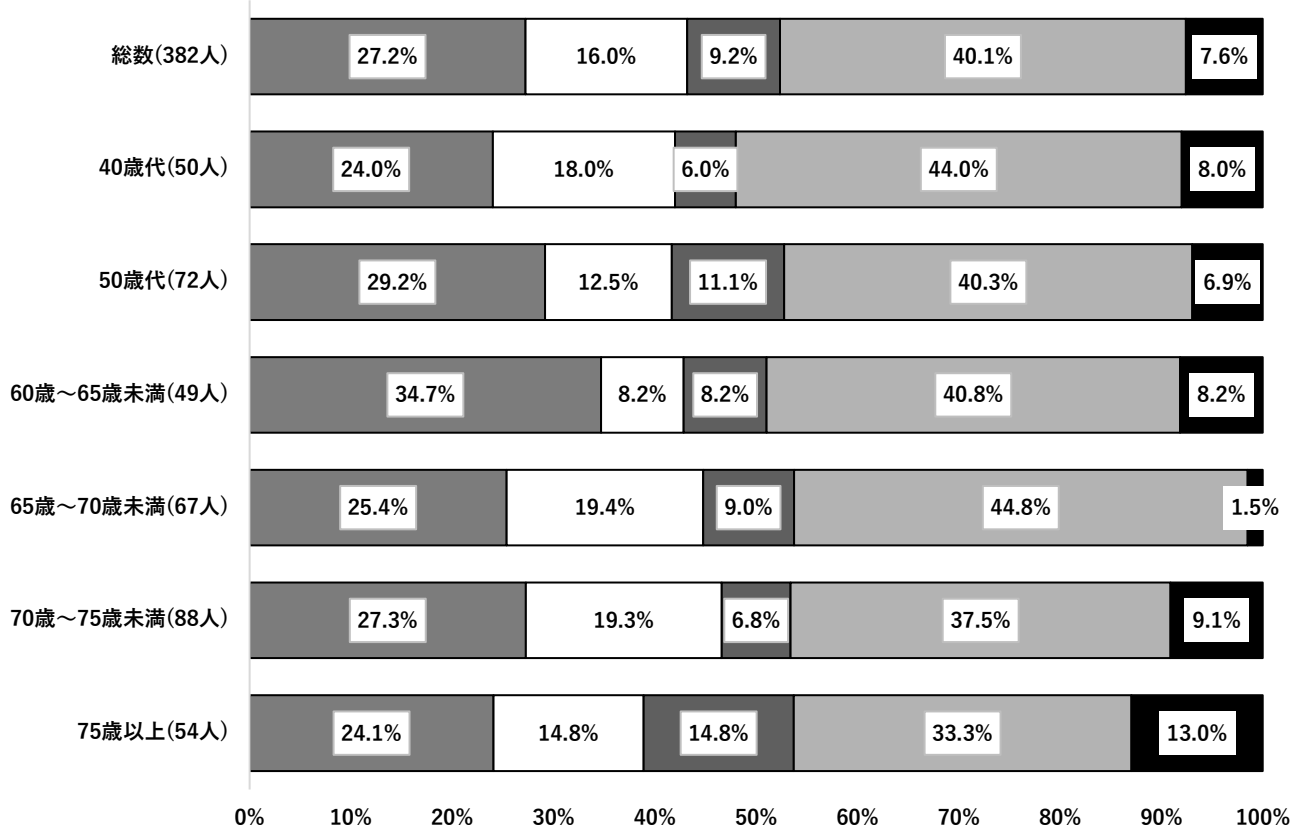




<大腸がん>

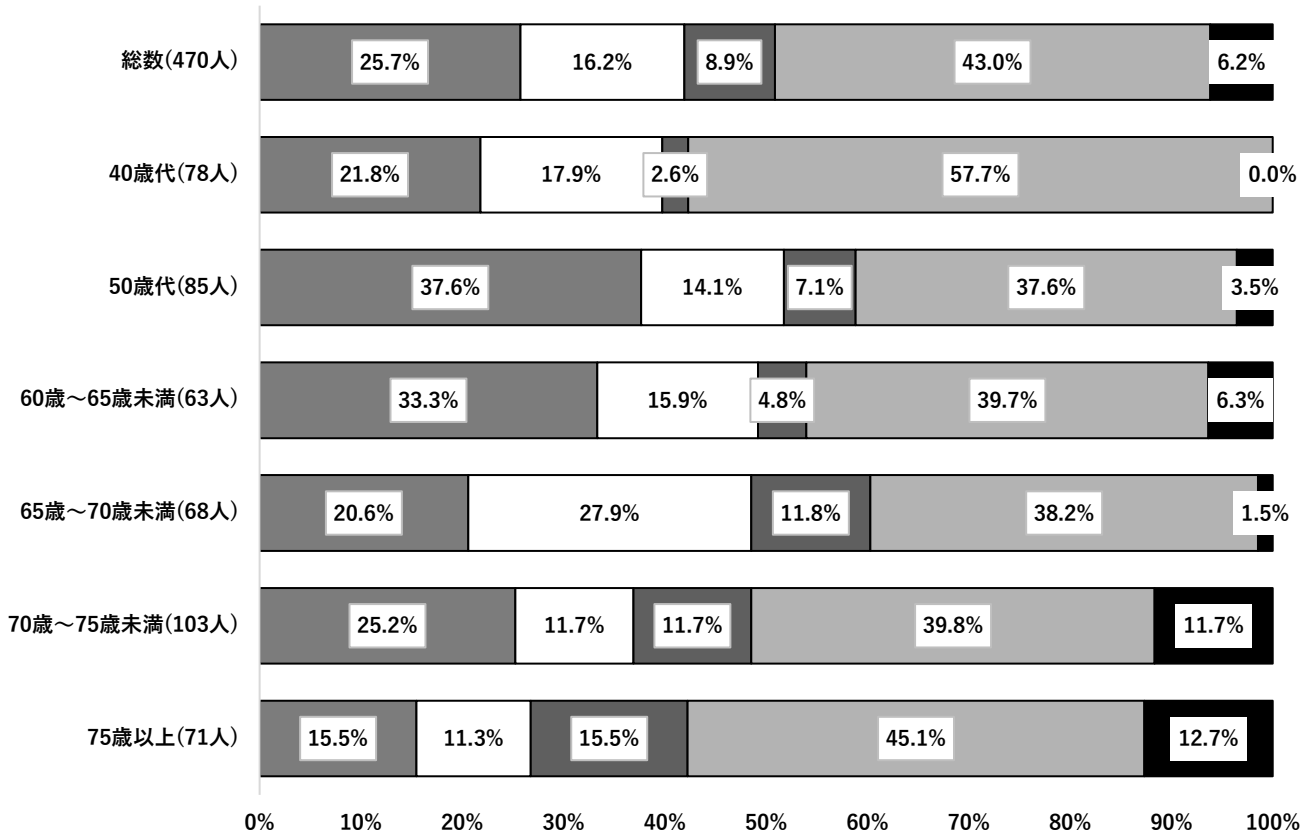
**男性**

■ 1. 毎年受けている      □ 2. 受けたら受けなかったり      ■ 3. 最近3年間受けていない  
 □ 4. 4年以上受けていない      ■ 無回答



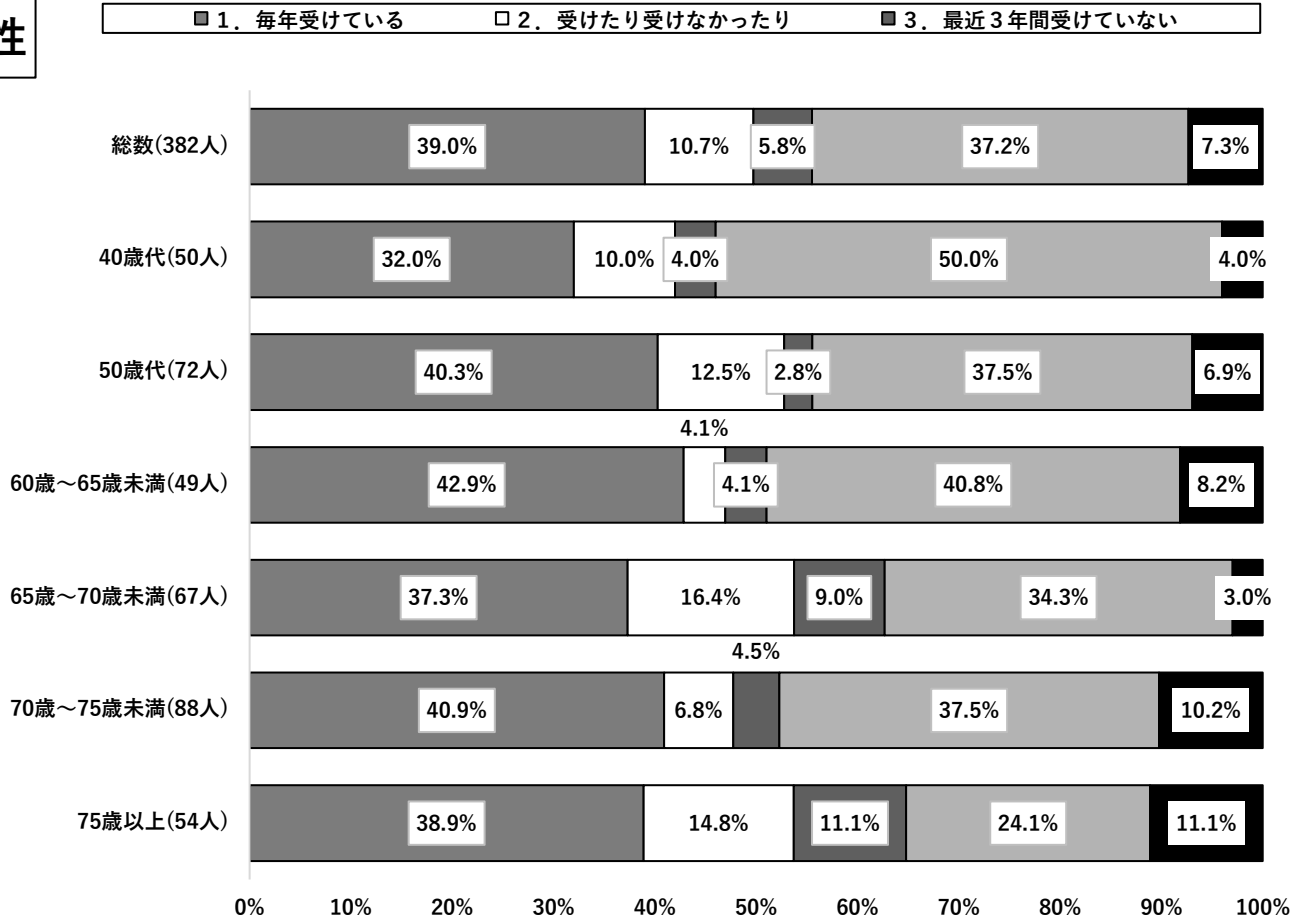
**女性**

■ 1. 毎年受けている      □ 2. 受けたら受けなかったり      ■ 3. 最近3年間受けていない  
 □ 4. 4年以上受けていない      ■ 無回答

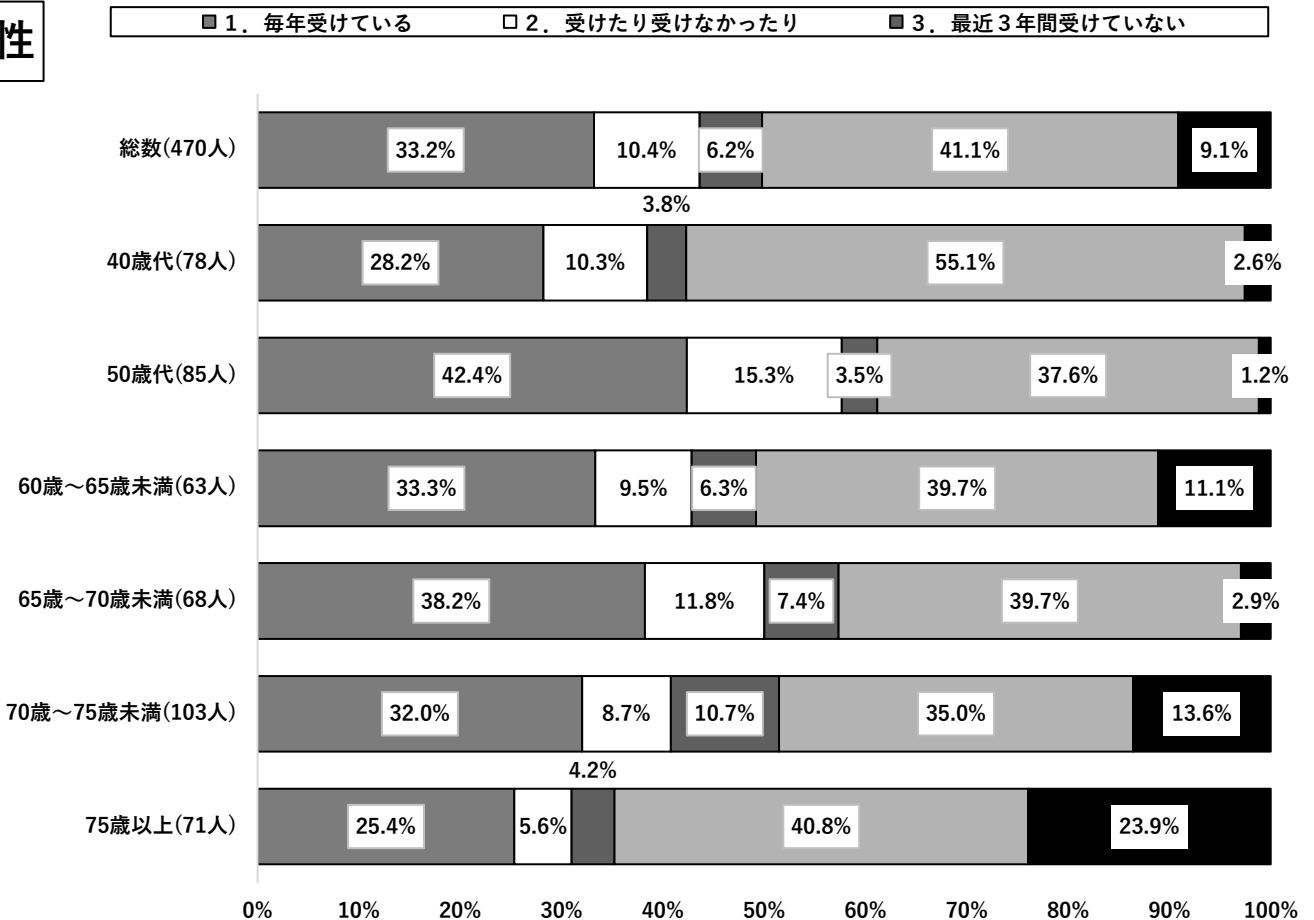


<肺がん>

男性



女性

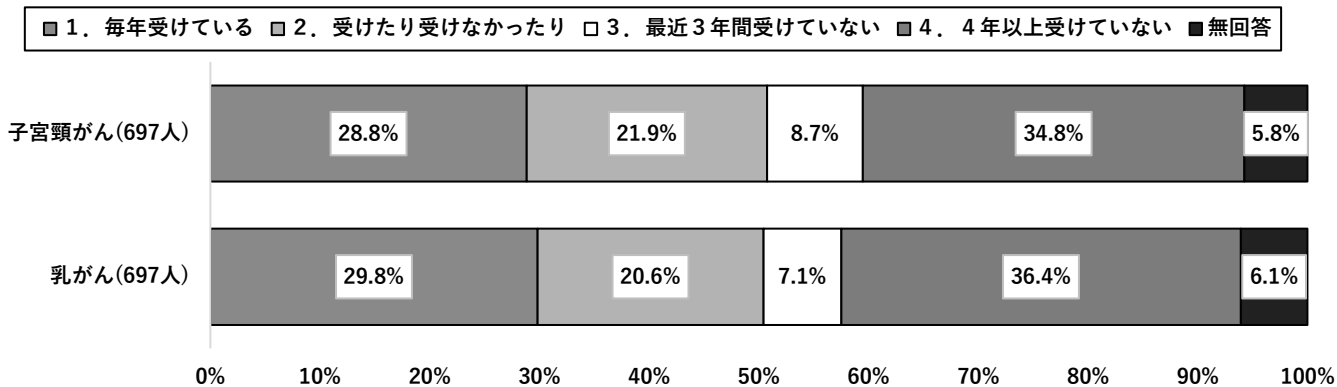


### ③ 子宮頸がん・乳がん検診（女性のみ）

各検診とも「4年以上受けていない」が最も高い

子宮頸がん・乳がん検診については、いずれも「4年以上受けていない」が最も高く、「毎年受けている」は、子宮頸がん検診は28.8%、乳がん検診は29.8%となっています。

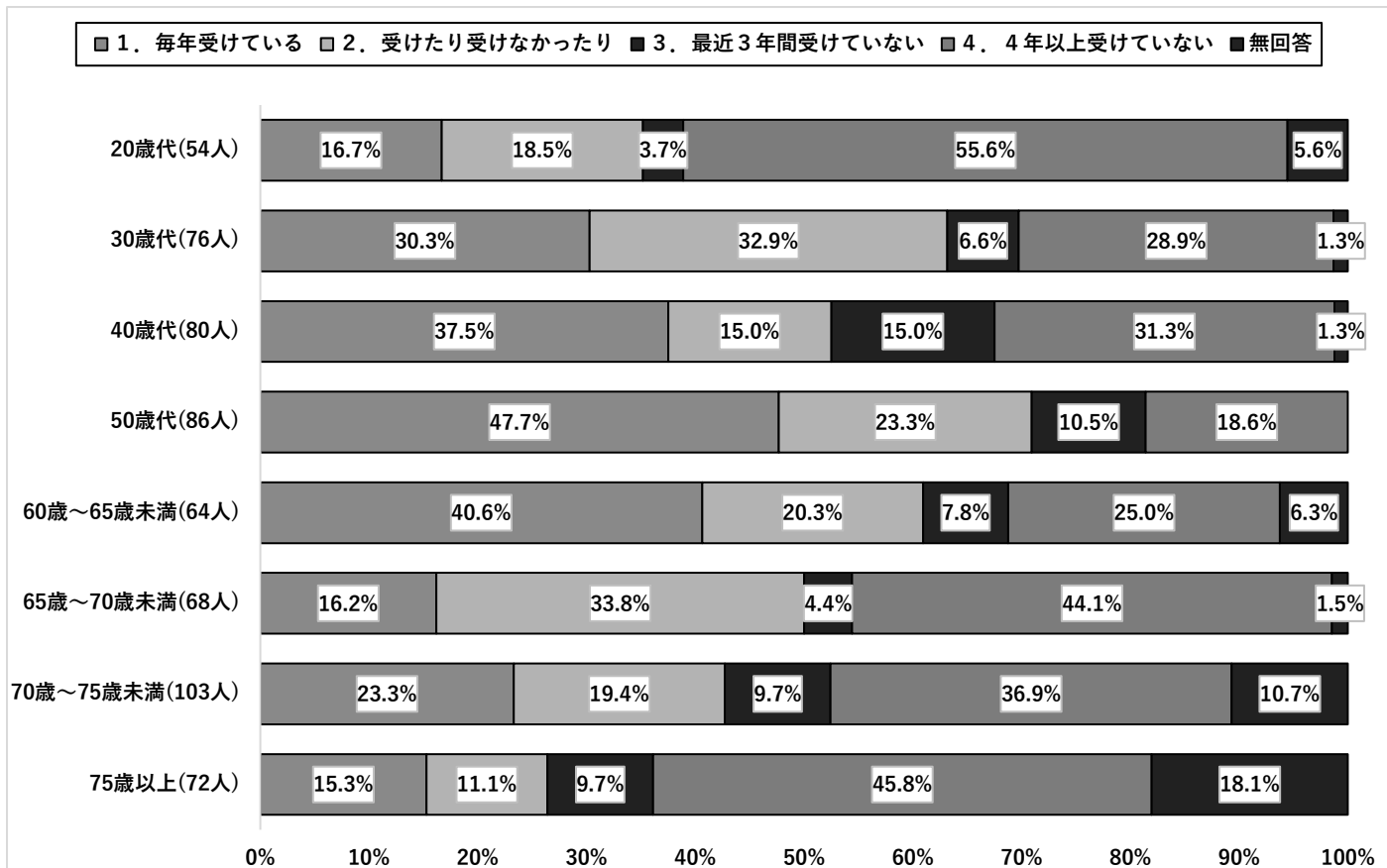
#### 子宮頸がん・乳がん検診の受診状況（607人）



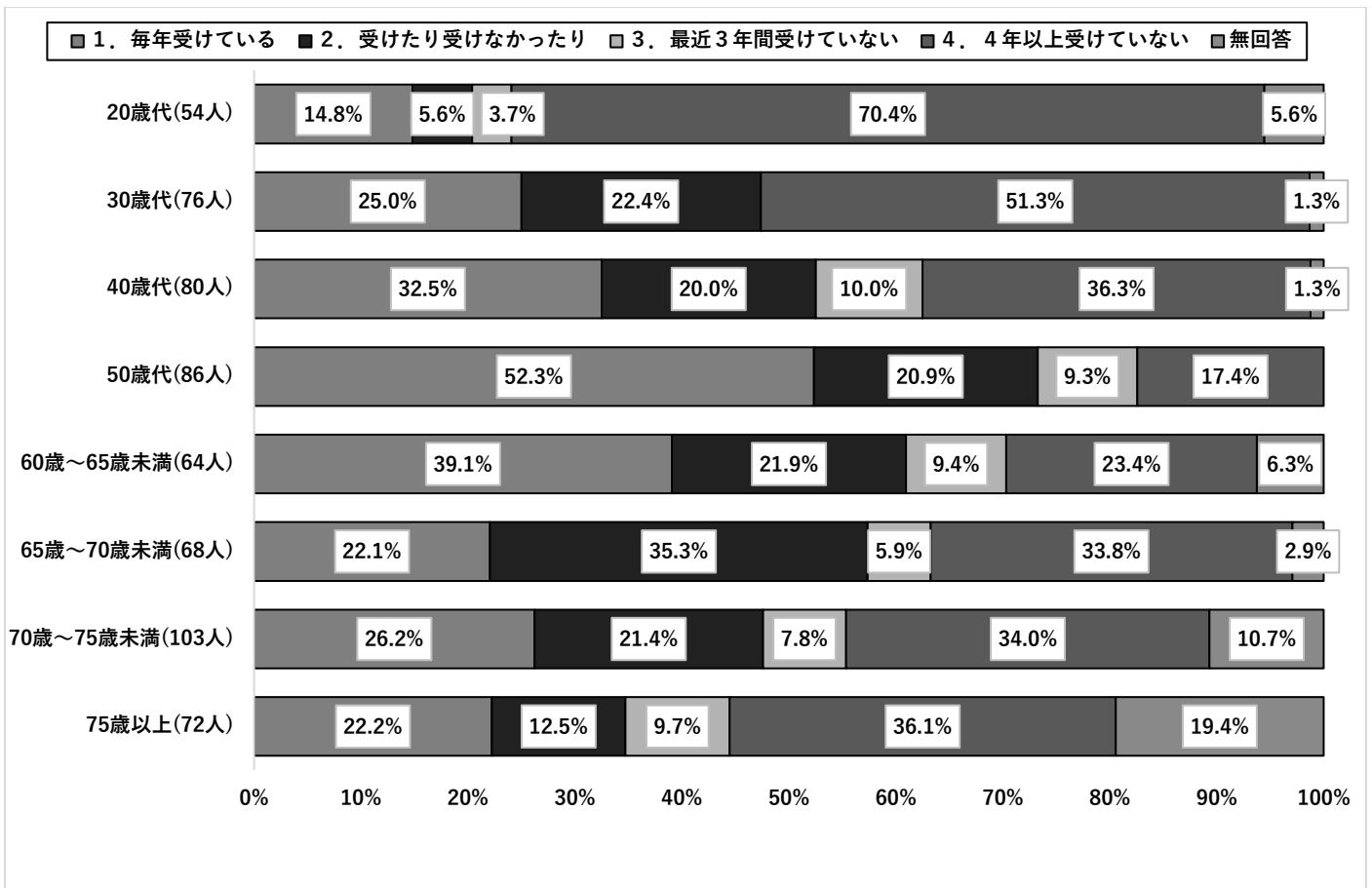
年齢層別にみると、「毎年受けている」は、各検診とも「50歳代」が最も高く、子宮頸がんは47.7%、乳がんは52.3%となります。また、「50歳代」から年齢層が高くなるほど、「毎年受けている」の割合が低くなる傾向にあります。

#### 子宮頸がん・乳がん検診の受診状況（年齢層別）

<子宮頸がん>



<乳がん>



(12) 健康診査・がん検診を受けていない理由 (各設問とも単一回答)

問18. あなたは健康診査やがん検診を受けていますか。また、「2.受けたたり受けなかったり」「3.最近3年間受けていない」「4.4年以上受けていない」と答えた方は、受けていない理由をお答えください。

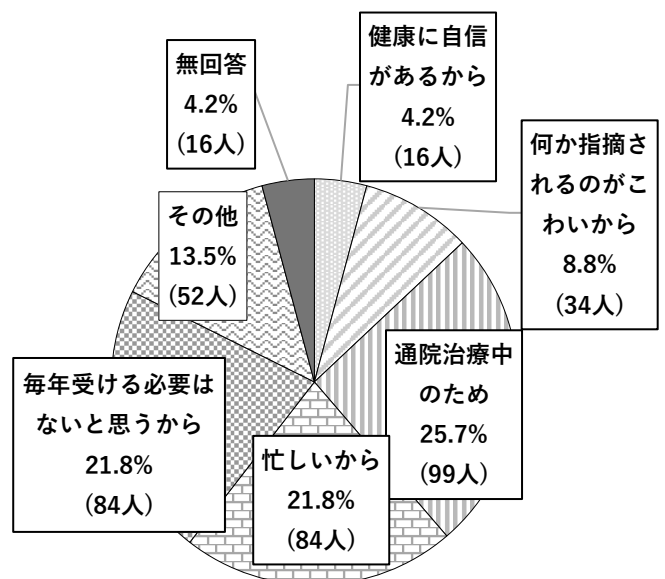
① 健康診査

「通院治療中のため」が25.7%

健康診査を受けていない理由としては、「通院治療中のため」が25.7%と最も高く、次に「忙しいから」、「毎年受ける必要はないと思うから」が21.8%となります。

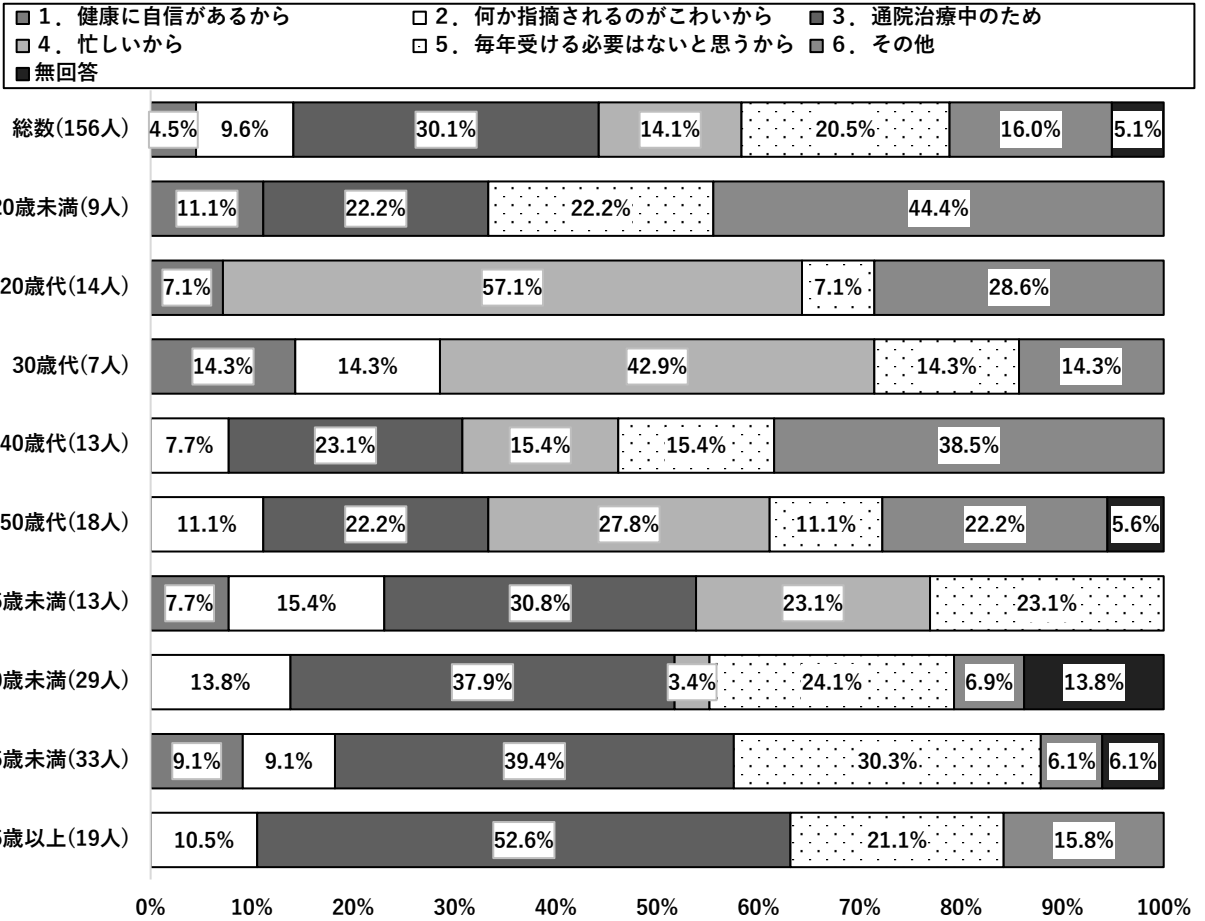
性別・年齢層別にみると、「通院治療中のため」は男女ともに年齢層が高くなるにつれて高くなり、「75歳以上」の「男性」では52.6%、「女性」では50.0%となります。  
また、「忙しいから」は、「20歳代」を除く全ての年齢層で「女性」が「男性」を上回っています。

健康診査を受けていない理由 (385人)

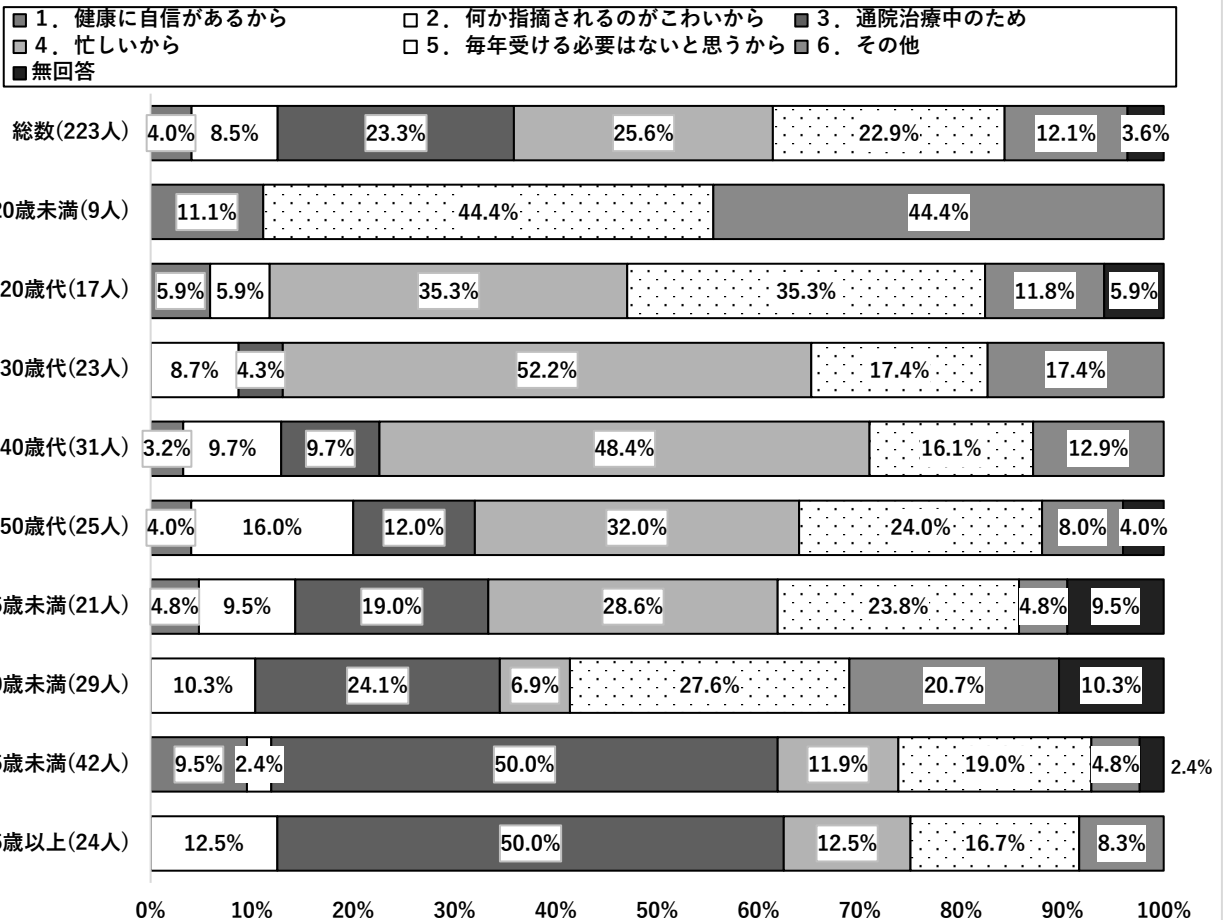


### 健康診査を受けていない理由（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



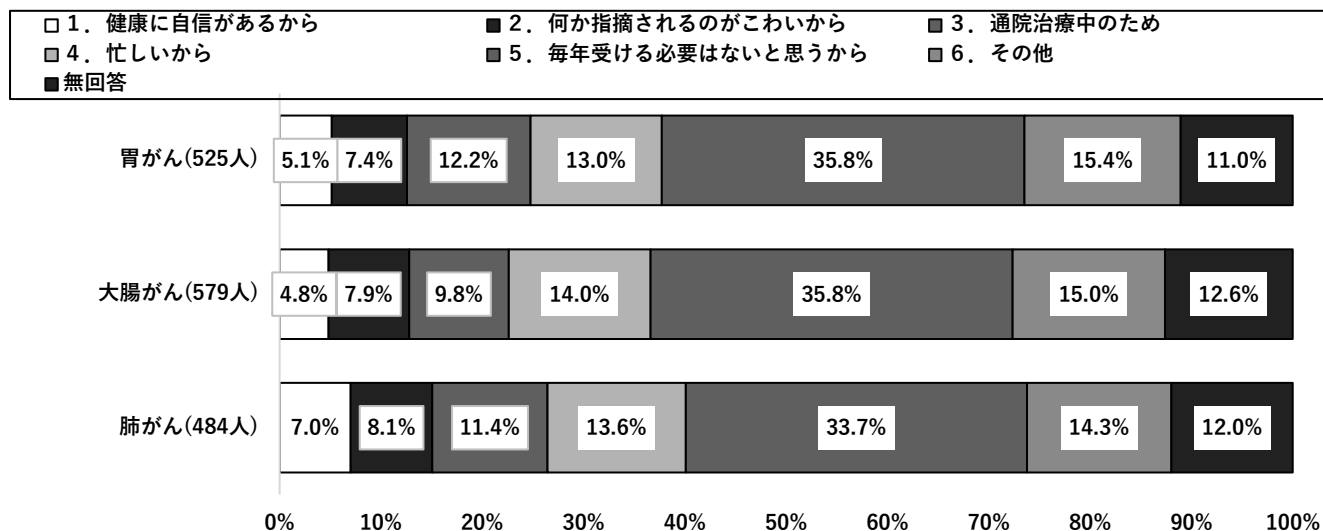
## ② 胃がん・大腸がん・肺がん検診

各検診とも「毎年受ける必要はないと思うから」が最も高い

各検診とも「毎年受ける必要はないと思うから」が最も高く、胃がん検診で 35.8%、大腸がん検診で 35.8%、肺がん検診で 33.7%となります。次に続くのも各検診共通で、「忙しいから」となります。

※40 歳代以上を対象として集計しております。

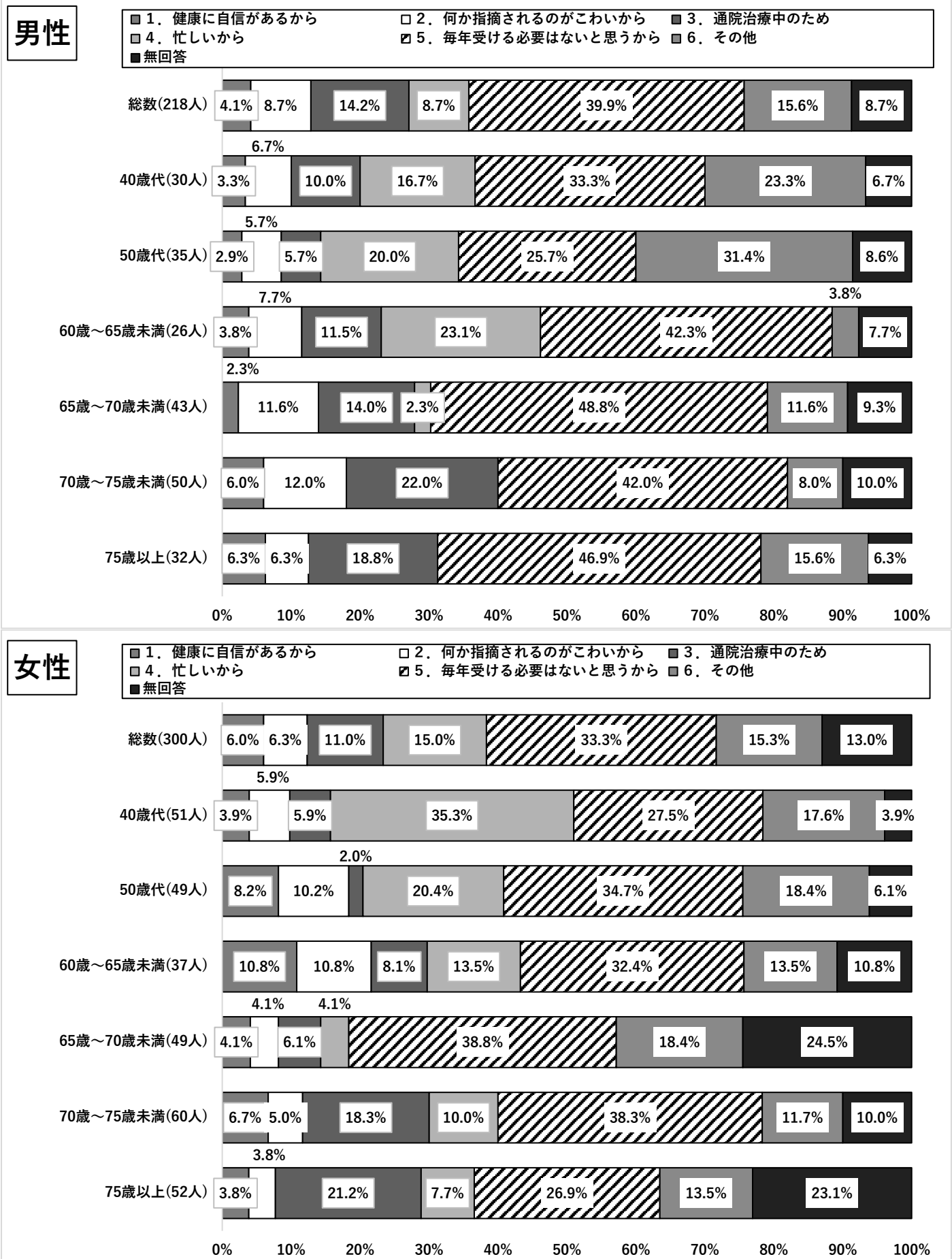
がん検診を受けていない理由



性別・年齢層別にみると、各検診とも男性は女性と比較して、「毎年受ける必要はないと思うから」の割合が総じて高くなっており、特に大腸がん検診に関しては 10 ポイント以上差が開いています。

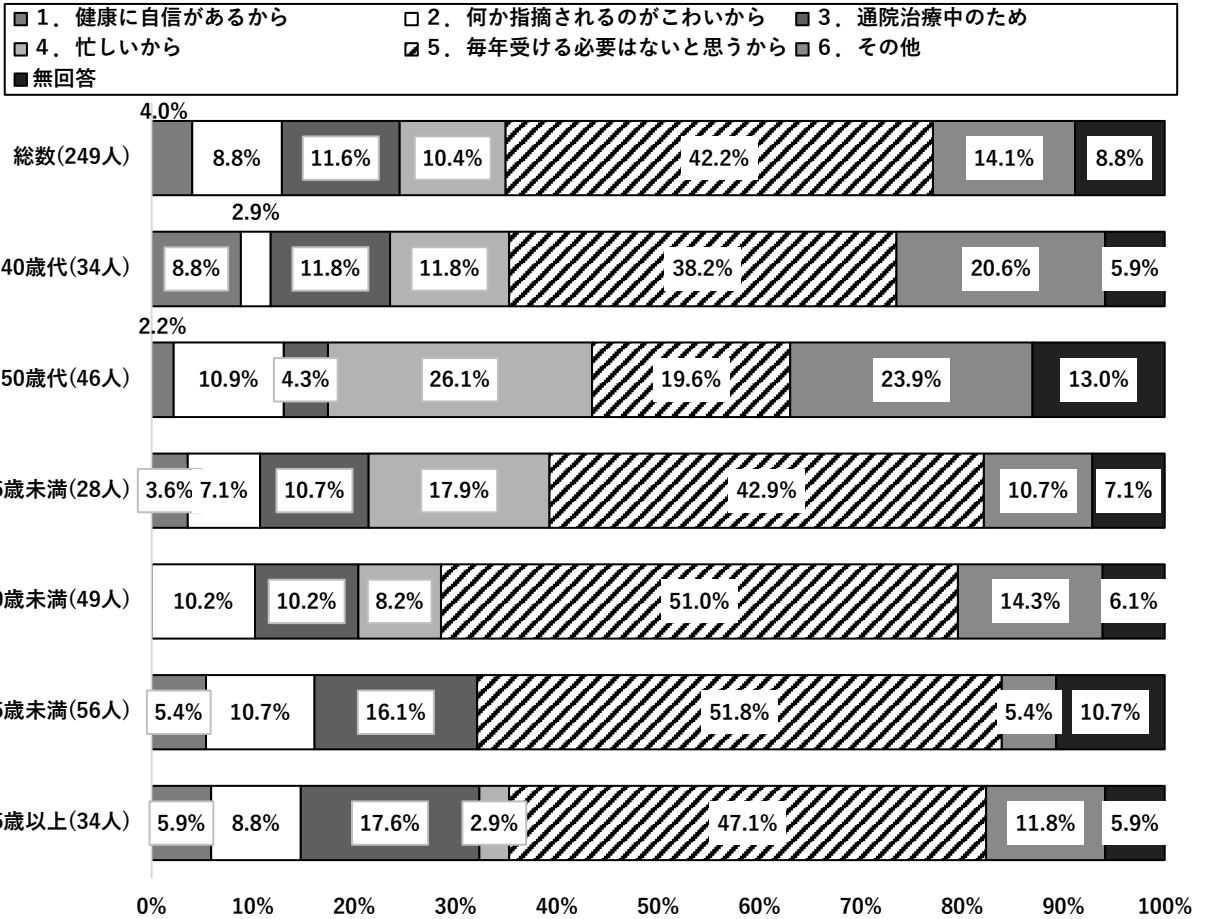
## がん検診を受けていない理由（性別年齢層別）

<胃がん>

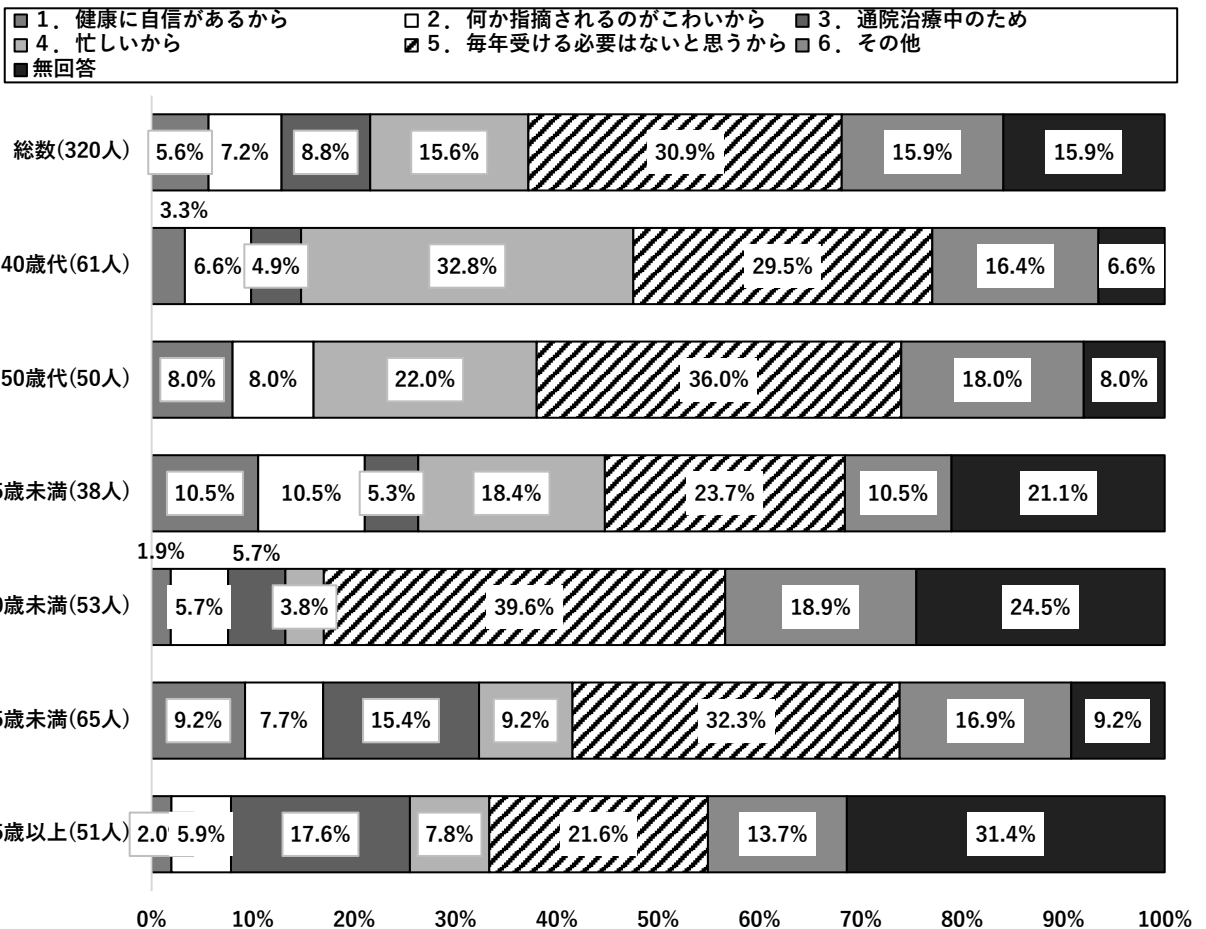


<大腸がん>

**男性**



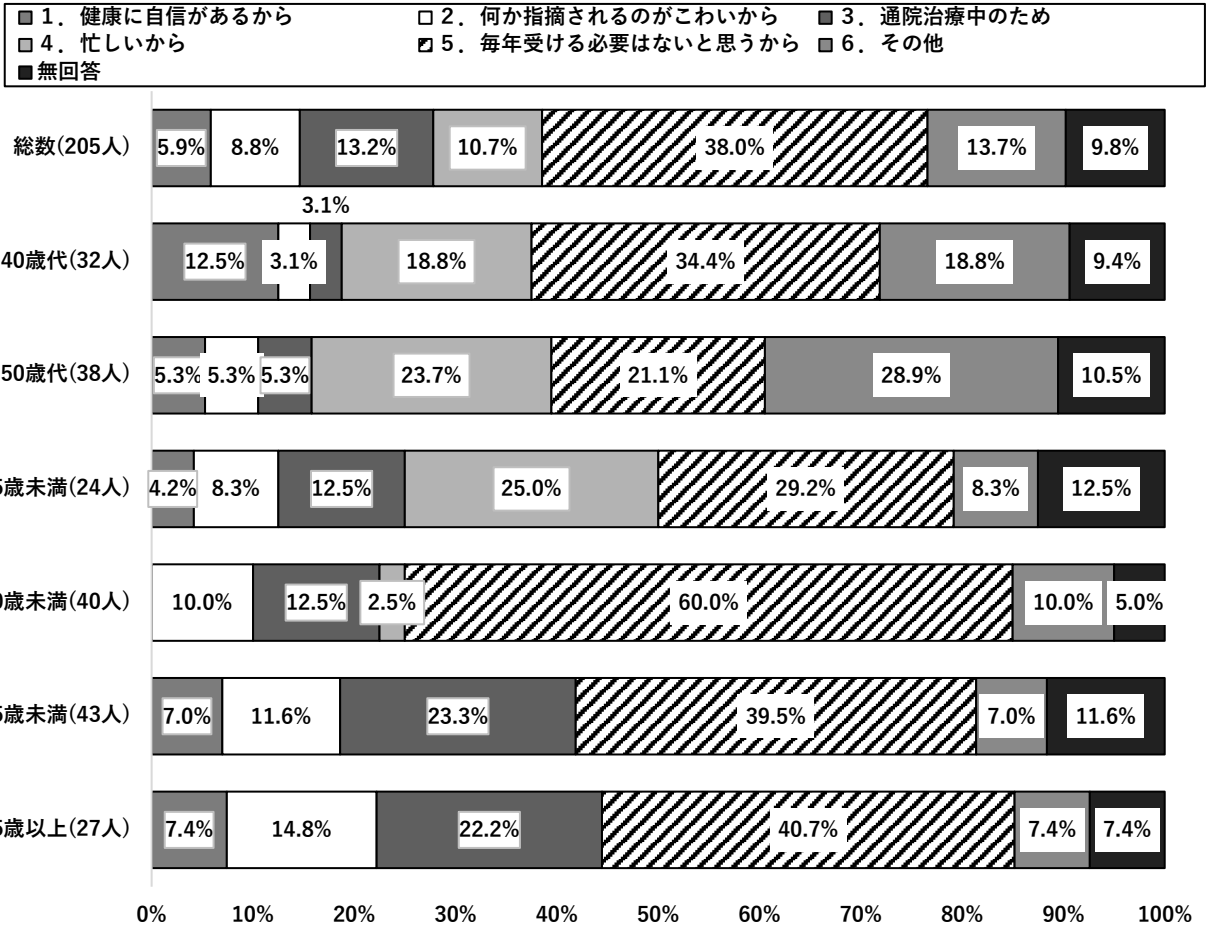
**女性**



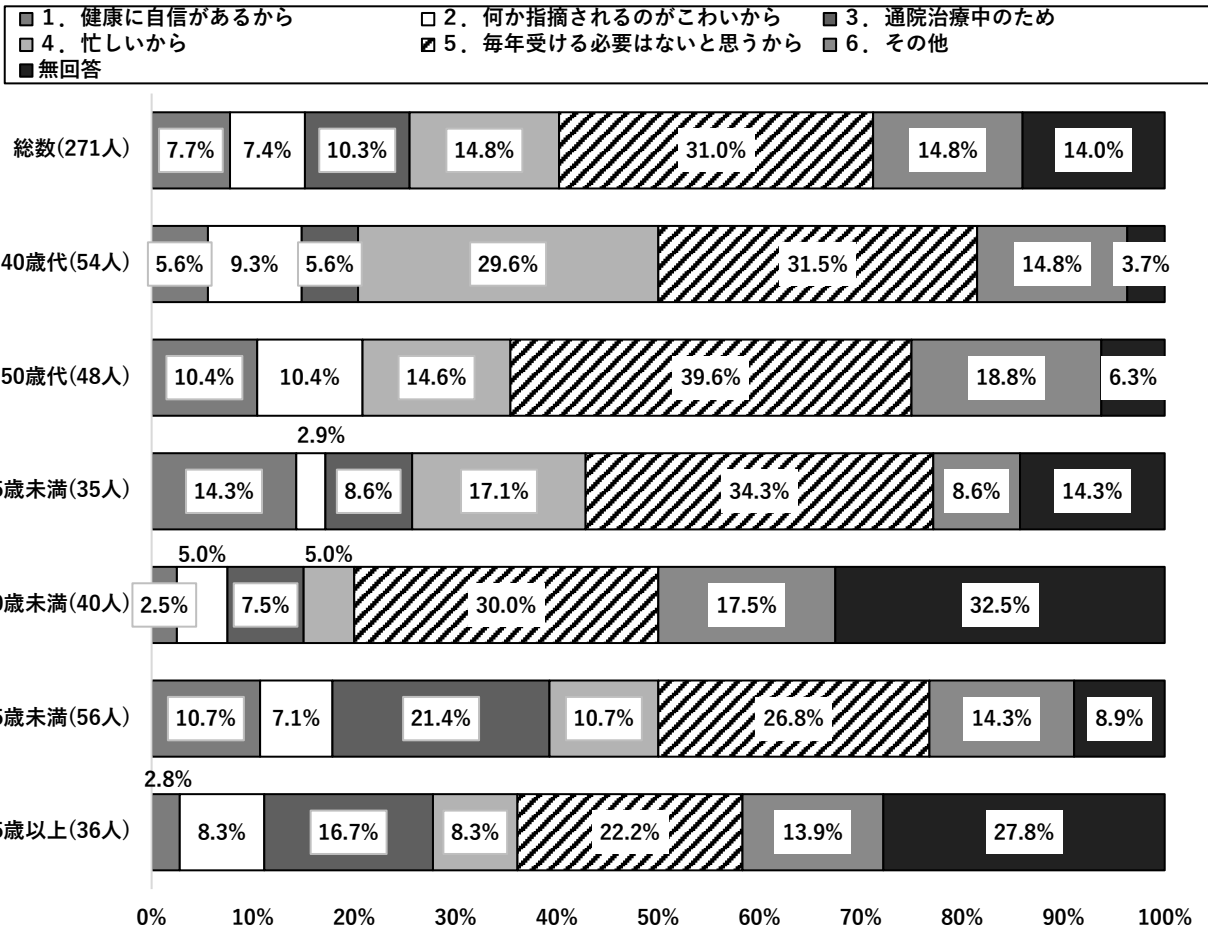


<肺がん>

**男性**



**女性**



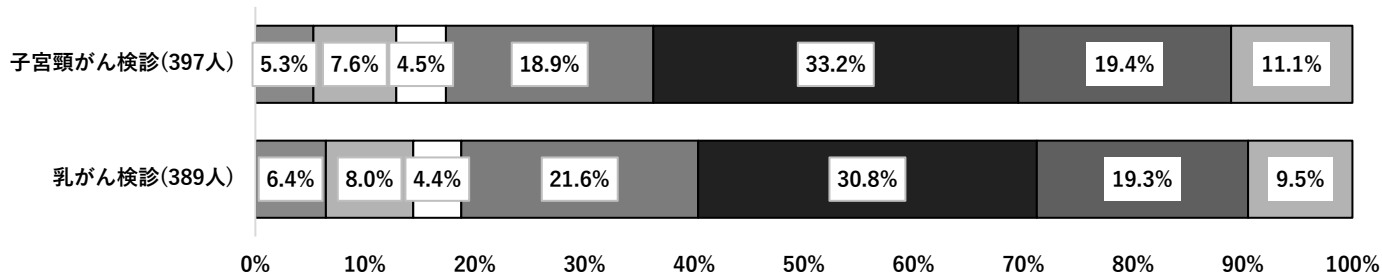
### ③ 子宮頸がん・乳がん検診（女性のみ）

両検診とも「毎年受ける必要はないと思うから」が最も高い

子宮頸がん・乳がん検診を受けていない理由としては、両検診とも「毎年受ける必要はないと思うから」が最も高く、子宮頸がん検診で 33.2%、乳がん検診で 30.8%となります。次に続くのは子宮頸がん検診については「その他」で、乳がん検診については「忙しいから」となります。

#### 子宮頸がん・乳がん検診を受けていない理由

1. 健康に自信があるから   
  2. 何か指摘されるのがこわいから   
  3. 通院治療中のため   
  4. 忙しいから  
 5. 毎年受ける必要はないと思うから   
 6. その他   
 無回答

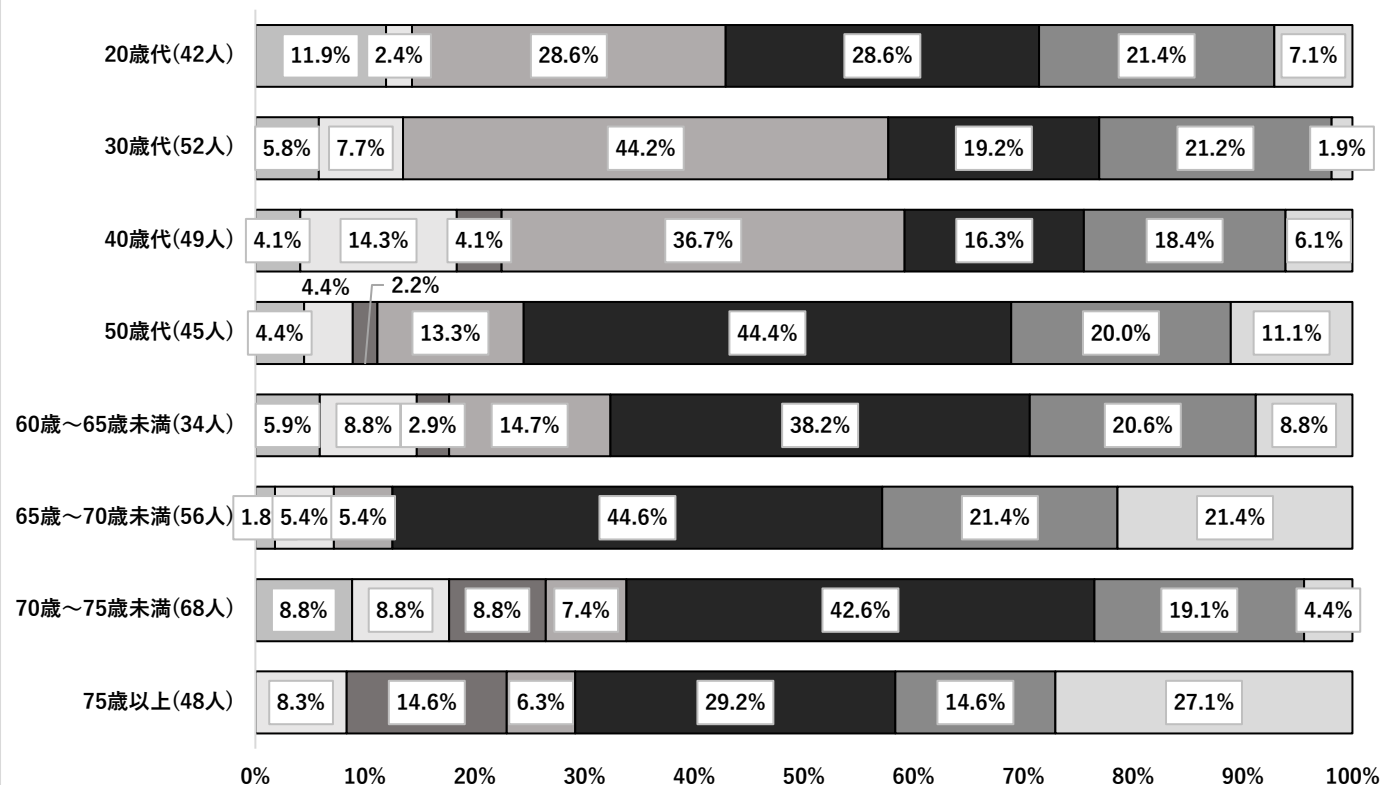


年齢層別にみると、両検診とも、「毎年受ける必要がないと思うから」は50歳代以上の年齢層で、「忙しいから」は40歳代以下の年齢層で、多数派を占めています。

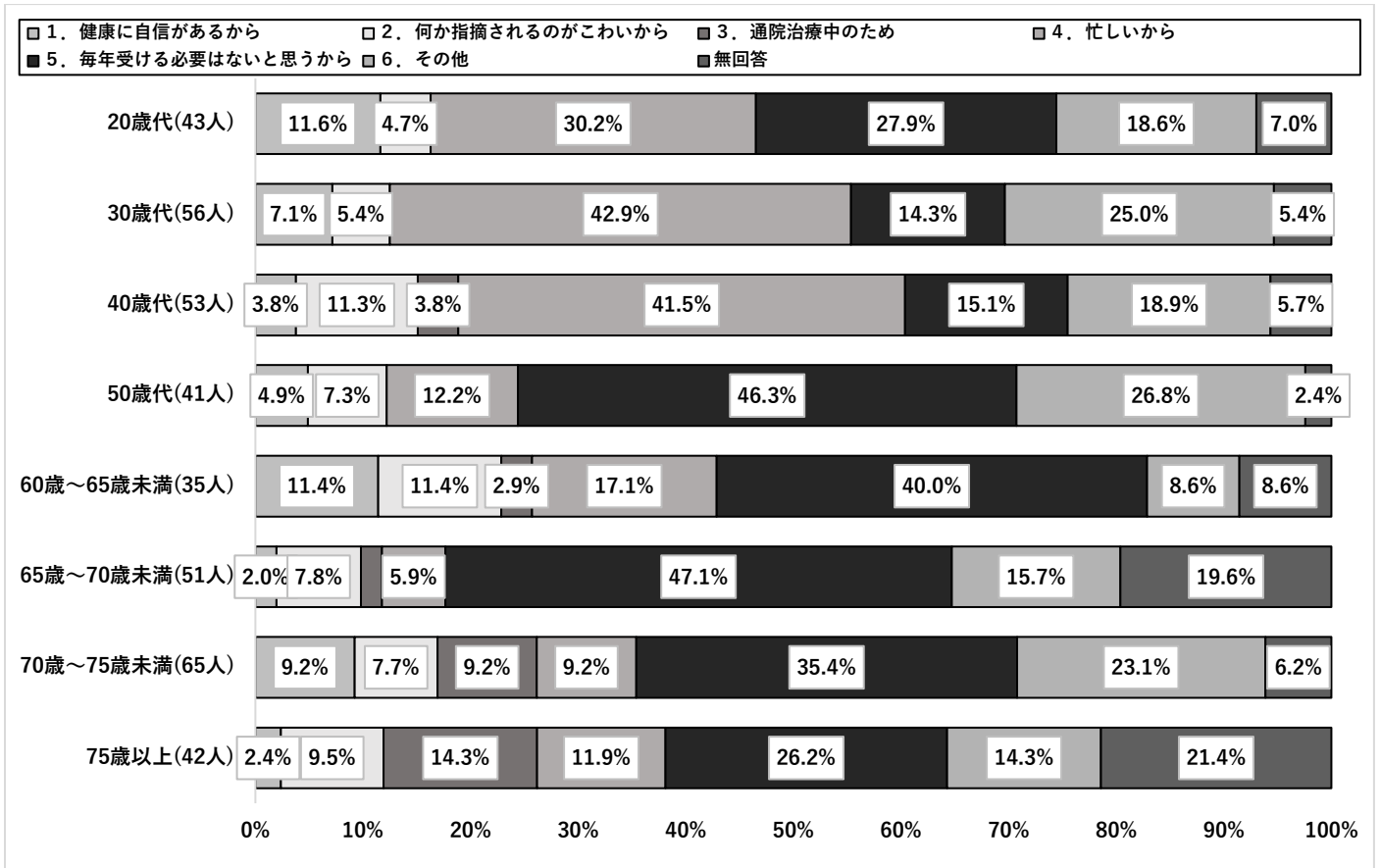
#### 子宮頸がん・乳がん検診を受けていない理由（年齢別）

< 子宮頸がん >

1. 健康に自信があるから   
  2. 何か指摘されるのがこわいから   
 3. 通院治療中のため   
  4. 忙しいから  
 5. 毎年受ける必要はないと思うから   
 6. その他   
 無回答



<乳がん>



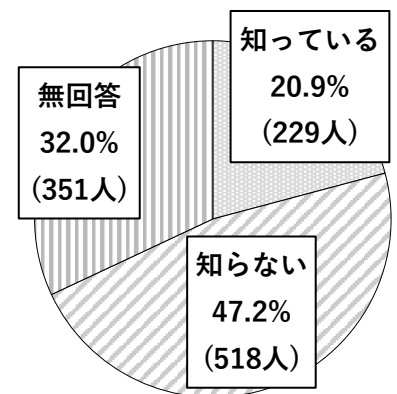
(13) ライフコースアプローチ（単一回答）

問 19. 胎児期から老齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えて健康づくりを行っていくことを、ライフコースアプローチと言います。こちらを踏まえ、現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性や次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があるものであることをご存じですか。

「知らない」が47.2%

ライフコースアプローチの周知度については、「知らない」が47.2%と、「知っている」の20.9%を上回っています。

ライフコースアプローチの認知度（1,098人）



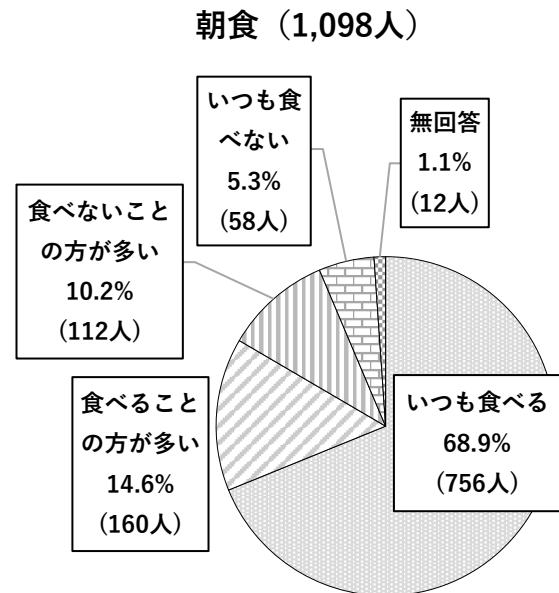
## 4. 食生活・栄養について

### (1) 朝食（単一回答）

問 20. 朝食をいつも食べていますか。

「いつも食べる」が 68.9%

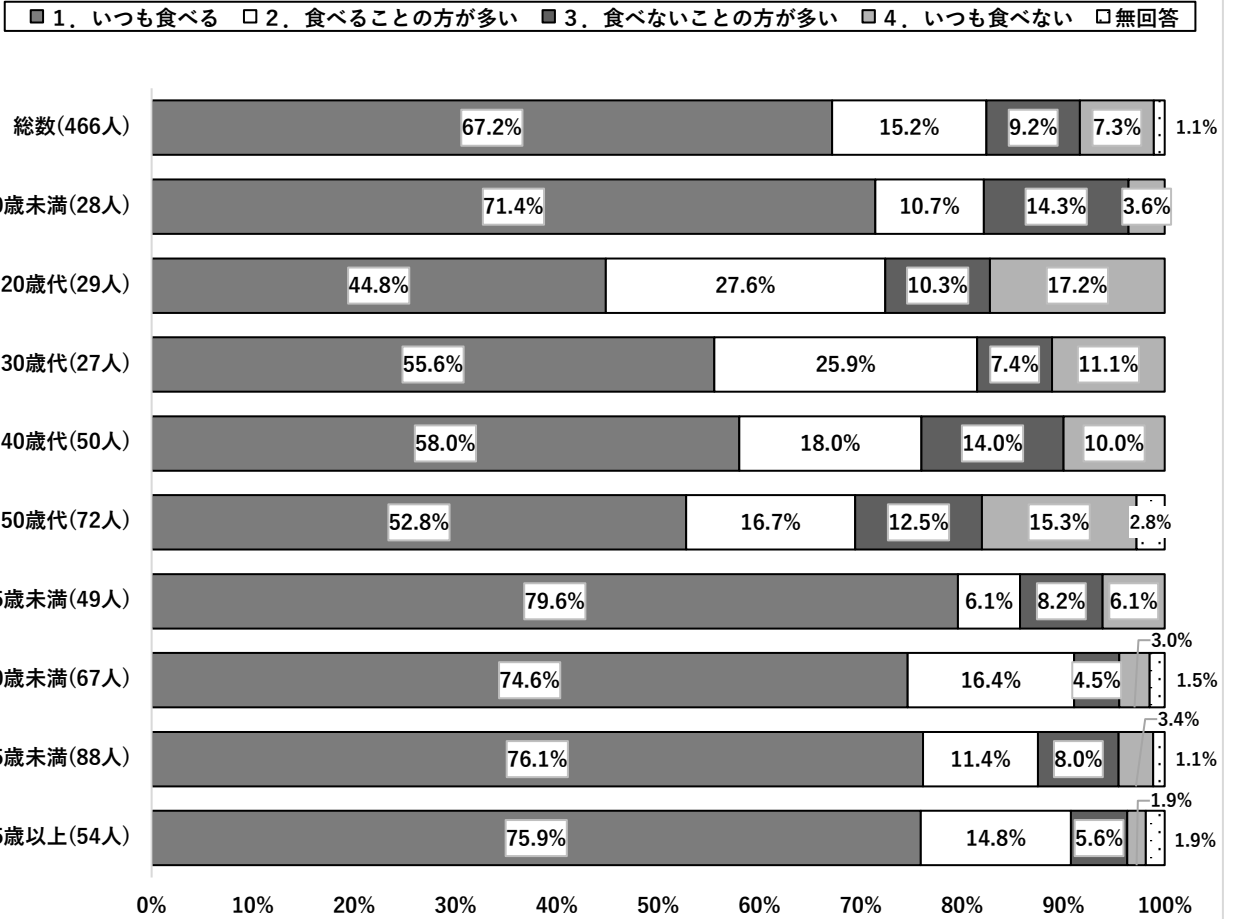
朝食については、「いつも食べる」が 68.9%と最も高く、次に「食べる方が多い」が 14.6%、「食べないことの方が多い」が 10.2%となります。



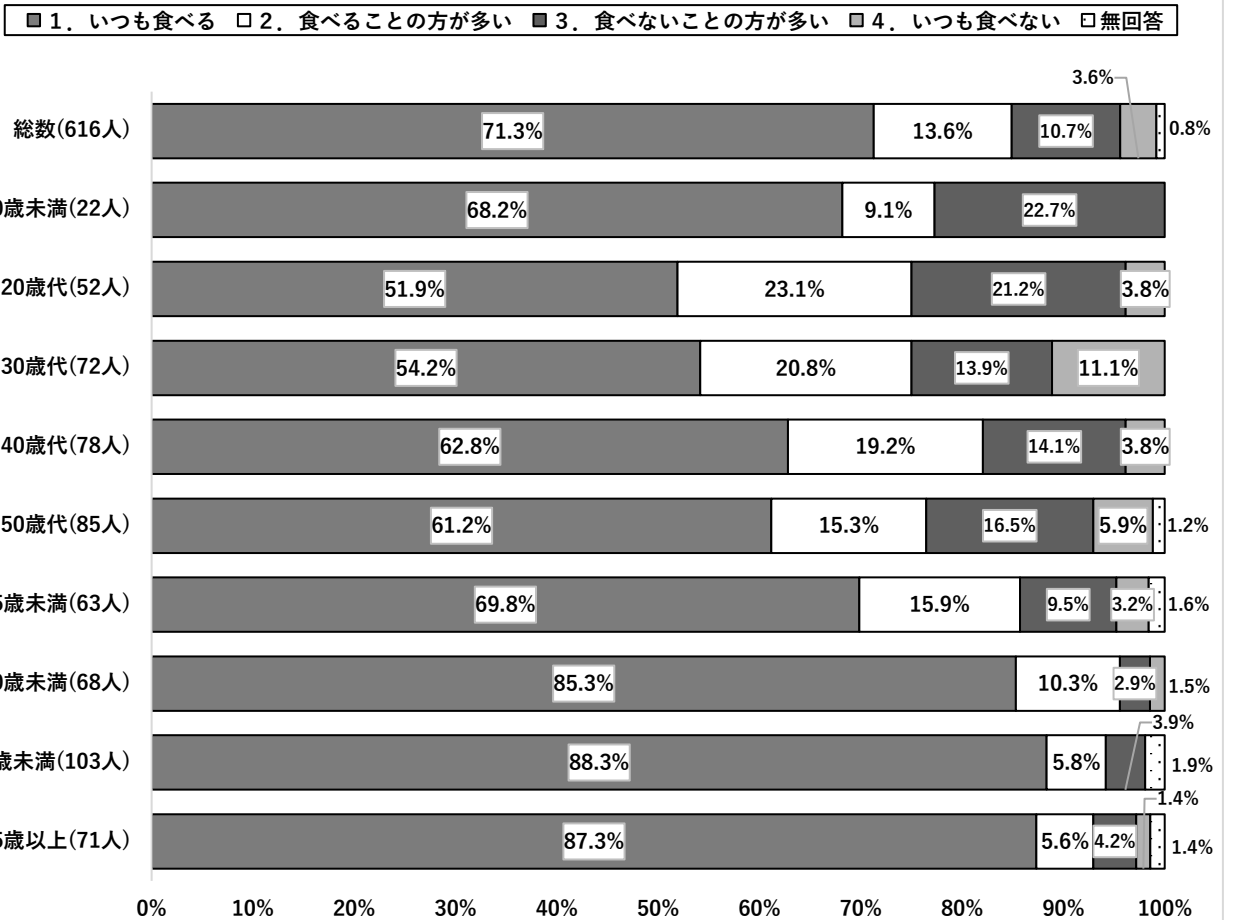
性別・年齢層別にみると、「いつも食べる」は、「20歳代」が男女ともに最も低く、「男性」は 44.8%、「女性」は 51.9%となります。また、いずれの性別も「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」についても約 50%～60%程度と割合は低く、「60歳～65歳未満」以上になると、「いつも食べる」の割合が約 70%以上に高くなります。

### 朝食（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性

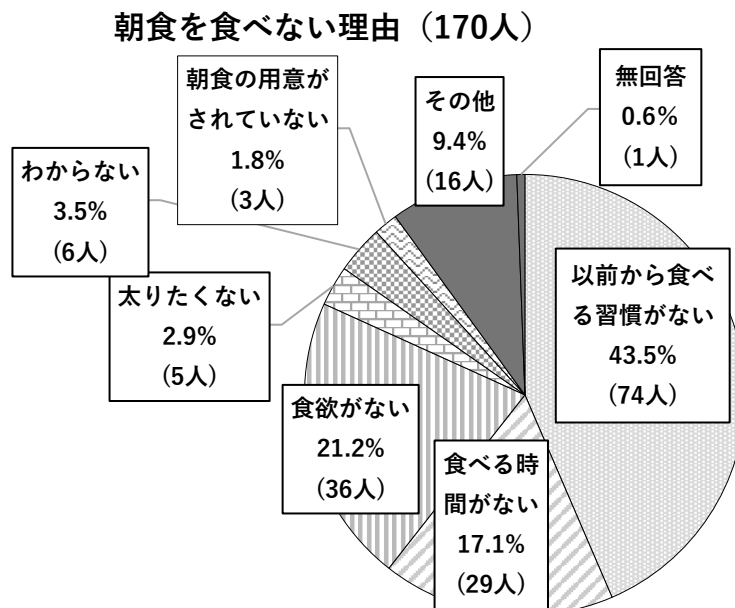


## (2) 朝食を食べない理由（単一回答）

問 20-1. 朝食を食べない主な理由をお答えください。（問 20 で「3.~4.」と答えた方）

「以前から食べる習慣がない」が 43.5%

朝食を食べない理由としては、「以前から食べる習慣がない」が 43.5% と最も高く、次に「食欲がない」が 21.2%、「食べる時間がない」が 17.1%となります。

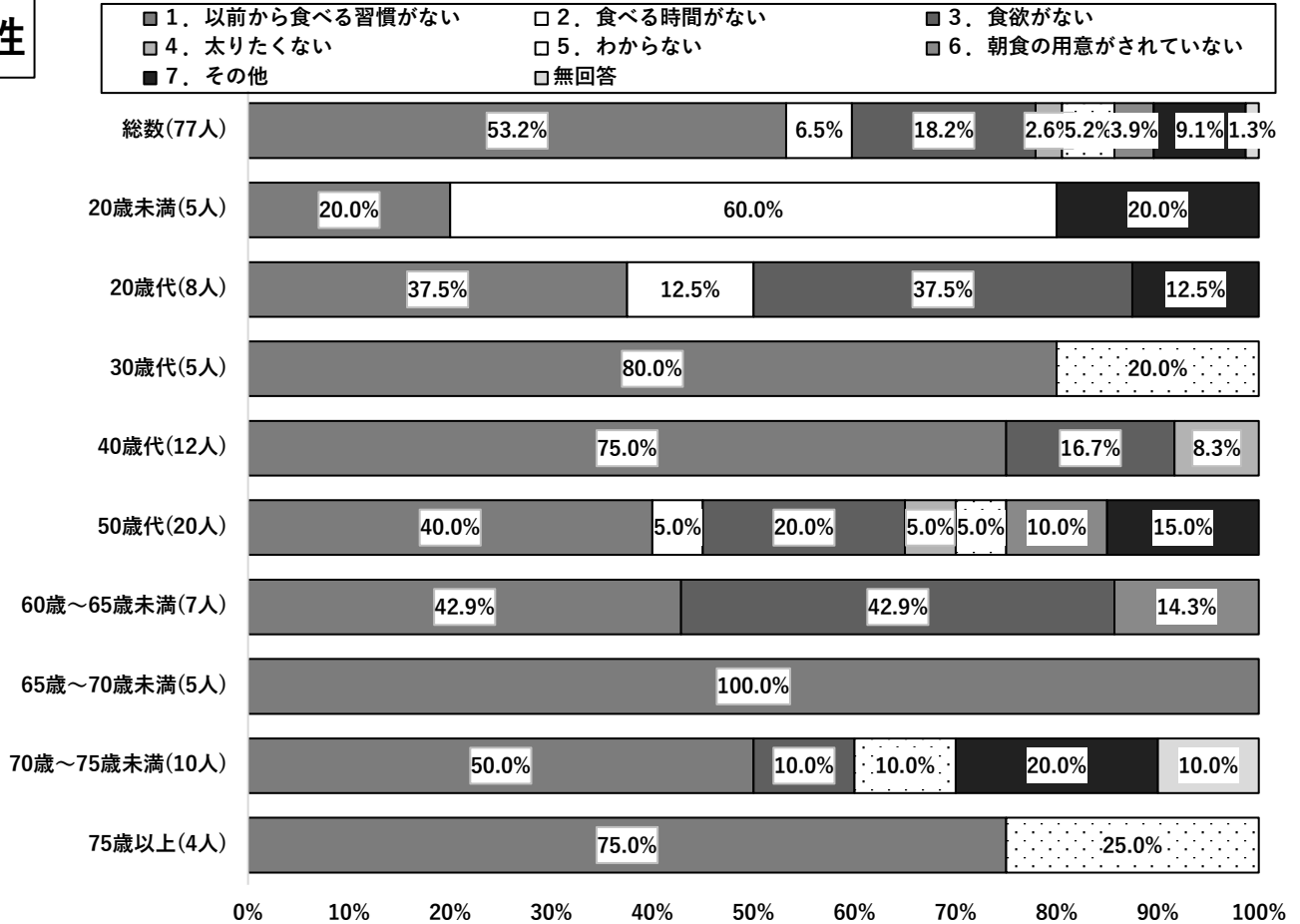


性別・年齢層別にみると、「男性」については、「20 歳未満」を除いて、「以前から食べる習慣がない」の割合がどの年齢層においても高くなっています。「20 歳未満」では、「食べる時間がない」の割合が最も高く、60.0%となっています。

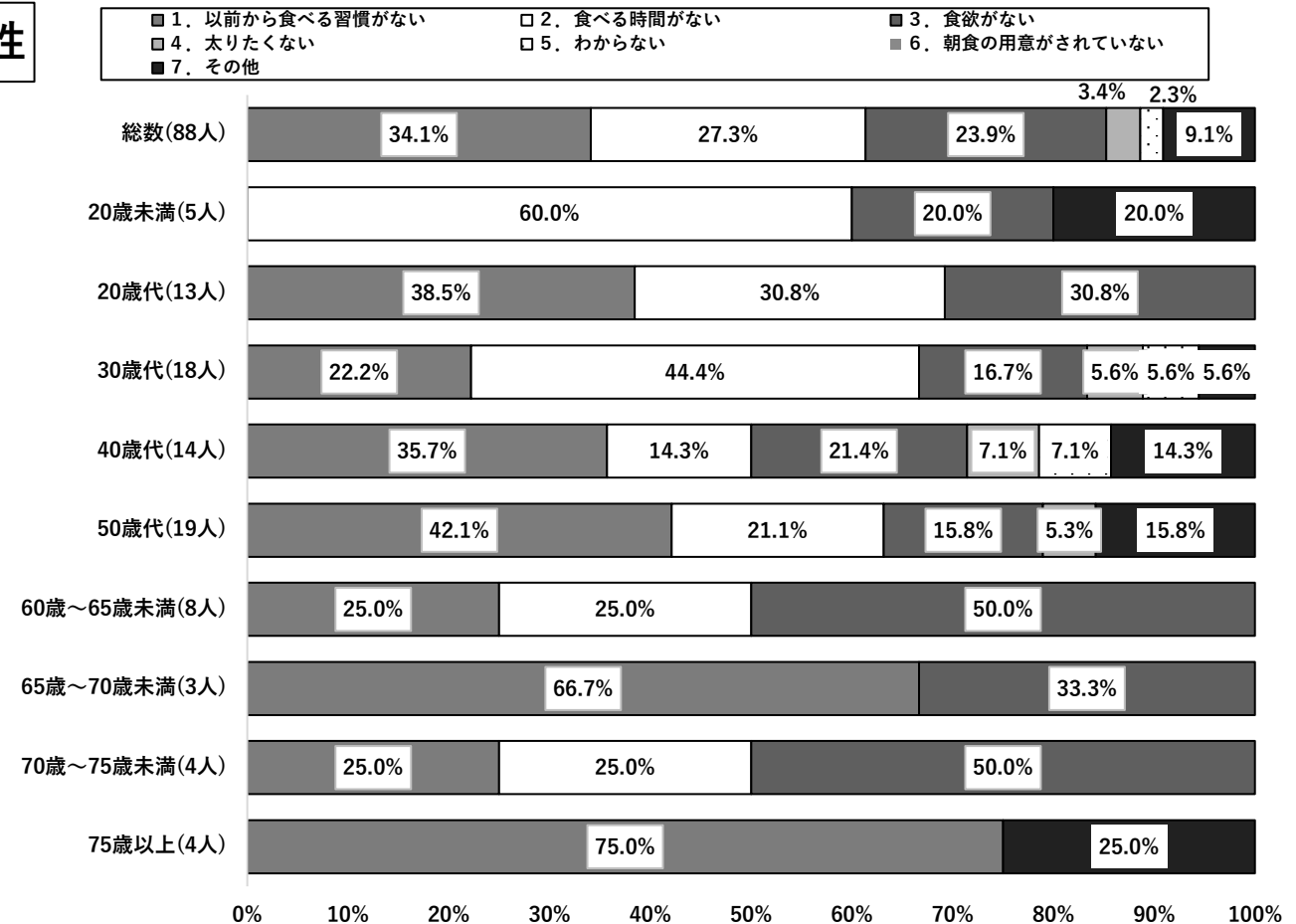
「女性」については、「以前から食べる習慣がない」は「20 歳代」と「50 歳代」を除いてどの年齢層においても「男性」より割合が低くなっており、「男性」より「食べる時間がない」の割合が高くなっています。

### 朝食を食べない理由（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



### (3) 主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度（単一回答）

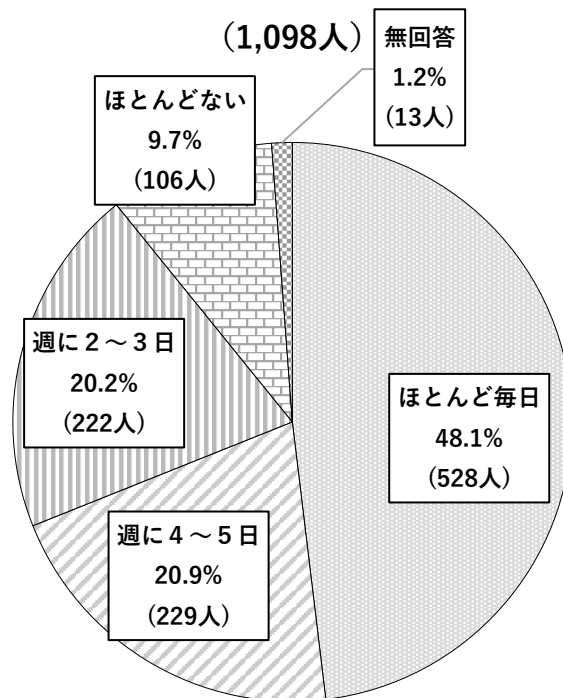
問 21. 1日の中で2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べている日は、週に何日ありますか。

主食の例：ごはん、麺、パン等。主菜の例：焼き魚、目玉焼き、ハンバーグ等。副菜の例：野菜の煮物、あえ物、お浸し、サラダ等。

「ほとんど毎日」が48.1%

主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる頻度については、「ほとんど毎日」が48.1%と最も高く、これに「週に4～5日」の20.9%を合わせると、少なくとも週4日以上が69.0%となります。

主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度

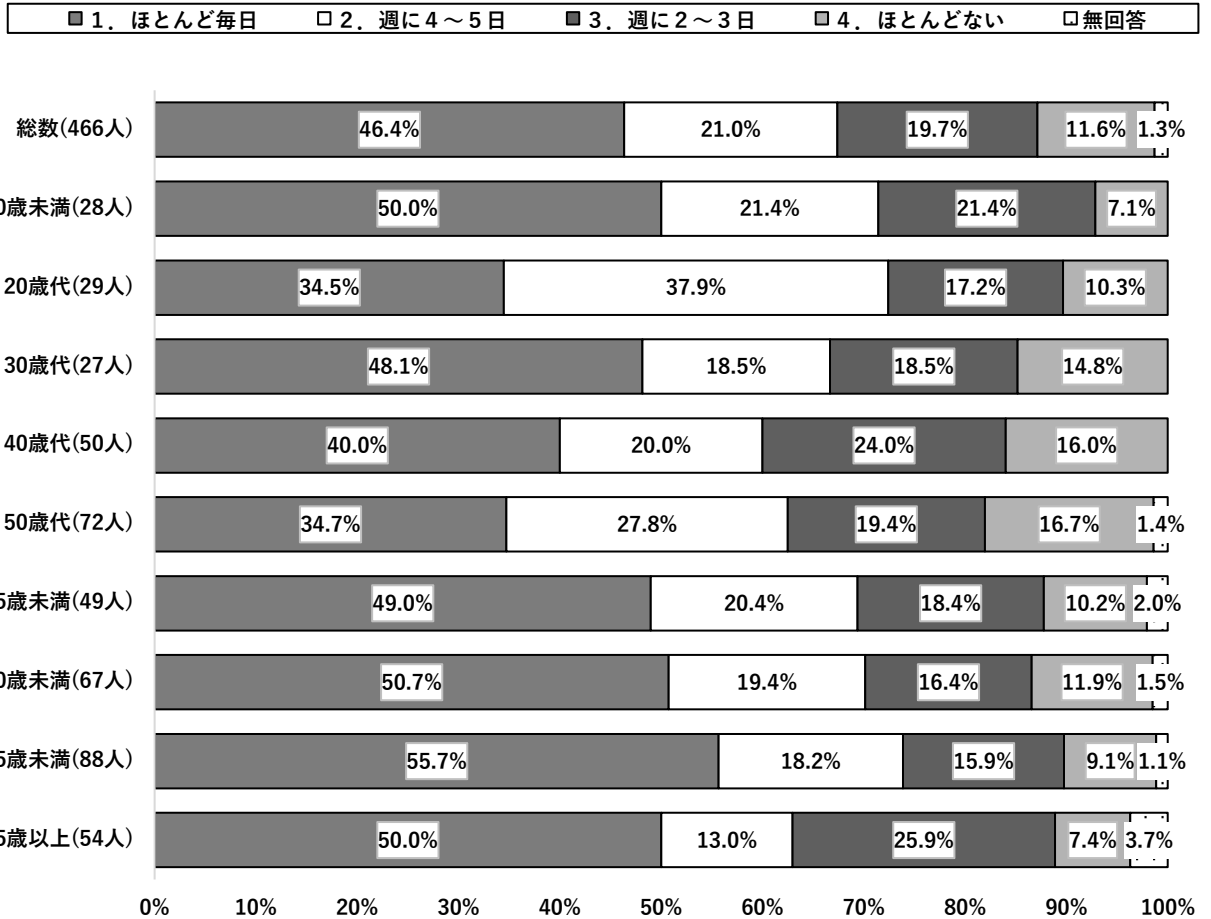


性別・年齢層別にみると、「ほとんど毎日」は、男女とも「20歳代」が最も低く、「70歳～75歳」が最も高くなっており、「男性」は55.7%、「女性」は60.2%となります。

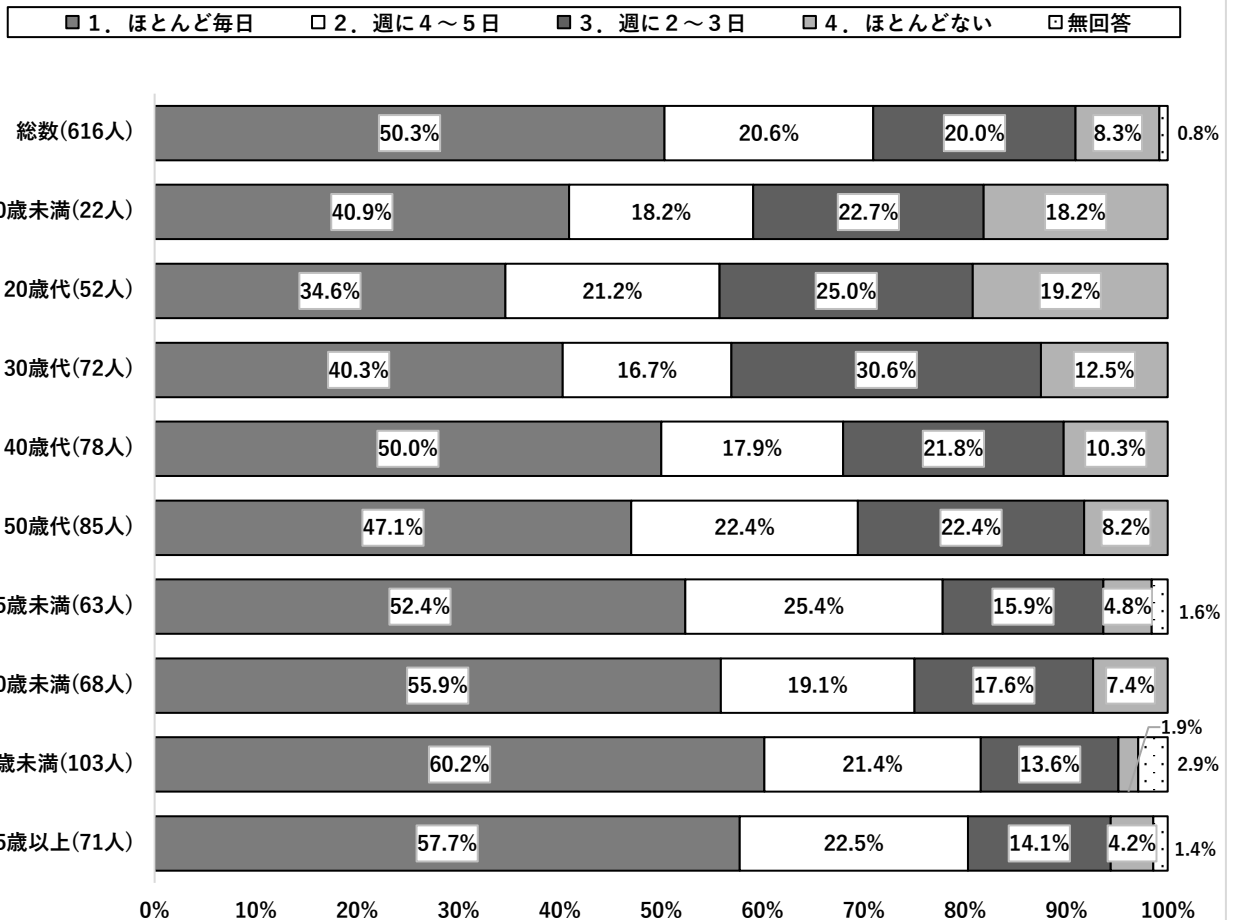


主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度（性別年齢層別）

男性



女性

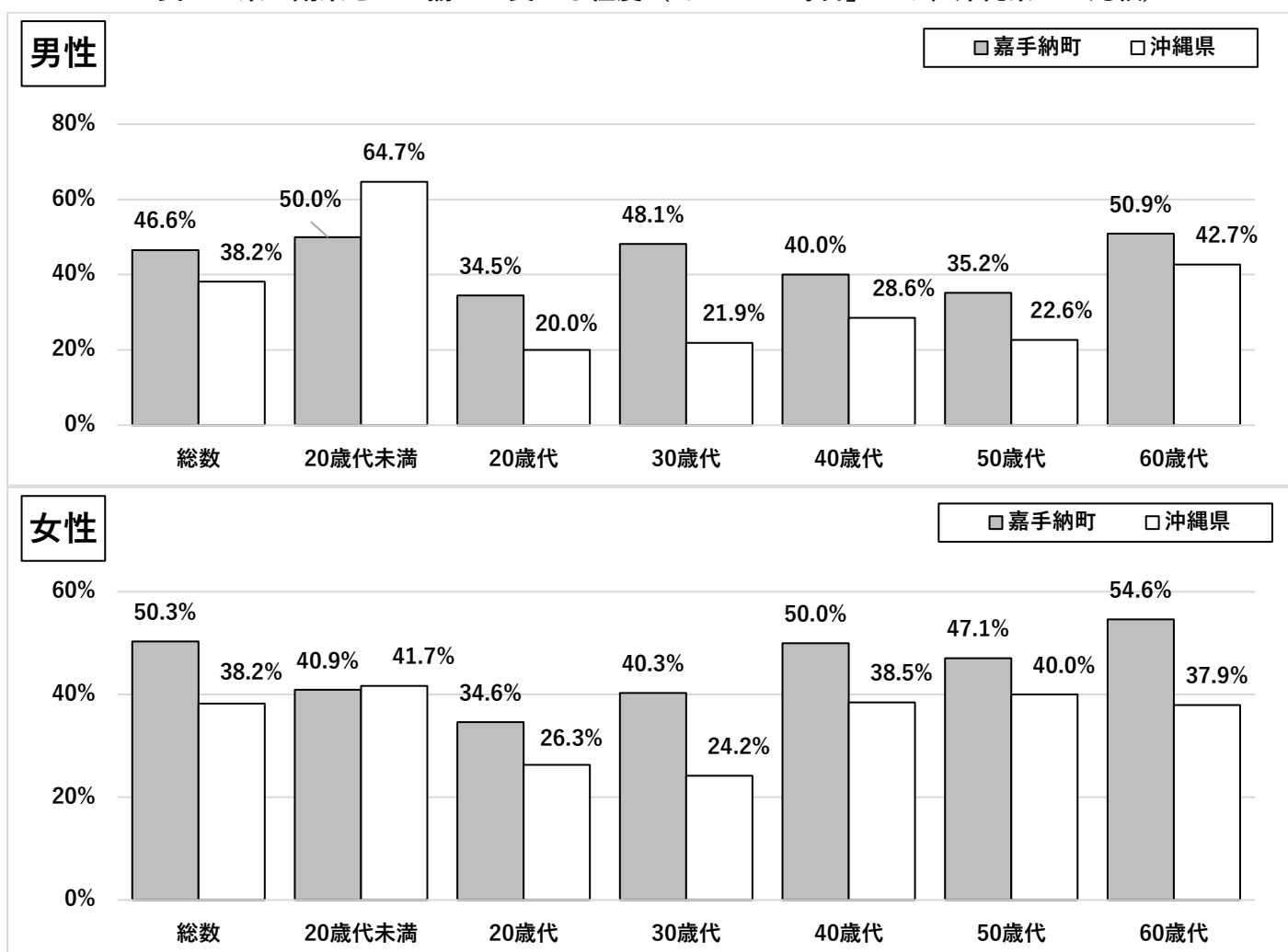


沖縄県のデータと比較すると、男女ともに概ねどの年齢層でも「ほとんど毎日」と回答する割合が沖縄県のデータを上回っており、「ほとんどない」と回答する割合が沖縄県のデータを下回っています。

### 主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度（沖縄県との比較）

		20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	28人		29人		27人		50人		71人		114人	
	ほとんど毎日	50.0%	64.7%	34.5%	20.0%	48.1%	21.9%	40.0%	28.6%	35.2%	22.6%	50.9%	42.7%
	週に4～5日	21.4%	23.5%	37.9%	26.7%	18.5%	21.9%	20.0%	16.1%	28.2%	28.3%	20.2%	27.0%
	週に2～3日	21.4%	0.0%	17.2%	40.0%	18.5%	37.5%	24.0%	48.2%	19.7%	28.3%	17.5%	15.7%
	ほとんどない	7.1%	11.8%	10.3%	13.3%	14.8%	18.8%	16.0%	7.1%	16.9%	20.8%	11.4%	14.6%
女性	総回答実数	22人		52人		72人		78人		85人		130人	
	ほとんど毎日	40.9%	41.7%	34.6%	26.3%	40.3%	24.2%	50.0%	38.5%	47.1%	40.0%	54.6%	37.9%
	週に4～5日	18.2%	16.7%	21.2%	28.9%	16.7%	32.3%	17.9%	20.0%	22.4%	25.3%	22.3%	37.9%
	週に2～3日	22.7%	33.3%	25.0%	23.7%	30.6%	24.2%	21.8%	27.7%	22.4%	25.3%	16.9%	19.5%
	ほとんどない	18.2%	8.3%	19.2%	21.1%	12.5%	19.4%	10.3%	13.8%	8.2%	9.3%	6.2%	4.6%

### 主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度（「ほとんど毎日」のみ、沖縄県との比較）

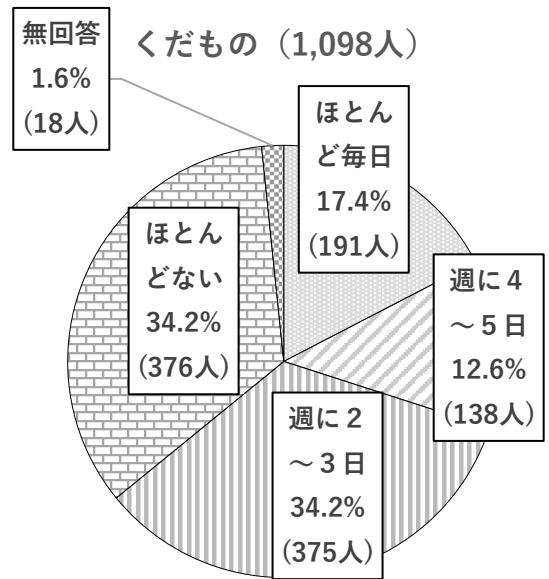


#### (4) くだもの（単一回答）

問 22. くだものを食べる日は1週間に何日ありますか。

「ほとんどない」が34.2%

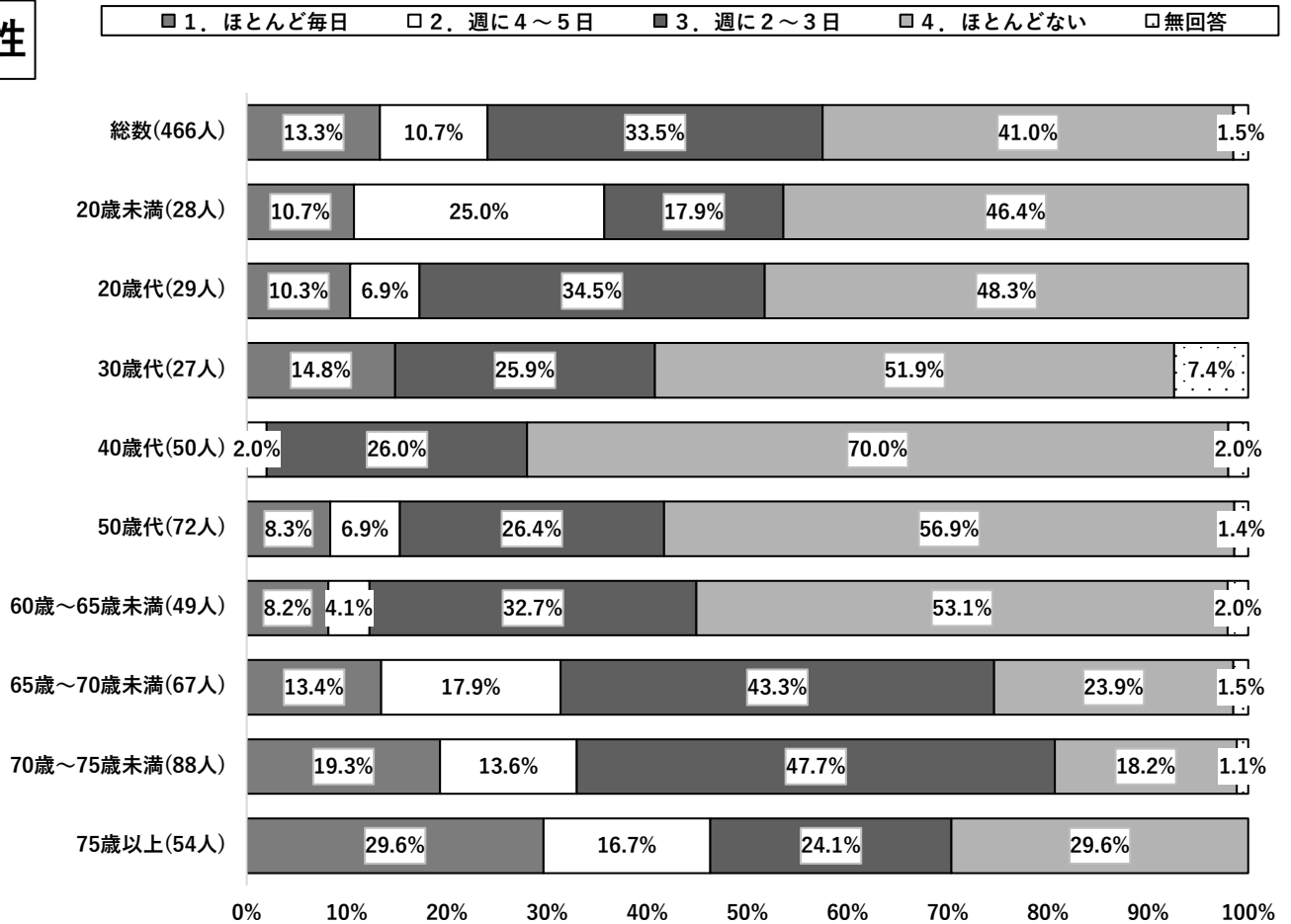
くだものを食べることについては、「ほとんどない」が34.2%（376人）と最も高く、次に「週2～3日」が34.2%（375人）となります。



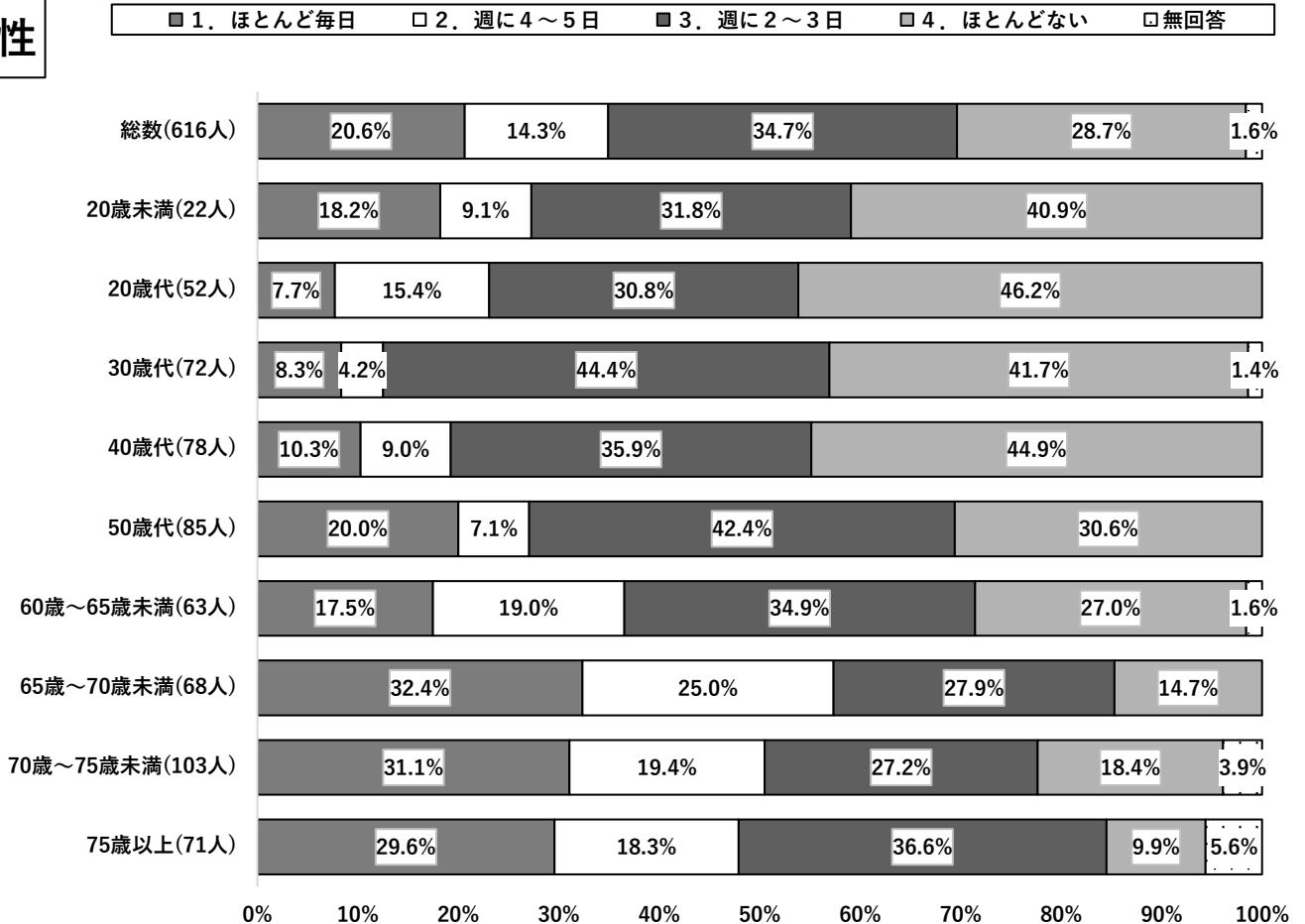
性別・年齢層別にみると、「ほとんどない」は、「男性」では「40歳代」が70.0%と最も高く、「40歳代」を境に年齢層が低いほど、また、年齢層が高いほど割合は低くなります。特に「65歳～70歳未満」と「70歳～75歳未満」では大きく低下します。「女性」では「20歳代」が46.2%と最も高く、「75歳以上」では9.9%となり、最も低くなっています。

くだもの（性別年齢層別）

男性



女性

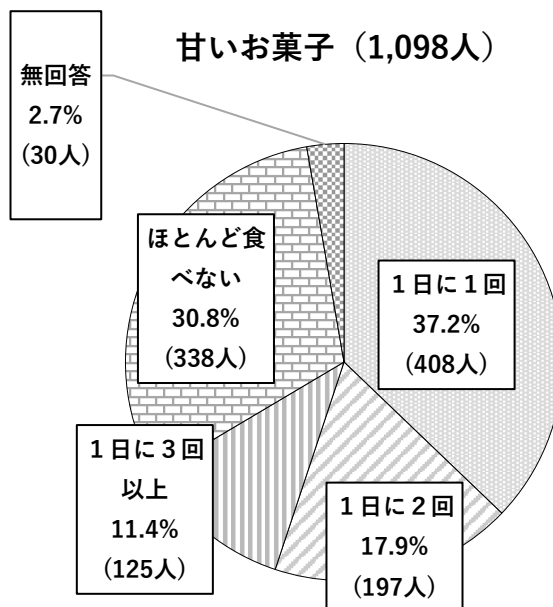


### (5) 甘いお菓子（単一回答）

問 23. 甘いお菓子（ガム・飴・グミ等）を1日のうちどれくらい食べますか。

「1日に1回」が37.2%

甘いお菓子を食べることについては、「1日に1回」が37.2%と最も高く、次に「ほとんど食べない」が30.8%となります。

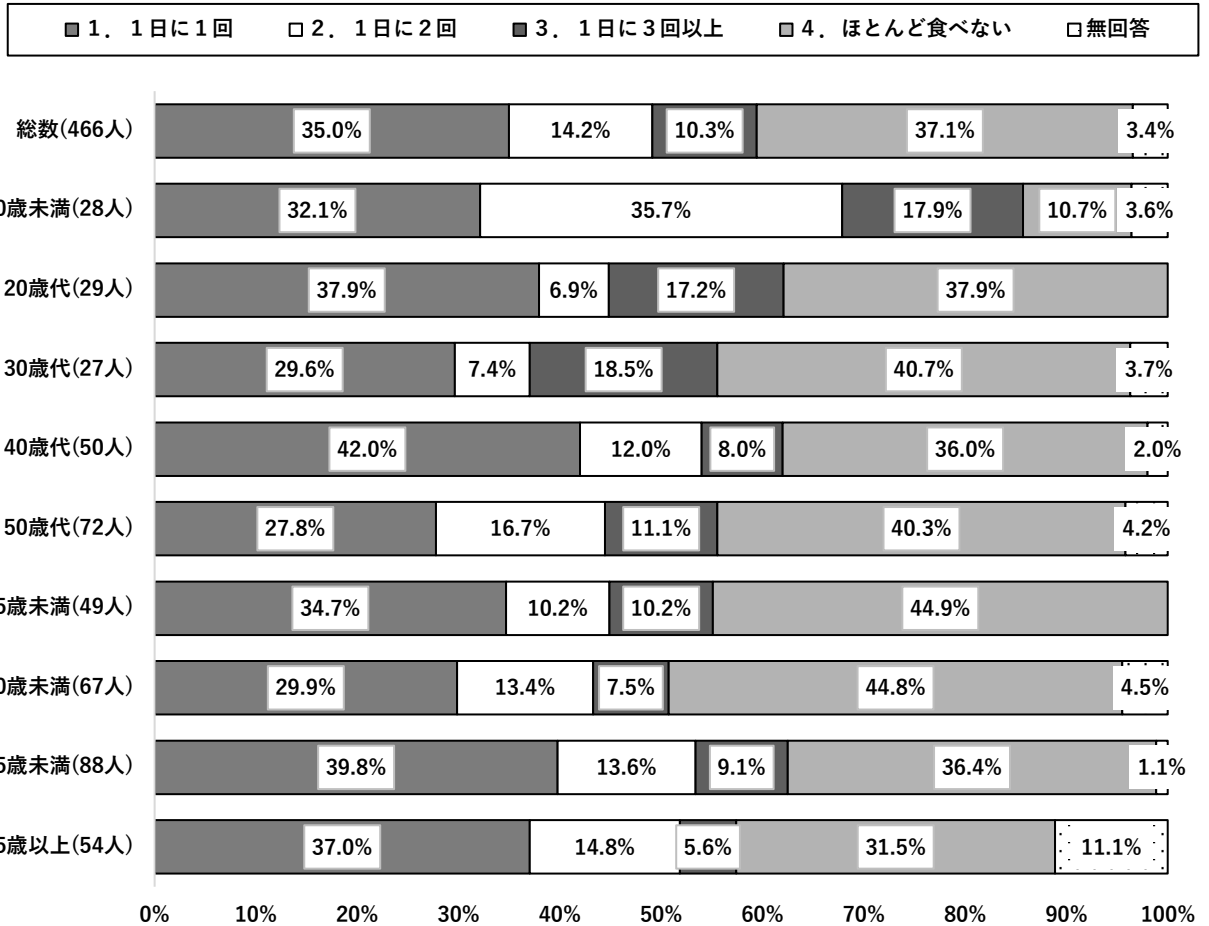


性別・年齢層別にみると、「1日に3回以上」は、男女ともに「30歳代」が最も高く、「男性」では18.5%、「女性」では19.4%となります。「男性」では年齢層が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。

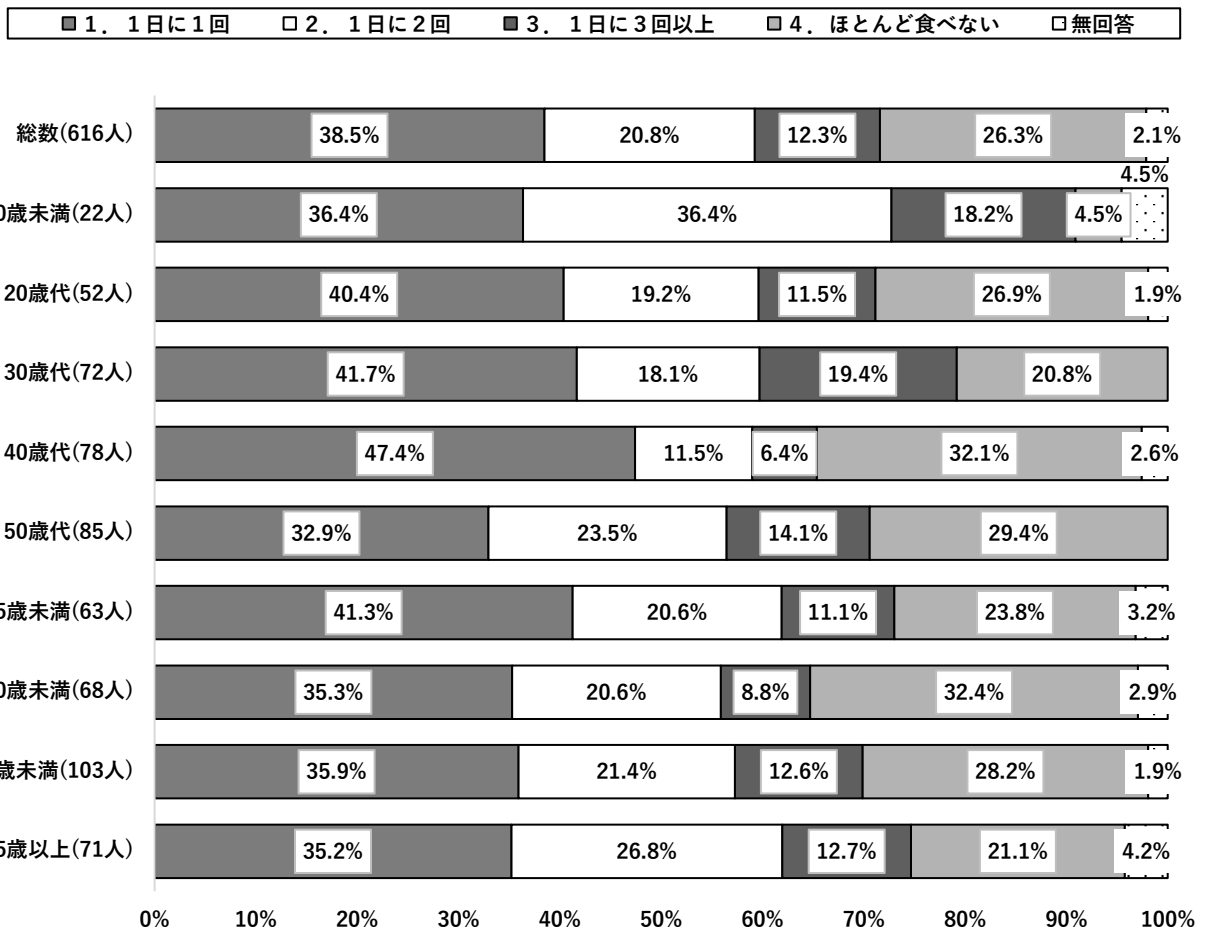
「ほとんど食べない」は、男女ともに「20歳未満」が最も低く、「男性」では10.7%、「女性」では4.5%となります。「20歳代」以上の各年齢層では、「ほとんど食べない」と回答した「男性」の割合は約40%、「女性」は約20～30%で、どの年齢層でも「男性」のほうが「女性」より高くなっています。

### 甘いお菓子（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性

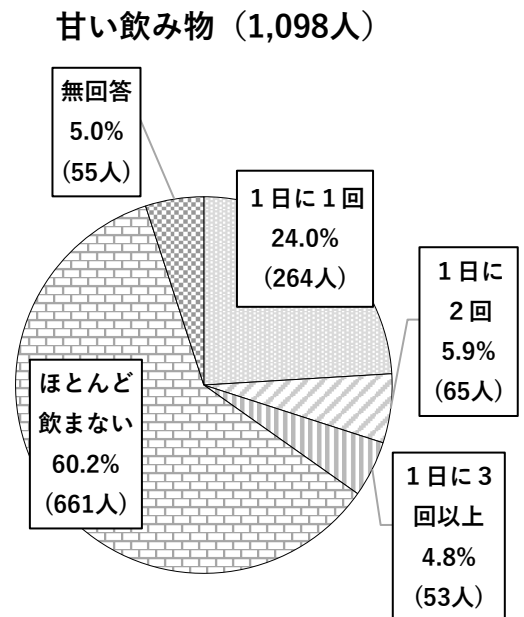


## (6) 甘い飲み物（単一回答）

問 23. 甘い飲み物（ジュース等）を1日のうちどれくらい飲みますか。

「ほとんど飲まない」が60.2%

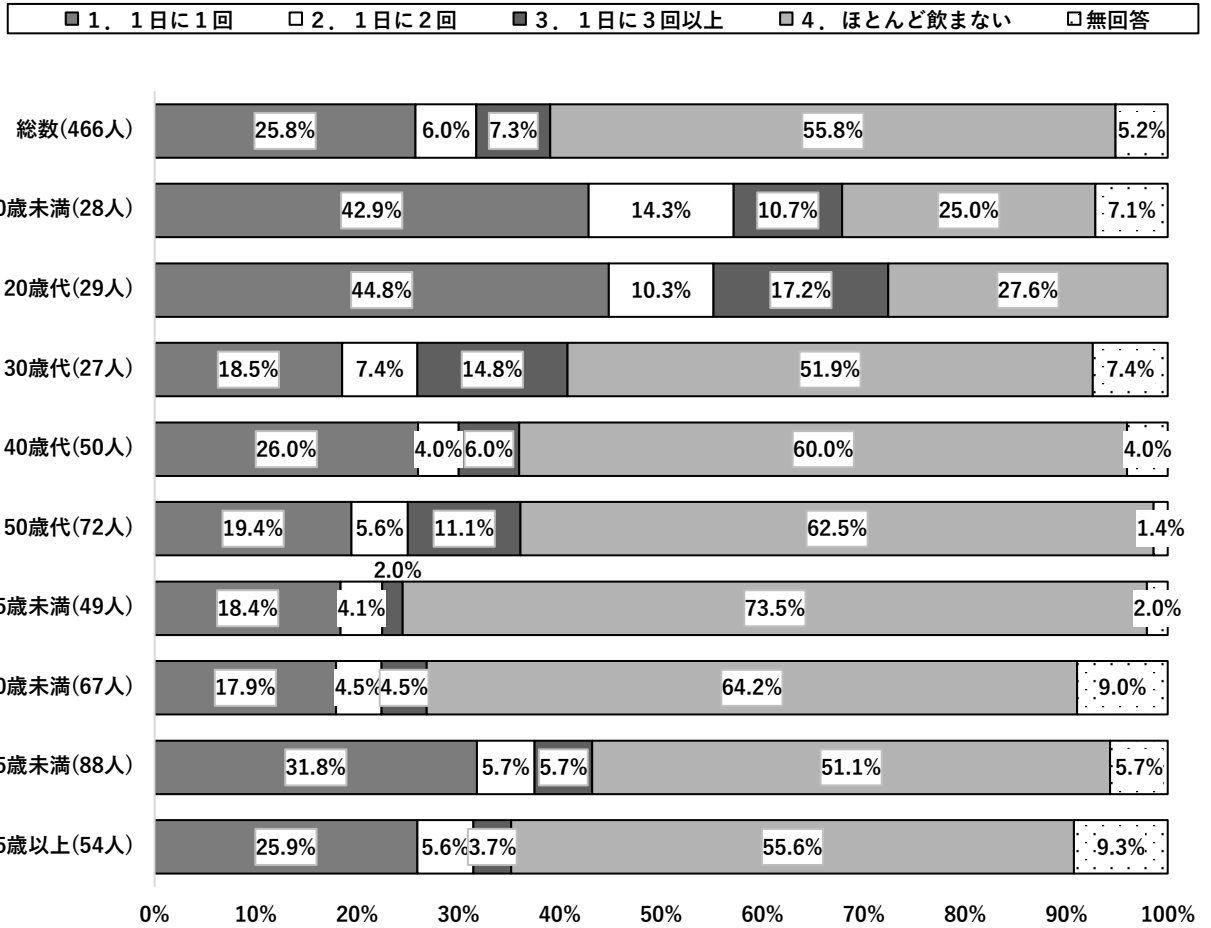
甘い飲み物を飲むことについては、「ほとんど飲まない」が60.2%と最も高く、次に「1日に1回」が24.0%となります。



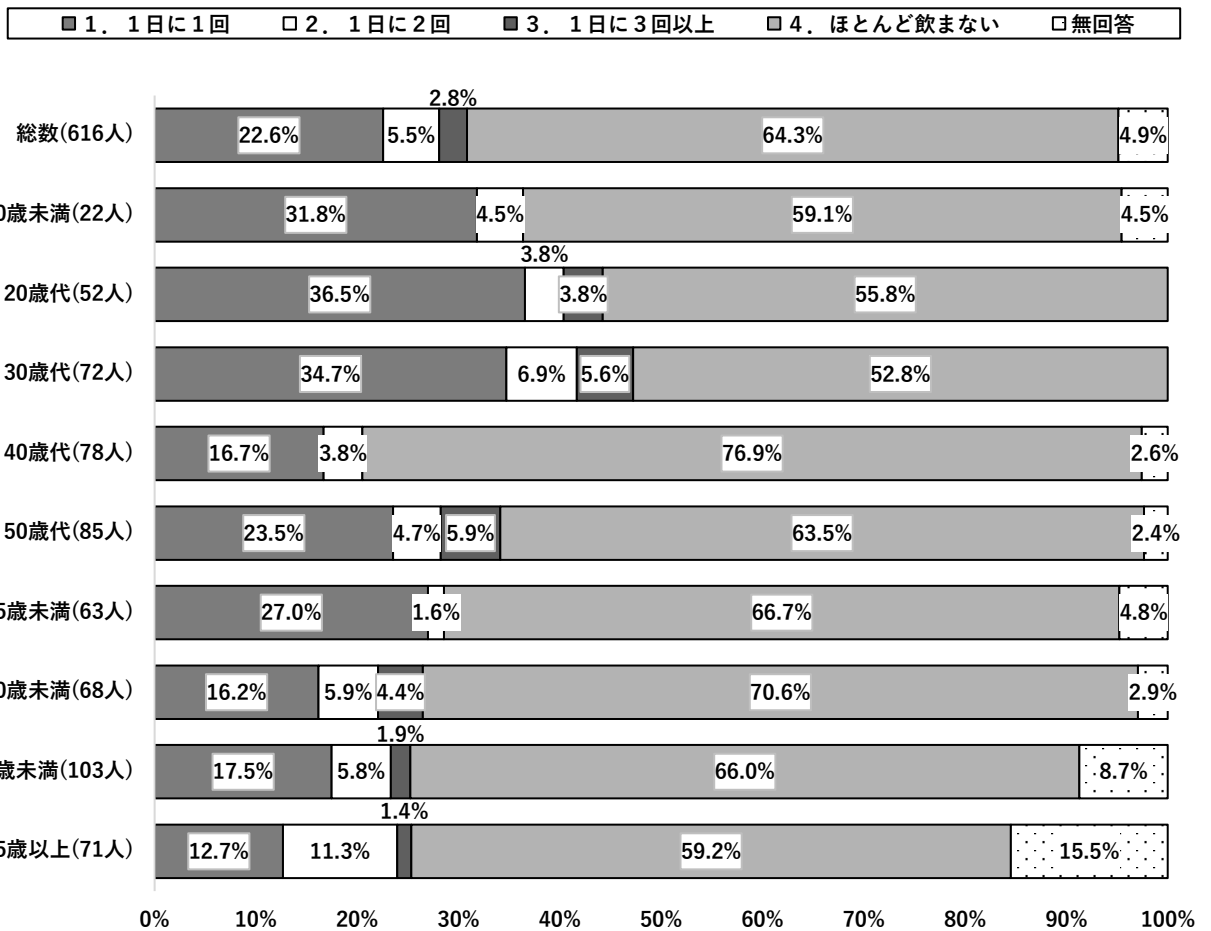
性別・年齢層別にみると、「1日に3回以上」は、「女性」より「男性」の方が高い傾向にあり、「男性」の「20歳代」は17.2%となっており、特に高くなっています。また、「ほとんど飲まない」は「男性」では「60歳～65歳未満」や「65歳～70歳未満」、「女性」では「40歳代」や「65歳～70歳未満」で高くなっています。

### 甘い飲み物（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



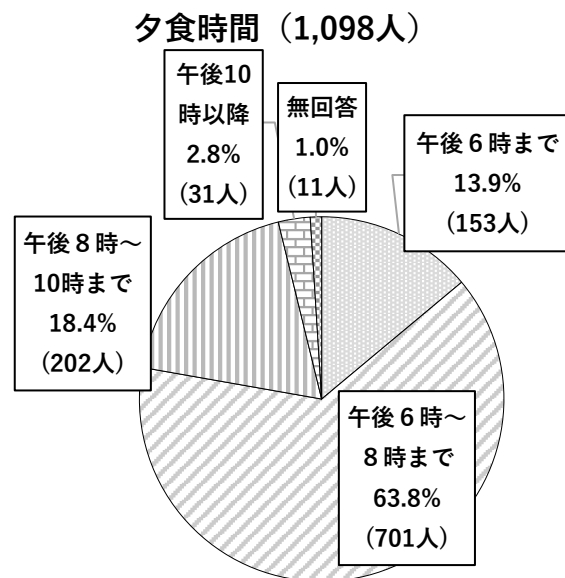


## (7) 夕食の時間 (単一回答)

問 24. 普段の夕食は何時頃ですか。

「午後 6 時～8 時まで」が 63.8%

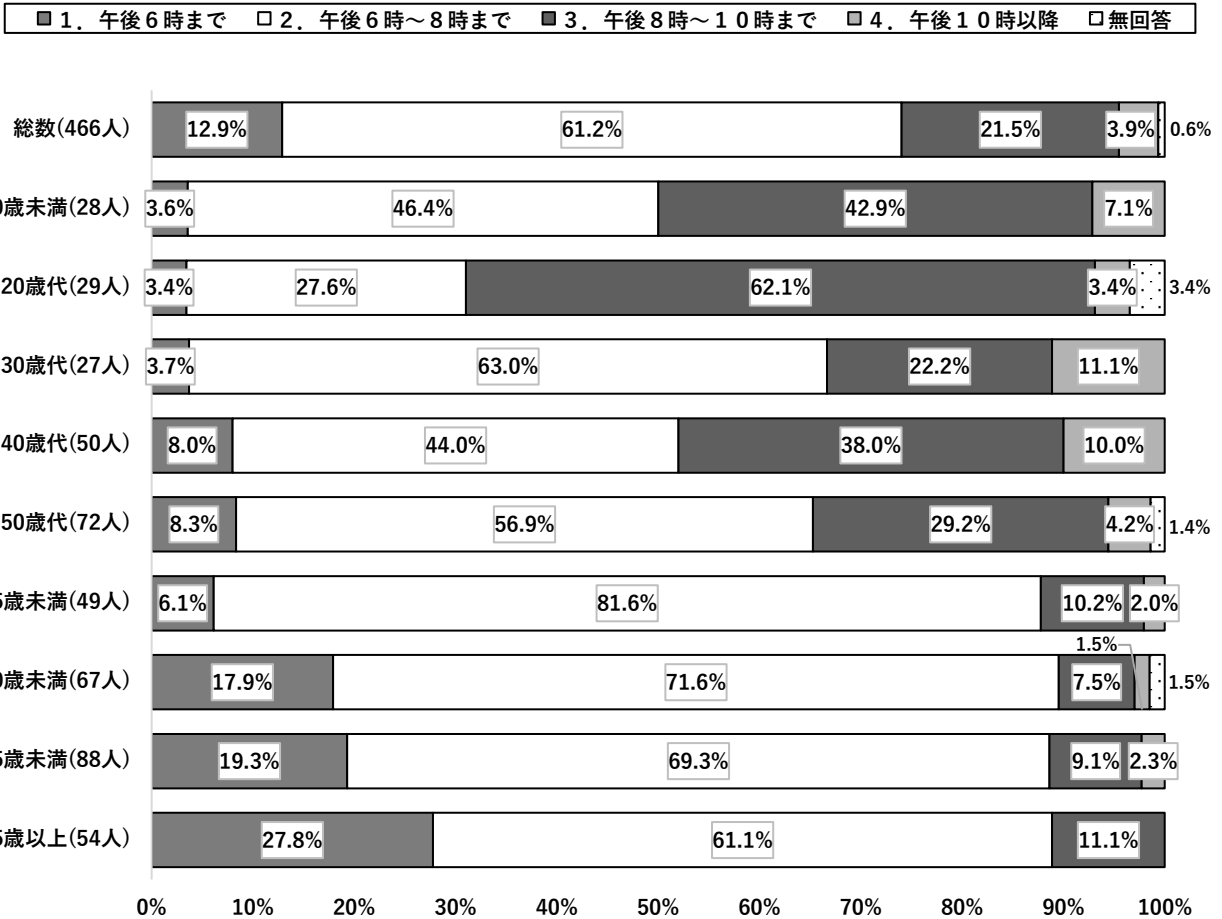
普段の夕食時間については、「午後 6 時～8 時まで」が 63.8%と最も高く、「午後 10 時以降」が 2.8%と最も低くなります。



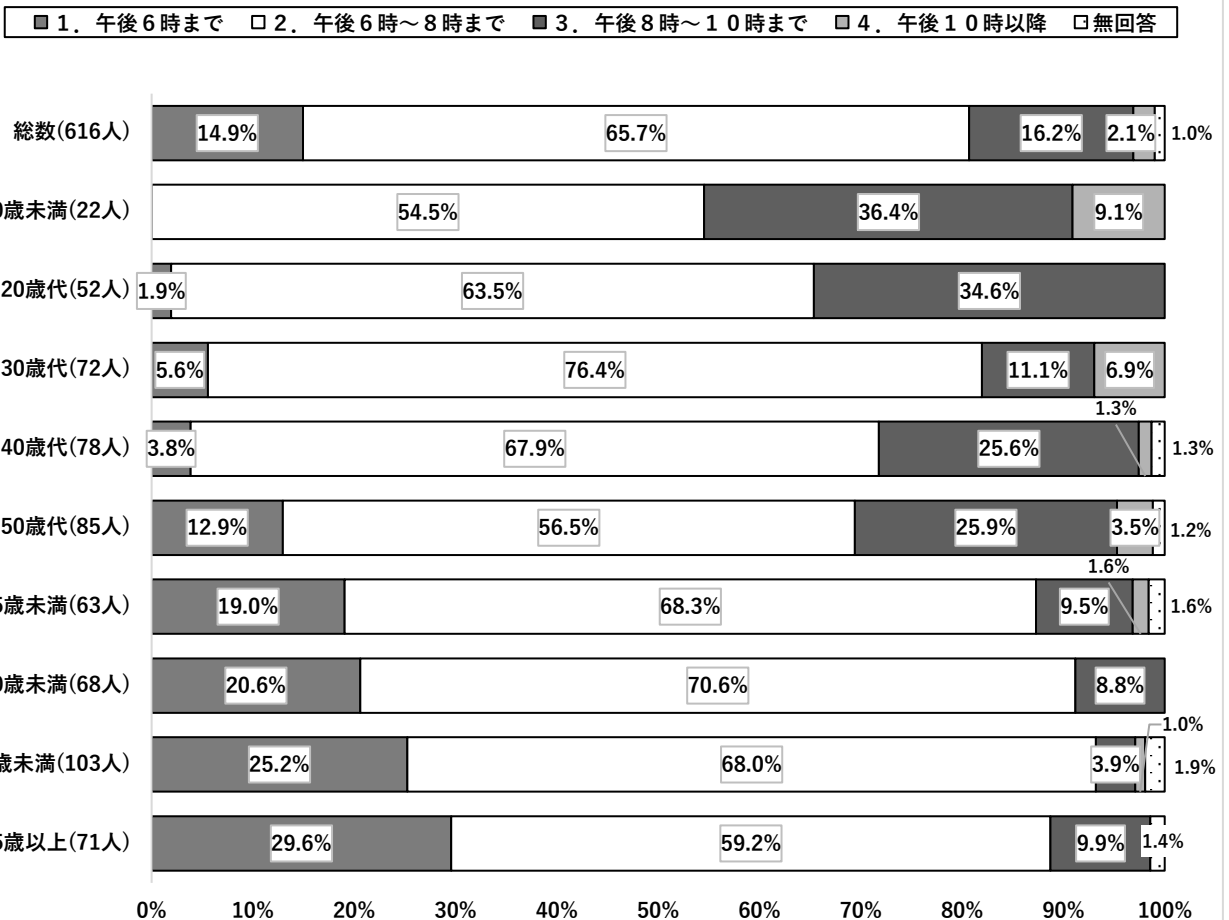
性別・年齢層別にみると、「午後 8 時～10 時まで」は、「男性」では 60 歳代以上の年齢層では 10%程度ですが、それ以下の年齢層では高くなっており、「20 歳代」は 62.1%、「20 歳未満」は 42.9%になっています。また、ほとんどの年齢層で「男性」のほうが「女性」より高くなっています。「午後 6 時まで」は、男性は「65 歳～70 歳未満」、女性は「50 歳代」以降から増加傾向にあり、「75 歳以上」が最も高くなっています。

### 夕食の時間（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



沖縄県のデータと比較すると、男性は 30 歳代及び 60 歳代を除いて「午後 6 時～午後 8 時まで」に夕食を取る割合が沖縄県のデータよりも低く、代わりに「午後 8 時～午後 10 時まで」に夕食を取る割合が高くなっています。

女性は概ね分布の形は沖縄県と一致しているものの、20 歳代未満においてのみ、沖縄県は「午後 8 時～午後 10 時まで」に夕食を取る割合が最大になっている一方で、「午後 6 時～午後 8 時まで」に夕食を取る割合が最大になっています。

**夕食の時間（沖縄県との比較）**

		20 歳代未満		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	28 人		28 人		27 人		50 人		71 人		115 人	
	午後 6 時まで	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	3.7%	0.0%	8.0%	7.0%	8.5%	9.4%	13.0%	7.7%
	午後 6 時～8 時まで	46.4%	64.7%	28.6%	43.3%	63.0%	56.3%	44.0%	63.2%	57.7%	71.7%	76.5%	70.3%
	午後 8 時～10 時まで	42.9%	23.5%	64.3%	50.0%	22.2%	37.5%	38.0%	26.3%	29.6%	17.0%	8.7%	20.9%
	午後 10 時以降	7.1%	11.8%	3.6%	6.7%	11.1%	6.3%	10.0%	3.5%	4.2%	1.9%	1.7%	1.1%
女性	総回答実数	22 人		52 人		72 人		77 人		84 人		130 人	
	午後 6 時まで	0.0%	0.0%	1.9%	2.6%	5.6%	4.8%	3.9%	4.5%	13.1%	8.1%	20.0%	11.6%
	午後 6 時～8 時まで	54.5%	41.7%	63.5%	52.6%	76.4%	67.7%	68.8%	68.7%	57.1%	67.6%	70.0%	74.4%
	午後 8 時～10 時まで	36.4%	50.0%	34.6%	34.2%	11.1%	24.2%	26.0%	25.4%	26.2%	23.0%	9.2%	12.8%
	午後 10 時以降	9.1%	8.3%	0.0%	10.5%	6.9%	3.2%	1.3%	1.5%	3.6%	1.4%	0.8%	1.2%

**(8) 夕食後の間食（単一回答）**

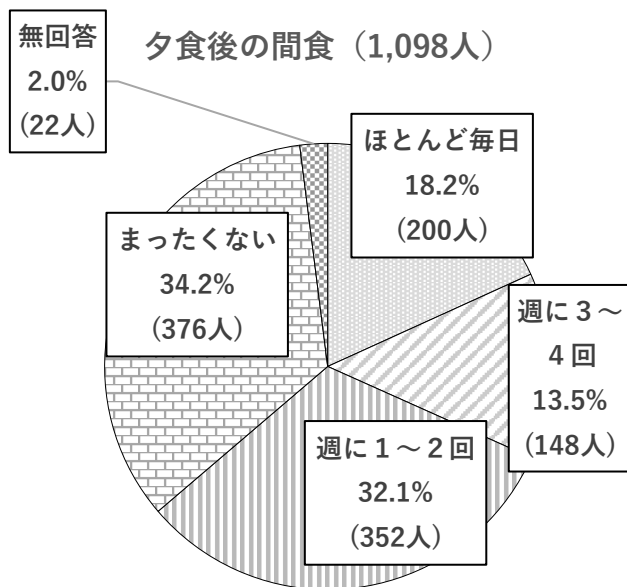
問 25. 普段夕食後に飲食をしますか。

「まったくない」が 34.2%

夕食後の飲食については、「まったくない」が 34.2%と最も高くなっています。夕食後に飲食をすると回答した人の頻度については、「週に 1～2 回」が 32.1%、「週に 3～4 回」が 13.5%、「ほとんど毎日」が 18.2%となっています。

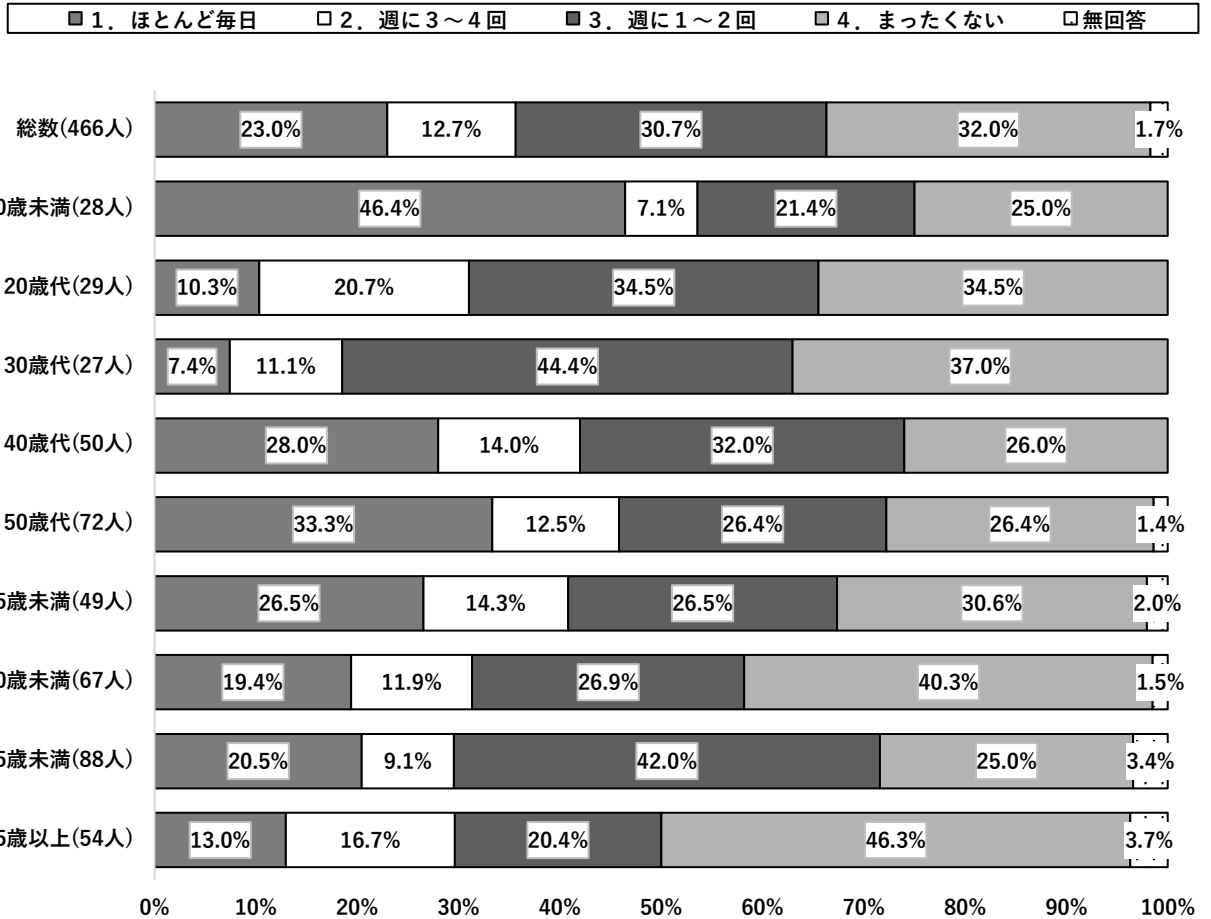
性別・年齢層別にみると、「ほとんど毎日」は、男女ともに「20 歳未満」で最も高く、「男性」は 46.4%、「女性」は 27.3%となっています。

また、女性は「50 歳代」以降、年齢層が高くなるほど「まったくない」が高くなる傾向にあります。

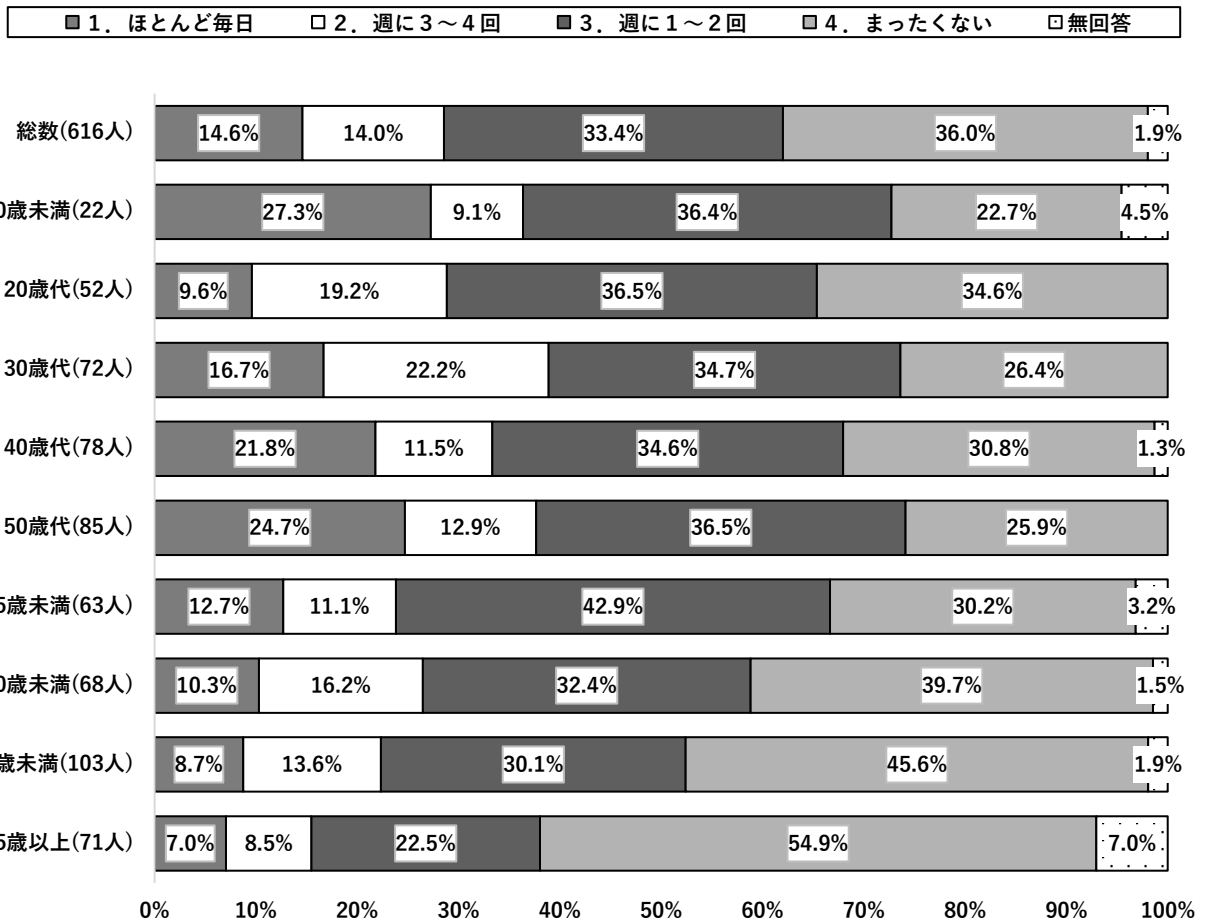


### 夕食後の間食（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



沖縄県のデータと比較すると、男女ともに20歳代未満は「まったくない」と回答している割合が沖縄県のデータを下回っていますが、男性の場合20歳代以降は概ねどの年齢においても「まったくない」と回答する割合が沖縄県を上回っています。

### 夕食後の間食（沖縄県との比較）

		20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	28人		29人		27人		50人		71人		114人	
	ほとんど毎日	46.4%	23.5%	10.3%	16.7%	7.4%	37.5%	28.0%	29.8%	33.8%	26.4%	22.8%	28.6%
	週に3～4回	7.1%	5.9%	20.7%	16.7%	11.1%	15.6%	14.0%	19.3%	12.7%	24.5%	13.2%	15.4%
	週に1～2回	21.4%	29.4%	34.5%	43.3%	44.4%	18.8%	32.0%	29.8%	26.8%	26.4%	27.2%	28.6%
	まったくない	25.0%	41.2%	34.5%	23.3%	37.0%	28.1%	26.0%	21.1%	26.8%	22.6%	36.8%	27.5%
女性	総回答実数	21人		52人		72人		77人		85人		128人	
	ほとんど毎日	28.6%	16.7%	9.6%	18.4%	16.7%	21.0%	22.1%	26.9%	24.7%	26.0%	11.7%	8.1%
	週に3～4回	9.5%	8.3%	19.2%	15.8%	22.2%	21.0%	11.7%	23.9%	12.9%	9.6%	14.1%	14.0%
	週に1～2回	38.1%	25.0%	36.5%	36.8%	34.7%	40.3%	35.1%	23.9%	36.5%	34.2%	38.3%	39.5%
	まったくない	23.8%	50.0%	34.6%	28.9%	26.4%	17.7%	31.2%	25.4%	25.9%	30.1%	35.9%	38.4%

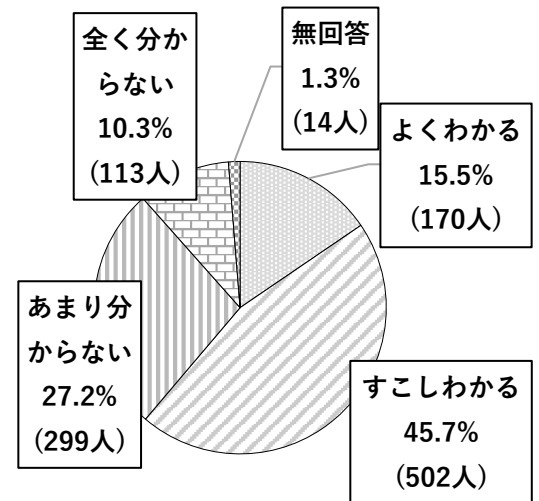
### (9) バランスの良い食事（単一回答）

問 26. 健康を維持するために、自分に適した1食の量とバランスがわかりますか。

「すこしわかる」が45.7%

自分に適した1食の量とバランスについては、「すこしわかる」が45.7%で、これに「よくわかる」の15.5%を合わせると、61.2%となります。

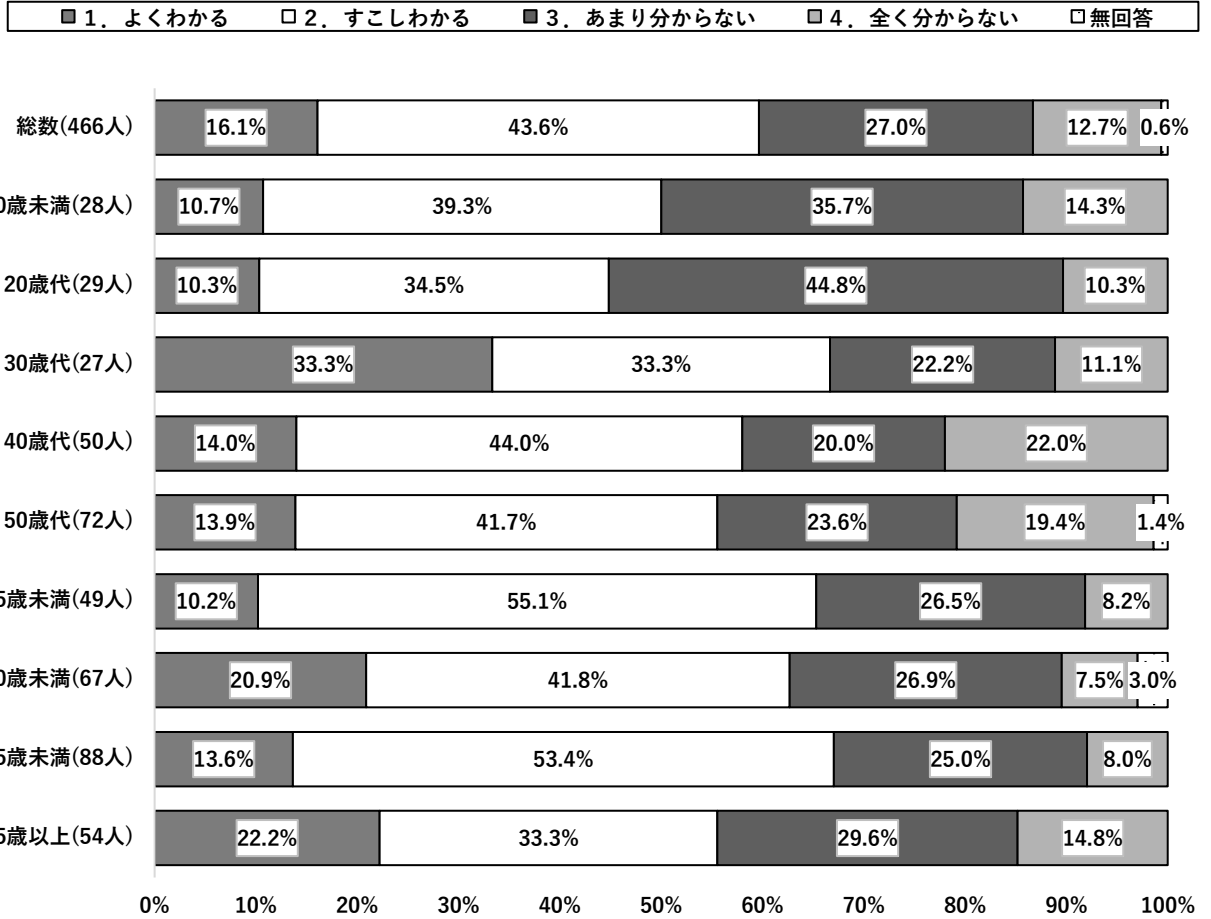
### バランスの良い食事（1,098人）



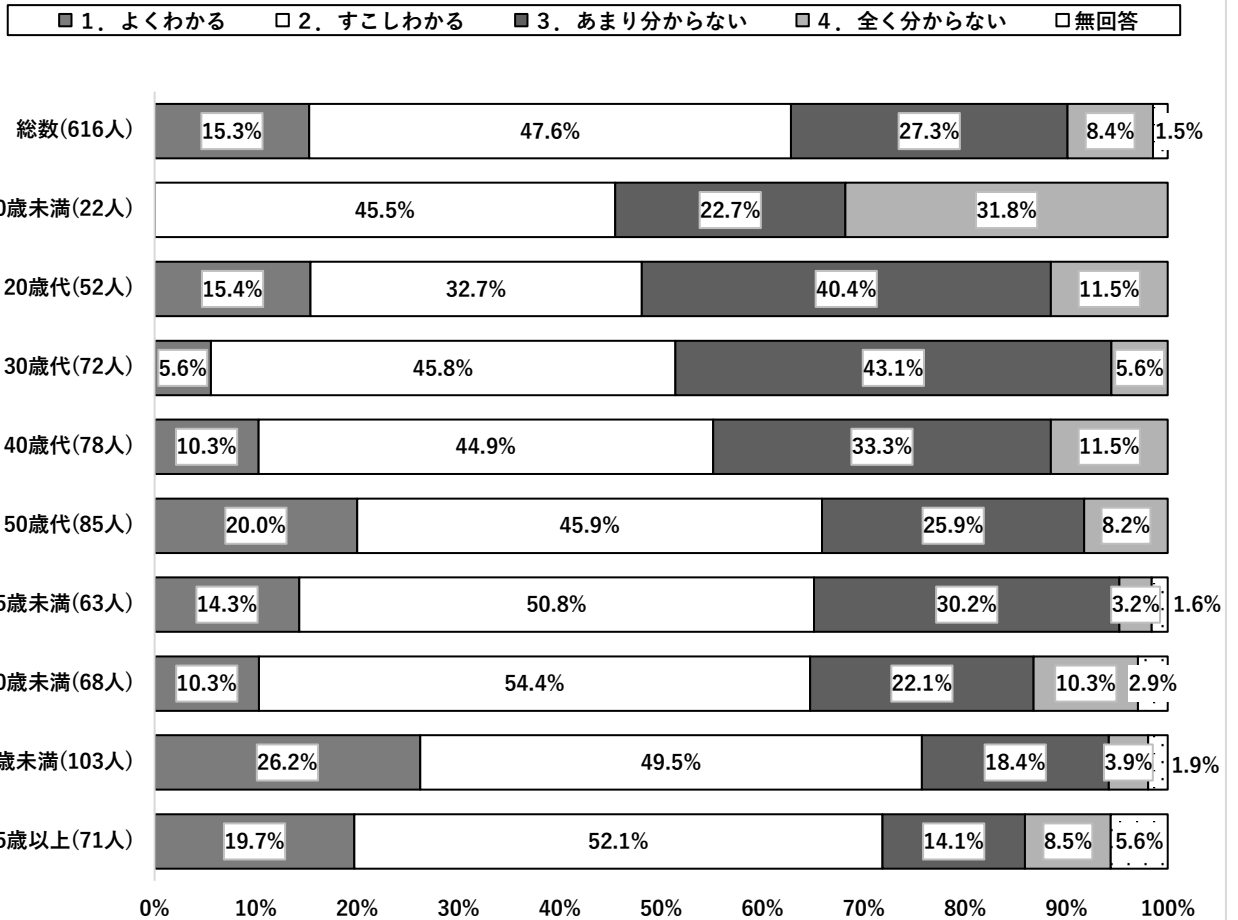
性別・年齢層別にみると、「すこしわかる」または「よくわかる」の合計の割合は、男女ともに「70歳～75歳未満」で最も高く、「男性」では計67.0%、「女性」では計75.7%となっています。また、「男性」の「30歳代」の「よくわかる」の割合は33.3%で最も高くなっています。一方で、「女性」の「30歳代」の「よくわかる」の割合は5.6%で最も低くなっています。

## バランスの良い食事（性別年齢層別）

### 男性



### 女性



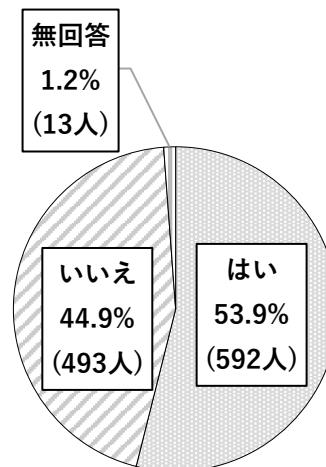
## (10) そしゃく（噛むこと）の状況（単一回答）

問 27. よく噛んでゆっくり食べていますか。

「はい」が 53.9%

よく噛んでゆっくり食べてることについては、「はい」が 53.9%、「いいえ」が 44.9%で、「はい」が多くなります。

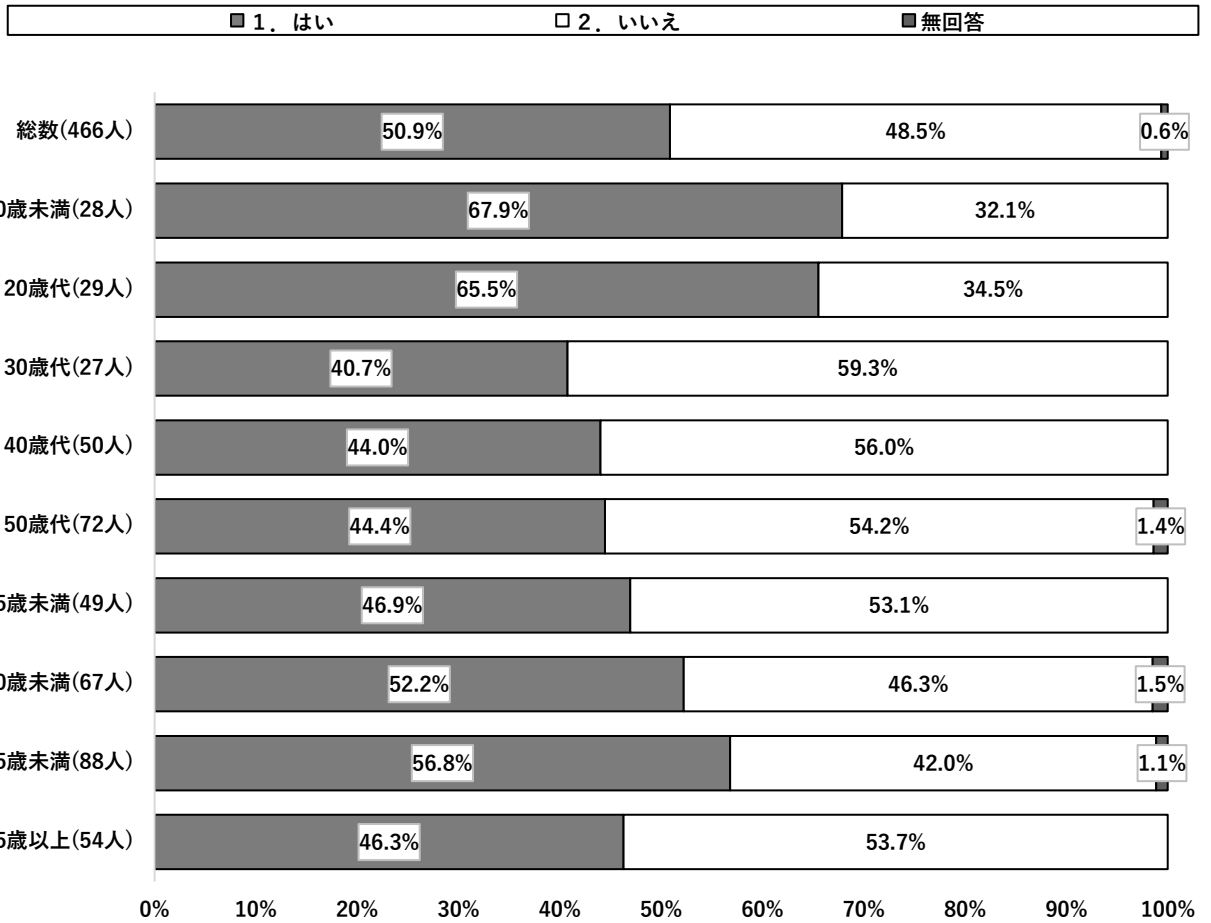
そしゃくの状況（1,098人）



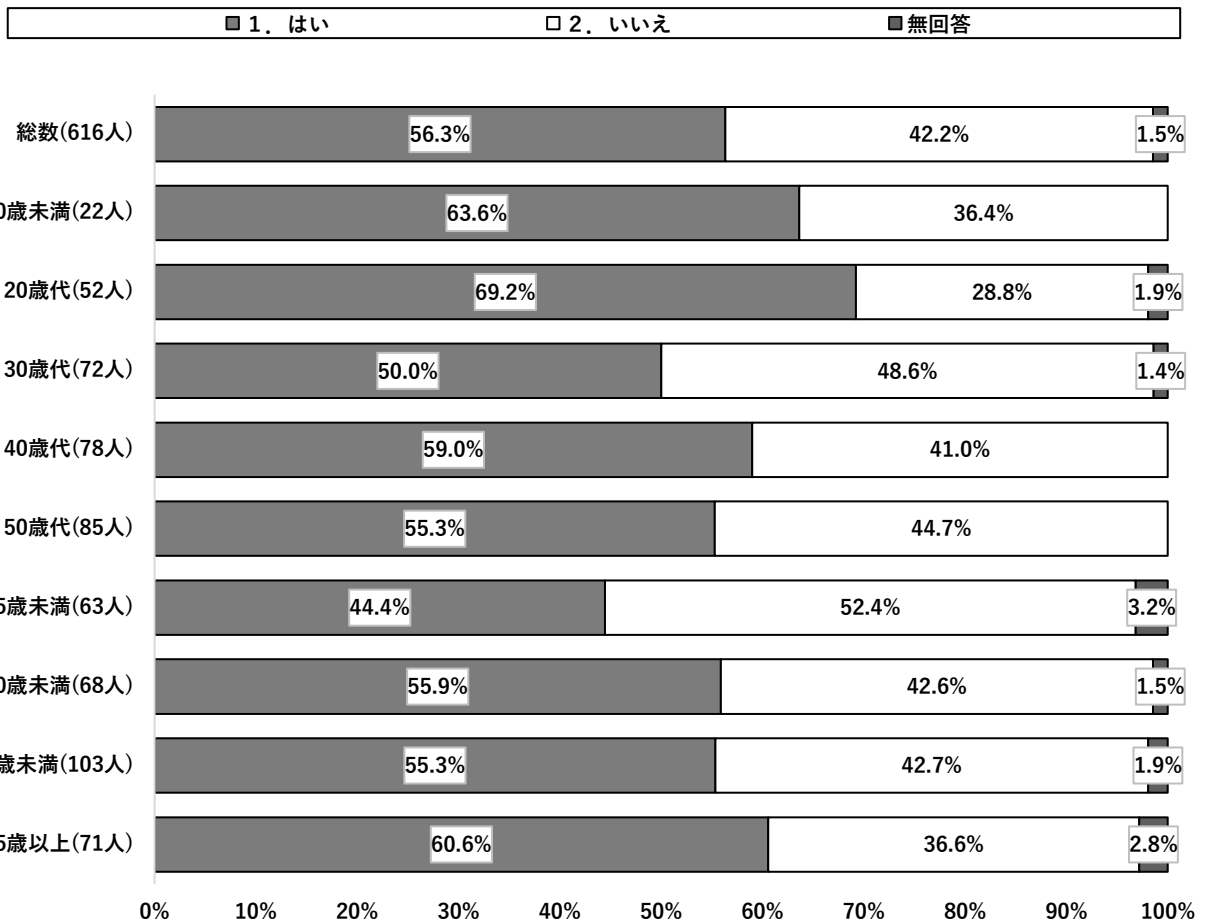
性別・年齢層別にみると、「はい」は、「男性」と「女性」の「20歳未満」と「20歳代」、「女性」の「75歳以上」が60%台と高く、そのほかの年齢層では40%台～50%台となります。

## そしゃくの状況（性別年齢層別）

### 男性



### 女性





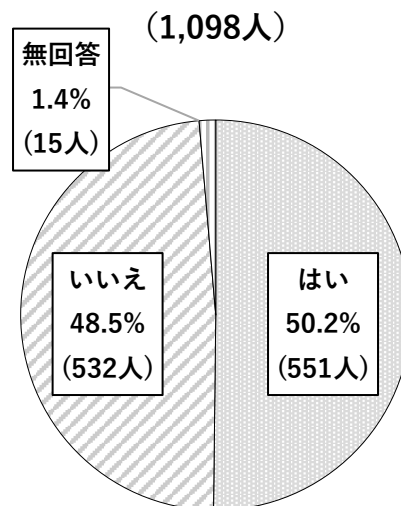
(11) 栄養成分表示の参考の有無（単一回答）

問 28. 外食や弁当のメニューに栄養成分表示（カロリー、塩分など）があれば、それを参考にしますか。

「はい」 50.2%

栄養成分表示を参考にすることについては、「はい」が50.2%、「いいえ」が48.5%となります。

栄養成分表示の参考の有無

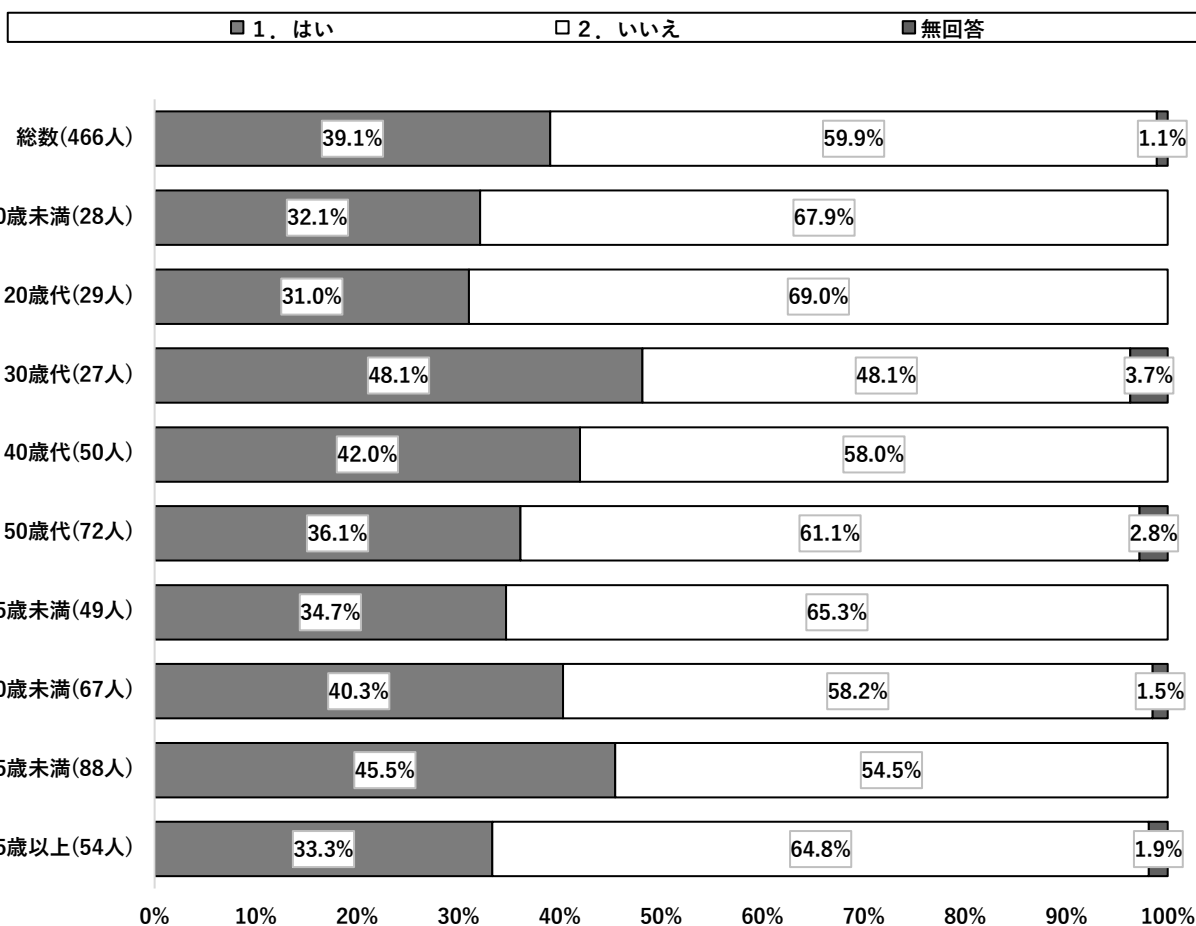


性別・年齢層別にみると、「はい」は、「男性」では「30 歳代」が 48.1%と最も高く、「20 歳代」が 31.0%と最も低くなります。

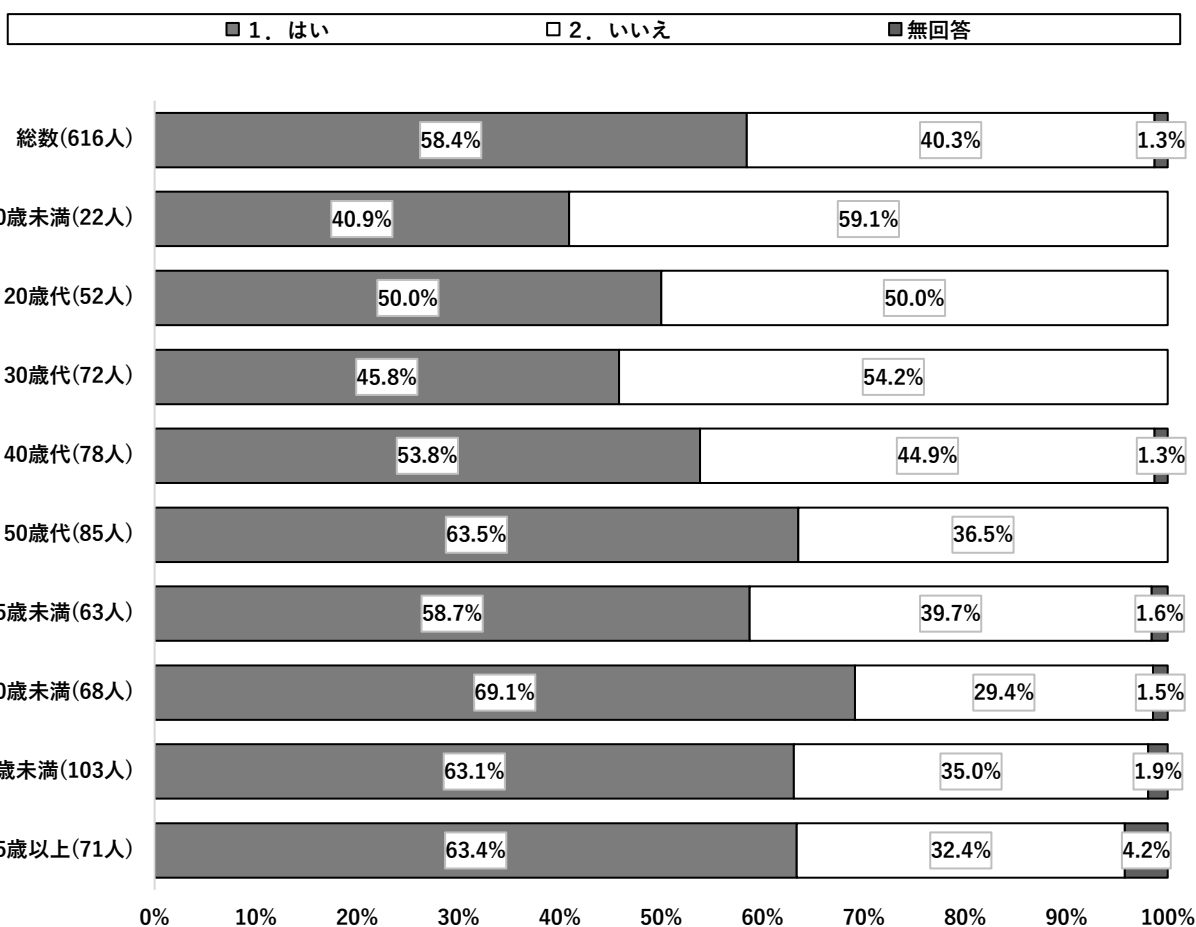
「女性」では、「はい」の割合は、「65 歳～70 歳未満」が 69.1%と最も高く、「20 歳未満」が 40.9%と最も低くなります。また、「はい」の割合は、「30 歳代」を除く各年齢層で「男性」を大きく上回ります。

### 栄養成分表示の参考の有無（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性



## (12) 食生活で気になっていること（複数回答）

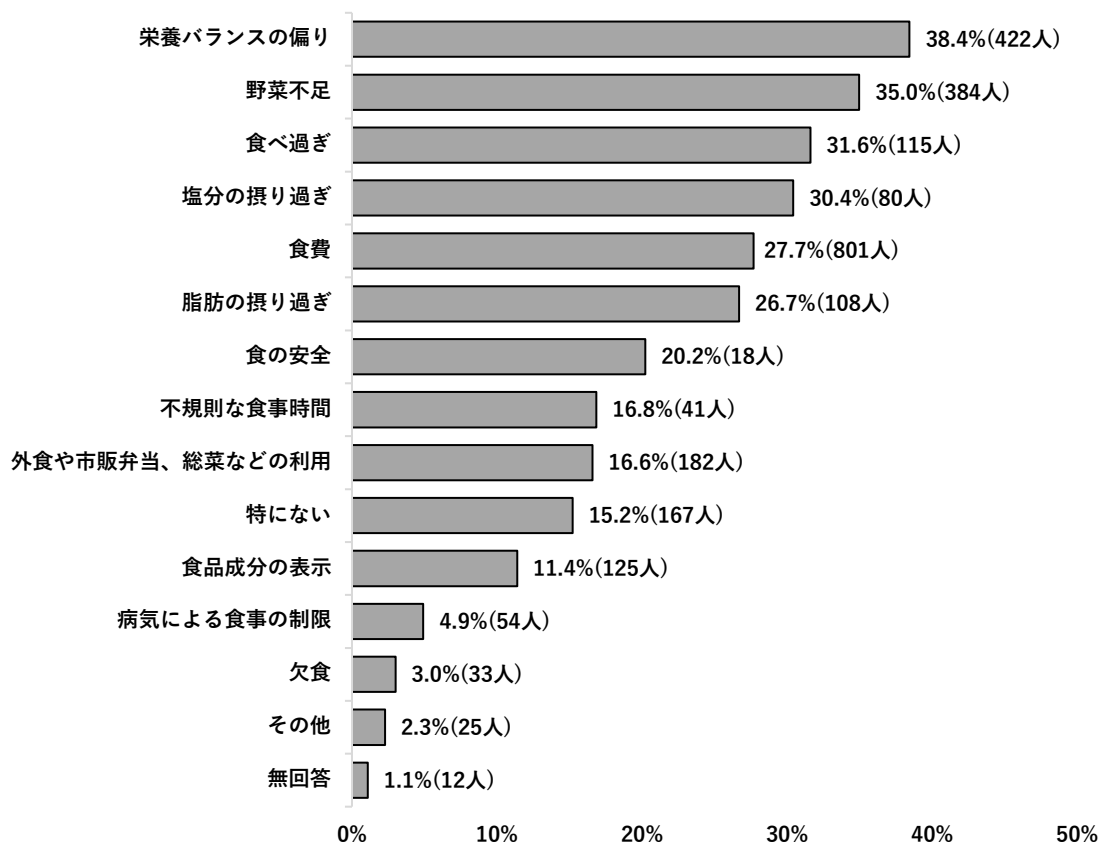
問 29. 食生活で気になっていることはありますか。

「栄養バランスの偏り」が 38.4%

食生活で気になっていることについては、「栄養バランスの偏り」が 38.4%と最も高く、次に「野菜不足」が 35.0%となります。また、「特にない」は 15.2%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

### 食生活上で気になっていること（1,098 人）



性別年齢層別にみると、「栄養バランスの偏り」は、男性では「40 歳代」で、女性では「30 歳代」で高くなります。

### 食生活上で気になっていること（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	466	28	29	27	50	72	49	67	88	54
栄養バランスの偏り	32.8%	14.3%	20.7%	33.3%	40.0%	38.9%	36.7%	28.4%	33.0%	37.0%
野菜不足	33.7%	10.7%	44.8%	33.3%	44.0%	45.8%	30.6%	31.3%	23.9%	35.2%
脂肪の摂り過ぎ	25.1%	3.6%	13.8%	22.2%	40.0%	33.3%	22.4%	25.4%	19.3%	27.8%
塩分の摂り過ぎ	32.4%	10.7%	10.3%	18.5%	30.0%	40.3%	32.7%	38.8%	33.0%	44.4%
食べ過ぎ	27.9%	7.1%	20.7%	14.8%	36.0%	34.7%	28.6%	31.3%	31.8%	22.2%
不規則な食事時間	19.3%	10.7%	34.5%	22.2%	16.0%	23.6%	22.4%	13.4%	20.5%	14.8%
食費	21.2%	21.4%	24.1%	33.3%	34.0%	25.0%	32.7%	10.4%	13.6%	13.0%
食の安全	12.7%	7.1%	6.9%	3.7%	22.0%	19.4%	20.4%	7.5%	12.5%	5.6%
外食や市販弁当、総菜などの利用	16.3%	3.6%	13.8%	7.4%	10.0%	18.1%	22.4%	19.4%	20.5%	16.7%
食品成分の表示	6.9%	3.6%	0.0%	7.4%	10.0%	11.1%	8.2%	3.0%	6.8%	7.4%
欠食	2.8%	0.0%	0.0%	3.7%	4.0%	6.9%	4.1%	0.0%	0.0%	5.6%
病気による食事の制限	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	6.9%	4.1%	9.0%	6.8%	5.6%
特にない	19.7%	46.4%	17.2%	25.9%	16.0%	13.9%	12.2%	20.9%	23.9%	14.8%
その他	2.4%	7.1%	3.4%	3.7%	2.0%	1.4%	2.0%	0.0%	1.1%	5.6%

【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	616	22	52	72	78	85	63	68	103	71
栄養バランスの偏り	43.7%	27.3%	42.3%	55.6%	42.3%	55.3%	49.2%	42.6%	30.1%	31.0%
野菜不足	36.9%	31.8%	40.4%	52.8%	33.3%	40.0%	38.1%	32.4%	28.2%	26.8%
脂肪の摂り過ぎ	28.6%	18.2%	17.3%	41.7%	26.9%	36.5%	27.0%	27.9%	21.4%	25.4%
塩分の摂り過ぎ	29.7%	4.5%	30.8%	29.2%	25.6%	29.4%	27.0%	39.7%	32.0%	25.4%
食べ過ぎ	35.2%	50.0%	19.2%	48.6%	30.8%	40.0%	42.9%	32.4%	28.2%	26.8%
不規則な食事時間	15.4%	13.6%	25.0%	20.8%	16.7%	14.1%	15.9%	13.2%	9.7%	9.9%
食費	33.3%	4.5%	36.5%	50.0%	44.9%	41.2%	25.4%	25.0%	25.2%	21.1%
食の安全	26.5%	4.5%	13.5%	20.8%	25.6%	36.5%	27.0%	39.7%	29.1%	19.7%
外食や市販弁当、総菜などの利用	17.2%	4.5%	19.2%	8.3%	14.1%	18.8%	23.8%	30.9%	12.6%	16.9%
食品成分の表示	15.1%	0.0%	17.3%	11.1%	9.0%	17.6%	14.3%	19.1%	21.4%	11.3%
欠食	3.2%	4.5%	3.8%	2.8%	1.3%	1.2%	3.2%	2.9%	3.9%	4.2%
病気による食事の制限	4.7%	0.0%	5.8%	1.4%	3.8%	5.9%	1.6%	7.4%	7.8%	4.2%
特にない	12.2%	27.3%	19.2%	4.2%	5.1%	7.1%	3.2%	5.9%	18.4%	28.2%
その他	2.3%	0.0%	3.8%	1.4%	5.1%	1.2%	0.0%	0.0%	1.9%	2.8%

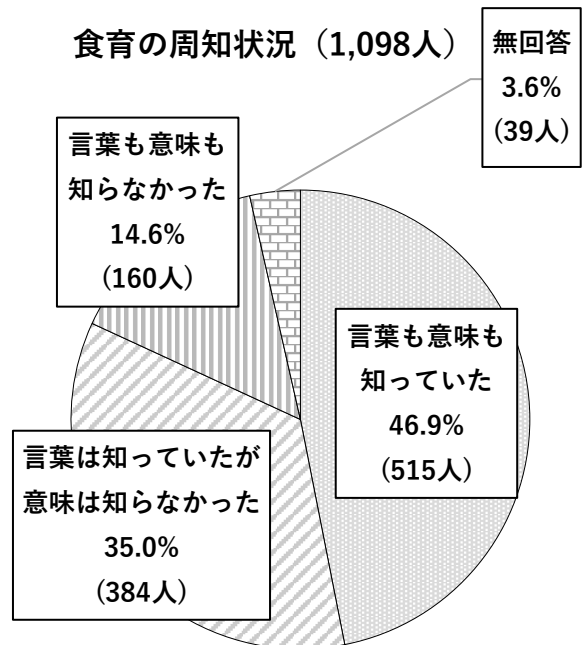
## 5. 食育について

### (1) 食育の周知状況（単一回答）

問 30. 「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。

「言葉も意味も知っていた」が 46.9%

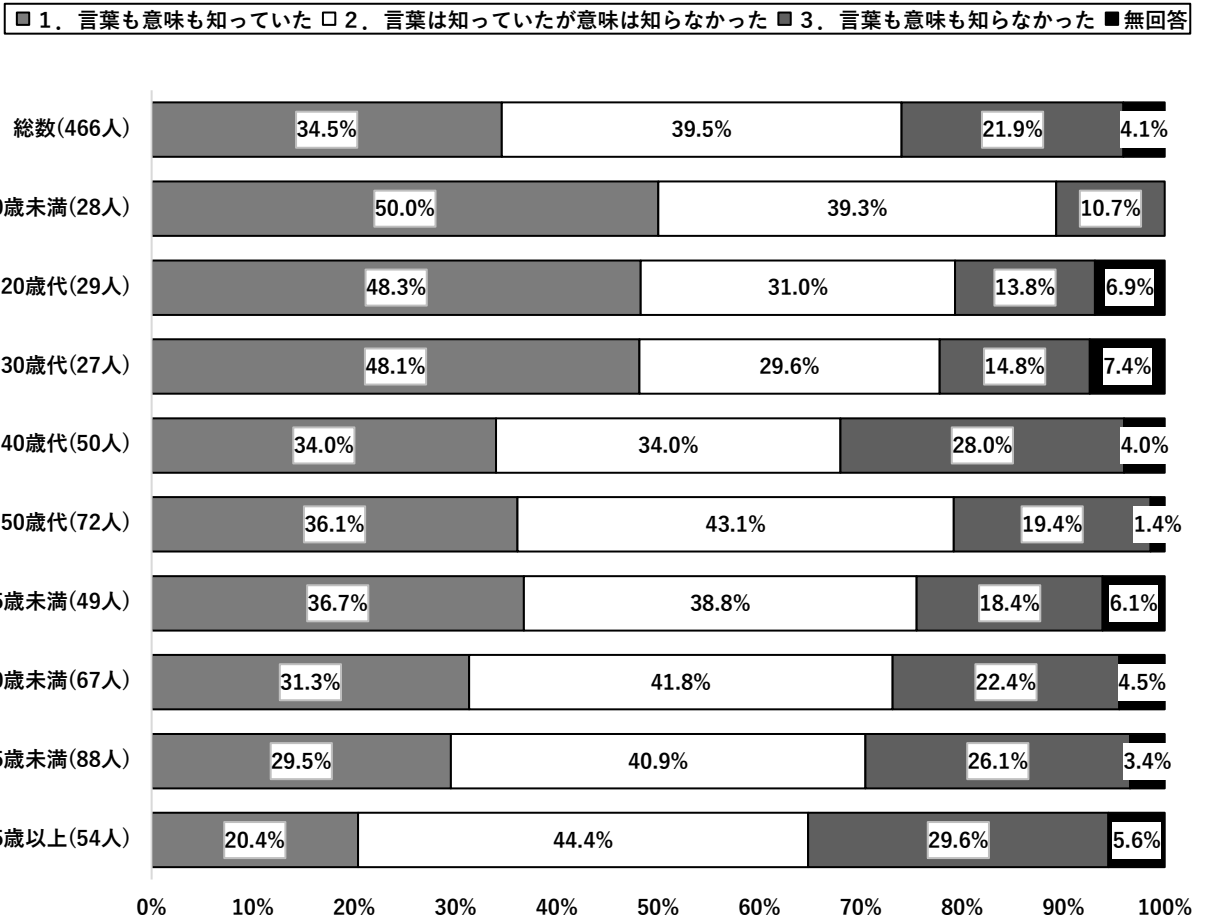
「食育」の周知度については、「言葉も意味も知っていた」が 46.9%と最も高く、「言葉も意味も知らなかった」が 14.6%と最も低くなります。



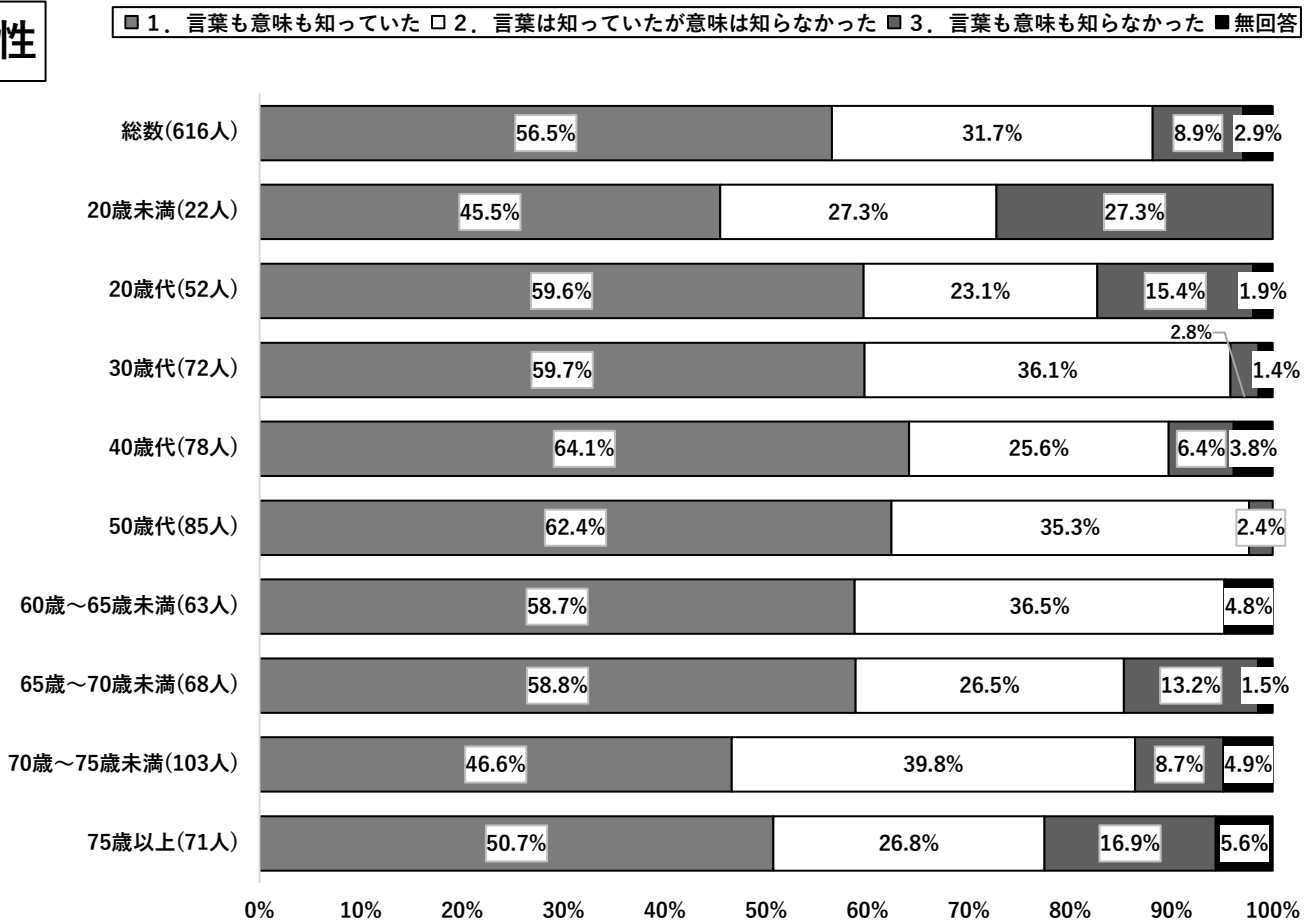
性別・年齢層別にみると、「言葉も意味も知っていた」は、「男性」では「20歳未満」が最も高く、50.0%となっています。「40歳代」以上は、「言葉も意味も知っていた」の割合が低くなっており、「75歳以上」では 20.4%で最も低くなっています。「女性」では「20歳代」から「65歳～70歳未満」までほぼ横ばいで、60%程度となります。また、「20歳未満」を除く全ての年齢層で「女性」が「男性」を大きく上回っています。

### 食育の周知状況（性別年齢層別）

#### 男性



#### 女性

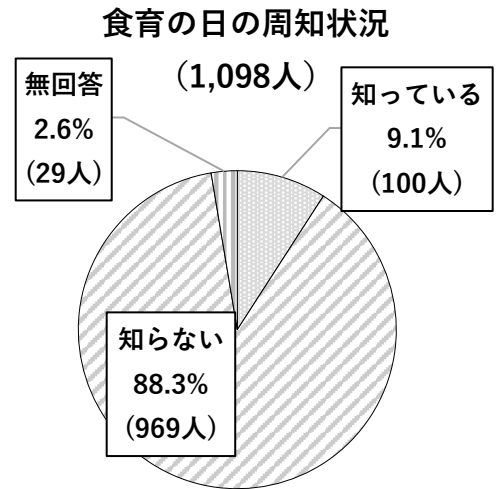


## (2) 食育の日の周知状況（単一回答）

問 31. 「毎月 19 日は『食育の日』である」ことを知っていましたか。

「知らない」が 88.3%

食育の日の周知度については、「知らない」が 88.3%で、「知っている」の 9.1%を大きく上回ります。

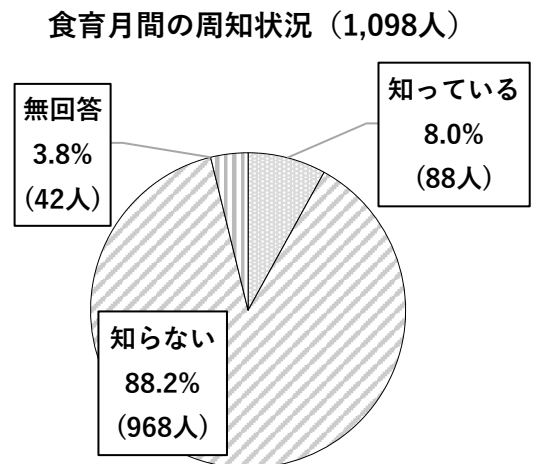


## (3) 食育月間の周知状況（単一回答）

問 31. 「毎年 6 月は食育月間である」ことを知っていましたか。

「知らない」が 88.2%

食育月間の周知度については、「知らない」が 88.2%と、「知っている」の 8.0%を大きく上回ります。

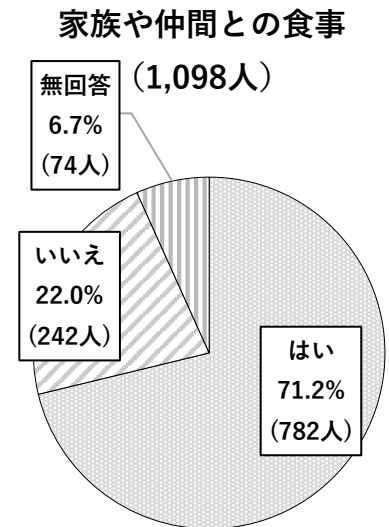


#### (4) 家族や仲間との食事（単一回答）

問 32. 1日最低1食以上家族や仲間と食事をしていますか。

「はい」が71.2%

家族や仲間と食事をしているかについては、「はい」が71.2%、「いいえ」が22.0%となります。

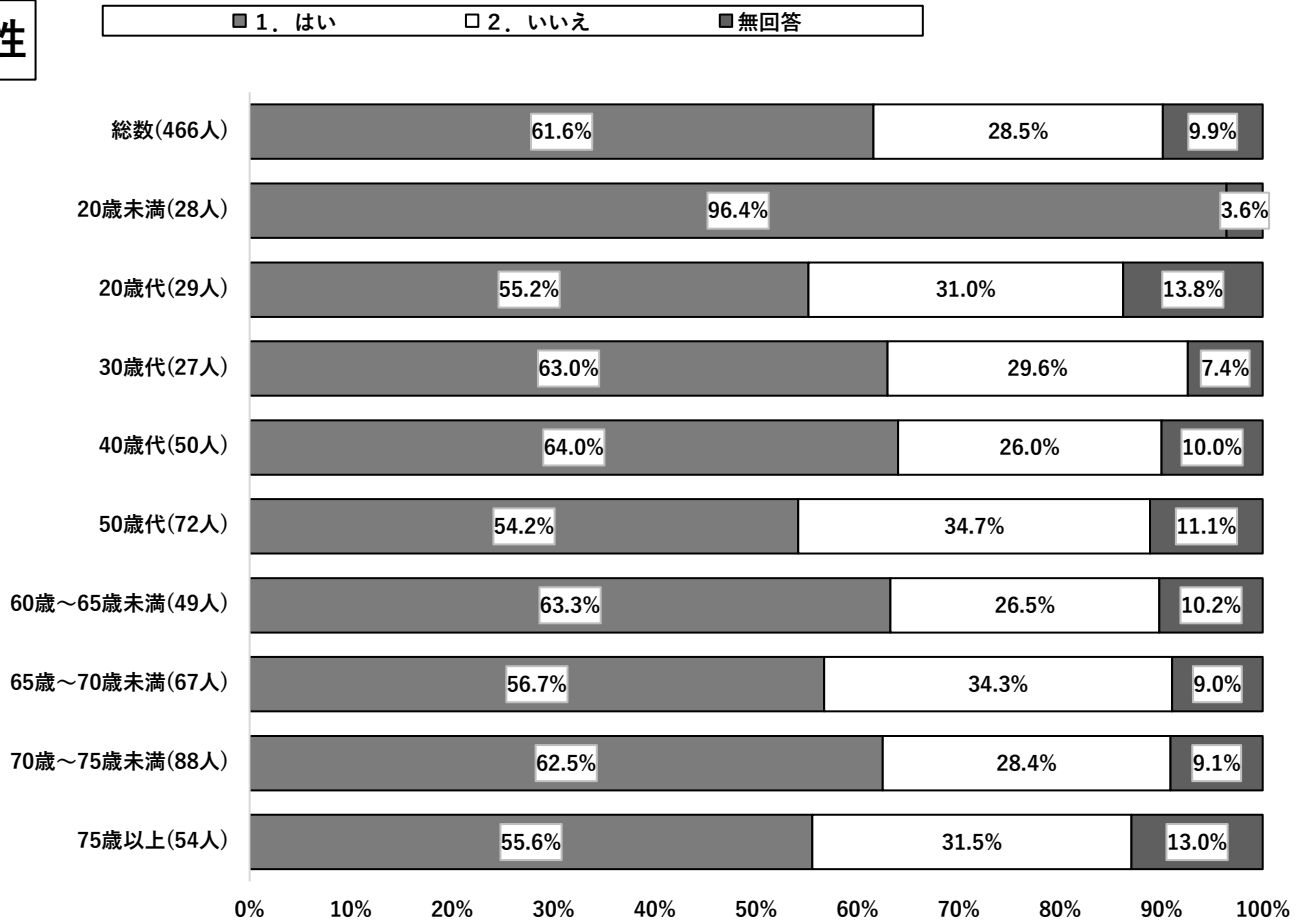


性別・年齢層別にみると、「はい」は、男女ともに「20歳未満」が最も高く、「男性」は96.4%、「女性」は95.5%となります。その他の年齢層では、「男性」は50%台～60%台でほぼ横ばいですが、「女性」は年齢層が高くなるにつれて「はい」が低くなる傾向にあります。また、「はい」の割合は、「20歳未満」を除く全ての年齢層で「女性」のほうが「男性」より高くなっています。

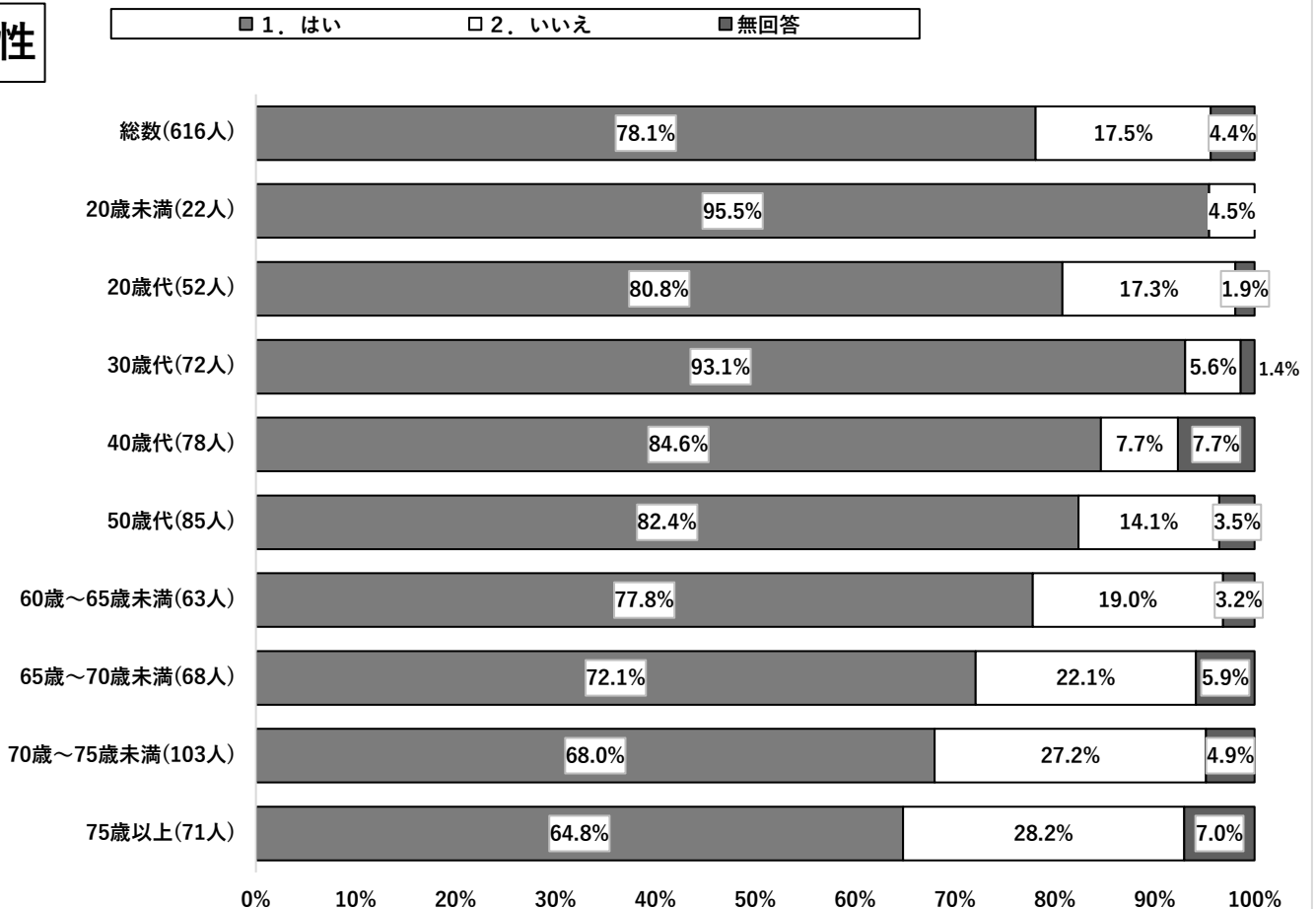


## 家族や仲間との食事（性別年齢層別）

男性



女性



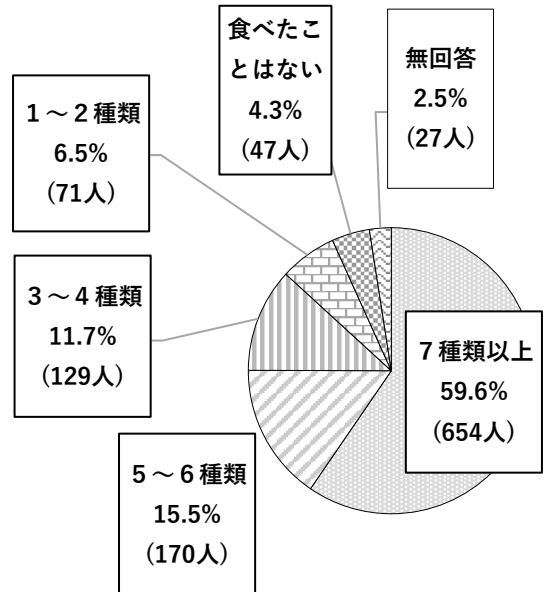
(5) 食べたことがある郷土料理や伝統食の種類（単一回答）

問 33. お住まいの地域の郷土料理や伝統食を何種類食べたことがありますか。

「7種類以上」が59.6%

食べたことがある郷土料理や伝統食については、「7種類以上」が59.6%と最も高く、「食べたことはない」が4.3%と最も低くなります。

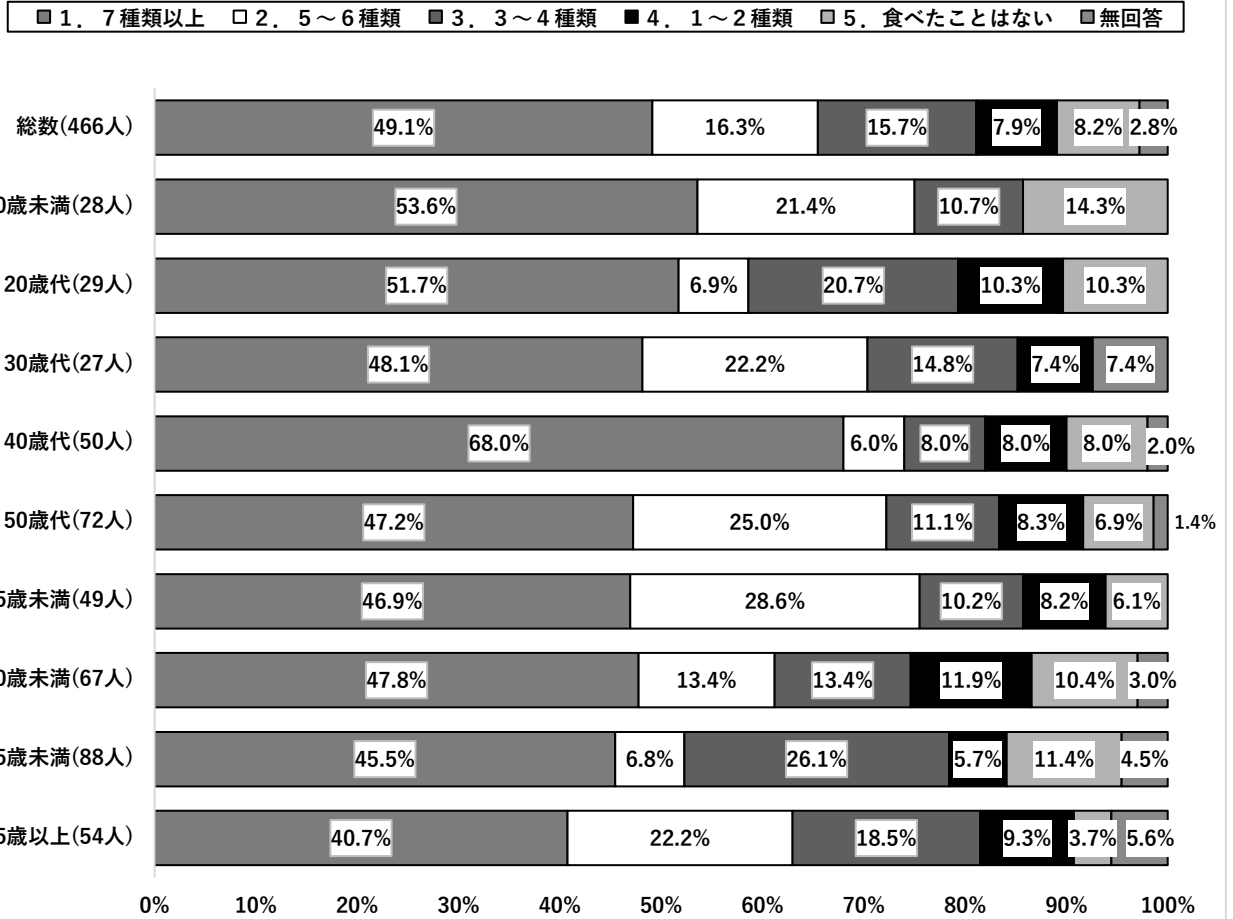
食べたことがある郷土料理や伝統食の種類（1,098人）



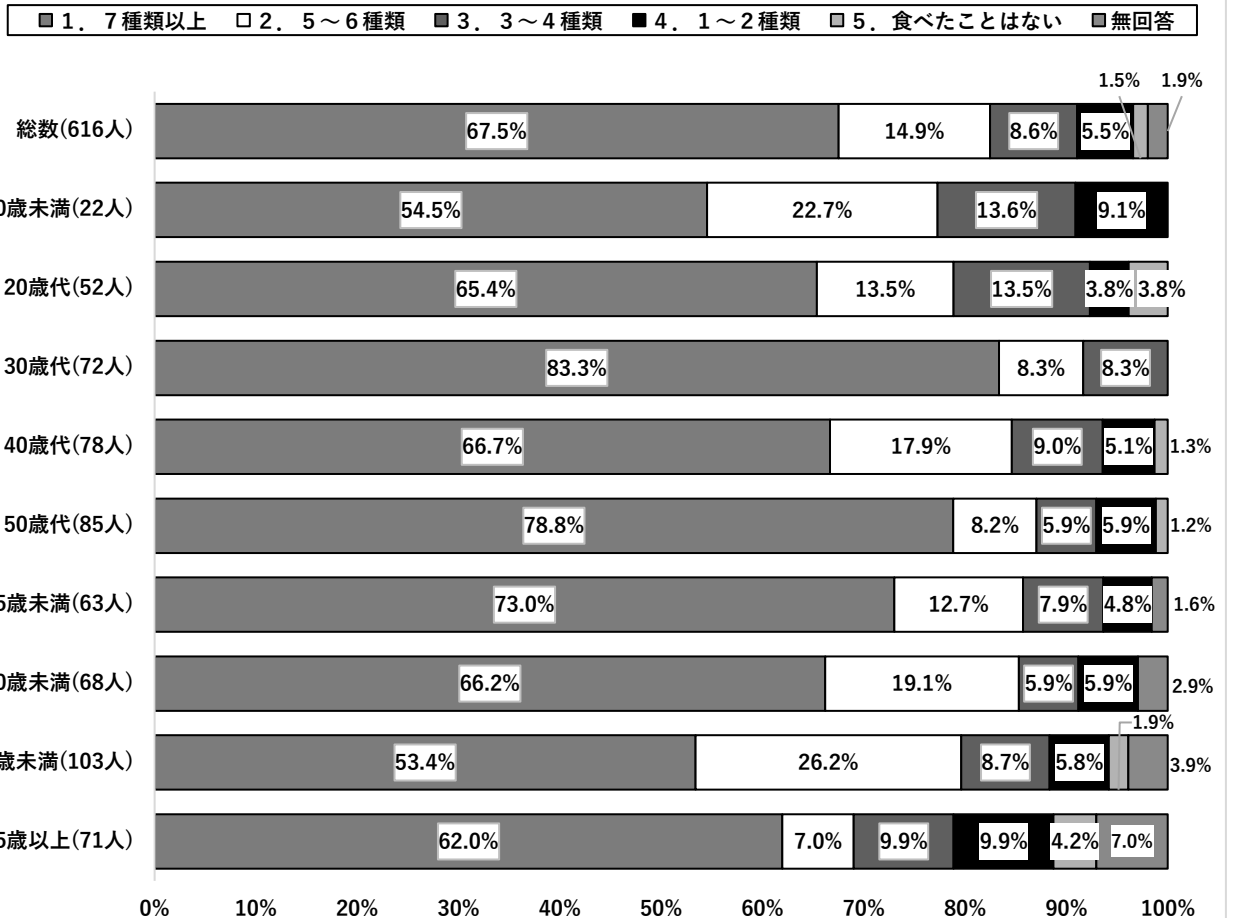
性別・年齢層別にみると、「7種類以上」は、「男性」では「40歳代」が68.0%と最も高く、そのほかの年齢層では40%台～50%台となります。「女性」では「30歳代」83.3%と最も高くなります。また、「40歳代」を除く全ての年齢層で「女性」が「男性」を上回ります。

食べたことがある郷土料理や伝統食の種類（性別年齢層別）

男性



女性



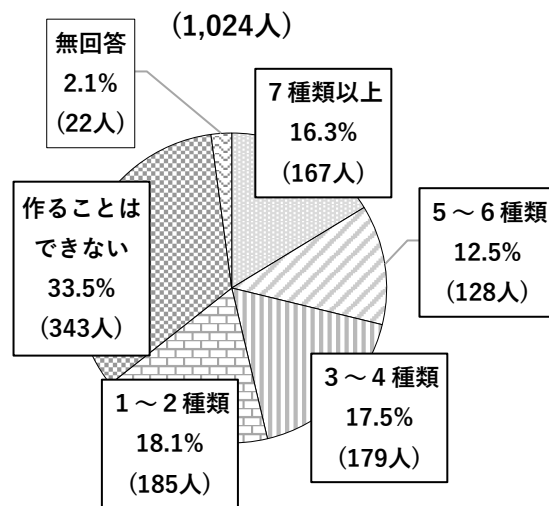
## (6) 作ることのできる郷土料理や伝統食の種類（単一回答）

問 33-1. お住まいの地域の郷土料理や伝統食を何種類作ることができますか。（問 33 で「1.~4.」と答えた方）

「作ることにはできない」が 33.5%

郷土料理や伝統食を作ることについては、「作ることにはできない」が 33.5%と最も高くなります。作ることができると答えた中では、「1~2種類」が 18.1%と最も高く、次に「3~4種類」が 17.5%、「7種類以上」が 16.3%、「5~6種類」が 12.5%となります。

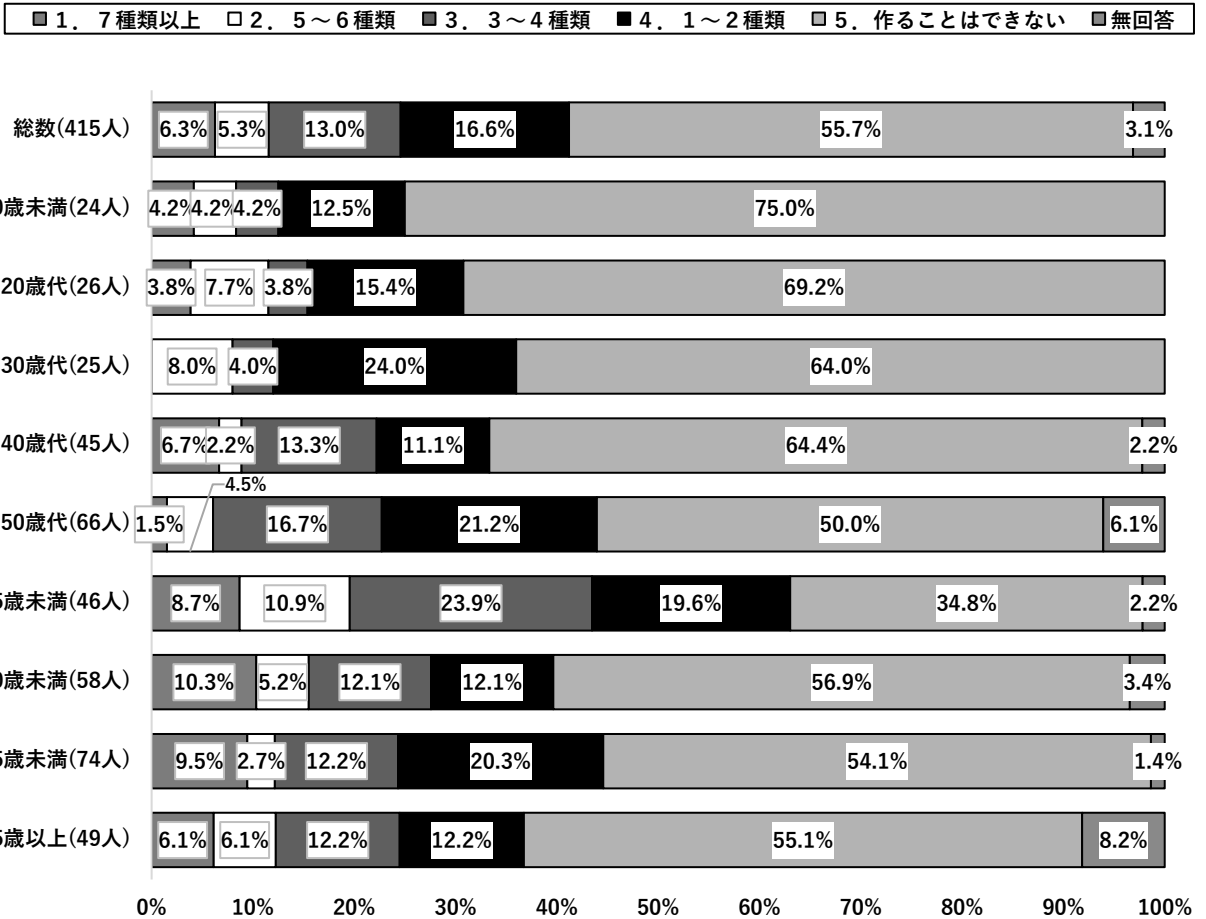
作ることができる郷土料理や伝統食の種類



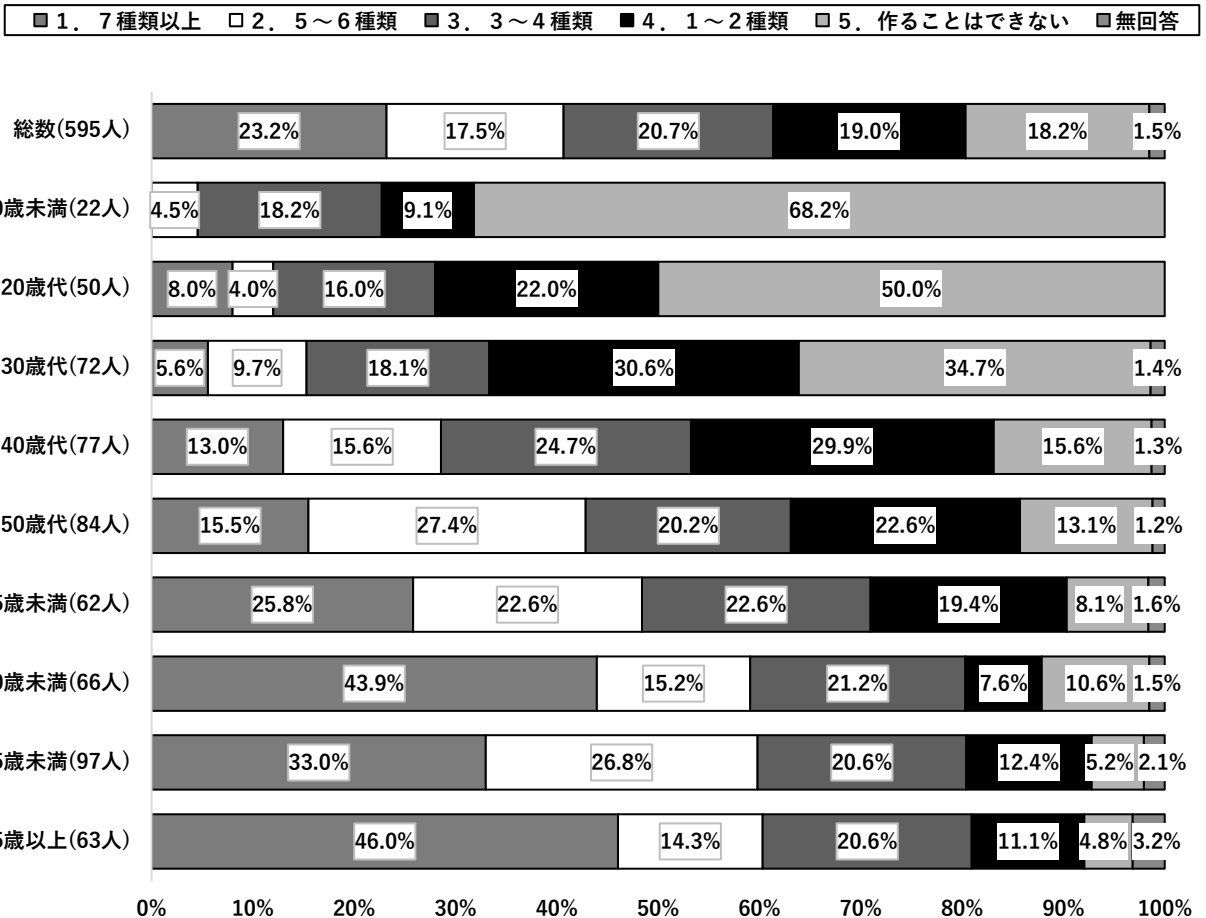
性別・年齢層別にみると、「作ることにはできない」は、「男性」では「20歳未満」が 75.0%と最も高く、「女性」と比較して、どの年齢層においても割合が高くなっています。「女性」では「20歳未満」が 68.2%と最も高く、年齢層が高くなるほど割合は低くなる傾向にあり、「75歳以上」では 4.8%となります。

作ることができる郷土料理や伝統食の種類（性別年齢層別）

男性



女性

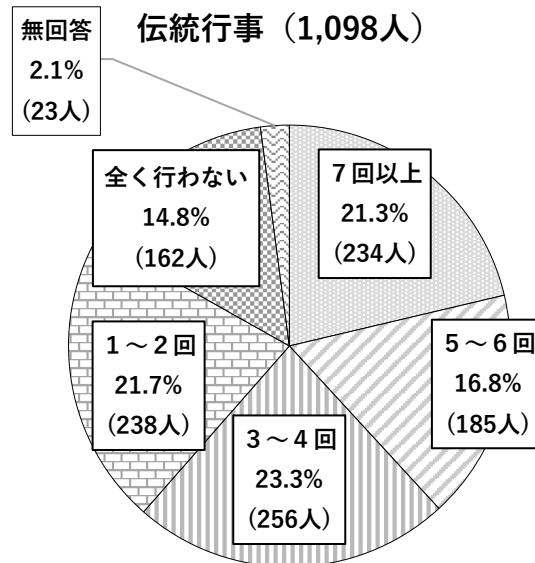


## (7) 伝統行事（単一回答）

問 34. ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行っていますか。

「3～4回」が23.3%

自宅で行う行事食を伴う伝統的な行事については、「全く行わない」が14.8%で、行っている中では「3～4回」が23.3%と最も高くなります。



## (7) 次世代に伝えたい料理や味（単一回答）

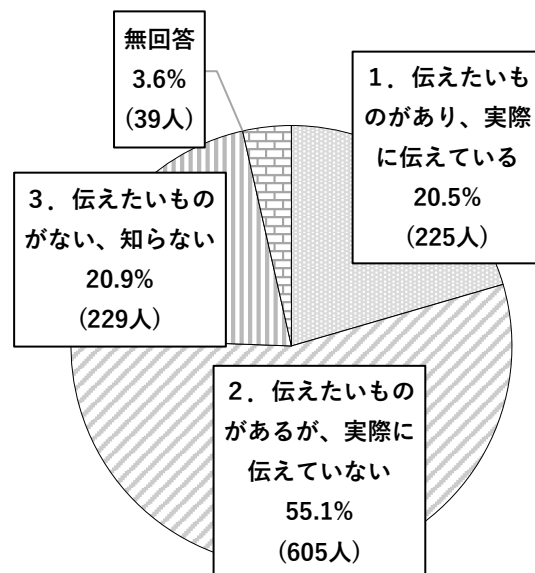
問 35. 郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味で、次世代に伝えたいものがありますか。また、実際に伝えていますか。

「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない」が55.1%

次世代に伝えたい料理や味については、「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない」が55.1%と最も高く、次に「伝えたいものがない、知らない」が20.9%となります。

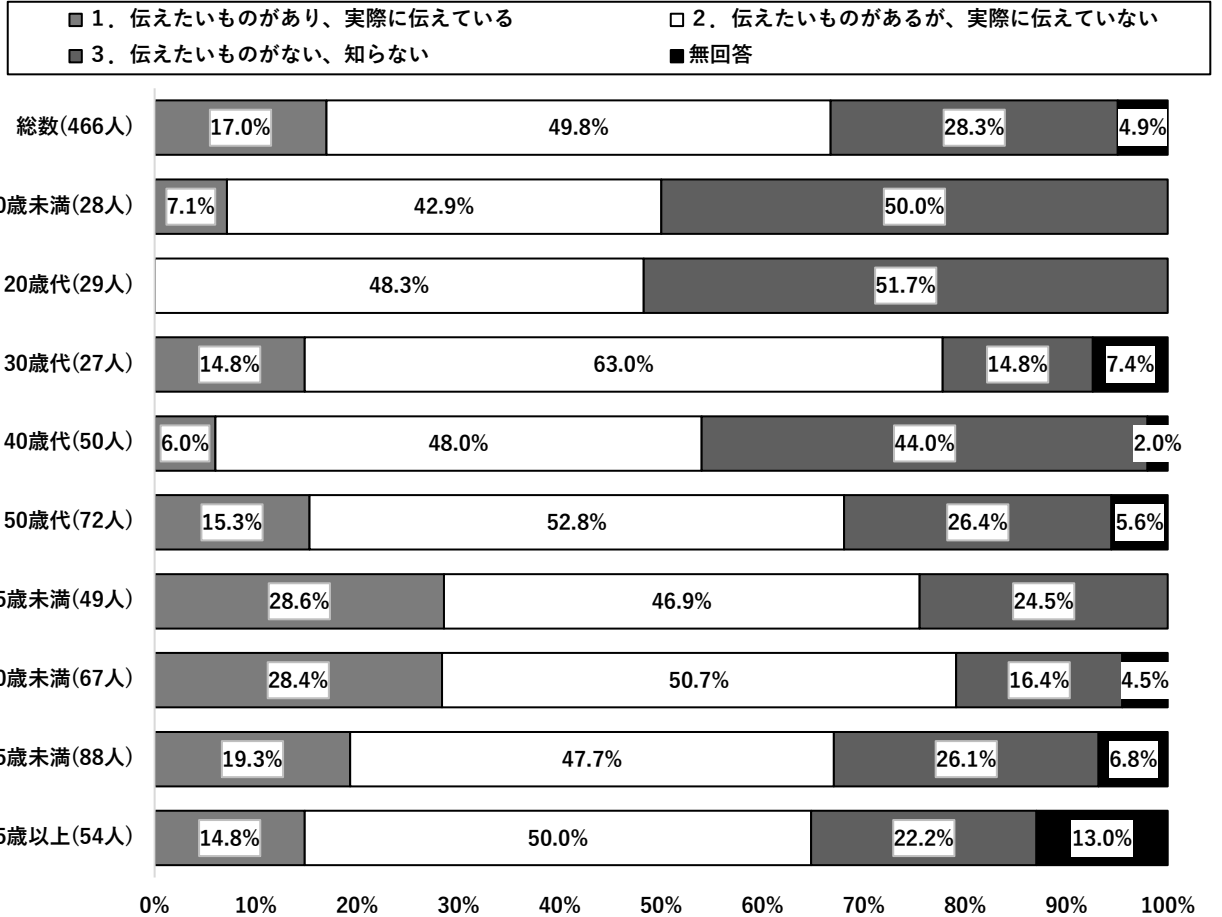
性別年齢層別に見ると、男女ともに総数では「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない」という回答が最も多く、特に50歳代女性では7割を超えています。また、20歳未満の女性及び20歳代の男性は5割以上が「伝えたいものがない、知らない」と回答している一方で、60歳以上75歳未満の男性、40歳代以上の女性の2割以上は「伝えたいものがあり、実際に伝えている」と回答しており、その割合は他の世代に比べ高くなっています。加えて、特に60歳代の男性については、その割合が同年代の女性を上回っています。なお、女性は年齢が高くなるにつれ「伝えたいものがあり、実際に伝えている」と回答した人の割合が高くなっています。

## 次世代に伝えたい料理や味（1,098人）

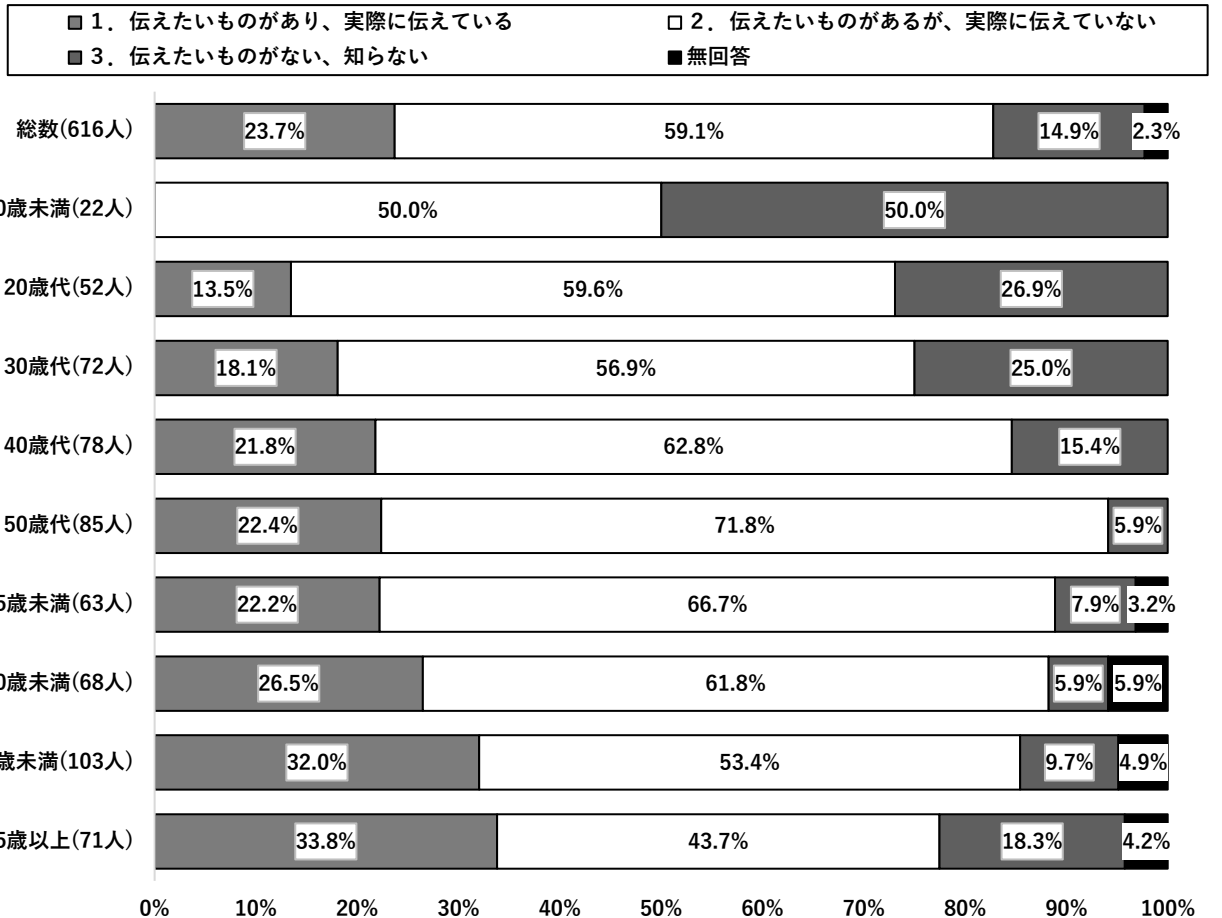


## 次世代に伝えたい料理や味（性別年齢層別）

### 男性

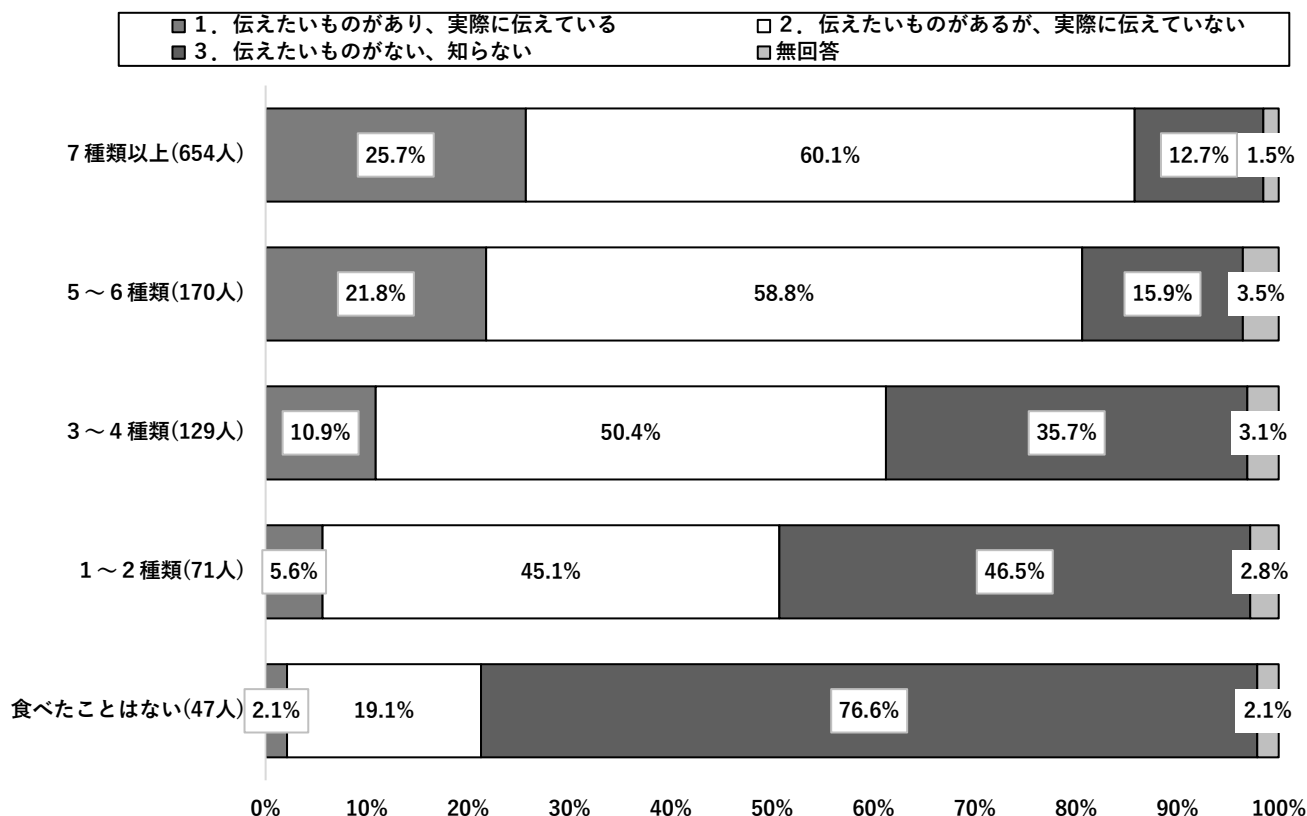


### 女性



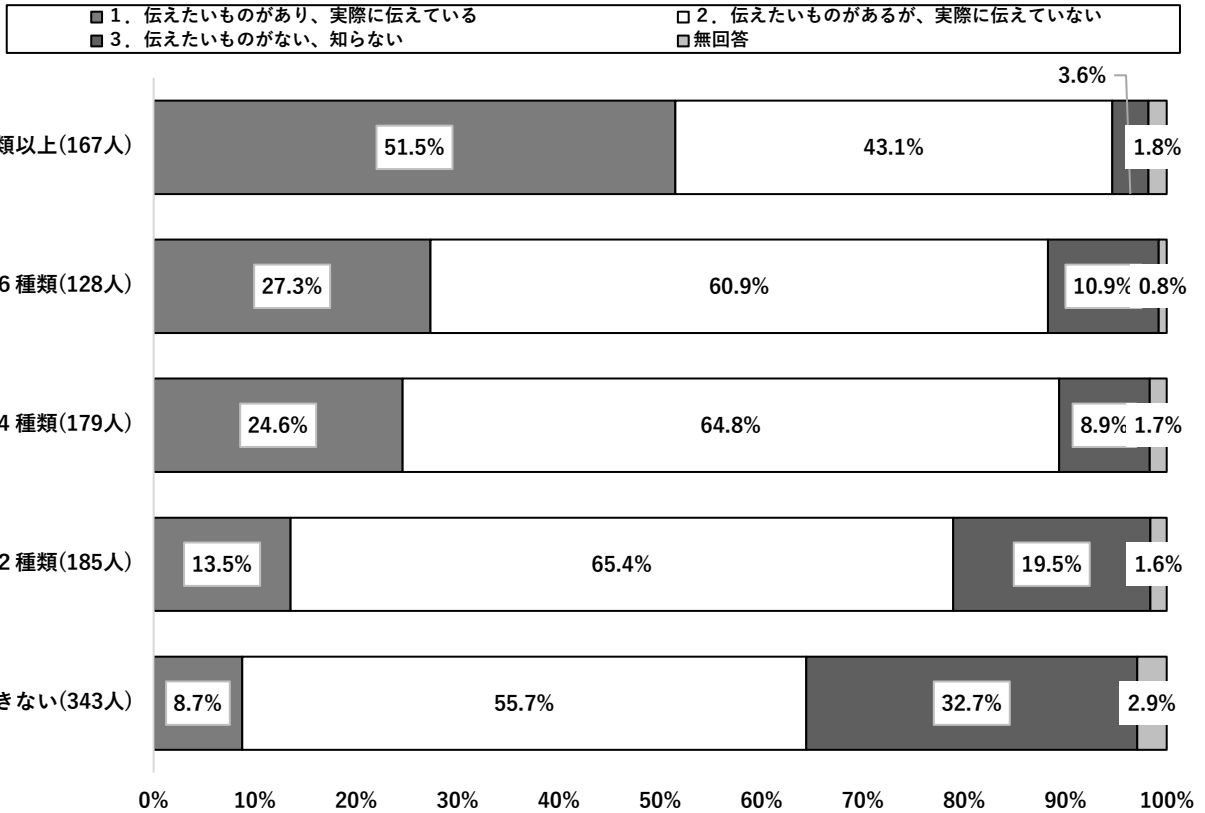
「食べたことがある郷土料理や伝統食の種類」別と「作ることができる郷土料理や伝統食の種類」別にみると、「食べたことがある・作ることができる郷土料理や伝統食の種類」が多いほど、「伝えたいものがあり、実際に伝えている」と「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない」の割合は高くなる傾向にあります。一方で、食べたことがある郷土料理や伝統食の種類にて、「食べたことはない」と回答した人は「伝えたいものがない、知らない」の割合が他の項目に比べてかなり高かったです。

### 次世代に伝えたい料理や味（食べたことがある郷土料理や伝統食の種類別）





次世代に伝えたい料理や味（作ることができる郷土料理や伝統食の種類別）



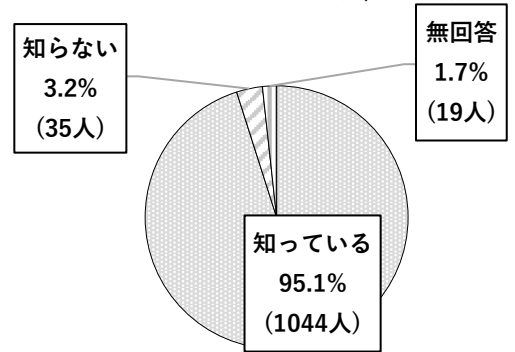
(8) 甘藷（さつまいも）の歴史の認知度（単一回答）

問 36. 嘉手納町は、中国から甘藷（さつまいも）を持ち帰り、多くの人を飢饉から救った野國總管生誕の地ということをご存じですか。

「知っている」が 95.1%

甘藷（さつまいも）の歴史については、「知っている」が 95.1%、「知らない」が 3.2%となります。

甘藷の歴史の認知度（1,098人）



(9) 食育イベントの参加状況（複数回答）

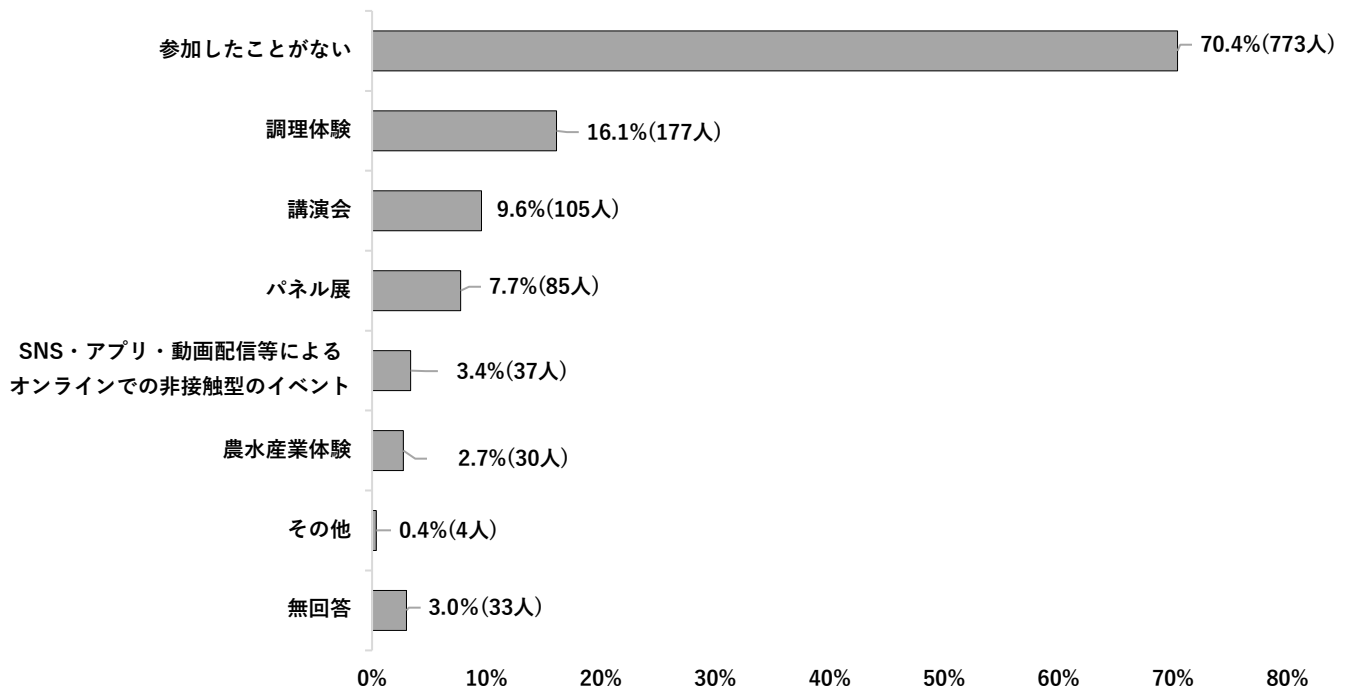
問 37. あなた、またはあなたの家族の中で参加したことがある食育イベントは、どのようなものがありますか。※町以外のイベントも含みます。

「参加したことがない」が 70.4%

食育イベントについては、「参加したことがない」が 70.4%と最も高く、次に「調理体験」が 16.1%、「講演会」が 9.6%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

## 食育イベントの参加状況（1,098人）



性別年齢層別にみると、男性・女性ともにいずれの年代においても「参加したことがない」と回答した人の割合が最も高く、特に20歳未満の女性と30歳代の男性は9割以上が「参加したことがない」と回答しています。また、20歳以上の年代においては、「調理体験」と回答した人の割合は女性の方が男性より高くなっています。

## 食育イベントの参加状況（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	466	28	29	27	50	72	49	67	88	54
調理体験	9.0%	14.3%	6.9%	0.0%	6.0%	11.1%	8.2%	14.9%	10.2%	3.7%
農水産業体験	2.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.1%	3.0%	3.4%	0.0%
講演会	8.6%	0.0%	10.3%	0.0%	4.0%	11.1%	12.2%	10.4%	12.5%	5.6%
パネル展	7.5%	3.6%	3.4%	3.7%	4.0%	12.5%	16.3%	6.0%	8.0%	3.7%
SNS・アプリ・動画配信等によるオンラインでの非接触型のイベント	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	5.6%	4.1%	4.5%	2.3%	3.7%
参加したことがない	77.5%	75.0%	86.2%	92.6%	88.0%	72.2%	73.5%	71.6%	76.1%	75.9%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
無回答	3.0%	0.0%	0.0%	3.7%	2.0%	4.2%	0.0%	1.5%	3.4%	9.3%

【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	616	22	52	72	78	85	63	68	103	71
調理体験	21.9%	9.1%	17.3%	18.1%	24.4%	21.2%	17.5%	25.0%	25.2%	22.5%
農水産業体験	2.9%	0.0%	0.0%	6.9%	7.7%	3.5%	3.2%	1.5%	0.0%	1.4%
講演会	10.6%	0.0%	5.8%	2.8%	10.3%	16.5%	15.9%	8.8%	14.6%	8.5%
パネル展	8.1%	0.0%	3.8%	6.9%	3.8%	5.9%	15.9%	5.9%	14.6%	7.0%
SNS・アプリ・動画配信等によるオンラインでの非接触型のイベント	3.6%	0.0%	5.8%	1.4%	2.6%	2.4%	3.2%	5.9%	6.8%	1.4%
参加したことがない	66.9%	90.9%	75.0%	73.6%	62.8%	62.4%	60.3%	64.7%	60.2%	62.0%
その他	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
無回答	3.1%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	4.4%	3.9%	9.9%

## (10) 食育イベントの参加希望（複数回答）

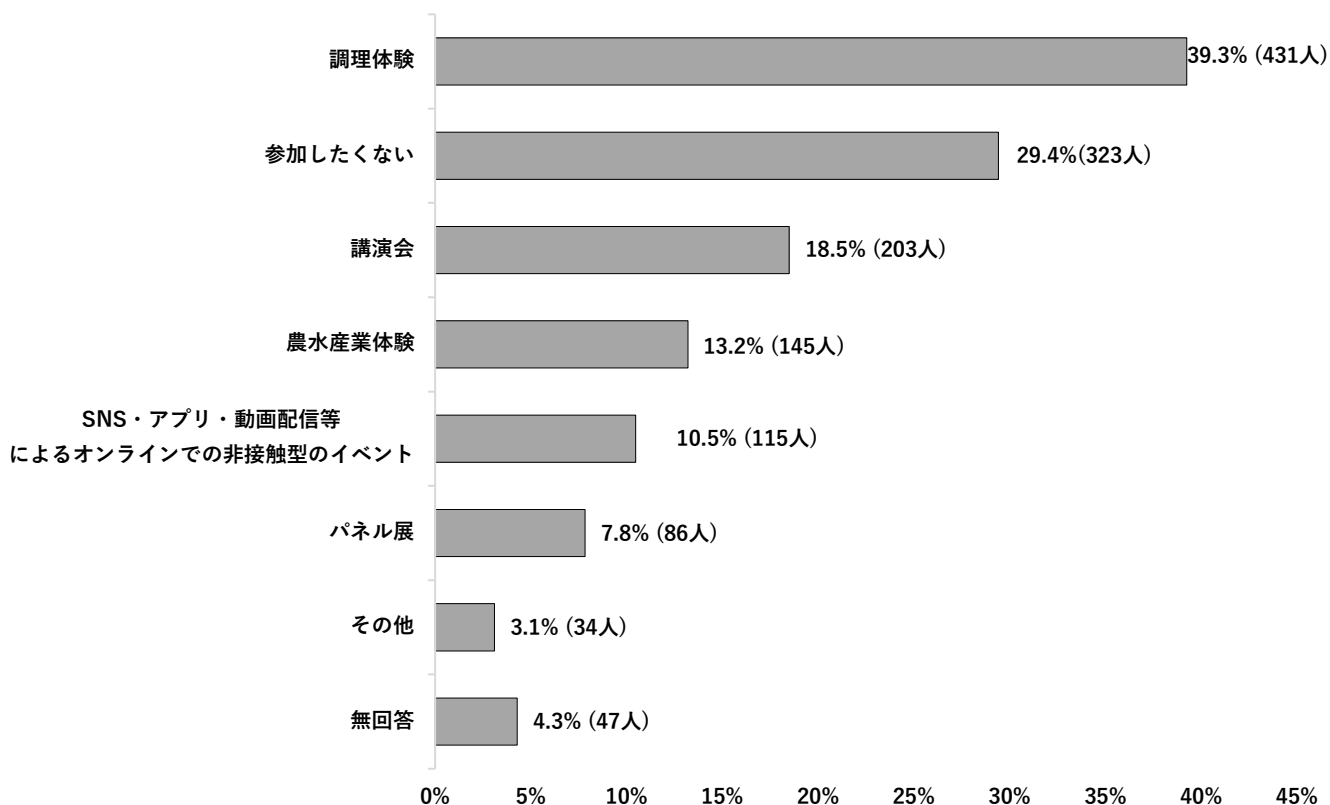
問 38. あなたは、どのような食育イベントに参加したいと感じますか。

「調理体験」が 39.3%

参加したい食育イベントについては、「調理体験」が 39.3%と最も高く、次に「参加したくない」が 29.4%、「講演会」が 18.5%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

### 食育イベントの参加希望（1,098 人）



性別年齢層別の分析結果では、60 歳～65 歳未満を除くすべての年代において、「調理体験」と回答した人の割合は男性より女性の方が高くなっています。

逆に、20 歳代を除くすべての年代において、「参加したくない」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっています。また、男性・女性ともに、若い世代の方が「調理体験」や「農水産業体験」と回答した人の割合が高く、高齢になるにつれ「講演会」と回答した人の割合が高い傾向にあります。

### 食育イベントの参加希望（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	466	28	29	27	50	72	49	67	88	54
調理体験	28.3%	42.9%	34.5%	33.3%	34.0%	34.7%	42.9%	19.4%	14.8%	22.2%
農水産業体験	11.2%	10.7%	10.3%	11.1%	16.0%	16.7%	16.3%	4.5%	9.1%	7.4%
講演会	15.5%	14.3%	3.4%	11.1%	20.0%	15.3%	18.4%	14.9%	19.3%	11.1%
パネル展	7.3%	0.0%	6.9%	3.7%	8.0%	6.9%	6.1%	11.9%	3.4%	14.8%
SNS・アプリ・動画配信等によるオンラインでの非接触型のイベント	7.1%	0.0%	13.8%	3.7%	10.0%	11.1%	8.2%	4.5%	6.8%	3.7%
参加したくない	39.9%	50.0%	31.0%	48.1%	42.0%	33.3%	30.6%	44.8%	44.3%	37.0%
その他	3.6%	0.0%	6.9%	7.4%	0.0%	4.2%	0.0%	4.5%	4.5%	5.6%
無回答	4.7%	0.0%	0.0%	3.7%	2.0%	5.6%	0.0%	3.0%	11.4%	7.4%

【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	616	22	52	72	78	85	63	68	103	71
調理体験	48.5%	54.5%	48.1%	59.7%	62.8%	48.2%	39.7%	39.7%	44.7%	31.0%
農水産業体験	15.1%	13.6%	17.3%	26.4%	21.8%	12.9%	15.9%	10.3%	12.6%	2.8%
講演会	21.3%	0.0%	5.8%	12.5%	12.8%	27.1%	31.7%	26.5%	27.2%	25.4%
パネル展	8.4%	0.0%	3.8%	6.9%	6.4%	10.6%	6.3%	7.4%	14.6%	9.9%
SNS・アプリ・動画配信等によるオンラインでの非接触型のイベント	13.3%	13.6%	19.2%	13.9%	11.5%	24.7%	12.7%	11.8%	8.7%	4.2%
参加したくない	22.2%	36.4%	32.7%	23.6%	11.5%	12.9%	22.2%	23.5%	24.3%	23.9%
その他	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	1.6%	4.4%	5.8%	7.0%
無回答	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	3.2%	5.9%	3.9%	12.7%

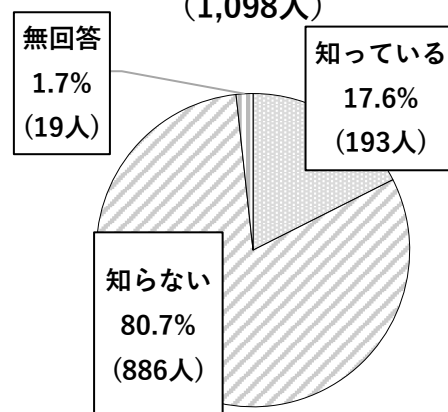
### (11) 「食改さん」の認知度（単一回答）

問 39. 町内で食育ボランティア活動をしている「嘉手納町食生活改善推進協議会（通称「食改（しょっかい）さん）」を知っていますか。

「知らない」が80.7%

「食改さん」については、「知っている」が17.6%、「知らない」が80.7%となります。

「食改さん」の認知度  
(1,098人)

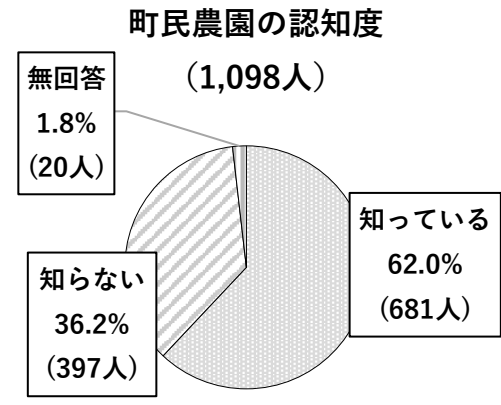


(12) 町民農園の認知度 (単一回答)

問 40. 嘉手納町に町民農園があることを知っていますか。

「知っている」が 62.0%

町民農園については、「知っている」が 62.0%、「知らない」が 36.2%となります。

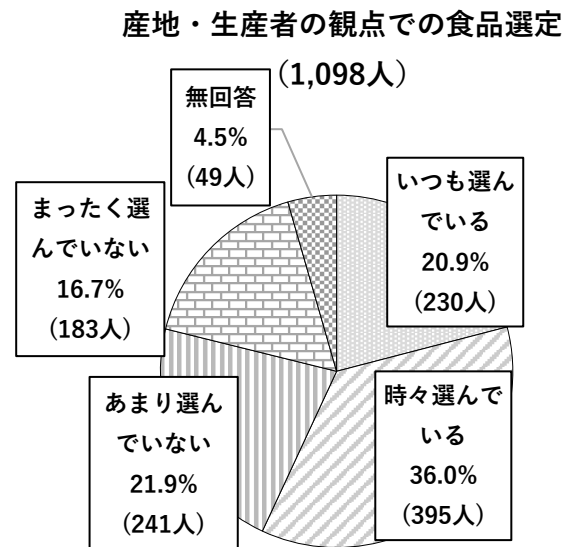


(13) 産地・生産者の観点での食品選定 (単一回答)

問 41. 産地・生産者の観点で農林水産物・食品を選んでいきますか。

「時々選んでいる」が 36.0%

産地・生産者の観点での食品選定については、「時々選んでいる」が 36.0%と最も高く、次に「あまり選んでいない」が 21.9%となります。



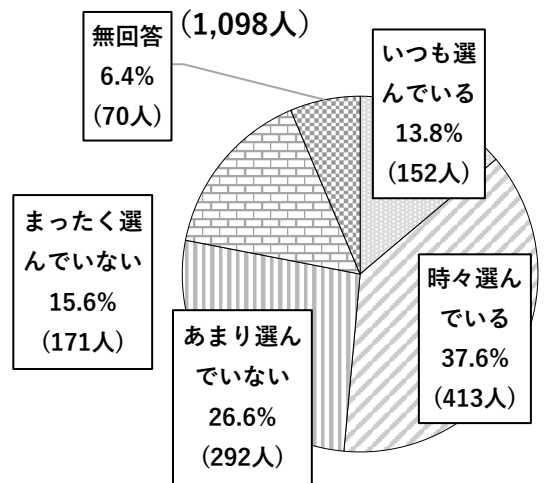
(14) 環境配慮の観点での食品選定 (単一回答)

問 41. 環境配慮の観点で農林水産物・食品を選んでいますか。

「時々選んでいる」が 37.6%

環境配慮の観点での食品選定については、「時々選んでいる」が 37.6%と最も高く、次に「あまり選んでいない」が 26.6%となります。

環境配慮の観点での食品選定



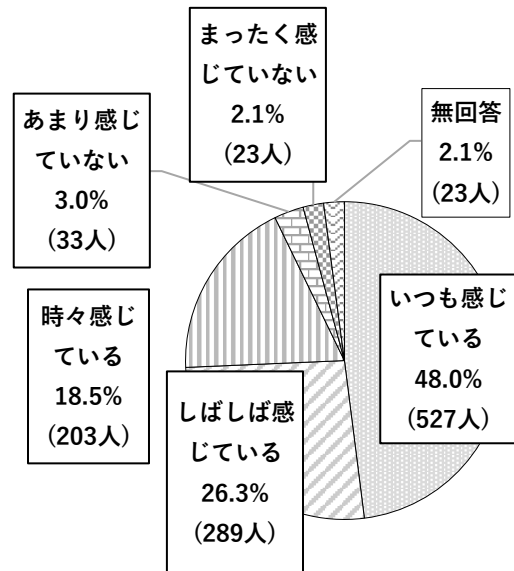
(15) 廃棄食品への意識 (単一回答)

問 42. 食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じることがありますか。

「いつも感じている」が 48.0%

廃棄食品への意識については、「いつも感じている」が 48.0%と最も高く、次に「しばしば感じている」が 26.3%となります。

廃棄食品への意識 (1,098人)



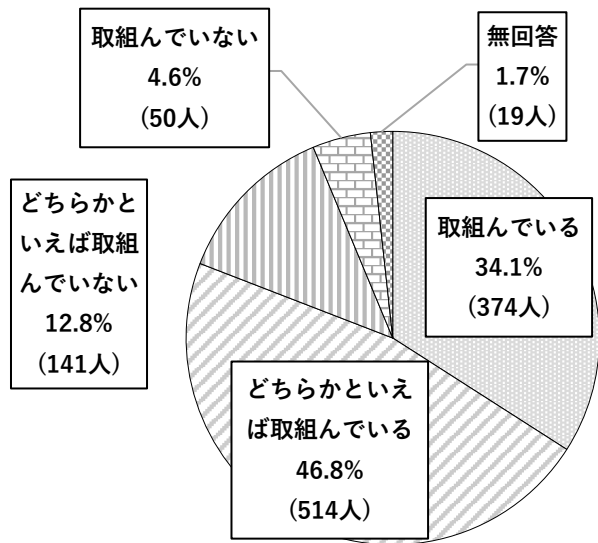
(16) 食品ロス削減の取組 (単一回答)

問 43. 食べ残しを減らすなど食品ロス削減のために意識して取組んでいますか。

「どちらかといえば取組んでいる」が 46.8%

食品ロス削減の取組については、「どちらかといえば取組んでいる」が 46.8%と最も高く、次に「取組んでいる」が 34.1%となります。

食品ロス削減の取組 (1,098人)



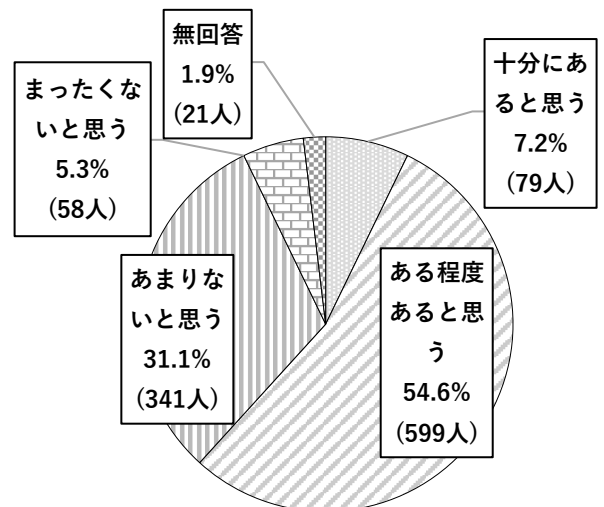
(17) 食の安全性に関する知識 (単一回答)

問 44. 安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。

「ある程度あると思う」が 54.6%

食の安全性に関する知識については、「ある程度あると思う」が 54.6%と最も高く、次に「あまりないと思う」が 31.1%となります。

食の安全性に関する知識 (1,098人)



(18) 各食育の取組の満足度・重要度（単一回答）

問 45. 嘉手納町における食育推進に関して、重要度と満足度を回答してください。（設問文から一部改変）

- ・ 家庭における食育推進
- ・ 学校・保健所等における食育推進
- ・ 地域における食生活の改善のための取組
- ・ 企業・産業団体と連携した職場での取組
- ・ 食品の安全・安心に関する情報提供や講習会

「学校・保健所等における食育推進」の満足度が 3.43、重要度 4.48

各食育の取組の満足度・重要度について、「学校・保健所等における食育推進」の満足度が 3.43、重要度 4.48 で共に最も高かったです。また、いずれの取組も絶対的な評価の下では満足度・重要度は高くなっています。

食育の取組の満足度・重要度

